

Color Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-C3100 ページプリンタ

取扱説明書

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

PC-9800シリーズ、PC-9801、PC-9821は、日本電気(株)の商標です。

FXリヨービは富士ゼロックス(株)の登録商標です。

NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。

TrueTypeフォントは米国Apple Computer社の登録商標もしくは商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第148条、第149条、第162条

通貨及証券模造取締法 第1条、第2条等

All Rights Reserved, Copyright © 2000 富士通株式会社

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの承諾を得ています。

Contains the software from Tokyo Denshi Sekei K.K.,

Contains the Printer Control device from Tokyo Denshi Sekei K.K.

VCCI適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置を、家庭環境で使用する場合、ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギーestarプログラムについて

この装置は、国際エネルギーestarプログラムの基準に適合しております。国際エネルギーestarプログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ及び複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各の間で統一されています。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

レーザ規格について

この装置は、危険なレーザ光を出さない「クラスIのレーザシステム」です。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のカラーページプリンタXL-C3100をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本プリンタは、モノクロ印刷時最大26枚／分（A4サイズ）、フルカラー印刷時最大6枚／分（A4サイズ）の高速印刷が可能なページプリンタです。

本書では、プリンタ装置の設置や取り扱いに関するごとに、プリンタドライバなどのソフトウェアに関するごとにについて説明しています。

本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2000年11月

本文中の略語について

Microsoft® Windows® 95 operating system/Microsoft® Windows® 98 operating systemは、本文中ではWindows 95/Windows 98と表記しています。

Microsoft® Windows® Millennium Editionは、本文中ではWindows Meと表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0は、本文中ではWindows NT4.0と表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® 2000 Serverは、本文中ではWindows 2000と表記しています。

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本定格電源は100V、12Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管(引火や爆発の危険があります。)
- ・電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- ・水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。



警告



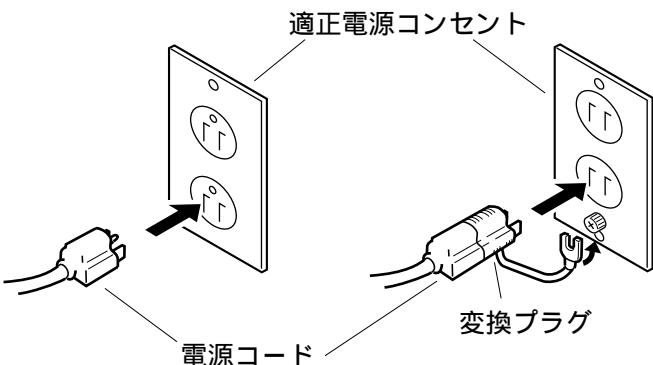
風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。
感電・火災の原因となります。



本プリンタに添付されている平行3ピンの電源コードを使用してください。
3ピンの電源コンセントが近くにない場合は、添付の変換プラグを使用し、
変換プラグから出ている緑色のアース線を、必ずいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、
必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。



近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。



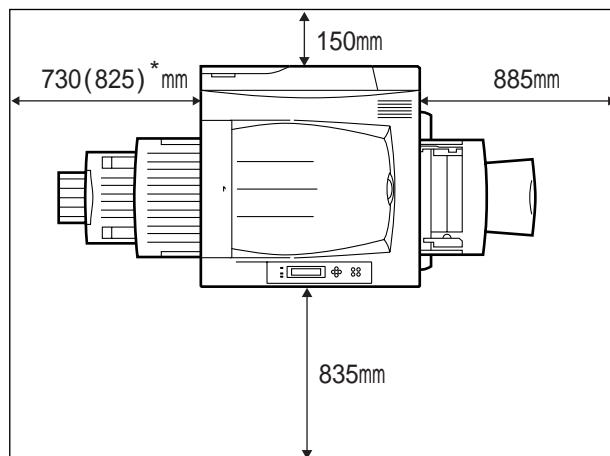
 **直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。**

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの側面、背面および上面には通風口があります。プリンタは壁から150mm以上離して設置し、通風口の上にはものを見かないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な400mm以上のスペースを確保してください。



* : ()内は、オプション品の両面ユニットを取り付けた場合です。

プリンタの上に重いものを見かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に見かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。



注意



プリンタは、重さ約85kg（消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。また、オプション品の拡張給紙ユニットやプリンタキャビネットをお使いになる場合は、重さ約125kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを設置する場合は、前後方向に5mm、左右方向に10mm以上傾けないでください。

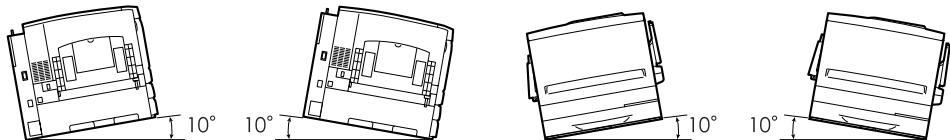
プリンタ内部の消耗品がこぼれて故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、ドラムカートリッジや廃トナー ボックスを取り外さないでください。

取り外したドラムカートリッジや廃トナー ボックスをもう一度取り付けると、内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、下図に示す角度以上に傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



⚠ 注意

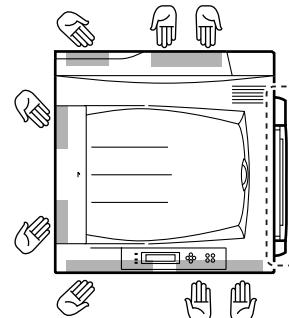
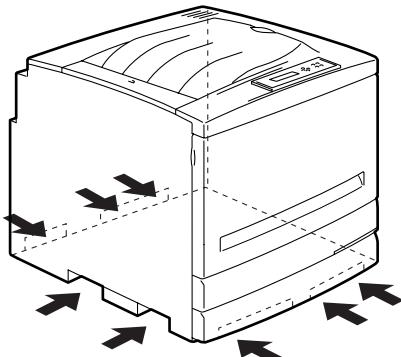


プリンタは、用紙が入っていない状態で約71.2kgあります。プリンタを動かす場合は必ず4人以上で持ち運んでください。

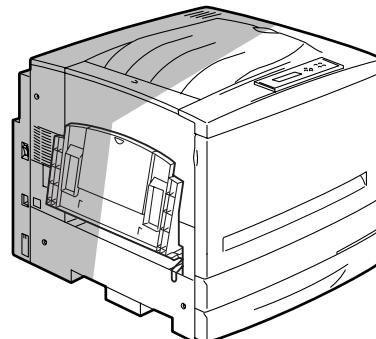
プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（操作パネル側）に向かって、前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

また、製品の正面側に比べ、背面側が重くなっています。持ち上げる際は、このことを十分考慮の上、作業を行ってください。

落下によりけがの原因となることがあります。



この部分を持つと機械が破損します。



背面側が重くなっています



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理にはお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

故障の修理は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



警告



電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が誤って飲むがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターに修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



注意



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

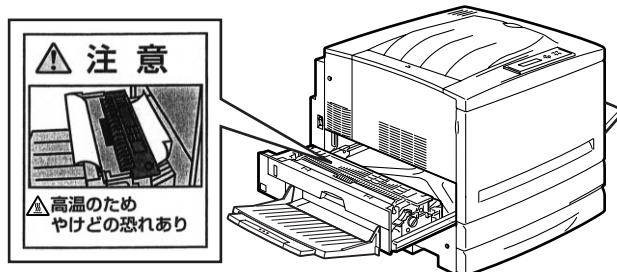
つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。

やけどの原因になることがあります。



1 カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかりと差しこまれていますか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありますか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
- ・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターまでご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラーが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。



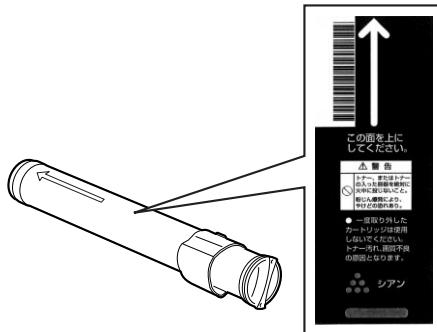
カートリッジ類の取り扱い上のご注意



トナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

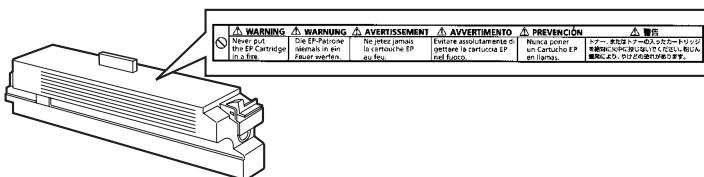
使用済みのトナーカートリッジは、回収サービス（11ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。



廃トナーボックスを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

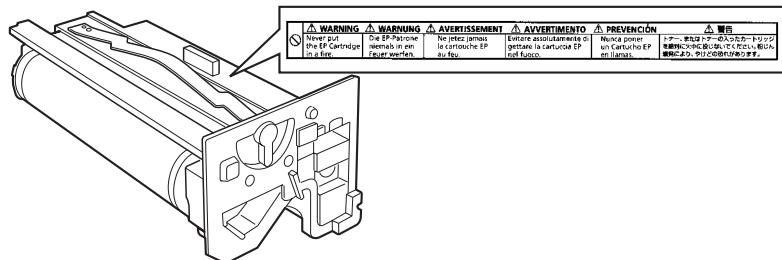
使用済みの廃トナーボックスは、回収サービス（11ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。



ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのドラムカートリッジは、回収サービス（11ページ参照）を利用するか、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。





警告



トナーは目や口に入らないように注意してください。

トナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

本書の構成

本書では、本プリンタをお使いになる前の準備、日常の操作のしかた、設定値の変えかた、日常の保守のしかたなどについて説明します。

目 次	内 容
第1章 お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第2章 用紙について	プリンタで使用できる用紙と、用紙の保管のしかたについて説明します。
第3章 プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順の概要について説明します。
第4章 外部との接続	ケーブル類の接続について説明します。
第5章 プリンタドライバのインストールと設定	プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
第6章 日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します。
第7章 オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第8章 設定値を変える	プリンタが持つ機能と、その設定のしかたについて説明します。
第9章 こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
第10章 プリンタRAMモジュールの取り付け	メモリを増設するためのRAMモジュールの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
付 錄	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の用語

本書では、説明する内容により、以下のマークを使用しています。



本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。

操作する前に必ずお読みください。



本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。

必要に応じてお読みください。

目 次

はじめに	(1)
本文中の略語について	(1)
警告表示マークについて	(1)
安全上のご注意	(2)
プリンタ設置および移動時のご注意	(2)
プリンタ使用時のご注意	(7)
カートリッジ類の取り扱い上のご注意	(11)
本書の構成	(13)
本書の用語	(14)
 第 1 章 お使いになる前に	 1
製品の確認（梱包されている製品）.....	2
本プリンタの特長	3
各部の名称と機能	4
アプリケーションソフトからの印刷のしかた	7
プリンタドライバで印刷する	7
オプション品	8
サプライ品	10
 第 2 章 用紙について	 13
使用できる用紙	14
使用できない用紙	19
用紙の保管上のご注意	20

第3章 プリンタの設置	21
設置上のお願い	22
プリンタの寸法	24
設置手順	25
手差しトレイのスペーサを取り外す	26
手差しユニットのスペーサを取り外す	27
左下ユニットのスペーサを取り外す	28
用紙トレイのスペーサを取り除く	29
トナーカートリッジ取り付け口のスペーサ およびトナーカバーを取り外す	31
トナーカートリッジを取り付ける	34
ドラムカートリッジを取り付ける	38
サイドトレイを取り付ける	42
第4章 外部との接続	43
電源コードの接続	44
パソコンとの接続	46
第5章 プリンタドライバの インストールと設定	49
インストールの前に	50
Windows 95 の場合	51
Plug & Play でのインストール	51
通常のインストール	56
新しいドライバに置き換えるとき	60
プリンタドライバの設定	61
設定画面の表示	68
設定項目の詳細	69
アプリケーションソフトから印刷するときの設定	104
Windows 98 の場合	108
Plug & Play でのインストール	108
通常のインストール	112
新しいドライバに置き換えるとき	116
プリンタドライバの設定	117
設定画面の表示	117

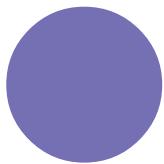
設定項目の詳細	118
アプリケーションソフトから印刷するときの設定	119
Windows Me の場合	120
Plug & Play でのインストール	120
通常のインストール	123
新しいドライバに置き換えるとき	127
プリンタドライバの設定	128
設定画面の表示	128
設定項目の詳細	129
アプリケーションソフトから印刷するときの設定	130
Windows NT4.0 の場合	131
インストール	131
新しいドライバに置き換えるとき	135
プリンタドライバの設定	135
Windows 2000 の場合	144
Plug & Play でのインストール	144
通常のインストール	147
新しいドライバに置き換えるとき	152
プリンタドライバの設定	153
第 6 章 日常のメンテナンス	157
電源の投入と切断	158
用紙のセット	160
用紙トレイに用紙をセットする	160
手差しトレイに用紙をセットする	163
手差しトレイにOHP フィルムをセットする	166
手差しトレイにはがきをセットする	167
手差しトレイの用紙の置き方	168
サプライ品の紹介	169
トナーカートリッジの交換	171
トナーカートリッジの取り扱い上の注意	171
トナーカートリッジを交換する	172
ドラムカートリッジの交換	176
ドラムカートリッジの取り扱い上の注意	176
ドラムカートリッジを交換する	178
廃トナー ボックスを交換する	182

プリンタの清掃	185
給紙ローラの清掃	186
プリンタを長時間使用しないとき	187
プリンタを移動するとき	188
近くに移動する	189
輸送する	189
第7章 オペレータパネルの操作	195
液晶ディスプレイの表示内容	196
オペレータパネルを操作する	197
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	197
印刷を中止する	198
未印刷データを強制的に印刷する	199
第8章 設定値を変える	201
設定の変更手順 (メニューの操作方法)	202
メニューの階層について	202
基本的な操作	203
システムの設定	212
メンテナンス	214
パラレル機能の設定	215
レポート / リスト	216
メニュー項目一覧	224
第9章 こんなときには	225
紙づまりになったとき	226
用紙トレイでの紙づまり	228
手差しトレイでの紙づまり	229
右カバーでの紙づまり	230
左下ユニットでの紙づまり	232
左上カバーでの紙づまり	239
手差しユニットでの紙づまり	240
左下カバーでの紙づまり	242
両面ユニットでの紙づまり	243
拡張給紙ユニットでの紙づまり	244

〔エラー〕ランプ が点灯 / 点滅したとき	245
〔エラー〕ランプが点灯している場合	245
〔エラー〕ランプが点滅している場合	249
ワーニングメッセージが表示されたとき	250
故障かなと思ったとき	251
電源投入時のトラブル	251
印刷に関するトラブル	252
用紙に関するトラブル	253
印刷品質に関するトラブル	254
その他のトラブル	258
留意事項	259
品質に関する留意事項	259
プリンタに関する留意事項	262
プリンタドライバに関する留意事項	263
第 10 章 プリンタ RAM モジュールの取り付け ..	267
プリンタ RAM モジュールの取り付け上のご注意	268
RAM モジュールの取り付けかた	268
RAM モジュールを取り付ける	269
RAM モジュールを取り外す	273
付 錄	275
プリンタの仕様	276
基本仕様	276
インターフェース仕様	277
保守・サービス	280
プリンタドライバのダウンロードサービス	280
アフターサービスについて	280
お問い合わせチェックシート	281
索 引	283

第1章

お使いになる前に



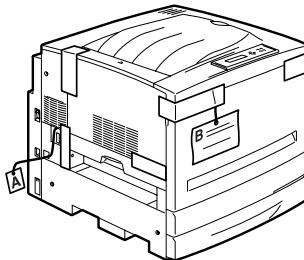
この章では、プリンタの特長や各部の名称と機能、オプション品やサプライ品など、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

製品の確認（梱包されている製品）	2
本プリンタの特長	3
各部の名称と機能	4
アプリケーションソフトからの印刷のしかた	7
プリンタドライバで印刷する	7
オプション品	8
サプライ品	10

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

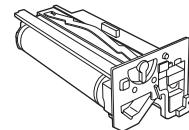
1. プリンタ本体



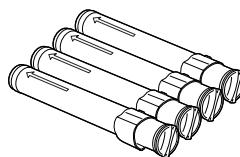
2. サイドトレイ



3. ドラムカートリッジ



4. トナーカートリッジ
(ブラック、イエロー、
マゼンタ、シアン)



5. 電源コード、変換プラグ



6. 保証書（梱包箱に貼付）

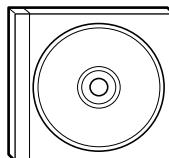


ドキュメントパック

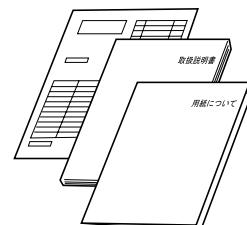
7. 設置ガイド



8. CD-ROM



9. 取扱説明書、用紙について、
修理サービス網一覧表



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル（プリンタケーブル）は添付されていません。

パソコン本体に添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。（「プリンタケーブルについて」9ページ参照）

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

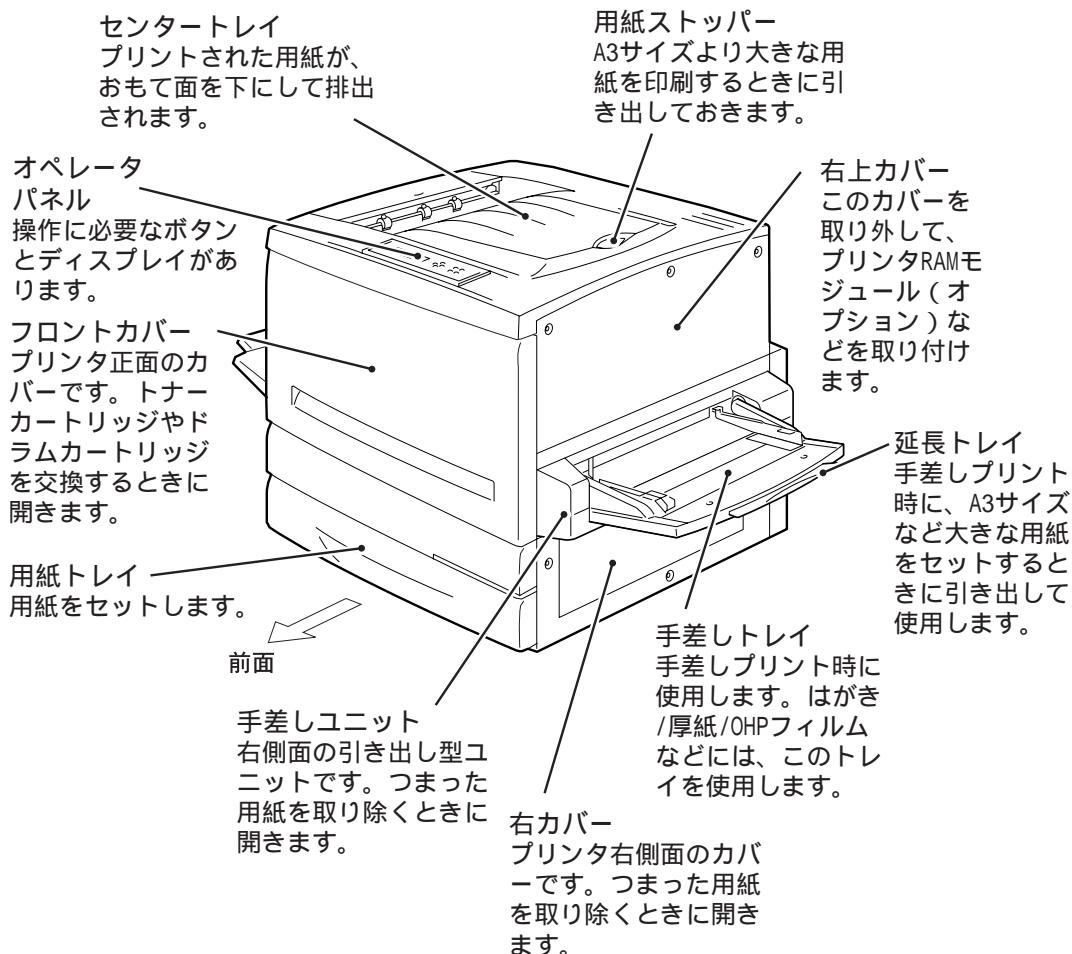
本プリンタの特長

- 1 Windows 95/98/Me 日本語版および Windows NT 4.0/2000 日本語版対応**
各社パソコンの Windows 環境のもとで美しくスピーディな印刷が行えます。また Windows 95/98/Me および Windows 2000 の Plug & Play に対応しています。
- 2 優れた印刷品質**
高画質モードで 1200 × 1200dpi、標準モードで 600 × 600dpi の高解像度フルカラー印刷ができます。
- 3 高速印刷**
モノクロ印刷時 26 枚 / 分 (A4 サイズ用紙)、フルカラー印刷時 6 枚 / 分 (A4 サイズ用紙) の速度で印刷できます。ただし、転送するデータ量が多いとき(例: イメージデータなど)は、時間がかかることがあります。
- 4 多彩な給紙機能**
拡張給紙ユニット(オプション)を取り付けると次のような給紙機能が使用できます。
 - ・異なったサイズの用紙を 4 種類まで同時にセットすることができます。
 - ・最大 1400 枚の用紙を一度にセットできます。
- 5 両面印刷**
両面ユニット(オプション)を取り付けることで、用紙の両面に印刷することができます。
- 6 多種類の用紙サイズに対応**
はがき、A5 ~ A3 サイズ、A3 より大きいサイズ(幅 330.2mm、長さ 457.2mm)まで、さまざまな用紙サイズに対応しています。
- 7 國際エネルギーestarプログラムに対応**
節電モード 2 を使用すると、印刷終了後 30 分(5 分 ~ 120 分の設定も可)経過すると消費電力 30W 以下になります。

各部の名称と機能

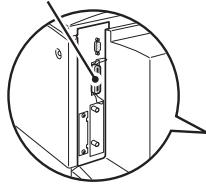
本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

前面



背面

パラレルインターフェース
コネクタ
パソコンとパラレルインターフェースで接続するためのコネクタです。



拡張給紙ユニット用
コネクタカバー
オプションの拡張給
紙ユニット(2段)を取り付けるときに接続するコネクタのカバーです。

背面

電源スイッチ
電源を投入/切断するスイッチです。[I]側に押すと電源が投入され、[O]側に押すと電源が切斷されます。

フィルター

プリンタ内部の加熱を防ぐため、熱を放出します。設置時には通風口をふさがないようにしてください。

左上カバー

プリンタ左側面のカバーです。つまた用紙を取り除くときを開きます。

左下ユニット

プリンタ左側面の引き出し型ユニットです。つまた用紙を取り除くときを開きます。

サイドトレイ

印刷された用紙が、おもて面を上にして排出されます。

通風口

プリンタ内部の加熱を防ぐため、熱を放出します。設置時には通風口をふさがないようにしてください。

両面ユニット用コネクタカバー

オプションの両面印刷ユニットを取り付けるときに接続するコネクタのカバーです。

内部

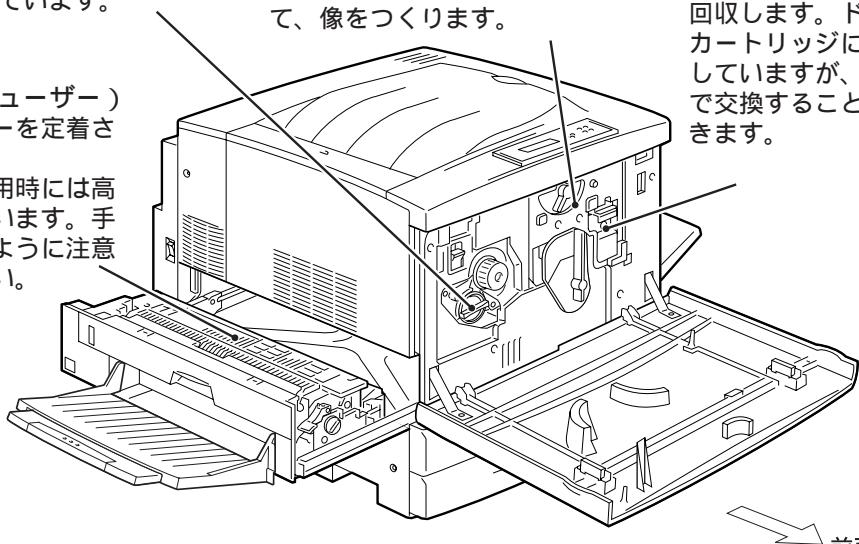
トナーカートリッジ
ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの4色のトナーが収容されています。

定着器(フューザー)
用紙にトナーを定着させます。
プリンタ使用時には高温になっています。手を触れないように注意してください。

ドラムカートリッジ

ドラム(感光体)、ドラムクリーナ、廃トナーボックスで構成されています。このドラム面に電荷を与えて、像をつくります。

廃トナーボックス
使用済みのトナーを回収します。ドラムカートリッジに付属していますが、単品で交換することもできます。

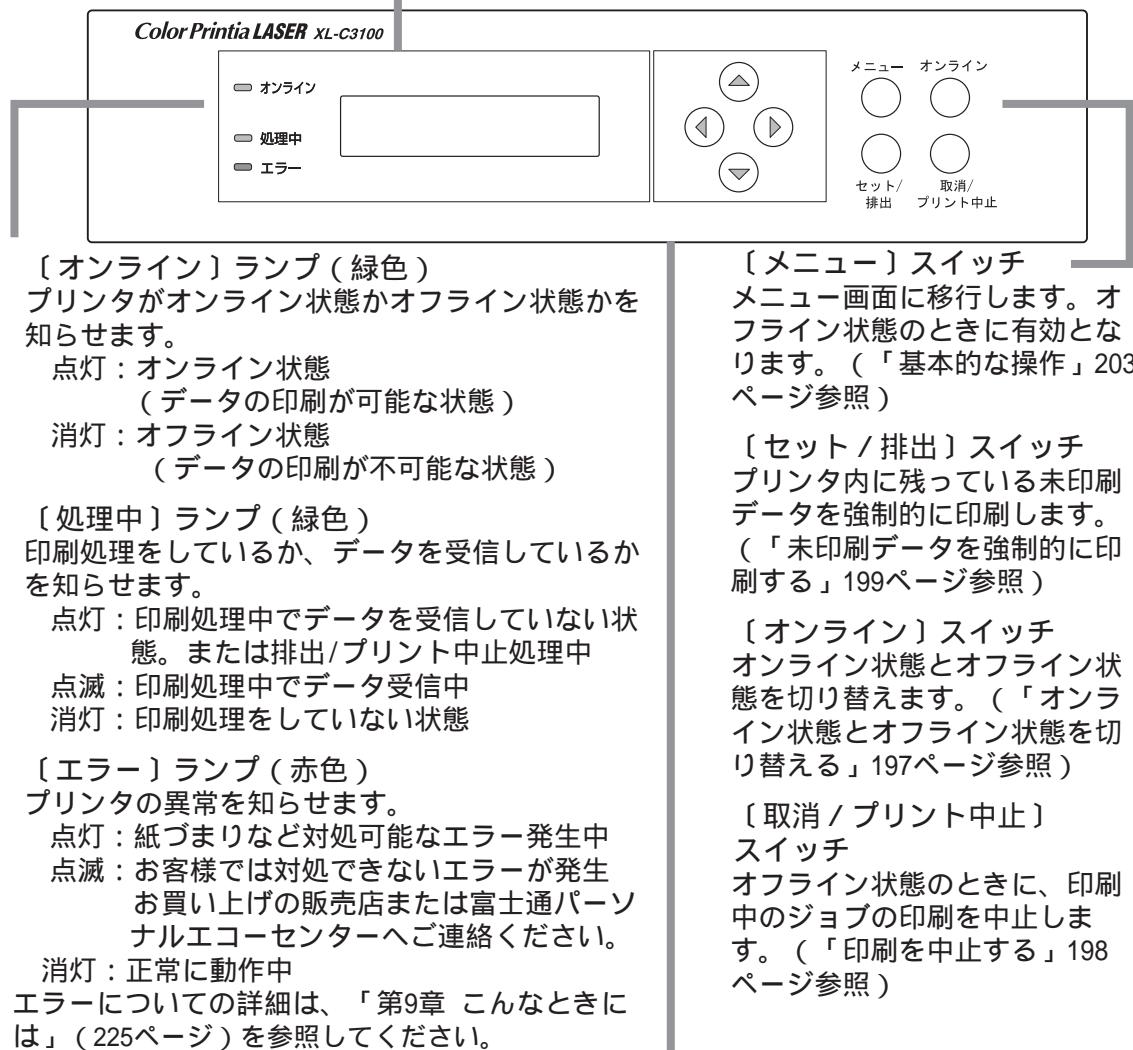


前面

■ オペレータパネルの機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

液晶ディスプレイ
プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。（1行16文字の2段に表示されます。）



〔取消/プリント中止〕〔セット/排出〕〔▲〕〔▼〕〔◀〕〔▶〕の各スイッチについては、「[設定の変更手順（メニューの操作方法）](#)」（202ページ）を参照してください。

アプリケーションソフトからの印刷のしかた

アプリケーションソフトからの印刷のしかたについて説明します。

▼ プリンタドライバで印刷する

Windows 対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、本プリンタのドライバ (FUJITSU XL-C3100) を選択します。プリンタの設定は、プリンタドライバのプロパティの設定内容に従います。詳細は、「第5章 プリンタドライバのインストールと設定」(49 ページ) を参照してください。

オプション品

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

■ 両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPN1	プリンタに取り付けると、用紙の両面に印刷できます。

■ 拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF100N1	2~3段目の給紙ユニットとして使用できます。 A3~B5の用紙を500枚セットできる用紙トレイが2個添付されています。

■ プリンタキャビネット

品名	型名	内容
プリンタキャビネット	XL-CA2	本プリンタ専用の置き台です。

■ プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール-64MB	XL-EM64M6	RAMを64MB搭載したメモリモジュールです。
プリンタ RAM モジュール-128MB	XL-EM128M6	RAMを128MB搭載したメモリモジュールです。 標準搭載で印刷できない場合、どちらかのメモリを増設します。

■ プリンタ LAN アダプタ

品名	型名	内容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-Tに対応したLANアダプタです。 Windows 95/98/2000 Windows NT3.51/4.0 Netware 3.1XJ/Intranetware/Netware 5に対応します。

■ プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL712
PRIMERGY, GRANPOWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711

【NEC】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
PC-9821An,Ap2,As2,Ap3,As3,Bf,Bp,Bs,Be	XL-CBL981 (*1)
PC-9821Xt,Xa,Xn,Xp,Xs,Xe	
PC-9821Cs2,Ce2,Ts,Es,Cb,Cx,Cf	
PC-9801BA2,BS2,BX2,BX3	
PC-9801Np,Ns,Ne ² ,Nd	
PC-9801NS/A	

*1: XL-CBL981はプリンタインターフェースとして36ピンハーフピッチコネクタを持つPC-9800シリーズに対応しています。36ピンハーフピッチ以外のコネクタを持つPC-9800シリーズは、NEC製の専用ケーブルをご使用ください。

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

【USB ケーブル】

本プリンタをパソコンのUSBインターフェースに接続して使用するためのケーブルです。USBからパラレルインターフェースの変換を行います。

品名	型名	備考
プリンタUSBケーブル	FMV-CBL721	USBに対応し、Windows 95 OSR2.5以降またはWindows 98/Me/2000が動作するパソコンに接続可能です。

サプライ品

サプライ品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。



カラーページプリンタXL-C3000に対応していたカラーページプリンタ用OHPフィルムは、本プリンタではご使用になれません。

商品名	商品番号	備考
カラーオフィス用紙	A 3	0415750 250枚×5冊で1ケース
	B 4	0415720 250枚×5冊で1ケース
	A 4	0415710 250枚×10冊で1ケース
	B 5	0415740 250枚×10冊で1ケース
カラーページプリンタ用 OHPフィルム	A4	0415510 50枚
トナーカートリッジ (ブラック)	CL106	0883110 A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約6,000枚(ブラックのみ5,500枚)です(印刷の内容により、多少の差があります)。
トナーカートリッジ (シアン)	CL106	0883140 枚(シアンのみ5,500枚)です(印刷の内容により、多少の差があります)。
トナーカートリッジ (マゼンタ)	CL106	0883130
トナーカートリッジ (イエロー)	CL106	0883120
ドラムカートリッジ	CL106	0883410 感光体、ドラムクリーナー、廃トナーボックスで構成されています。約20,000枚で交換です。(注1)
廃トナーボックス	CL103	0874710 ドラムカートリッジに付属しているものですが、単体で交換できます。 約20,000枚で交換です。(注1)
CL106 給紙カセット(250枚)	0883310	A3～B5サイズで250枚 添付の用紙トレイと同一です。
	(500枚)	0883320 A3～B5サイズで500枚 拡張給紙ユニットに添付の用紙トレイと同一です。

(注1)ドラムカートリッジ、廃トナーボックスの印刷寿命は、モノクロ：カラー=1:1で印刷した場合です。

印刷の内容により(カラーの印刷枚数が多い場合等)印刷寿命が約10,000枚程度になります。

■ 使用済みカートリッジ(トナー、ドラム)の回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みカートリッジを無償で回収しております。

下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願ひいたします。

『エコ受付センター』

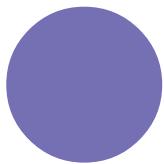
フリーダイヤル : 0120-30-0693

平日 8:40 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:30

(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

第2章

用紙について



使用する用紙の種類、用紙の保管のしかたなどによって、印刷品質にかなりの差がでます。ここでは、用紙の種類と保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙	14
使用できない用紙	19
用紙の保管上のご注意	20

使用できる用紙

本プリンタでは、普通紙をはじめ、さまざまな用紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもありますので、できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ品の詳細は、「サプライ品」(10ページ)を参照してください。

▶お願い

- 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

■ 推奨用紙

次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		説明
普通紙	カラーオフィス用紙	本機での印刷時、最良の印刷品質を得ることができます。
	A3	
	B4	用紙トレイ、手差しトレイのどちらからでも給紙できます。
	B5	
特殊紙	カラーページプリンタ用OHPフィルム	本機専用のOHPフィルムです。
	A4	手差しトレイからの給紙のみ使用できます。



カラーページプリンタXL-C3000に対応していたカラーページプリンタ用OHPフィルムは、本プリンタではご使用になれません。

一般の用紙

推奨用紙以外では、次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙	説明
普通紙	PPC用紙 一般的な複写機などで使用する用紙です。
	上質紙 重量は64～105g/m ² の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 ^① 重量は64～105g/m ² の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製はがき ^② 通常の官製はがきが使用可能です。
	ラベル紙 ^③ 台紙全体がラベルで覆われていて、カットがないレーザプリンタ用のラベル紙が使用可能です。
	厚紙 重量は105～220g/m ² の範囲内のものが使用可能です。

*1：再生紙は、一般的の室温以上の環境下で使用すると、印刷品質が低下したり、紙づまりなどが発生することがあります。

*2：かもメールなどの絵入りはがきなどの印刷は、はがきの粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。このような場合は給紙ローラを清掃（186ページ）してください。

*3：台紙全体がラベルなどで覆われていないものや、覆われていてもカットがあるラベル紙は、プリンタ内部でのラベルのはがれにより故障の原因となります。使用しないでください。

■ 紙給紙方法と用紙のサイズ

次のサイズ、重量の用紙が使用できます。用紙トレイ、手差しトレイのどちらでも使用できます。

給紙方法	用紙種類	サイズ	重量	積載可能枚数
用紙トレイ (250枚)	普通紙	A3 横 B4 横 A4 縦 / 横 B5 縦 (500枚) ^{(*)5}	64 ~ 105g/m ²	約250枚 (または 総厚26mmまで)
		レター縦 リーガル横 レジャー横		約500枚 (または 紙厚53mmまで)
手差しトレイ	普通紙	A3 横 B4 横 A4 縦 / 横 B5 縦 / 横 A5 縦 / 横 レター縦 / 横 リーガル横 レジャー横 不定形(カスタム) 90 x 144.8 ~ 330.2 x 457.2mm	64 ~ 105g/m ²	約150枚 (または 総厚16mmまで)
	官製はがき ^{(*)1} はがき横 ラベル紙 ^{(*)2}	190g/m ²	約75枚	
	A4 縦 / 横	105 ~ 220g/m ²	約75枚	
	レター縦 / 横			
厚紙 ^{(*)3}	給紙方法手差しトレイ での普通紙と同じ	105 ~ 220g/m ²	約75枚	
OHPフィルム ^{(*)4}	A4 縦 / 横	160g/m ²	約75枚	

*1：官製はがきの印刷ではプリンタドライバの用紙種類は、はがきに設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。

*2：プリンタドライバの用紙種類はラベル紙に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。

*3：プリンタドライバの用紙種類は厚紙に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。

*4：プリンタドライバの用紙種類はOHPフィルムに設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。

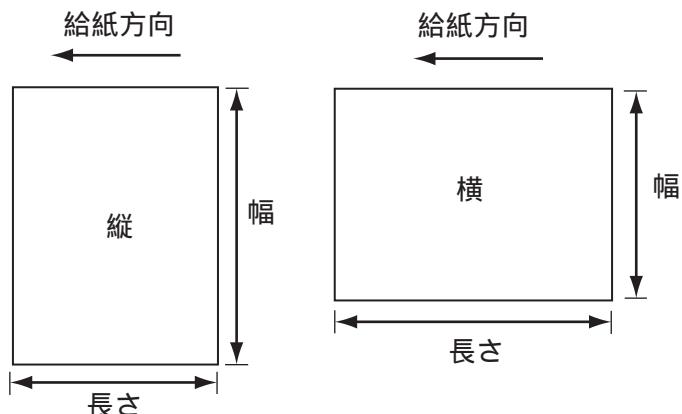
*5：本トレイはオプションの拡張給紙ユニット用です。

▶お願い

・ハガキは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたハガキや反りのあるはがきを使用すると、紙づまりなどが発生することがあります。

●ガイド

・表の中の「幅」、「長さ」、「横」、「縦」の関係は下図のとおりです。



■ 普通紙

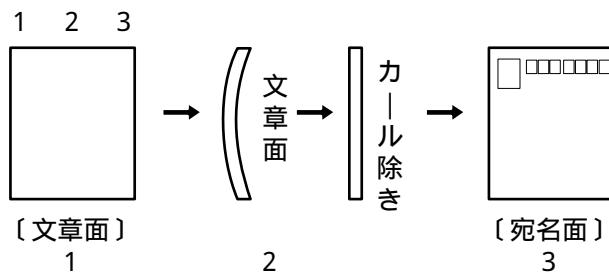
本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般的の市販品には本プリンタに適さないものもあります。

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面 宛名面の順に印刷してください。

宛名面 文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2mm 以内の反りになるように修正してから印刷してください。

また、プリンタドライバでの用紙種類の設定は、文章面に印刷する場合は「はがき」を、宛名面に印刷する場合は、「はがき（うら面）」を指定してください。指定を間違えると画質が落ちることがあります。



官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

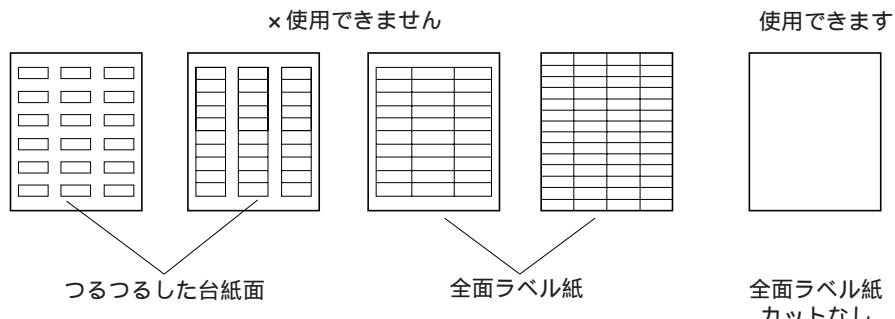
- ・印刷面を上にしてセットしてください。
- ・手差しトレイに横方向にセットしてください。
- ・ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

O H P フィルム

本プリンタ専用以外の OHP フィルムは使用しないでください。

ラベル紙

台紙全体がラベルで覆われていて、カットがないレーザプリンタ用のラベル紙が使用可能です。



使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタの故障となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

- ・本機で印刷済みの用紙
- ・他のカラーレーザプリンタ / モノクロレーザプリンタ用 OHP フィルム、他のカラー複写機 / モノクロ複写機用 OHP フィルム、カラーページプリンタ用 OHP フィルム A4
- ・インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙・光沢紙・光沢フィルムなど）
- ・他のカラーレーザプリンタ、モノクロレーザプリンタで印刷済みの用紙
- ・熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷済みの用紙
- ・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- ・湿っている用紙や、濡れている用紙
- ・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- ・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・カールしている用紙
- ・静電気で密着している用紙
- ・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- ・表面を加工、または特殊なコーティングをした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- ・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- ・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、150 以上の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- ・150 以上の熱で溶けたり、変質する用紙
- ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ざら紙や纖維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・裁断部のバリが大きい用紙
- ・ツルツル、スベスベした表面がなめらかすぎる用紙
- ・紙粉の多い用紙
- ・簡単にはがれてしまうラベル紙
- ・台紙全体がラベルなどで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙
- ・台紙全体がラベルで覆われているが、カットがしてあるラベル用紙

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質が落ちることがあります。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態で保管してください。

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- ・平らなパレットの上
- ・温度 10 ~ 30 、湿度 30 ~ 65%RH の環境

次のような場所は避けてください。

- ・床の上に直接置く
- ・直射日光の当たる場所
- ・外壁の内側の近く
- ・段差や、曲がりのある場所
- ・静電気が発生するところ
- ・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- ・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

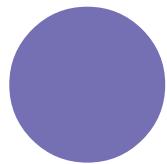
- ・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包んでください。
- ・長期間プリンタを使用しないときは、用紙トレイや手差しトレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包んでください。



長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

第3章

プリンタの設置



この章では、プリンタを設置する際に注意すべきことと、設置の手順について説明します。

設置上のお願い	22
プリンタの寸法	24
設置手順	25
手差しトレイのスペーサを取り外す	26
手差しユニットのスペーサを取り外す	27
左下ユニットのスペーサを取り外す	28
用紙トレイのスペーサを取り除く	29
トナーカートリッジ取り付け口のスペーサ およびトナーカバーを取り外す	31
トナーカートリッジを取り付ける	34
ドラムカートリッジを取り付ける	38
サイドトレイを取り付ける	42

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

温度 10 ~ 32 湿度 15 ~ 85% (結露がないこと)

温度32 のときは湿度60%以下、湿度が85%のときは温度26 以下でご使用ください。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

電源コンセントは本機専用にお使いください。

1つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるパソコンの誤動作、データ消失のおそれがあります。

電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、12Aです。

プリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙探知機、温度センサなど）が施された場所に設置してください。

また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

プリンタを前後5mm、左右10mm以上傾けて設置しないでください。

トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

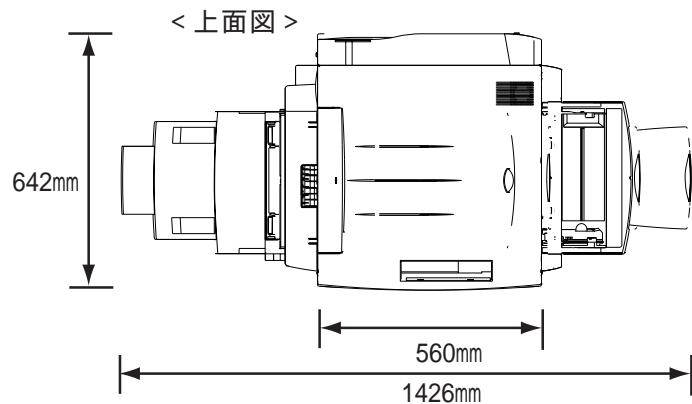
►お願い

- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -

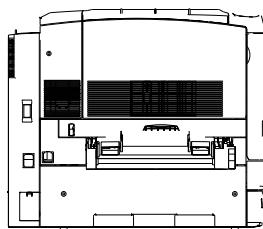
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

プリンタの寸法

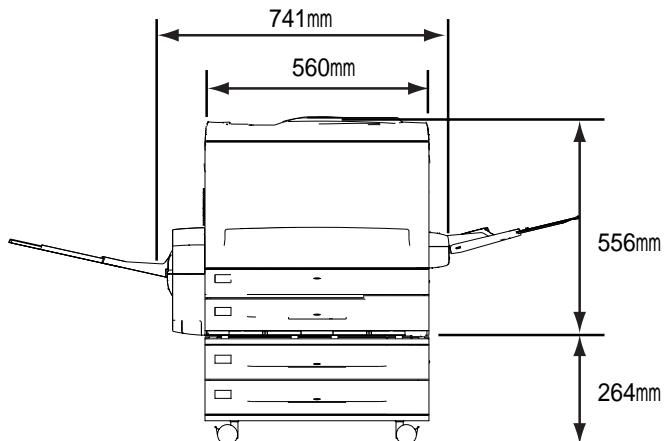
オプションをすべて装着したときの、装置の寸法を示します。設置のときの参考にしてください。



<側面図>



<正面図>



火 災 プリンタの側面および背面には通風口があります。プリンタは壁から 150mm 以上離して設置してください。
(「安全上のご注意」(2) ページ参照)

け が 設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

設置手順

プリンタは、次の手順で設置します。

- ・手差しトレイのスペーサを取り外す
- ・手差しユニットのスペーサを取り外す
- ・左下ユニットのスペーサを取り外す
- ・用紙トレイのスペーサを取り除く
- ・トナーカートリッジ取り付け口のスペーサおよびトナーカバーを取り外す
- ・トナーカートリッジを取り付ける
- ・ドラムカートリッジを取り付ける
- ・サイドトレイを取り付ける
- ・用紙をセットする（「用紙のセット」160 ページ参照）
- ・外部と接続する（「第4章 外部との接続」43 ページ参照）

ここでは「手差しトレイのスペーサを取り外す」から「サイドトレイを取り付ける」について説明します。



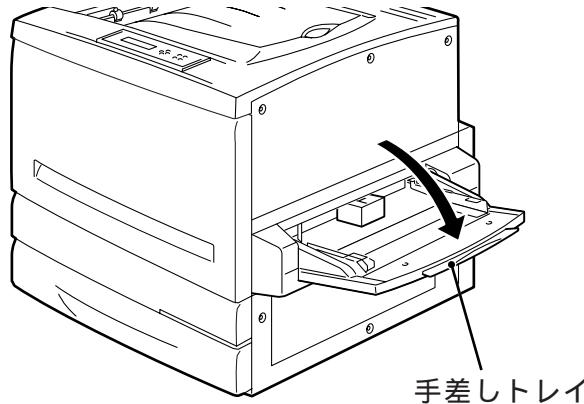
感電 プリンタを設置するときは、必ず本プリンタの電源スイッチを「」側に倒して電源を切ってください。
電源を切らずに電源コードを接続すると、感電の原因となります。



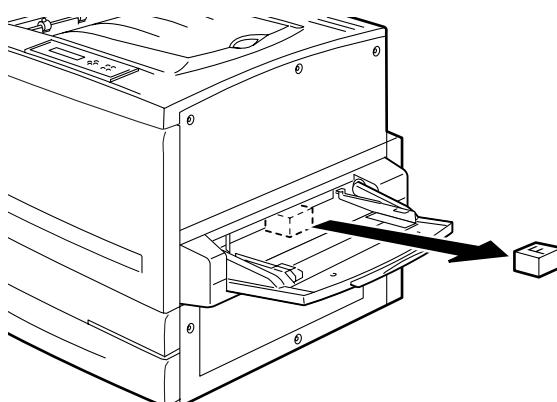
- ・輸送時の振動や衝撃から守るために、それぞれの箇所にスペーサを取り付けています。以降の手順を参考にして、必ずすべてのスペーサを取り外してください。
- ・オプションの拡張給紙ユニット、プリンタキャビネットを購入された場合は、先にプリンタ本体に取り付けてください。取り付けかたについては、拡張給紙ユニット、プリンタキャビネットに添付の説明書を参照してください。

▼ 手差しトレイのスペーサを取り外す

次の手順に従って、手差しトレイのスペーサを取り外します。



1 手差しトレイを開く

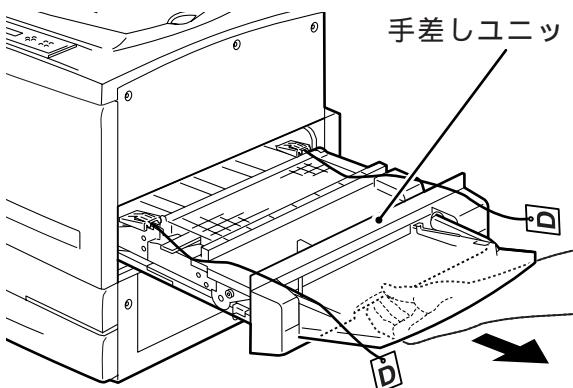


2 図の位置にあるスペーサ (Fと書かれている)を取り外す

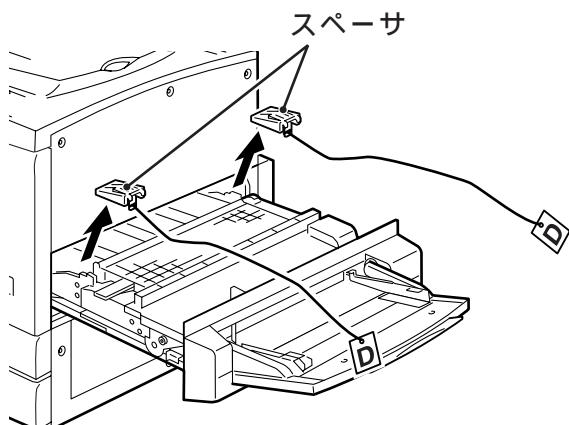
移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、Fのスペーサをなくさずに保管しておいてください。

▼ 手差しユニットのスペーサを取り外す

次の手順に従って、手差しユニットのスペーサを取り外します。

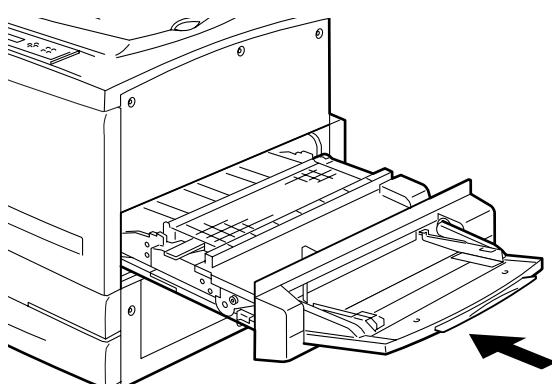


- 1 手差しユニットを、止まるまでゆっくり引き出す



- 2 図の位置にあるオレンジ色のスペーサ(Dと書かれたタグが付いている)を引き抜いて外す

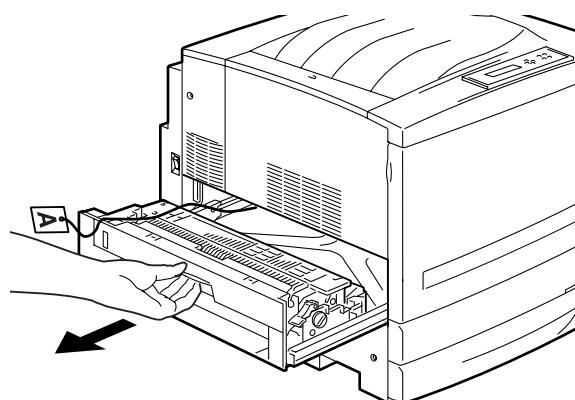
移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、Dのスペーサをなくさずに保管してください。



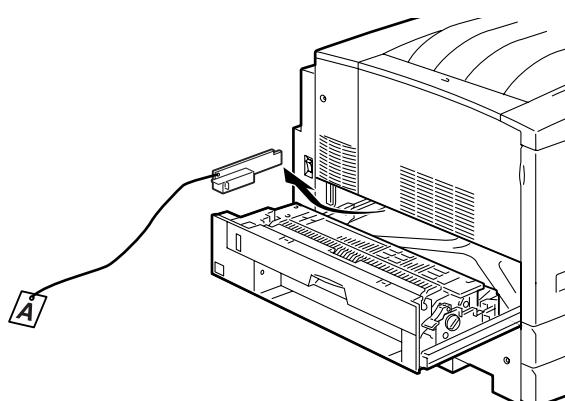
- 3 手差しユニットを、プリンタの奥までしっかりと押し込む

▼ 左下ユニットのスペーサを取り外す

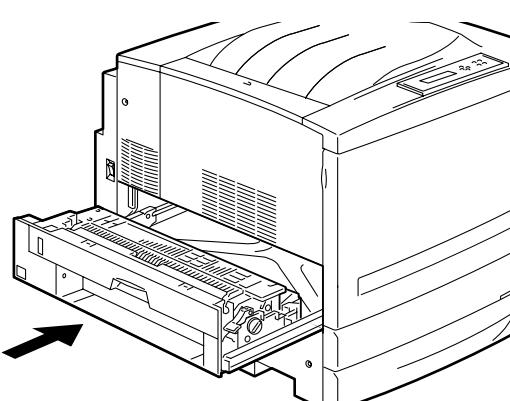
次の手順に従って、左下ユニットのスペーサを取り外します。



1 左下ユニットを止まるまで引き出す



2 左下ユニットの奥にあるスペーサ(Aと書かれたタグが付いている)を、スペーサに付いている紐を引いて取り外す

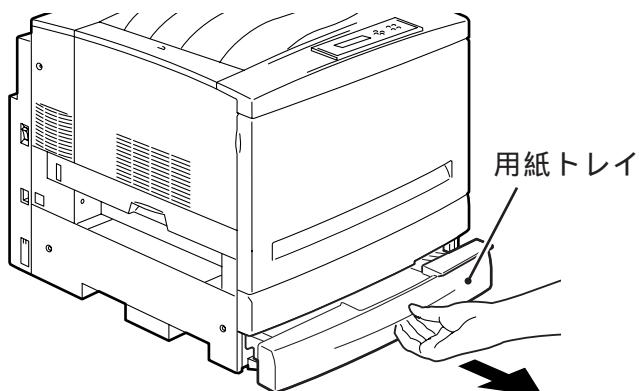


3 左下ユニットを、プリンタの奥までしっかりと押し込む

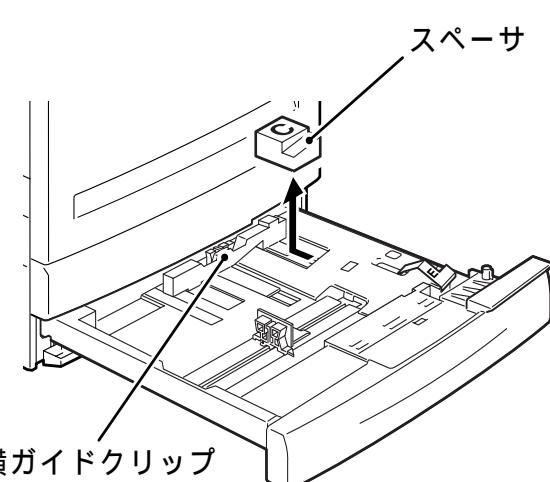
▼ 用紙トレイのスペーサを取り除く

次の手順に従って、用紙トレイのスペーサを取り除きます。

使用できる用紙については、「第2章 用紙について」(13ページ)を参照してください。また、用紙のセットのしかたについては、「用紙のセット」(160ページ)を参照してください。

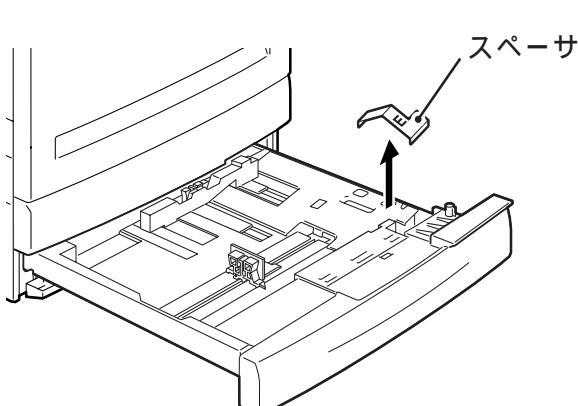


1 用紙トレイを手前に止まるまで引き出す



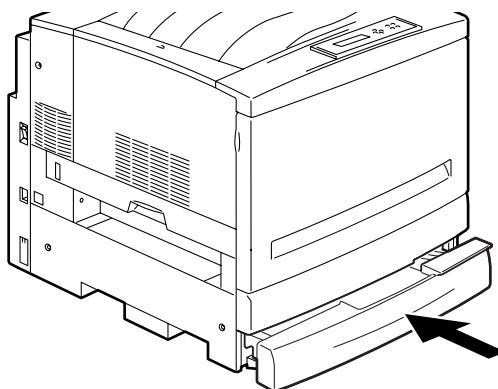
2 用紙トレイ内にあるスペーサ(発泡スチロール)を取り除く

横ガイドクリップを指でつまみ、ガイドを外側にずらした後、Cと書かれたスペーサ(発泡スチロール)を取り除きます。



3 図の位置にあるスペーサ(Eと書かれている)を取り除く

移転などでプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、CおよびEのスペーサをなくさずに保管しておいてください。



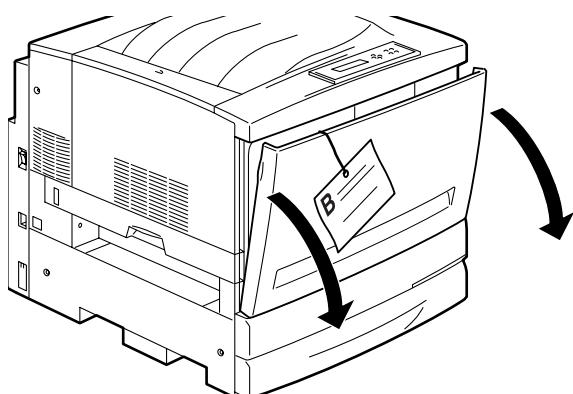
4 用紙トレイを、プリンタの奥までしっかり押し込む



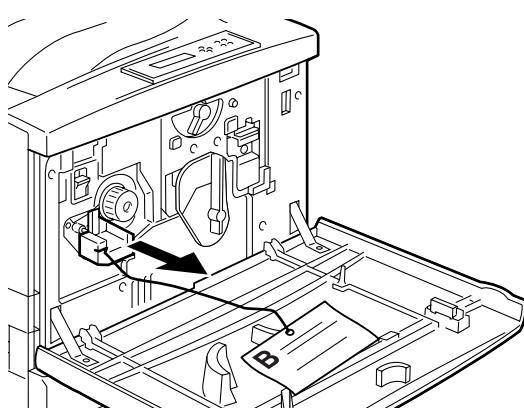
移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサをなくさずに保管しておいてください。

▼ トナーカートリッジ取り付け口のスペーサおよびトナーカバーを取り外す

次の手順に従って、トナーカートリッジ取り付け口のスペーサおよびトナーカバーを取り外します。

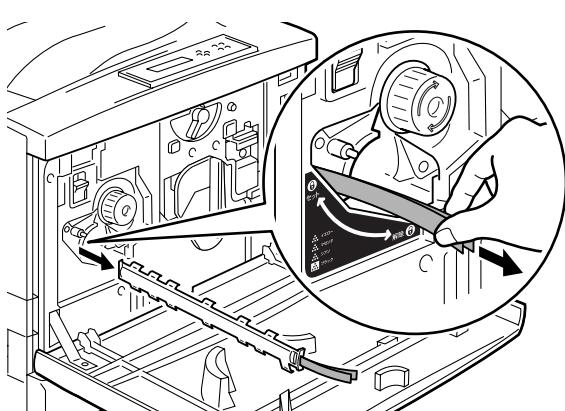


1 フロントカバーを開く



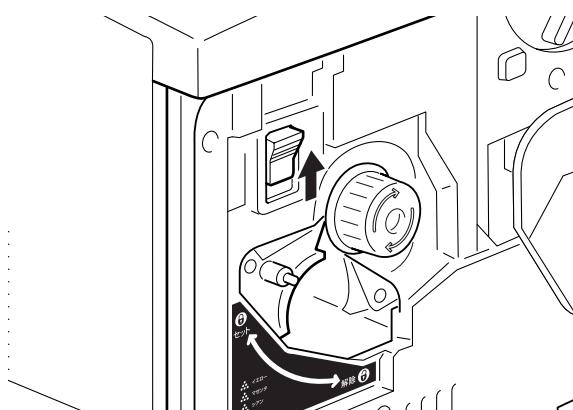
2 図の位置にある回転止めスペーサ(Bと書かれたタグが付いている)を引き抜いて外す

移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、Bのスペーサをなくさずに保管してください。



3 トナーカートリッジのトナーカバー(Gと書かれたタグが付いている)を、先端の取っ手を引っ張つて外す

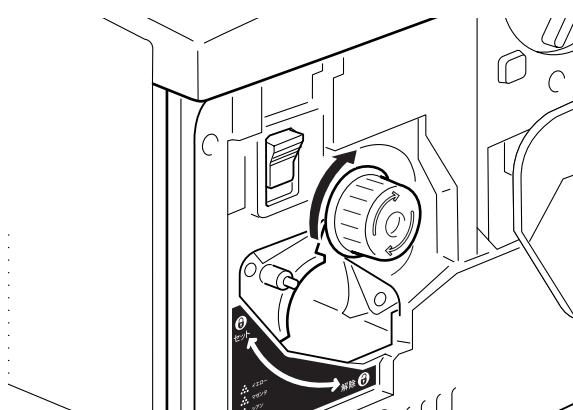
このトナーカバーは、4つのトナーカートリッジにそれぞれ取り付けられています。以下の手順で残りの3つも取り外します。



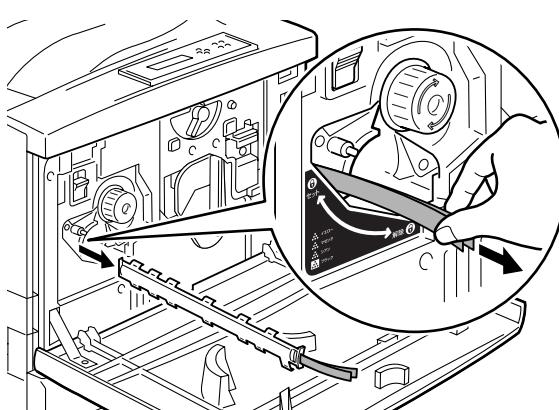
- 4 回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離す



回転防止スイッチを押し上げたら、手を離してください。
回転防止スイッチは、次の手順でノブを回すと自動的に下がるしくみになっています。



- 5 ノブを矢印の方向に止まるまでゆっくりと回し、次のカートリッジを取り付け口に移動させる
ノブを回すと、カチッと音がして回転防止スイッチが下がります。



- 6 正面に移動してきたトナー カートリッジのトナー カバーを、先端の取っ手を引っ張って外す

7 手順4～6の操作を繰り返し、4個のトナーカバー(G)をすべて取り外す

これでテープとスペーサの取り外しは終了です。

オプションの拡張給紙ユニットまたはプリンタキャビネットがある場合は、各オプションの取扱説明書を参照して取り付けてください。オプションがない場合は、続けてトナーカートリッジを取り付けます。フロントカバーは開けたまま、次の「トナーカートリッジの取り付け」に進んでください。

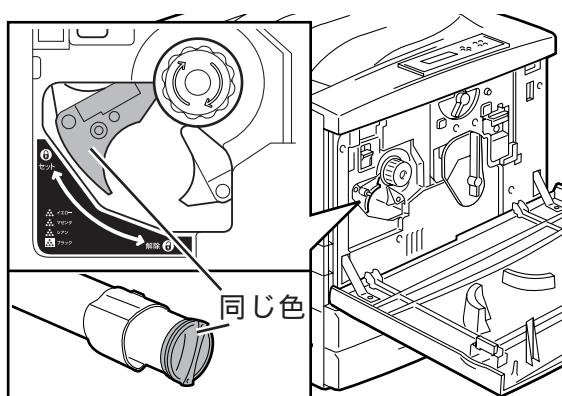
▼ トナーカートリッジを取り付ける

次の手順に従って、トナーカートリッジを取り付けます。

お願い

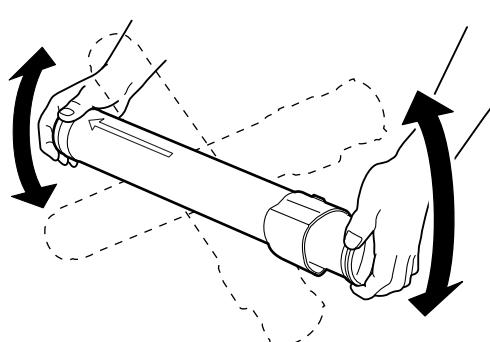
トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。

トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱い上の注意」(171ページ)を参照してください。

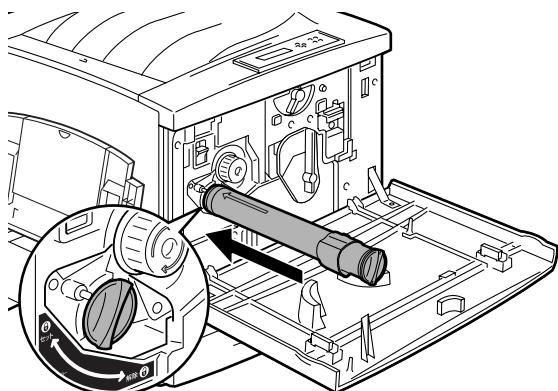


1 トナーカートリッジを取り出す

トナーカートリッジの装着口には、セットするトナーカートリッジの色が示してあります。左図の位置に表示されている色を確認して、同じ色のトナーカートリッジを梱包から取り出します。

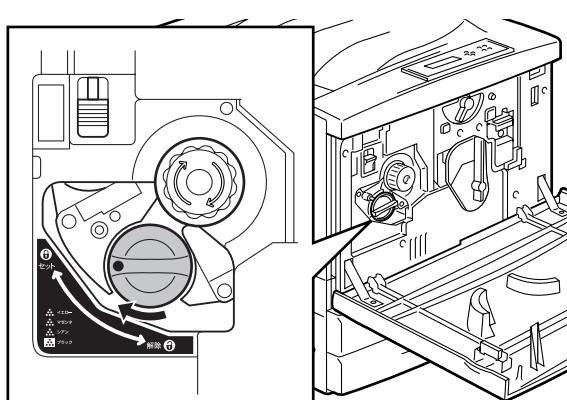


2 図のように7~8回振り、中のトナーを均一にする



3 トナーカートリッジを差し込む

トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。

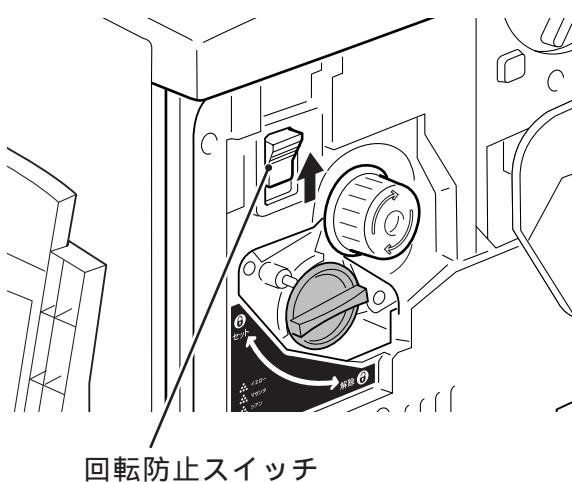


4 トナーカートリッジをセットする

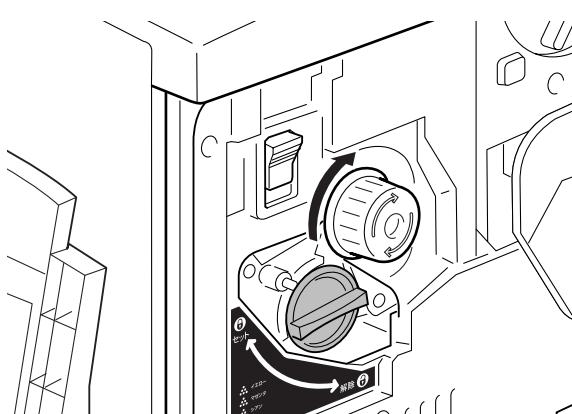
トナーカートリッジを図の矢印の方向に押し込みながら止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「」印をプリンタ側の「セット」()に合わせます。

お願い

トナーカートリッジを最後までしっかりと回してください。
最後まで回さないとトナーがこぼれる場合があります。



5 回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで上に押し上げ、手を離す
スイッチを上げたら、スイッチから指を離してください。



6 トナーカートリッジを移動する
ノブを図の矢印の方向にゆっくりと回して、セットしたトナーカートリッジを移動させます。
ノブは、止まるまで回してください。



トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。

7 残り3つのトナーカートリッジについても同様に、手順1～6の操作を行う

ただし、最後のトナーカートリッジについては手順5、6の操作は不要です。

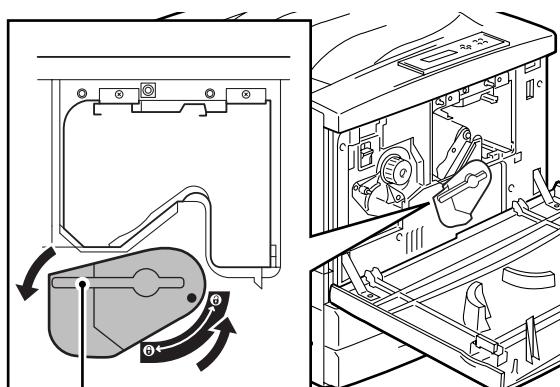
これでトナーカートリッジの取り付けは終了です。続けて、ドラムカートリッジを取り付けます。フロントカバーは開けたまま、次の「ドラムカートリッジの取り付け」に進んでください。

▼ ドラムカートリッジを取り付ける

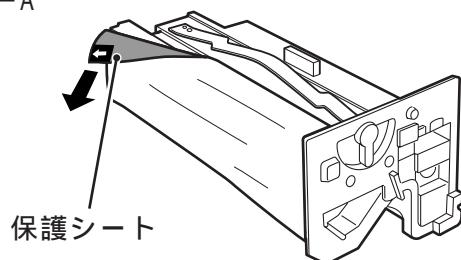
次の手順に従って、ドラムカートリッジを取り付けます。

●ガイド

ドラムカートリッジの取り扱いについては、「ドラムカートリッジの取り扱い上の注意」(176ページ)を参照してください。



レバーA



保護シート

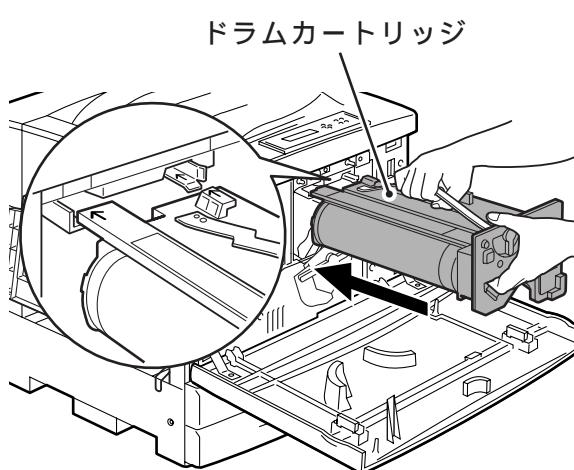
1 レバーAを解除位置に合わせる

黄色のレバーAを図の矢印の方向に回し、「」印を解除位置()に合わせます。

2 新しいドラムカートリッジを梱包から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートを緑色の矢印部分を引っ張ってはがす

お願い

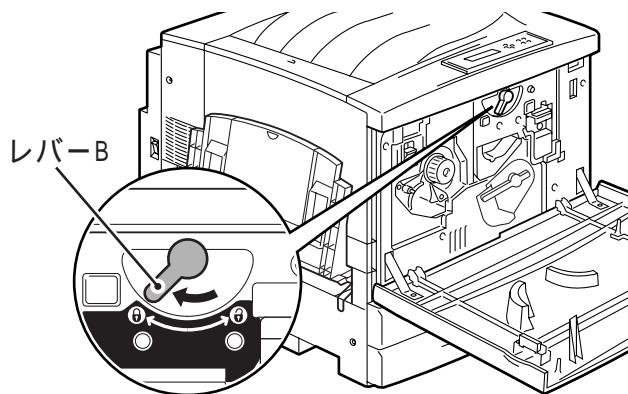
- ・ドラム表面(青色)は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、プリント写りが悪くなります。
- ・保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。



- 3 ドラムカートリッジの取っ手を持ち、左右のガイドをプリンタ本体のレールに乗せて、プリンタの奥までしっかり押し込む

▶お願い

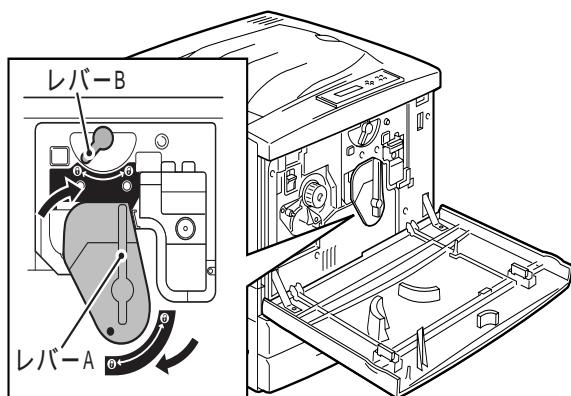
- ・ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールに乗っていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ・ドラム表面(青色)が他の部品に接触しないように注意してください。



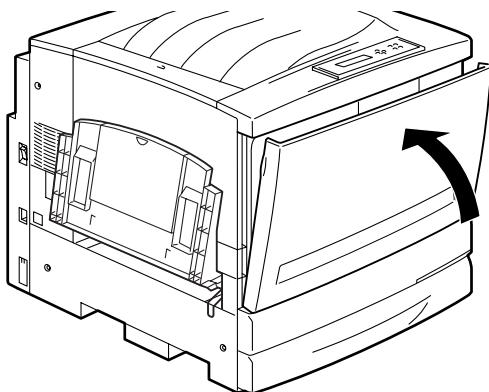
4 レバーBを図の矢印の方向に回し、セット位置(锁定印)に合わせる



ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。



5 レバーAを図の矢印の方向に回し、「锁定印」をセット位置(锁定印)に合わせる



6 フロントカバーを閉める

▶お願い

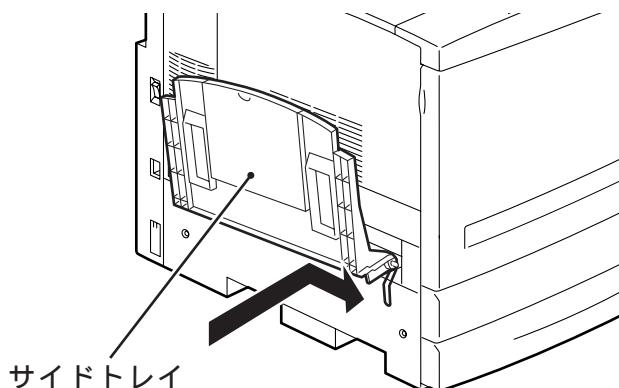
レバーA、Bがきちんとロックされていないと、フロントカバーは閉まりません。フロントカバーが閉まらないときは、レバーA、Bがロックされているかどうかを確認してください。

▼ サイドトレイを取り付ける

次の手順に従って、サイドトレイを取り付けます。

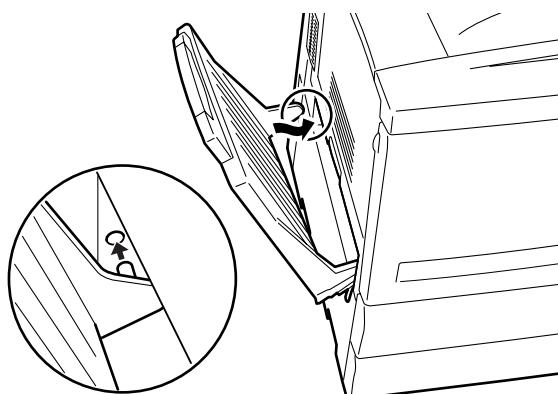
▶ お願い

サイドトレイの突起部は、破損しやすいので取り扱いに注意してください。



1 サイドトレイの右側をはめ込む

サイドトレイを立てるよう持ち、トレイ右側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込みます。このとき、金属部分がプリンタの中に入らず、トレイの下側に出るようにしてください。

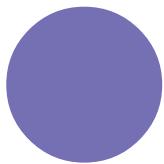


2 サイドトレイの左側をはめ込む

サイドトレイの左側の突起部をプリンタの穴にはめ込みます。

第4章

外部との接続



この章では、パソコン、および電源との接続の
しかたについて説明します。

電源コードの接続	44
パソコンとの接続	46

電源コードの接続

以下の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100Vです。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧とプリンタの定格電圧が一致するか、確認してください。



感 電 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチを「**」側にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。**

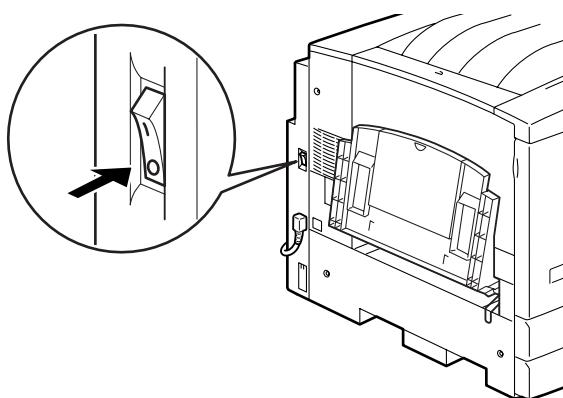
火 災 電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。

感 電 危険ですので次の箇所には絶対に接続しないでください。

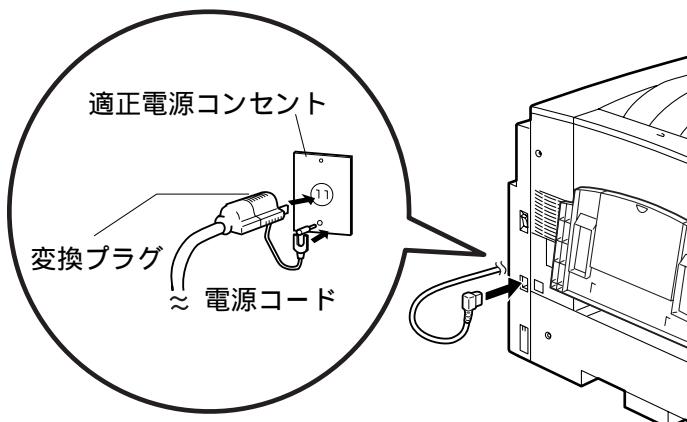
- ・ガス管（火災や爆発の危険があります）
- ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れの場合があり危険です）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目をはたしません）

感 電 プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

電源コードが傷つき、感電、火災、故障の原因となります。



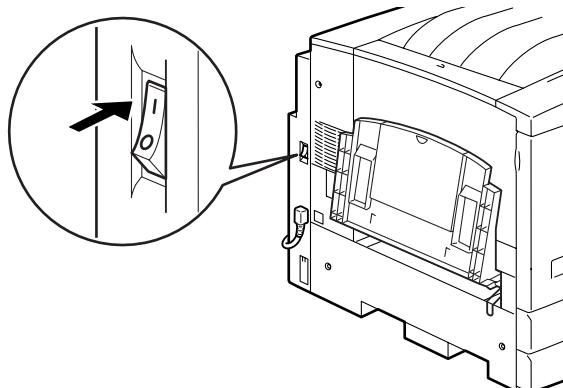
1 電源の切断を確認する
電源スイッチが「」側に倒れている状態です。



2 電源コードを接続する
電源コードをプリンタ左側面にあるコネクタに差し込みます。コードの反対側を交流100Vのコンセントに差し込みます。

▶お願い

本プリンタには平行3ピンの電源コードが添付されています。できるだけ3ピンのコンセントをご使用ください。もし、3ピンの電源コンセントがない場合には、添付の変換プラグを使って図に示すように電源コードとアース線を接続してください。



3 電源を入れる
電源スイッチを「|」側に倒します。

パソコンとの接続

本プリンタはセントロニクス準拠のパラレルインターフェースを標準装備しています。パラレルインターフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

プリンタケーブルについては、次の制約があります。

- ・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
- ・ケーブルの長さは、1.5メートル以下のものをお使いください。

⚠ 警告

感 電 プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

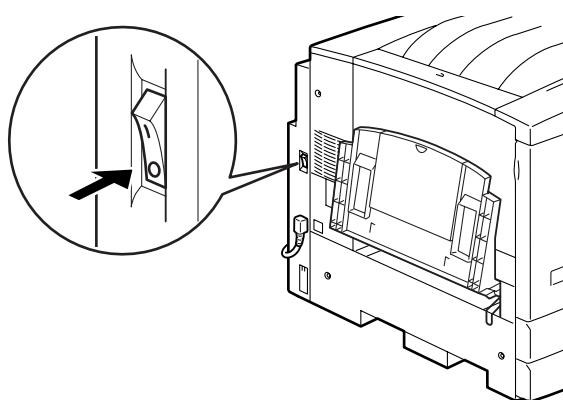
⚠ 注意

故 障 ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

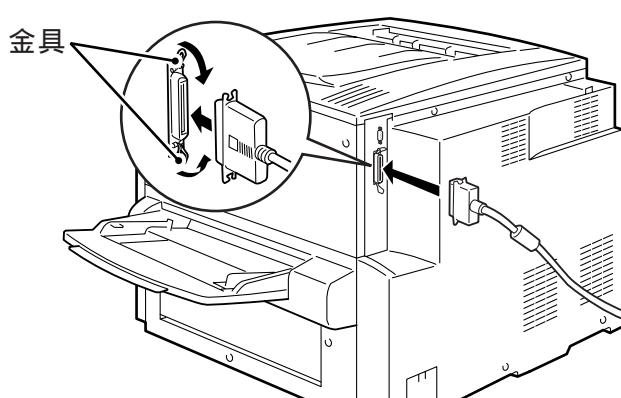
▶ お願い

本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください（「プリンタケーブルについて」9ページ参照）

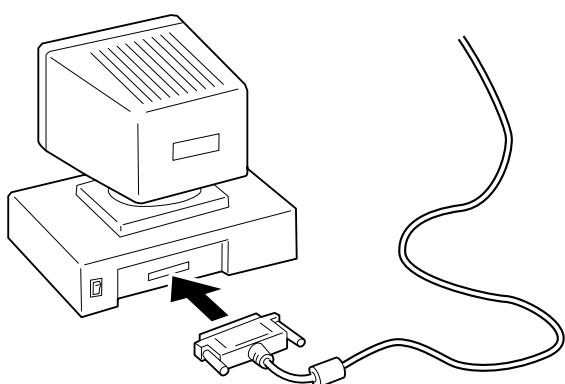
プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



1 プリンタの電源が切れていることを確認する
電源スイッチが「」側に倒れている状態です。

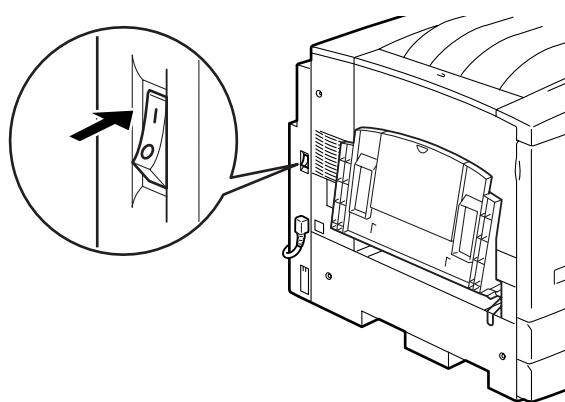


2 パソコンの電源が切れていることを確認する
3 プリンタ本体背面のパラレルインタフェースコネクタに、プリンタケーブルを接続する。
差し込んだあと、両端を金具で固定する



4 パソコンのパラレルインタフェースコネクタに、プリンタケーブルを接続する。
差し込んだあと、両端のネジを締めて固定する
パソコンの機種によって、パラレルインタフェースコネクタの場所が異なります。

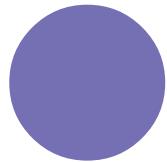
5 パソコンの電源を入れる



6 プリンタの電源を入れる 電源スイッチを「|」側に倒します。

第5章

プリンタドライバの インストールと設定



この章では、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0 および Windows 2000 が動作するパソコンに、プリンタドライバをインストールする方法と、設定方法について説明します。

インストールの前に	50	Windows Me の場合	120
Windows 95 の場合	51	Plug & Play でのインストール	120
Plug & Play でのインストール	51	通常のインストール	123
通常のインストール	56	新しいドライバに置き換えるとき	127
新しいドライバに置き換えるとき	60	プリンタドライバの設定	128
プリンタドライバの設定	61	設定画面の表示	128
設定画面の表示	68	設定項目の詳細	129
設定項目の詳細	69	アプリケーションソフトから印刷するときの設定	130
アプリケーションソフトから印刷するときの設定	104		
Windows 98 の場合	108		
Plug & Play でのインストール	108	Windows NT4.0 の場合	131
通常のインストール	112	インストール	131
新しいドライバに置き換えるとき	116	新しいドライバに置き換えるとき	135
プリンタドライバの設定	117	プリンタドライバの設定	135
設定画面の表示	117		
設定項目の詳細	118	Windows 2000 の場合	144
アプリケーションソフトから印刷するときの設定	119	Plug & Play でのインストール	144
		通常のインストール	147
		新しいドライバに置き換えるとき	152
		プリンタドライバの設定	153

インストールの前に

本プリンタをお使いになるには、プリンタドライバをパソコンに組み込む必要があります。プリンタドライバはパソコンの印刷データや指示をプリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。ご使用のOSによって、インストール方法および印刷設定方法が異なりますので、該当ページをお読みください。

- Windows 95 51 ページ
- Windows 98 108 ページ
- Windows Me 120 ページ
- Windows NT 4.0 131 ページ
- Windows 2000 144 ページ

ガイド

文中において、〔 〕で囲んだ表記はメニュー やボタン、ダイアログボックス名を示し、_____で囲んだ表記はダイアログボックス上に表示される文字を示します。

また、メニューなどの後ろに()で囲まれている文字は、アクセスキーを示します。

Windows 95 の場合

ここでは、Windows 95 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

▼ Plug & Play でのインストール

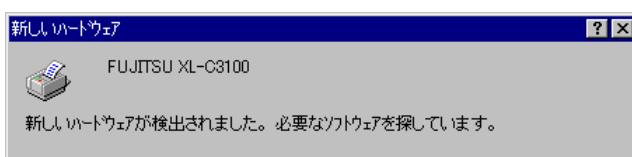
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme95.txt」をお読みください。



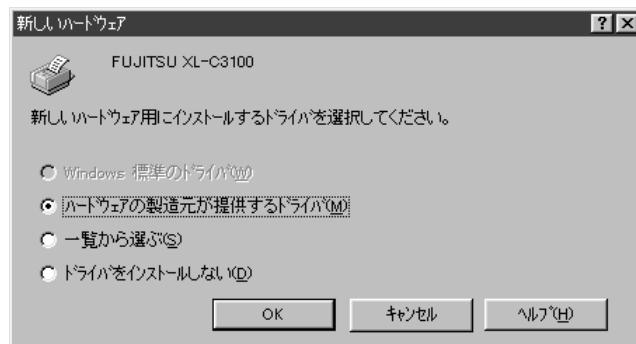
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95 を起動する

パソコン起動時に FUJITSU XL-C3100 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

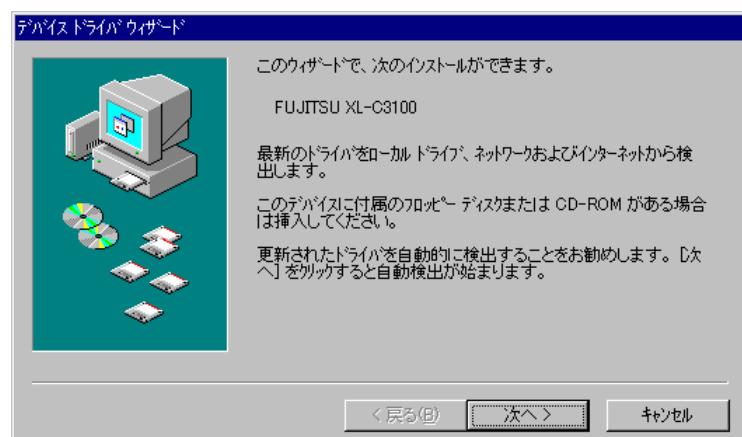


Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

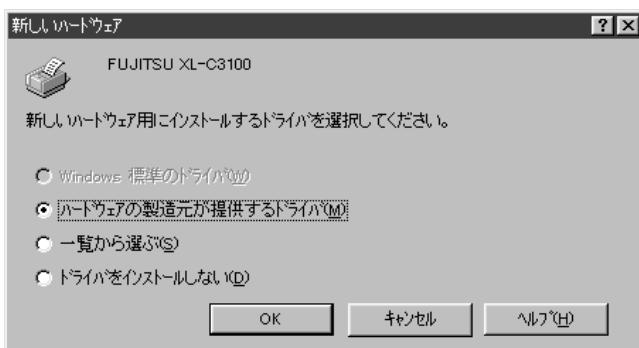
次の画面が表示されている場合は 2 に進みます。



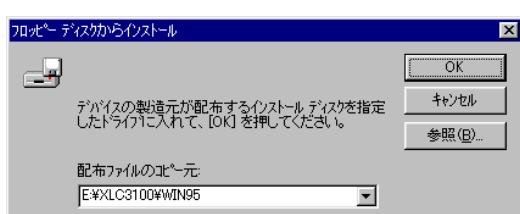
次の画面が表示されている場合は 5 に進みます。



一度インストールしたドライバを削除した後で再インストールしたときは、この画面は表示されません。



2 [ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選択して[OK]ボタンをクリックする



3 添付のプリンタドライバ用 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

4 配布ファイルのコピー元に CD-ROM ドライブ名と Windows 95 用ドライバのフォルダ名を入力する(CD-ROM ドライブが E : の場合、「E :\XLC3100\Win95」と入力してください。)
入力が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

8へ進んでください。

5 添付のプリンタドライバ用 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする



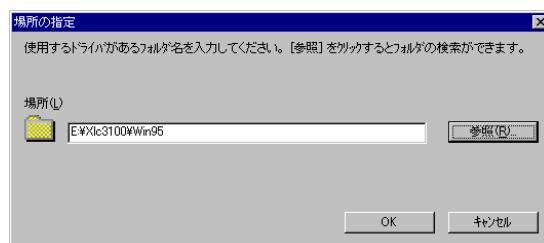
6 [次へ] ボタンをクリックする



ドライバが見つからなかったと表示される場合は、[場所の指定]をクリックします。



[場所の指定]が表示されたら、場所にCD-ROMドライブとWindows 95用ドライバのフォルダ名を入力して[OK]をクリックします。



7 [完了] ボタンをクリックする

左のようなダイアログボックスが表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。





8 本プリンタを通常のプリンタに設定する場合は、[はい]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



9 ファイルのコピー元に CD-ROM ドライブ名と Windows 95 用ドライバのフォルダ名を入力する (CD-ROM ドライブが E: の場合、「E:\XLC3100\Win95」と入力してください。)

入力が終わったら [OK] ボタンをクリックします。
この画面は表示されない場合があります。



ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了するとインストールが終了します。

▼ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme95.txt」をお読みください。

1 Windows 95 を起動する



2 [マイコンピュータ] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする

3 [次へ] ボタンをクリックする





4 [ローカルプリンタ]を選択して[次へ]ボタンをクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、[ネットワークプリンタ]を選択します。(以降の操作が簡単になります。)

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。



スタンドアロン(パソコンとプリンタを1対1で接続)のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

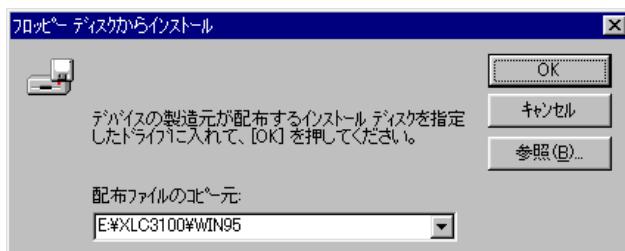


[ネットワークプリンタ]を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。



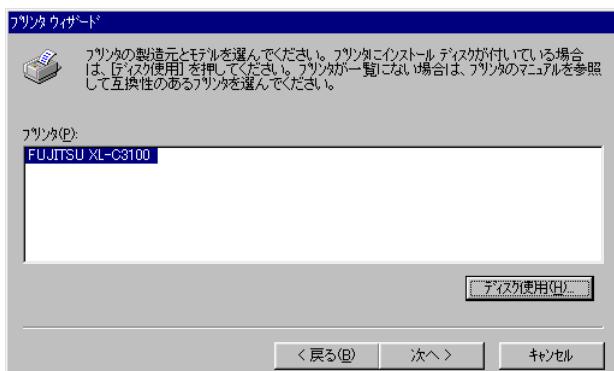
5 [ディスク使用]ボタンをクリックする

6 添付のプリンタドライバ用CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする



7 配布ファイルのコピー元にCD-ROMドライブ名とWindows 95用ドライバのフォルダ名を入力する(CD-ROMドライブがE:の場合、「E:\XLC3100\WIN95」と入力してください。)

入力が終わったら[OK]ボタンをクリックします。



8 FUJITSU XL-C3100を確認して、[次へ]ボタンをクリックする



9 使用するポートを選択して[次へ]ボタンをクリックする

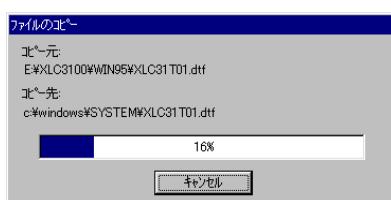


10 本プリンタを通常のプリンタに設定する場合は、[はい]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



11 テストページ印刷の設定を行い、[完了]ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、[プリンタ] フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



テストページ印刷を設定した場合は、テストページが印刷され、その確認のダイアログボックスが表示されます。

▼ 新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。



プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックし、[プリンタ] フォルダを開く
- 2 該当するプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [削除] をクリックする



- 3 [はい] ボタンをクリックする

- 4 Windows 95 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 95 を再起動します。

- 5 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(56 ページ) の手順でインストールする



インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 95 を再起動する

▼ プリンタドライバの設定

本プリンタドライバは、以下の設定項目を用意しています。

設定項目	設定内容	説明
情報(*1)	コメント	プリンタに関するコメントを入力する
	区切りページ	なし 印刷する文書を区切るページを挿入しない
		簡易ページ 文字だけの区切りページを挿入する
		標準ページ グラフィックスの入っている区切りページを挿入する
	印字テスト	テストページを印刷する
詳細	印刷先のポート	プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスを表示する
	ポートの追加	ポートを追加する
	ポートの削除	ポートを削除する
	印刷に使用するドライバ	プリンタの種類を表示する
	ドライバの追加	プリンタドライバを更新または変更する
	プリンタポートの割り当て	ネットワークドライブにポートを割り当てる
	プリンタポートの解除	ネットワークドライブに割り当てられているポートを解除する
	タイムアウト設定	プリンタがオンラインになるまで待つ時間を秒単位で指定する
	未選択時	
	送信の再試行時	プリンタで印刷の準備ができるまで待つ時間を秒単位で指定する
	スプールの設定	アプリケーションからプリンタに印刷データを送る方法を指定する
	ポートの設定	プリンタポートの設定を変更する
共有(*2)	共有しない	プリンタを共有しない
	共有する	プリンタを共有するときに名称を指定する
	共有名	
	コメント	プリンタに関するコメントを入力する
	パスワード	プリンタを共有するときのパスワードを指定する

* 1 Windows 98/Me の場合は、[全般] と表示されます。

* 2 ネットワークの設定でプリンタを共有にしたときにのみ設定できます。

設定項目	設定内容	説明
用紙 / 出力	部数 ソートする [1部ごと]	印刷部数を指定する 複数部数を 1 部ごと (1,2,3...1,2,3...) にソートして印刷する
原稿サイズ	A4 (210 × 297mm) A3 (297 × 420mm) A5 (149 × 210mm) B5 (182 × 257mm) B4 (257 × 364mm) はがき (100 × 148mm) 8.5 × 11" (レター) 8.5 × 14" (リーガル) 11 × 17" (レジャーペーパー) 328 × 453mm カスタム 1 ~ カスタム 5	A4 サイズの原稿を印刷する A3 サイズの原稿を印刷する A5 サイズの原稿を印刷する B5 サイズの原稿を印刷する B4 サイズの原稿を印刷する はがきサイズの原稿を印刷する レターサイズの原稿を印刷する リーガルサイズの原稿を印刷する レジャーサイズの原稿を印刷する 328 × 453mm サイズの原稿を印刷する 不定形の原稿を印刷する (*1) 短辺 : 90.0 ~ 330.2mm 長辺 : 144.8 ~ 457.2mm
出力用紙サイズ	原稿サイズと同じ A4 (210 × 297mm) A3 (297 × 420mm) A5 (149 × 210mm) B5 (182 × 257mm) B4 (257 × 364mm) はがき (100 × 148mm) 8.5 × 11" (レター) 8.5 × 14" (リーガル) 11 × 17" (レジャーペーパー) 328 × 453mm カスタム 1 ~ カスタム 5	原稿サイズで設定した用紙に印刷する A4 サイズの用紙に印刷する A3 サイズの用紙に印刷する A5 サイズの用紙に印刷する B5 サイズの用紙に印刷する B4 サイズの用紙に印刷する はがきに印刷する レターサイズの原稿を印刷する リーガルサイズの原稿を印刷する レジャーサイズの原稿を印刷する 328 × 453mm サイズの原稿を印刷する 不定形の用原稿印刷する (*1) 短辺 : 90.0 ~ 330.2mm 長辺 : 144.8 ~ 457.2mm
ズーム	オフ オン	原稿サイズ、出力用紙サイズで設定した値から自動計算された拡大縮小率で印刷する 拡大・縮小率を 25 ~ 400% の範囲で任意に設定する 原稿サイズと出力用紙サイズの組み合わせにかかわらず、指定した値で拡大縮小し印刷する

* 1 用紙サイズは0.1mm単位に指定できますが、サイズ選択時は1mm単位で表示されます。

設定項目	設定内容	説明
用紙/出力 まとめて1枚	Nアップしない (デフォルト)	通常の印刷行う
	2アップ(順方向)	1枚の用紙に2ページ分のデータを用紙の左、右の順に配置して印刷する
	2アップ(逆方向)	1枚の用紙に2ページ分のデータを用紙の右、左の順に配置して印刷する
	4アップ(順横方向)	1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の左上、右上、左下、右下の順に配置して印刷する
	4アップ(順縦方向)	1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の左上、左下、右上、右下の順に配置して印刷する
	4アップ(逆横方向)	1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の右上、左上、右下、左下の順に配置して印刷する
	4アップ(逆縦方向)	1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の右上、右下、左上、左下の順に配置して印刷する
	8アップ(順横方向)	1枚の用紙に8ページ分のデータを用紙の左上、右上、左下、右下の順に配置して印刷する
	8アップ(順縦方向)	1枚の用紙に8ページ分のデータを用紙の左上、左下、右上、右下の順に配置して印刷する
	8アップ(逆横方向)	1枚の用紙に8ページ分のデータを用紙の右上、左上、右下、左下の順に配置して印刷する
	8アップ(逆縦方向)	1枚の用紙に8ページ分のデータを用紙の右上、右下、左上、左下の順に配置して印刷する
	16アップ(順横方向)	1枚の用紙に16ページ分のデータを用紙の左上、右上、左下、右下の順に配置して印刷する
	16アップ(順縦方向)	1枚の用紙に16ページ分のデータを用紙の左上、左下、右上、右下の順に配置して印刷する
	16アップ(逆横方向)	1枚の用紙に16ページ分のデータを用紙の右上、左上、右下、左下の順に配置して印刷する
	16アップ(逆縦方向)	1枚の用紙に16ページ分のデータを用紙の右上、右下、左上、左下の順に配置して印刷する

設定項目	設定内容	説明
用紙 / 出力	詳細レイアウト	〔まとめて1枚の任意設定〕、〔画像繰り返し〕、〔よこ原稿180°回転〕などのレイアウト印刷機能を指定する。
原稿の向き	たて	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する
	よこ	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する
180° 画像回転		出力イメージを180度回転して印刷する
両面	しない	両面印刷を行わない
	長辺とじ	用紙の長辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷する
	短辺とじ	用紙の短辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷する
排出先	センタートレイ	センタートレイに排出する
	(うら面)	
	サイドトレイ	サイドトレイに排出する
	(おもて面 / 正順)	排出された用紙はページ順どおりに並ぶ
	サイドトレイ	サイドトレイに排出する
用紙トレイ選択	(おもて面 / 逆順)	排出された用紙はページ順と逆に並ぶ
	自動	トレイ1～3から自動的に給紙するトレイを選択する
	手差し	手差しトレイから給紙する
	トレイ1	用紙トレイ1から給紙する
	トレイ2	用紙トレイ2から給紙する
用紙トレイ選択	トレイ3	用紙トレイ3から給紙する
	アプリの設定に従う	アプリケーション側で設定した用紙トレイを選択する
用紙種類	普通紙	普通紙に印刷する
OHP フィルム		OHP フィルムに印刷する
厚紙 (106～220g/m ²)	厚紙 (106～220g/m ²)	厚紙に印刷する
	厚紙 (106～220g/m ²)	厚紙のうら面に印刷する
(うら面)		
ラベル紙		ラベル紙に印刷する
はがき		はがきに印刷する
はがき (うら面)		はがきのうら面に印刷する
OHP 合紙		OHP フィルムを1枚印刷するごとに自動的に用紙を挿入する
とじしろ		とじしろの位置と幅を指定する
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する
標準に戻す		設定内容を初期値に戻す

設定項目	設定内容	説明
グラフィックス カラーモード	自動	原稿をページごとに自動的に判断し、白黒以外の色が使われている場合はカラーで、白黒だけ使われている場合は白黒で印刷する
	カラー	カラーで印刷する
	白黒	白黒で印刷する
おすすめ画質タイプ	一般文書(標準)	一般文書を標準品質で印刷する
	一般文書(高画質)	一般文書をよりきれいに印刷する
	一般文書 (速度優先)	一般文書を高速に印刷する
	写真(標準)	写真を中心とした文書を標準品質で印刷する
	写真(高画質)	写真を中心とした文書をよりきれいに印刷する
	写真 (高画質・自動補正)	写真を中心とした文書を自動色調整機能を使用してよりきれいに印刷する
	写真 (高画質・明るめ)	写真を中心とした文書を明るさを強調して印刷する
	写真(速度優先)	写真を高速に印刷する
* ICM調整済み		WindowsのICM機能を利用して印刷する
OHP向き		OHPに適した品質で印刷する
製図/小さい文字		細線をくっきりときれいに印刷する
トナーセーブ		トナーの消費量をセーブして印刷する
すべてを表示する	オフ	[おすすめ画質タイプ]で[一般文書(標準)][一般文書(高画質)][写真(標準)][写真(高画質)][写真(高画質・自動補正)]のみ表示する
	オン	[おすすめ画質タイプ]のすべての項目を表示する
特定のグラフィックスを忠実に再現	自動	グラフィックスの色の重ね合わせ部分で色を忠実に再現するための調整を自動で行う
	する	グラフィックスの色の重ね合わせ部分で色を忠実に再現する
	しない	グラフィックスの色の重ね合わせ部分で色を忠実に再現するための調整を行わない
画質調整		[明度][彩度][コントラスト][カラーバランス]の調整を行う
プロファイル指定		入出力機器(ディスプレイやスキャナー等)の色再現性に合わせて印刷色の調整を行う
標準に戻す		設定内容を初期値に戻す

* Windows 98/Me 環境で設定できます。(Windows 95 環境では表示されません。)

設定項目	設定内容	説明	
フォント	常に TrueType フォントを使う	文書内のすべての TrueType フォントを、パソコン側でビットマップとして変換したのち、プリンタへ転送し描画する	
	TrueType フォントをプリンタ フォントで置き換える	TrueType フォントを含む文書を印刷する場合に、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷する	
	TrueType をビットマップにし て印刷	印刷できない文字があった場合に、チェックボックスをオンにする	
	標準に戻す	設定内容を初期値に戻す	
スタンプ	スタンプ文字列	スタンプ文字列を入力する	
	スタンプ文字列一覧	登録済みのスタンプ文字列を選択する	
	標準	標準で回覧 / 外秘 / 禁複写 / 参考 / 至急 / 取扱注意が登録済みである	
	登録	任意の文字列を、スタンプ文字列として登録する	
	削除	登録済みのスタンプ文字列を一覧から削除する	
	最初のページのみ	最初のページのみスタンプ文字列を印刷するかどうかを選択する	
	透過する	スタンプ文字列を透かして印刷するかどうかを選択する	
	囲み	スタンプ文字列に、囲みをつけない	
	丸	スタンプ文字列に、丸い囲みをつける	
	四角	スタンプ文字列に、四角い囲みをつける	
文字		スタンプ文字列に使用する文字のフォン	
		ト名 / サイズ / スタイル / 色を選択する	
	位置	スタンプ文字列の中央からの移動位置を指定する	
角度		スタンプ文字列の角度を指定する	
	標準に戻す	設定内容を初期値に戻す	
初期設定	バナーシート	なし 文書の前 文書の後	バナーシートを印刷しない バナーシートを文書の前に印刷する バナーシートを文書の後に印刷する
	スムージング	しない する	文字や図形の輪郭部が滑らかになるよう に画像処理を行わない 文字や図形の輪郭部が滑らかになるよう に画像処理を行う
	タイムアウト	しない / 15 秒 / 30 秒 / ... 300 秒	プリンタが印刷データの受信を開始後、 設定時間内にデータ受信が行われなかっ た場合に、印刷を強制的に終了します。

設定項目	設定内容	説明	
初期設定	画像を圧縮して転送	しない 高品質 高圧縮	圧縮しないで印刷する 画質が落ちない程度に圧縮して印刷する 印刷速度を優先し、圧縮率を上げて印刷する（画質が劣化する場合もある）
	白紙節約	しない する	白紙のページも印刷する 白紙のページを印刷しない
	フォント置き換え		TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える場合の設定を行う
	テーブルの編集		
	ユーザー定義用紙		不定形サイズの用紙設定を行う
	標準に戻す		設定内容を初期値に戻す
プリンタ構成	両面ユニット		オプション品の両面ユニットを取り付けた場合にチェックボックスをオンにする
	メモリ増設		オプション品の増設メモリを取り付けた場合にチェックボックスをオンにする
	拡張給紙ユニット（2段）		オプション品の拡張給紙ユニット（2段）を取り付けた場合にチェックボックスをオンにする
	標準に戻す		設定内容を初期値に戻す
ユーザー設定	プリント目的		[ジョブの登録]で登録した印刷設定の名前を一覧表示する
	コメント		[プリント目的]で選択した印刷設定についてのコメントを表示する
	機能設定一覧		[プリント目的]で選択した印刷設定の内容をツリー形式で表示する
	ジョブの登録		プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録する
	登録名変更		登録されているジョブの登録名とコメントを変更する
	ジョブの削除		[プリント目的]で選択しているジョブを削除する
	ジョブの読み出し		[プリント目的]で選択したジョブの設定内容をプリンタドライバに反映する

▼ 設定画面の表示

プリンタドライバの設定画面は、次の手順で表示します。

1 [スタート]ボタンから、[設定]([プリンタ])の順に選択する

2 プリンタのプロパティを表示する

プロパティを表示する方法は、以下の3つがあります。

- (1) 該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。
- (2) 該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。
- (3) 該当するプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタスプーラを開き、[プリンタ]メニューから[プロパティ]を選択します。

3 設定を行う項目を含むタブをクリックする

▼ 設定項目の詳細

プリンタドライバで設定できる各項目の内容について説明します。

〔情報〕タブ(Windows 95 の場合)

〔全般〕タブ(Windows 98/Me の場合)



▷ コメント

プリンタに関するコメントを入力します。たとえば、プリンタを使用する時間帯や、プリンタの用途などを入力します。

プリンタを共有する場合、他のユーザーが自分のパソコンにこのプリンタをセットアップすると、ここに入力したコメントが表示されます。ただし、後でコメントを変えても、セットアップ済みのユーザーに表示されるコメントは更新されません。

▶ 区切りページ

印刷する文書を区切るページを挿入します。この機能は同じプリンタを複数のユーザーで使う場合や、一度に複数の文書を印刷する場合に便利です。

グラフィックスが入っている〔標準ページ〕と、文字だけの〔簡易ページ〕のいずれかを選択できます。

独自の区切りページを使うには、〔参照〕をクリックし、区切りページとして使うファイルを指定します。使用できるファイルは、Windows メタファイル (WMF) だけです。

区切りページを使用できるのは、自分のパソコンに直接プリンタが接続されている場合だけです。



ガイド

区切りページは、B5よりも小さい用紙を使用すると周囲の一部が欠けて印刷されます。

▶ 印字テスト

テストページを印刷します。プリンタが正しくセットアップできたかどうかを確認するために使います。

〔詳細〕タブ



▷ 印刷先のポート

プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスが表示されます。

印刷先を変えるときには、▼をクリックして一覧を表示し、使用するポートを選択します。

▷ ポートの追加

ポートを追加します。

このボタンをクリックすると、〔ポートの追加〕ダイアログボックスが表示されます。〔ポートの追加〕ダイアログボックスで、追加するポートの種類、またはネットワークプリンタのパスを指定します。

▷ ポートの削除

ポートを削除します。

このボタンをクリックすると、〔ポートの削除〕ダイアログボックスが表示されます。〔ポートの削除〕ダイアログボックスで、削除するポートを指定します。

▶ **印刷に使用的するドライバ**

プリンタの種類が表示されます。使用中のプリンタの実際の種類、または使用中のプリンタでエミュレートできるプリンタの種類を指定する必要があります。

▶ **ドライバの追加**

プリンタドライバを更新または変更するときにクリックします。

▶ **プリンタポートの割り当て**

ネットワークドライブにポートを割り当てるときにクリックします。

▶ **プリンタポートの解除**

ネットワークドライブに割り当てられているポートを解除するときにクリックします。

▶ **タイムアウト設定**

未選択時 プリンタがオンラインになるまで待つ時間（秒単位）を指定します。この時間が経過しても、プリンタがオンラインにならない場合は、エラーメッセージが表示されます。

送信の再試行時 プリンタで印刷の準備ができるまで待つ時間（秒単位）を指定します。この時間が経過しても、印刷の準備ができない場合は、エラーメッセージが表示されます。大きいサイズのドキュメントを印刷するときに問題が起きる場合は、この値を大きくします。

▷ スプールの設定

アプリケーションからプリンタに印刷データを送る方法を指定します。このボタンをクリックすると、〔プリンタスプールの設定〕ダイアログボックスが表示されます。プリンタを使用する環境に合わせて、必要な項目をオンにします。

印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う

.... 印刷データをいったんハードディスクにスプールしてからプリンタに送ります。この項目をオンにしたときは、スプールする印刷データの量を、1ページにするか、全ページにするか指定します。

この項目をオンにしたときは、〔スプールデータ形式〕から、印刷データをスプールしたときの形式を選択します。

プリンタに直接印刷データを送る

.... 印刷データをスプールせずに直接プリンタに送ります。パソコン側の作業は、印刷が終わるまで待つことになります。

▷ ポートの設定

プリンタポートの設定を変更します。

このボタンをクリックすると、〔ポートの設定〕ダイアログボックスが表示されます。プリンタを使用する環境に合わせて、必要な項目をチェックします。

MS-DOS の印刷ジョブをスプール

.... MS-DOS からの印刷データをスプールするときは、オンにします。なお、本プリンタは MS-DOS からの印刷をサポートしていません。

印刷前にポートの状態をチェック

.... 印刷データをプリンタに送る前に、プリンタが使用できる状態かどうかをチェックします。プリンタが使用できないときは、エラーメッセージを返します。

〔共有〕タブ



▶ 共有しない

ほかのユーザが自分のパソコンからこのパソコンを見たり使ったりできないように指定します。

▶ 共有する

このプリンタをほかのユーザと共有するには、〔共有する〕をクリックします。

▶ 共有名

共有プリンタの名前を指定します。

▶ コメント

共有プリンタに関するコメント(プリンタの種類や設置場所)を入力します。

▶ パスワード

ほかのユーザがこのプリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。

〔用紙/出力〕タブ



用紙サイズや出力方法に関する項目を設定することができます。

▶ 部数

印刷する部数を、1～999部の範囲で指定します。

▶ ソートする〔1部ごと〕

複数部数を1部ごとにソートして印刷するかどうかの設定をします。

- ・チェックボックスが〔オン〕の場合
複数部数を1部ごと(1,2,3...1,2,3...)にソートして印刷します。
- ・チェックボックスが〔オフ〕の場合
1部ごとにソートを行いません。複数部数印刷した場合は、ページごと(1,1,1...2,2,2...)にプリントされます。

▶ 原稿サイズ

印刷する原稿サイズを指定します。



- ・「出力用紙サイズ」と異なるサイズを設定した場合には、自動的に拡大縮小された適切な倍率が設定されます。
- ・「カスタム1～5」を選択すると、任意サイズの用紙が指定できます。任意サイズの用紙は、あらかじめ〔初期設定〕タブの「ユーザー定義用紙」で設定しておいてください。(短辺: 90.0～330.2mm、長辺: 144.8～457.2mmの範囲で大きさを設定できます。)

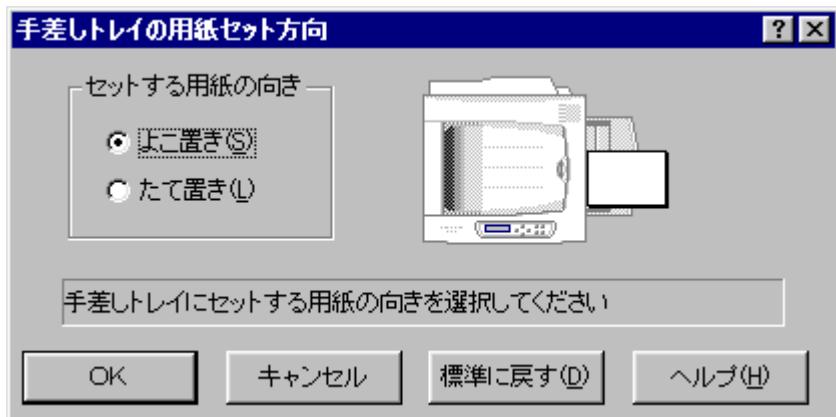
▷ 出力用紙サイズ

印刷する用紙サイズを指定します。



- ・「原稿サイズ」と異なるサイズを指定した場合には、自動的に拡大縮小された適切な倍率が設定されます。
- ・「原稿サイズと同じ」を選択した場合は、「原稿サイズ」で設定したサイズの用紙で印刷されます。
- ・「カスタム1～5」を選択すると、任意サイズの用紙が指定できます。任意サイズの用紙は、あらかじめ〔初期設定〕タブの「ユーザー定義用紙」で設定しておいてください。（短辺：90.0～330.2mm、長辺：144.8～457.2mmの範囲で大きさを設定できます。）

〔手差しトレイの用紙セット方向〕ダイアログボックス



- ・手差しトレイにセットする用紙の向きを指定します。
よこ置き：設定した用紙をよこ向き（プリンタ正面から見たときに用紙がよこ長）に置きます。
たて置き：設定した用紙をたて向き（プリンタ正面から見たときに用紙がたて長）に置きます。



- ・手差しトレイに、たて、よこのどちらの向きにもセットできる用紙のサイズは、次のとおりです。
A4、A5、B5、8.5 × 11"（レター）カスタム（短辺・長辺のサイズがともに 144.8 ~ 330.2mm 以内のもの）
- ・よこ置きでしかセットできない用紙のサイズは、次のとおりです。
A3、B4、はがき、8.5 × 14"（リーガル）11 × 17"（レジャー）328 × 453mm、カスタム（短辺：90 ~ 144.7mm、長辺：330.3 ~ 457.2mm で指定したもの）

▷ ズーム

拡大縮小率を設定します。チェックボックスを〔オン〕に指定した場合のみ、拡大縮小率の値を入力することができます。

- ・チェックボックスが〔オフ〕の場合
〔原稿サイズ〕、〔出力用紙サイズ〕で設定した値から自動計算された拡大縮小率がグレイアウト表示されます。
- ・チェックボックスが〔オン〕の場合
拡大縮小率の値を入力することができるようになり、25 ~ 400%までの範囲で任意に設定できます。イメージは、原稿サイズと出力用紙サイズの組み合わせにかかわらず、指定した値で拡大縮小されます。また、拡大縮小する際の基点はイメージの左上隅になります。
- ・〔ズーム〕機能は、〔まとめて1枚〕、〔まとめて1枚の任意設定〕、〔画像繰り返し〕のどの機能とも、同時に使用できません。

▷ 原稿の向き

原稿の長い方の辺に対して、印刷する向きを指定します。設定した原稿の向きは、「仕上がりイメージ」ビットマップで見ることができます。

▷ まとめて1枚

1枚の用紙に、複数のページを割り付けてレイアウトして印刷します。Nアップの種類は一覧から選択します。設定したレイアウトは、「仕上がりイメージ」ビットマップで見ることができます。

 2アップ以上の設定は〔ズーム〕、〔まとめて1枚の任意設定〕、〔画像繰り返し〕機能と併用することはできません。

〔詳細レイアウト〕ダイアログボックス



〔まとめて1枚の任意設定〕、〔画像繰り返し〕、〔よこ原稿180°回転〕、〔たてよこ混在原稿時の割り付け方法〕などの項目を設定します。

・ 詳細レイアウト

しない(初期値)

まとめて1枚の任意設定

1ページの用紙に、たて、よこ、それぞれに任意の枚数の原稿を割り付けて印刷します。〔まとめて1枚の任意設定〕で、割り付けるレイアウトなどの詳細を設定します。

画像繰り返し

1ページ分の原稿を、1枚の用紙に繰り返し印刷します。1枚の用紙には、1ページ分の原稿を36枚まで印刷できます。〔画像繰り返し〕で、分割数を選択します。

・ まとめて1枚の任意設定

〔詳細レイアウト〕で〔まとめて1枚の任意設定〕を選択すると、以下の項目が設定できます。

よこ方向の割り付け数

用紙のよこ辺に割り付ける、原稿の枚数を設定します。

たて方向の割り付け数

用紙のたて辺に割り付ける、原稿の枚数を設定します。

出力用紙の向き

出力用紙の向きを選択します。

割り付け方向

原稿を割り付ける順序を選択します。

・ 画像繰り返し

〔詳細レイアウト〕で〔画像繰り返し〕を選択すると、以下の項目が設定できます。用紙は、次のように分割されます。

[繰り返す数]	用紙が分割される数	印刷する原稿の枚数
---------	-----------	-----------

2×2枚/ページ	2×2	4
3×3枚/ページ	3×3	9
4×4枚/ページ	4×4	16
5×5枚/ページ	5×5	25
6×6枚/ページ	6×6	36

- ・たてよこ混在原稿時の割り付け方法

たて原稿とよこ原稿が混在している文書を、〔まとめて1枚〕で2アップ以上を選択、または〔まとめて1枚の任意設定〕を選択した場合に、たて原稿とよこ原稿のどちらを優先して割り付けるかを選択します。

自動 印刷データの、最初のページの原稿が見やすいレイアウトで割り付けます。

たて原稿優先 たて原稿が見やすいレイアウトで割り付けます。

よこ原稿優先 よこ原稿が見やすいレイアウトで割り付けます。

- ・よこ原稿 180°回転

チェックボックスをオンにすると、よこ原稿を 180° 回転して印刷します。

初期値は、オフです。

▶ 180° 画像回転

チェックボックスを「オン」に指定すると、出力イメージが 180° 回転して印刷されます。

▶ 両面

片面に印刷するか、両面に印刷するかを指定します。

〔プリンタ構成〕タブで「両面ユニット」のチェックボックスが「オフ」の場合は指定できません。

両面印刷時は、「長辺とじ」または「短辺とじ」を選択してください。設定したとじ方向は、「仕上がりイメージ」ビットマップで見ることができます。

ガイド

- ・幅：182 ~ 304.8mm、長さ：210 ~ 457.2mm 以外のサイズの用紙は、両面印刷できません。
- ・厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、はがきは両面印刷を指定できません。

▷ 排出先

印刷した用紙をどのトレイへ排出するかを設定します。

- ・センタートレイ（うら面）
センタートレイに出力されます。排出された用紙はページ順どおりに並びます。
- ・サイドトレイ（おもて面 / 正順）
サイドトレイに出力されます。排出された用紙はページ順どおりに並びます。
- ・サイドトレイ（おもて面 / 逆順）
サイドトレイに出力されます。排出された用紙はページと逆順に並びます。



「出力用紙サイズ」でA5、はがき、カスタム（短辺のサイズが181.9mm以下のもの）を指定した場合は「センタートレイ」は選択できません。また、「用紙種類」でOHPフィルム、厚紙を指定した場合も「センタートレイ」は選択できません。

▷ 用紙トレイ選択

印刷する用紙をどのトレイから給紙するかを選択します。



- ・「自動」を選択すると、「用紙種類」が「普通紙」の場合には、トレイ1、トレイ2、トレイ3から自動的に給紙されるトレイが選択されます。
- ・トレイ2、トレイ3はオプション品の拡張給紙ユニット（2段）を取り付け、〔プリンタ構成〕タブで「拡張給紙ユニット（2段）」を有効にした場合に選択できます。
- ・「手差し」を選択し、たて、よこのどちらの向きにでも用紙をセットできる場合には、〔手差しトレイの用紙セット方向〕ダイアログボックスが表示されます。たて、よこのどちらの向きにでも用紙をセットできる用紙の種類は、以下のとおりです。

A4、A5、B5

8.5 × 11"（レター）

カスタム（短辺・長辺のサイズがともに144.8～330.2mm以内で指定したもの）

- ・上記以外のA3、B4、はがき、8.5 × 14"（リーガル）、11 × 17"（レジャー）、328～453mm、カスタム（短辺：90～144.7mm、長辺：330.3～457.2mmで指定したもの）は、よこ向きでしか用紙をセットできません。

▶ 用紙種類

印刷する用紙の種類を設定します。

「厚紙」を選択した場合の印刷速度は、「普通紙」を選択した場合より低下します。

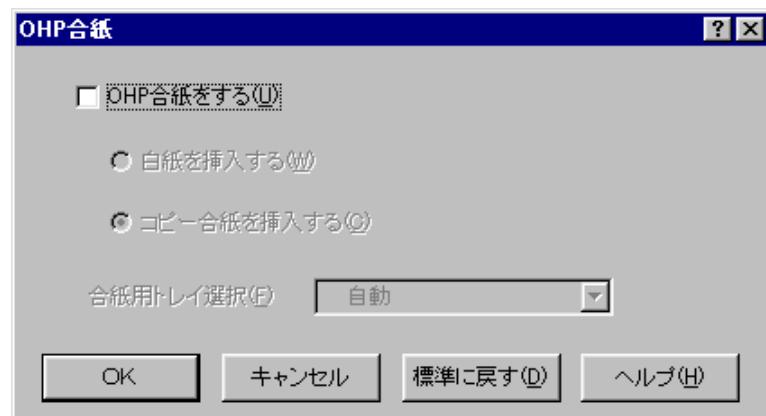
厚紙、はがきは本機でおもて面を印刷した場合に限って、用紙のうら面に印刷できます。

用紙のうら面に印刷する場合は、[XXX (うら面)] (XXX は紙質) を選択します。



- ・用紙種類は印刷する用紙に合ったものを設定してください。
異なる設定にした場合、画質が落ちることがあります。
- ・はがきの印刷では用紙種類は「はがき」に設定してください。
異なる設定にした場合、画質が落ちることがあります。

〔OHP合紙〕ダイアログボックス



OHP合紙とは、OHPフィルムを1枚印刷するごとに、自動的に用紙が挿入される機能です。

OHP合紙の機能を使うときは、「OHP合紙をする」チェックボックスをオンにしてから、合紙の種類を選択します。

合紙の種類は、次のとおりです。

白紙を挿入する 白紙を挿入します。

コピー合紙を挿入する 挿入する用紙に、OHPフィルムと同じ内容を印刷します。

- ・合紙用トレイ選択

合紙を給紙するトレイを選択します。

自動 (初期値)

トレイ 1

トレイ 2

トレイ 3



- ・OHP合紙の機能を使うときは、OHPフィルムを、手差しトレイにたて置きにセットします。
- ・合紙として使用する用紙(印刷するOHPフィルムと同じサイズの用紙)を、合紙を給紙するトレイに、たて置きにセットしておきます。

▷ とじしろ

とじしろの位置と幅を設定するための[とじしろ]ダイアログボックスが表示されます。

[とじしろ]ダイアログボックス



とじしろの位置と値を設定します。[しない]を選択した場合でも、アプリケーション上で設定したとじしろは有効になります。

- ・とじしろの位置と値は、[ズーム]、[まとめて1枚]、[まとめて1枚の任意設定]、[画像繰り返し]などの指定に対しても、影響を受けません。
- ・アプリケーション上でとじしろを設定している場合は、その値にここで指定した値を足した値が、とじしろ値になります。[しない]を選択した場合でも、アプリケーション上で設定したとじしろは有効になります。

・位置

しない(初期値) とじしろを付けません。ただし、アプリケーション上で設定されたとじしろは有効です。

長辺左とじ 長辺の左側にとじしろを付けます。

長辺右とじ 長辺の右側にとじしろを付けます。

長辺上とじ 長辺の上側にとじしろを付けます。

短辺左とじ 短辺の左側にとじしろを付けます。

短辺右とじ 短辺の右側にとじしろを付けます。

短辺上とじ 短辺の上側にとじしろを付けます。

・自動縮小する

[自動縮小する] チェックボックスをオンにすると、とじしろ幅分を除いた用紙の領域に、画像イメージが収まるように自動的に縮小して印刷されます。オフにすると、画像イメージはそのままの大きさで、とじしろの幅分をずらして印刷されます。設定値によっては、画像が用紙からはみ出すことがあります。初期値はオンです。

・単位

[とじしろ値] を入力する単位を選択します。

ミリメートル(初期値)

インチ

・おもて / うら

とじしろの幅(0 ~ 50.0mm、または0.00 ~ 1.97inchの範囲)を指定します。初期値は[10.0] mmです。

▷ バージョン情報

使用しているプリンタドライバのバージョン情報を表示します。

〔グラフィックス〕タブ



印刷色や印刷品質に関する項目を設定することができます。

▶ カラーモード

白黒で印刷するか、カラーで印刷するかを設定します。



白黒原稿を印刷するときは、〔白黒〕、または〔自動〕を選択してください。〔カラー〕を選択すると、白黒原稿でもカラーと同じ印刷速度になります。

・自動(初期値)

原稿のページごとに自動的に判断し、白黒以外の色が使われている場合は〔カラー〕で、白黒だけが使われている場合は、〔白黒〕で印刷します。

・カラー

カラーで印刷します。

・白黒

白黒で印刷します。

▷ おすすめ画質タイプ

プリントする画像の種類を設定します。画像の種類を指定することにより、最適なプリントが行われます。

選択した項目の説明が、左下にある〔ヒント〕に表示されます。

画質タイプを一覧から選択します。ダイアログボックス左下の〔ヒント〕に、選択した画質タイプの説明が表示されます。

設定した画質は、ダイアログボックス左上にある画質の仕上がりイメージで確認できます。

- ・〔すべてを表示する〕チェックボックスがオフ(初期値)の場合は、下記の項目が表示されます。ただし、〔カラーモード〕が〔白黒〕の場合は、〔写真(高画質 - 自動補正)〕は表示されません。

一般文書(標準) (初期値)

一般文書(高画質)

写真(標準)

写真(高画質)

写真(高画質 - 自動補正)

- ・〔すべてを表示する〕チェックボックスをオンにすると、下記の項目が表示されます。ただし、〔カラーモード〕が〔白黒〕の場合は、〔写真(高画質 - 自動補正)〕、〔写真(高画質 - 明るめ)〕、〔ICM調整済み〕、〔製図 / 小さい文字〕は表示されません。

一般文書(速度優先)

写真(高画質 - 明るめ)

写真(速度優先)

ICM調整済み*

OHP 向き

製図 / 小さい文字

トナーセーブ

* Windows 98/Me/2000 でのみ表示されます。

▷ 特定のグラフィックスを忠実に再現

グラフィックスの、色の重ね合わせ部分の調整について設定します。

- ・自動 (初期値)

印刷データには、色の重ね合わせ部分について、プリンタ側で調整するかどうかの指示が含まれています。

〔自動〕を選択すると、この指示に従って自動的に補正します。

- ・する

色の重ね合わせ部分について、プリンタ側で調整します。ディスプレイに表示されているものと、ほぼ同じ印刷結果が得られますが、〔自動〕または〔しない〕を選択した場合より、印刷に時間がかかる場合があります。

- ・しない

色の重ね合わせ部分について、プリンタ側で調整しません。〔自動〕または〔する〕を選択した場合より、速く印刷できる場合もありますが、データによっては画質が劣化することがあります。

〔画質調整〕ダイアログボックス



〔明度〕、〔彩度〕、〔コントラスト〕、〔カラーバランス〕を設定します。256色以上のディスプレイを使用している場合には、ダイアログボックス左側のビットマップで、印刷の仕上がりイメージを確認できます。

- ・〔グラフィックス〕タブの〔カラーモード〕で、〔白黒〕が選択されている場合は、〔彩度〕、〔カラーバランス〕の設定はできません。

- ・原稿全体を設定する

〔画質調整〕タブの設定を、原稿全体に反映させる場合に、オンにします。

- ・原稿要素ごとに設定する

〔画質調整〕タブの設定を、原稿の要素〔文字〕、〔図/表/グラフ〕、〔写真〕ごとに、それぞれ別の値で設定する場合に、オンにします。

- ・画質調整

〔明度〕 色の明るさを調整します。

〔彩度〕 色の鮮やかさを調整します。

〔コントラスト〕 明暗の差を調整します。

スライダーのインジケーターの左右をクリックすると、値が10ずつ変化します。-100～100の範囲内で指定します。初期値は〔0〕です。

- ・カラーバランス

〔グラフィックス〕タブの〔カラーモード〕で〔カラー〕、または〔自動〕を選択すると、〔赤〕〔緑〕〔青〕のスライダーと、それに対応するテキストボックスの設定が可能になります。これらを調整することによって、色相が変化します。

スライダーのインジケーターの左右をクリックすると、値が10ずつ変化します。-100～100の範囲内で指定します。初期値は〔赤〕、〔緑〕、〔青〕ともに〔0〕です。

〔プロファイル指定〕ダイアログボックス



モニタ(ディスプレイ)やスキャナなどのデバイスの、色に関する特性に合わせて、プリンタ側の色情報を補正し、モニタやスキャナの表示に近い色で印刷されます。

- ・しない(初期値)

モニタやスキャナの表示に近い色で印刷するための、補正を行いません。

- ・色温度 / ガンマ指定

色温度とは、モニタ(ディスプレイ)などのデバイスの、画面表示の白色の明るさ、暗さのことです。それぞれのデバイスで、色温度(数値)が設定されています。

デバイスの設定値に近い数値を選択すると、モニタの表示に近い白色の明るさで印刷されます。

〔色温度〕 モニタで設定されている数値に近い数値を選択します。

〔5000K(D50)〕、〔6500K(D65)〕(初期値)、〔9300K〕から選択します。

〔ガンマ補正〕 印刷結果の明るさ、暗さを選択します。数値が小さいほど明るく、大きいほど暗く印刷されます。

〔1.0〕、〔1.4〕、〔1.8〕、〔2.2〕、〔2.6〕から選択します。

- ・ICC プロファイル指定

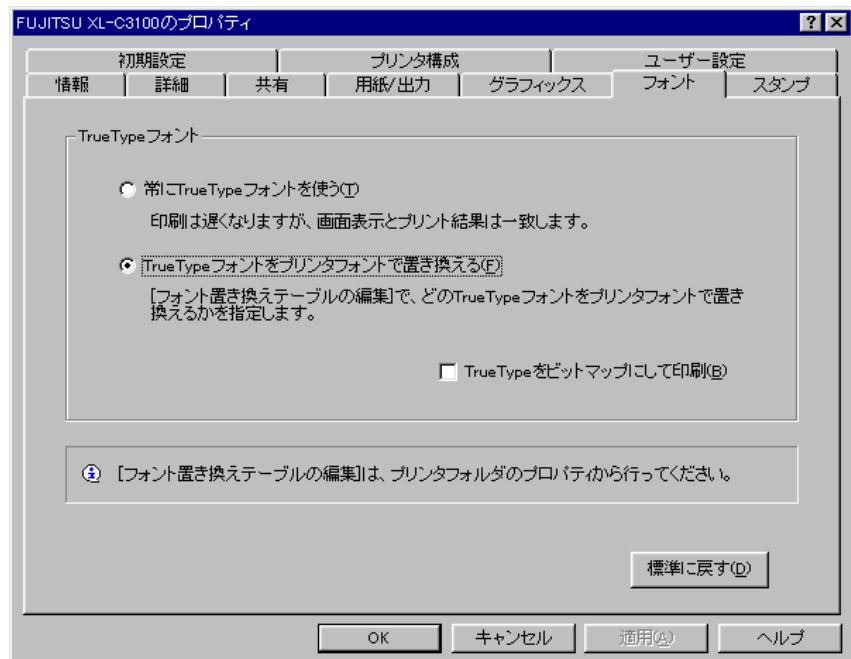
ICC プロファイルは、モニタやスキャナなどのデバイスの、色に関する特性を記述したファイルで、デバイスの製造元から提供されます。このファイルを指定すると、デバイスの特性に合わせてプリンタ側の色情報を補正し、モニタやスキャナの画面表示に近い色で印刷されます。

・ICC プロファイルの拡張子は、「.icm」です。

〔モニター〕 使用しているモニタの製造元が提供するファイルを、〔参照〕をクリックして指定します。モニタの表示に近い色で印刷されます。

〔入力画像〕 イメージを入力したスキャナなどの製造元が提供するファイルを、〔参照〕をクリックして指定すると、スキャナで入力した色に近い色で印刷されます。〔モニターと同じ〕を指定すると、モニタの表示に近い色で印刷されます。また〔しない〕を指定すると、スキャナやモニタの特性に合わせた印刷色の補正を行いません。

〔フォント〕タブ



TrueType フォントのプリント方法を設定できます。

▶ TrueType フォント

- 常に TrueType フォントを使う

文書内のすべての TrueType フォントを、パソコン側でビットマップとして変換したのち、プリンタへ転送し描画します。このため、画面表示どおりのプリント結果を得られます。

- TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える（初期値）

TrueType フォントを含む文書をプリントする場合に、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えてプリントします。〔初期設定〕タブの「フォント置き換えテーブルの編集」で行います。そこで組み合わせを変更することができます。

本プリンタは、欧文フォント 15 種、日本語フォント 4 種を搭載しています。

- TrueType をビットマップにして印刷

印刷できない文字をビットマップに置き換えて印刷する場合は、チェックボックスをオンにします。



- Windows95では、MS P明朝、MS Pゴシックを標準サポートしていますが、日本語のプロポーショナルフォントをプリンタフォントに置き換えると、正しい文字幅で出力されない場合があります。
- 「常にTrueTypeフォントを使う」を指定してプリントした場合、「TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換える」を指定して印刷した場合より、印刷速度が低下することがあります。

〔スタンプ〕タブ



スタンプ機能は、印刷データに「至急」などの特定の文字を重ね合わせて印刷する機能です。

〔スタンプ〕タブでは、次の項目を設定、または確認できます。

▷ スタンプ文字列

[スタンプ文字列]の一覧から、使用するスタンプ文字列を選択します。設定値は次のとおりです。

- | | |
|--------------|--|
| なし | スタンプ文字列を印刷しません。 |
| スタンプ文字列を入力する | [スタンプ文字列]のテキストボックスに文字列を入力して、スタンプ文字列として使用します。[登録]ボタンをクリックすると、任意の文字列を登録できます。 |

 **ガイド** スタンプ文字列は、半角で 64 文字まで入力できます。

- 回覧
- 外秘
- 禁複写
- 参考
- 至急
- 取扱注意

- ・[まとめて1枚]、[まとめて1枚の任意設定]、[画像繰り返し]を指定すると、スタンプ文字列も、1ページ内に複数印刷されます。
- ・[回覧]、[外秘]など、プリンタドライバに添付してあるスタンプ文字列を誤って削除した場合は、任意の文字列を登録する場合と同じように、[スタンプ文字列を入力する]を選択して、文字列を登録してください。

▷ 登録

任意の文字列を、スタンプ文字列として登録できます。

[スタンプ文字列]の一覧から [スタンプ文字列を入力する] を選択し、テキストボックスに任意の文字列を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

 **ガイド** スタンプ文字列は、プリンタドライバに登録されている文字列（「回覧」等）を含めて最大 20 個まで登録できます。

▷ 削除

登録したスタンプの文字列を削除します。

[スタンプ文字列]の一覧から削除したいスタンプ文字列を選択し、[削除] ボタンをクリックします。

▷ 最初のページのみ

スタンプ文字列を、1ページ目だけに印刷する場合は、チェックボックスをオンにします。

▷ 透過する

スタンプ文字列と重なった文字などが見えやすいように、スタンプ文字列を透かして印刷します。オフにすると、スタンプ文字列と重なった部分に、文字などを上書きして印刷します。

▷ 囲み

スタンプ文字列に、囲みを付けるかどうかを選択します。

▷ 文字

スタンプ文字列に使用する文字の、〔フォント名〕、〔サイズ〕、〔スタイル〕、〔色〕を選択します。

▷ 角度

スタンプ文字列の角度を設定します。

-90 ~ 90° の範囲内で、1°刻みで指定します。初期値は〔0〕です。

▷ 位置

スタンプ文字列を印刷する位置を選択します。

初期値では、用紙の中央に設定されています。

位置を変更する場合は、〔中央揃え〕チェックボックスをオフにして、よこ方向への移動距離を〔X〕に、たて方向への移動距離を〔Y〕に、それぞれ入力します。入力単位は、mmです。

また、用紙上（イメージ図）の文字の中央に、マウスポインタを置き、文字をドラッグさせながら、位置を変更することもできます。

▷ 中央揃え

スタンプ文字列を、用紙の中央に印刷します。チェックボックスをオンにすると、〔X〕、〔Y〕で入力した数値をリセットします。

〔初期設定〕タブ



プリンタ特有の次の項目について設定することができます。

「プリント機能」リストで任意の項目を選択すると、「設定の変更」に現在の設定内容が表示され、ここで変更することができます。

▶ プリント機能

印刷機能に関する機能を設定します。

設定を変更するには、目的の項目をクリックし、〔設定の変更〕で変更します。

▶ バナーシート

各ジョブに対してバナーシートを出力するかどうかを設定します。

バナーシートには、日付、時間、印刷を指示したパソコンの出力ポート、ファイル名が印刷されます。

印刷物の混在を防ぐことができます。

〔バナーシート〕の設定値は、次のとおりです。

なし（初期値） : バナーシートを出力しません。

文書の前 : ジョブの前にバナーシートを出力します。

文書の後 : ジョブの後ろにバナーシートを出力します。

〔文書の前〕、または〔文書の後〕を選択すると、〔バナータイトル〕を入力するテキストボックスが表示されます。〔バナータイトル〕に任意の文字列(全角で16文字、半角で32文字以内)を入力すると、バナーシートにその文字列が追加されて印刷されます。

▷ スムージング

スムージングとは、文字のギザギザを少なくなるように処理することができます。

ただし、スムージング処理をすることで、印刷速度が遅くなります。〔する〕、〔しない〕のどちらかを選択します。初期値は〔しない〕です。

▷ タイムアウト

タイムアウトとは、プリンタが印刷データの受信を開始後、設定時間内にデータ受信が行われなかった場合に、印刷を強制的に終了することをさします。

複雑な文書を印刷する場合には、大きい値を設定する必要があります。〔タイムアウト〕の設定値は、次のとおりです。

しない(初期値): タイムアウトの処理を行いません。

15秒

30秒

45秒

60秒

120秒

180秒

240秒

300秒

▷ 画像を圧縮して転送

イメージデータを含む文書を印刷する場合に、パソコン側でイメージデータを圧縮してから、プリンタに転送する機能です。文書データをプリンタに転送する時間を短縮できます。

しない(初期値): 文書データを、圧縮しないで印刷します。

高品質: 画質が落ちない程度に圧縮して印刷します。

高圧縮: 印刷速度を優先し、圧縮して印刷します。画質が劣化することがあります。

▷ 白紙節約

白紙節約とは、白紙のページを印刷しないように制御する機能です。〔する〕、〔しない〕のどちらかを選択します。初期値は〔しない〕です。

する : 白紙のページを印刷しないように制御します。
 しない(初期値) : 白紙のページも印刷します。

〔フォント置き換えテーブルの編集〕ダイアログボックス



TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える場合の設定を行います。

▷ フォント一覧

左側にはWindows環境にインストールされているTrueTypeフォント名が、右側には置き換えるプリンタフォント名が一覧表示されます。



- ・フォント名の先頭に@印が付いたものは、縦書きフォントです。
- ・プリンタフォントに置き換えない場合は、ソフトフォントを指定します。

▷ 置き換えるプリンタフォント

選択したTrueTypeフォントに対して、置き換えるプリンタフォントを一覧から選択します。

選択できるプリンタフォントの種類は次のとおりです。

和文フォント

ソフトフォント

FX リョービ 本明朝 -L
 FX リョービ ゴシック -B
 FX リョービ P 本明朝 -L
 FX リョービ P ゴシック -B
 @FX リョービ 本明朝 -L
 @FX リョービ ゴシック -B
 @FX リョービ P 本明朝 -L
 @FX リョービ P ゴシック -B

欧文フォント

* Century

* Arial
 Arial Italic
 Arial Bold
 Arial Bold Italic

* Courier New

Courier New Italic
 Courier New Bold
 Courier New Bold Italic

* Times New Roman

Times New Roman Italic
 Times New Roman Bold
 Times New Roman Bold Italic

* Symbol

* Wingdings

Windows 95/98/Meでは、上記*印の欧文フォントしか選択できません。



- ・変更したプリンタフォントを初期値に戻すには、〔標準に戻す〕ボタンをクリックします。
- ・プリンタフォントに置き換えた場合、フォントの文字幅の違いにより文字の位置がずれたり重なったりすることがあります。

〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックス



不定形サイズの設定をします。〔プリント〕ウィンドウからXL-C3100のプロパティを開いて、〔初期設定〕タブの〔ユーザー定義用紙〕ボタンをクリックすると、〔ユーザー定義用紙〕ダイアログボックスが表示されます。

▷ 設定一覧

カスタム1～5から選択します。名称は、〔用紙名〕で変更できます。

 **ガイド** 設定に、設定内容がわかるような名前を付けておくと便利です。

▷ 単位

サイズを入力する単位は、〔ミリメートル〕、または〔インチ〕のどちらかを指定します。

初期値は〔ミリメートル〕です。

設定の変更

▷ 短辺

設定する用紙の短辺サイズの値(90.0～330.2mm、または3.54～13.00inchの範囲)を指定します。

短辺サイズの値は、長辺の値より小さくなるように指定します。

初期値は〔210.0〕mmです。

▷ 長辺

設定する用紙の長辺サイズの値(144.8 ~ 457.2mm、または5.70 ~ 18.00inchの範囲)を指定します。

長辺サイズの値は、短辺の値より大きくなるように指定します。

初期値は〔297.0〕mmです。



短辺を長辺より大きい値で指定した場合、短辺と長辺の入れ替えを促すメッセージが表示されます。

▷ 用紙名をつける

カスタム1 ~ 5を選択して入力した設定に名前を付ける場合、〔用紙名をつける〕チェックボックスをオンにして、〔用紙名〕に任意の名前を入力します。

ここで入力した〔用紙名〕は、XL-C3100の〔用紙 / 出力〕タブの〔原稿サイズ〕、〔出力用紙サイズ〕の一覧に表示されます。

〔プリンタ構成〕タブ



〔プリンタ構成〕タブでは、プリンタに搭載しているメモリや用紙トレイの構成などを設定、または確認します。

〔設定の変更〕の一覧で、プリンタに取り付けているオプション品のチェックボックスをオンにします。

▶ 両面ユニット

オプション品の両面ユニットを取り付けた場合は、チェックボックスをオンにします。



オプション品の両面ユニットを取り付けた場合は、必ずこのチェックボックスをオンにしてください。オンに設定しないと、正常に機能しません。

▶ メモリ増設

オプション品の増設メモリを取り付けた場合は、チェックボックスをオンにします。



- ・XL-C3100 は、メモリを標準で 64Mbyte 搭載しています。
- ・増設メモリを取り付けた場合は、必ずこのチェックボックスをオンにしてください。
設定しないと、正常に機能しません。

▶ 拡張給紙ユニット（2段）

用紙トレイの構成を設定します。

オプション品の拡張給紙ユニット（2段）を取り付けた場合は、チェックボックスをオンにします。



オプション品の拡張給紙ユニット（2段）を取り付けた場合は、必ずこのチェックボックスをオンにしてください。オンに設定しないと、正常に機能しません。

〔ユーザー設定〕タブ



〔ユーザー設定〕タブでは、プリンタドライバで設定した内容を登録することができます。

登録した情報はユーザー定義ジョブとして認識され、2度目以降にプリントする場合に、ドライバの各設定項目を指定しなくてすむようになります。

▶ プリント目的

プリンタドライバで設定した内容は、〔ジョブの登録〕ダイアログボックスからユーザー定義ジョブとして登録することができます。登録されたユーザー定義ジョブは「プリント目的」にリスト表示されます。

ユーザー定義ジョブを選択し、「ジョブの読み出し」ボタンをクリックすると、登録されている設定内容が読み出されます。

「通常のプリント機能」は1行目に必ず表示され、プリンタドライバの各設定項目のデフォルト値が登録されています。

▶ コメント

「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブについてのコメントが表示されます。

〔ジョブの登録〕ダイアログボックス、〔登録名変更〕ダイアログボックスの「コメント」に入力し、登録したものが反映されます。

▷ 機能設定一覧

「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブの内容を、ツリー形式で表示します。



- ・「通常のプリント機能」を選択すると、各設定項目のデフォルト値をツリー形式で見ることができます。
- ・デフォルトの設定と異なる設定がされている項目には、先頭に*（アスタリスク）が付加されて表示されます。
- ・ツリー形式で表示されている〔初期設定〕の〔TrueType置き換えテーブル〕には、プリンタフォントに置き換えるTrueTypeフォントのみが表示されます。

▷ ジョブの登録

プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録します。

「プリント目的」、「コメント」で入力した内容は、「登録」ボタンをクリックすることにより、ユーザー定義ジョブとして認識されます。ユーザー定義ジョブは最大19件まで登録できます。

・プリント目的

ユーザー定義ジョブを入力します。英数半角32文字、全角16文字以内で入力してください。

すでに登録しているユーザー定義ジョブがある場合は一覧から選択できます。ここで入力したユーザー定義ジョブ名は、〔ユーザー設定〕タブの「プリント目的」に反映されます。

・コメント

ユーザー定義ジョブに対するコメントを入力します。英数半角255文字、全角127文字以内で入力してください。「プリント目的」すでに登録しているユーザー定義ジョブを選択した場合は、選択したユーザー定義ジョブに登録されているコメントが表示されます。ここで入力したコメントは、〔ユーザー設定〕タブの「コメント」に反映されます。

▷ ジョブの読み出し

「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択した状態で「ジョブの読み出し」ボタンをクリックすると、その設定内容が反映されます。

▷ 登録名変更

登録されているユーザー定義ジョブの内容を変更します。

[ユーザー設定] タブの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択した状態で、「登録名変更」ボタンをクリックすると、「登録名変更」ダイアログボックスが表示されます。すでに登録されている「プリント目的」、「コメント」について変更することができます。変更した内容は、「変更」ボタンをクリックすることにより更新されます。

● ガイド

[ユーザー設定] タブの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択していない、または「通常のプリント機能」を選択している状態では、「登録名変更」ボタンはグレイアウト表示されています。

・プリント目的

変更するユーザー定義ジョブの「プリント目的」が表示されています。修正する場合は、英数半角 32 文字、全角 16 文字以内で入力してください。ここで入力したユーザー定義ジョブ名は、[ユーザー設定] タブの「プリント目的」に反映されます。

・コメント

変更するユーザー定義ジョブの「コメント」が表示されています。修正する場合は、英数半角 255 文字、全角 127 文字以内で入力してください。ここで入力したコメントは、[ユーザー設定] タブの「コメント」に反映されます。

▷ ジョブの削除

「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブを削除します。

[ユーザー設定] ダイアログの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択した状態で、「ジョブの削除」ボタンをクリックすると、削除確認のダイアログボックスが表示されます。[はい]を選択すると、そのユーザー定義ジョブは削除されます。

● ガイド

[ユーザー設定] タブの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択していない、または「通常のプリント機能」を選択している状態では、「ジョブの削除」ボタンはグレイアウト表示されています。

▼ アプリケーションソフトから印刷するときの設定

アプリケーションソフトからデータを印刷すると、プリンタに対して設定できる項目が変わります。

ここでは、ワードパッドで作成した文書を印刷する場合を例に、アプリケーションソフトから印刷するときの設定について説明します。(使用するアプリケーションにより、設定内容が異なります。)

アプリケーションソフトから印刷を選択し、〔印刷〕ダイアログボックスを開きます。



〔印刷〕ダイアログボックスで〔プロパティ〕をクリックすると、〔FUJITSU XL-C3100 のプロパティ〕が開きます。目的のダイアログボックスをクリックして、設定を行います。

〔用紙/出力〕タブ



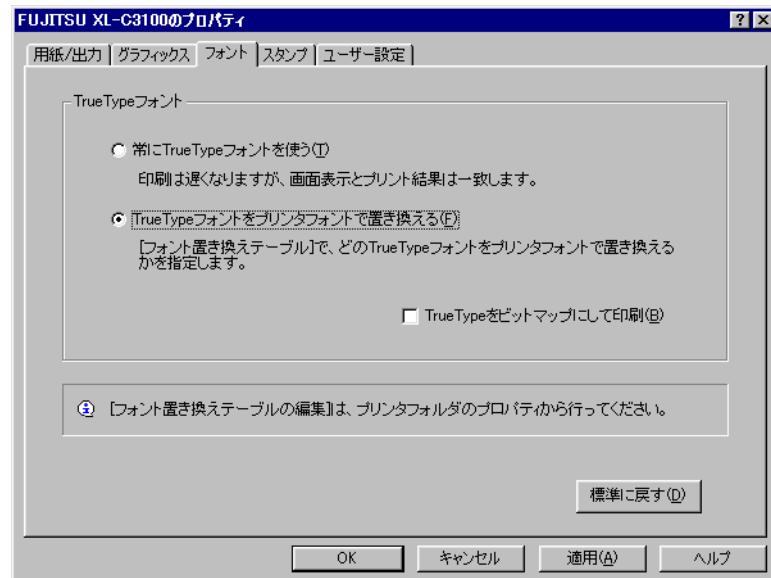
〔用紙 / 出力〕タブの設定内容は、XL-C3100 のプロパティのときと同じです（75 ページ参照）。

〔グラフィックス〕タブ



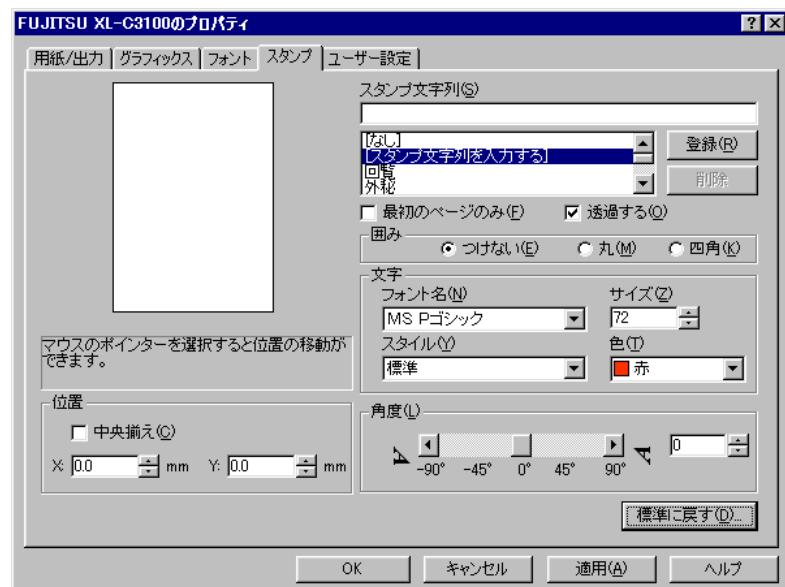
〔グラフィックス〕タブの設定内容は、XL-C3100 のプロパティのときと同じです（85 ページ参照）。

■ [フォント] タブ



[フォント] タブの設定内容は、XL-C3100 のプロパティのときと同じです（90 ページ参照）。

■ [スタンプ] タブ



[スタンプ] タブの設定内容は、XL-C3100 のプロパティのときと同じです（91 ページ参照）。

〔ユーザー設定〕タブ



〔ユーザー設定〕タブの設定内容は、XL-C3100 のプロパティのときと同じです（101 ページ参照）。

Windows 98 の場合

ここでは、Windows 98が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。



Plug & Play でのインストール

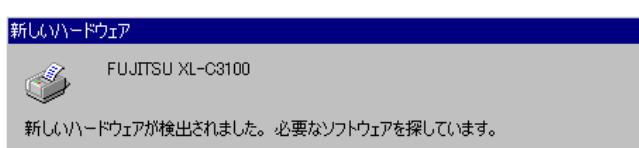
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme9x.txt」をお読みください。
- ・Windows 95 で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows 98 にアップグレードしている場合は、Windows 98 の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。



1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する

パソコン起動時に FUJITSU XL-C3100 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。



Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。



2 [次へ] ボタンをクリックする



3 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択して [次へ] ボタンをクリックする



4 添付のプリンタドライバ用 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

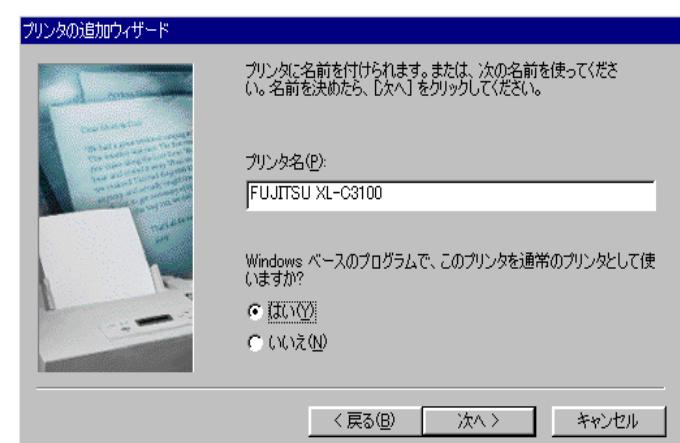


5 [検索場所の指定] をチェックし、CD-ROM ドライブ名と Windows 98/Me 用ドライバのフォルダ名を入力する (CD-ROM ドライブが E: の場合、「E:\XLc3100\Win98_Me」と入力してください。)

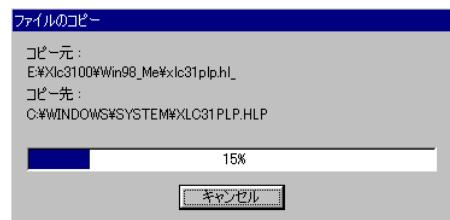
入力が終わったら [次へ] ボタンをクリックします。



6 [次へ] ボタンをクリックする



7 本プリンタを通常のプリンタに設定する場合は、[はい] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



8 [完了] ボタンをクリックし、インストールを終了する

▼ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

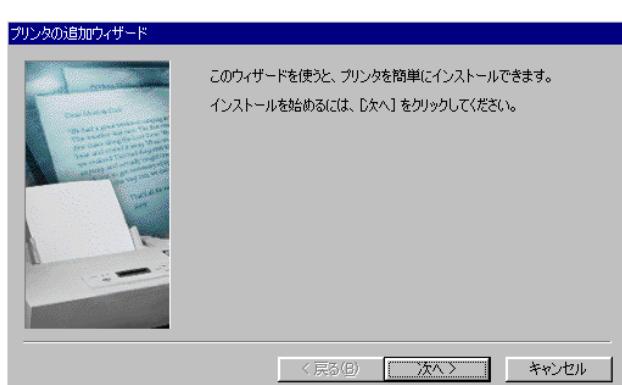
お願い

インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme9x.txt」をお読みください。

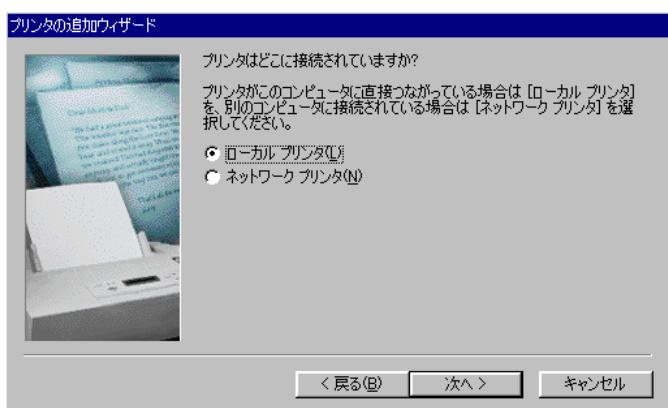
1 Windows 98 を起動する



2 [マイコンピュータ] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする



3 [次へ] ボタンをクリックする



4 [ローカルプリンタ] を選択して [次へ] ボタンをクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、[ネットワークプリンタ]を選択します。（以降の操作が簡単になります。）

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。



スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。



[ネットワークプリンタ]を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

5 [ディスク使用] ボタンをクリックする

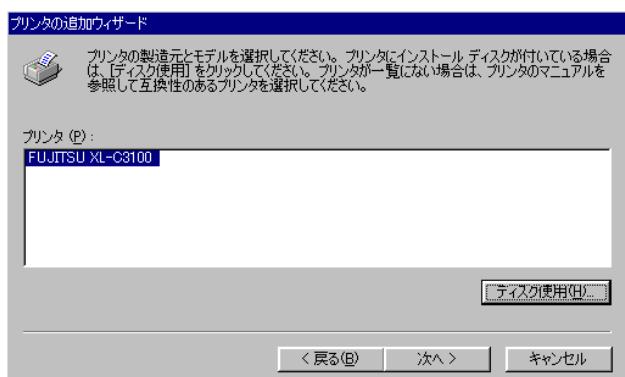


6 添付のプリンタドライバ用CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

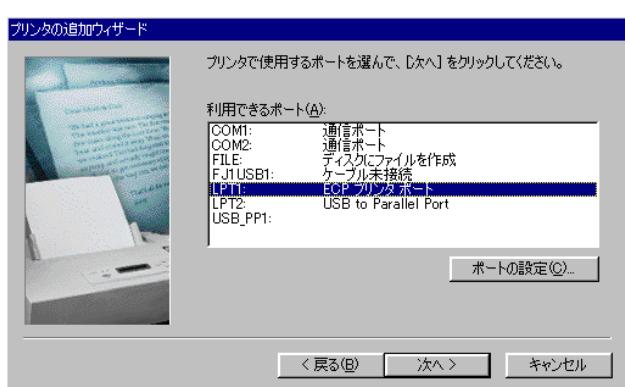


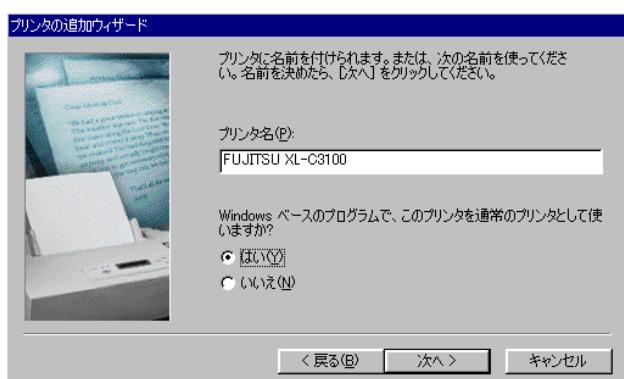
7 配布ファイルのコピー元にCD-ROMドライブ名とWindows 98/Me用ドライバのフォルダ名を入力する(CD-ROMドライブがE:の場合、「E:\XLC3100\Win98_Me」と入力してください。)入力が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

8 FUJITSU XL-C3100を確認して、[次へ]ボタンをクリックする

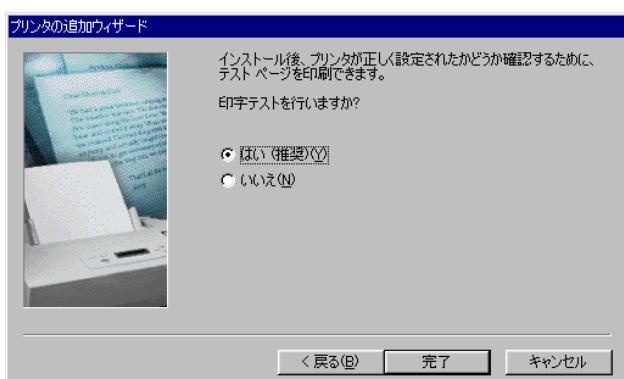


9 使用するポートを選択して[次へ]ボタンをクリックする





10 本プリンタを通常のプリンタに設定する場合は、[はい]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



11 テストページ印刷の設定を行い、[完了]ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、[プリンタ]フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



テストページ印刷を設定した場合はテストページが印刷され、その確認のダイアログボックスが表示されます



このドライバはWindows 95用のドライバと同じものです。したがって使用されるプログラムファイルは共通のものです。

▼ 新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。



プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックし、[プリンタ] フォルダを開く
- 2 該当するプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [削除] をクリックする



- 3 [はい] ボタンをクリックする

- 4 Windows 98 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 98 を再起動します。

- 5 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(112 ページ) の手順でインストールする



インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 98 を再起動する

▼ プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定項目は「Windows95の場合」(61ページ)を参照してください。

以下の項目のみ追加されます。

設定項目	設定内容	説明
色の管理		プリンタに関連付けられたプロファイルを追加、削除する

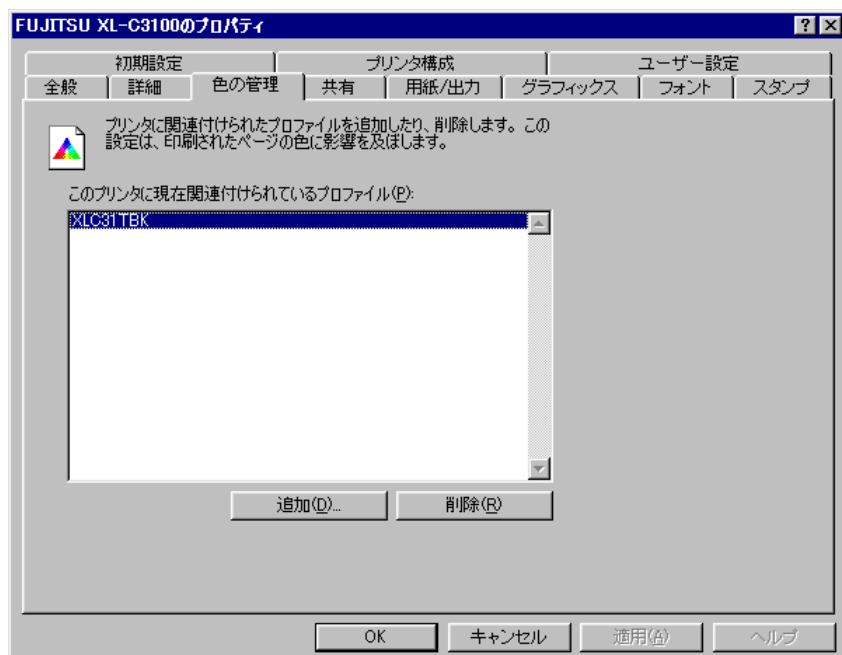
▼ 設定画面の表示

プリンタドライバの設定画面の表示手順は「Windows95の場合」(68ページ)を参照してください。

▼ 設定項目の詳細

プリンタドライバで設定できる各項目の内容については「Windows95の場合」(69ページ)を参照してください。
以下の項目のみ追加されます。

■ [色の管理] ダイアログ



プリンタに関連付けられたプロファイルを追加したり、削除します。
この設定は、印刷されたページの色に影響を及ぼします。



プリンタドライバインストール時に、本プリンタに最適のプロファイル(XLC31TBK)が関連付けられていますので、通常は変更する必要はありません。

▼ アプリケーションソフトから印刷するときの設定

アプリケーションソフトから印刷するときの設定は「Windows95の場合」(104ページ)を参照してください。

Windows Me の場合

ここでは、Windows Me が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

▼ Plug & Play でのインストール

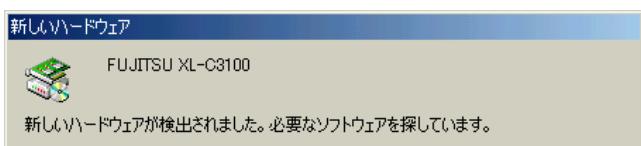
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows Meのバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme9x.txt」をお読みください。
- ・Windows 95/98で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows Me にアップグレードしている場合は、Windows Me の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。



1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows Me を起動する

パソコン起動時に <FUJITSU XL-C3100新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。> と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。



Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

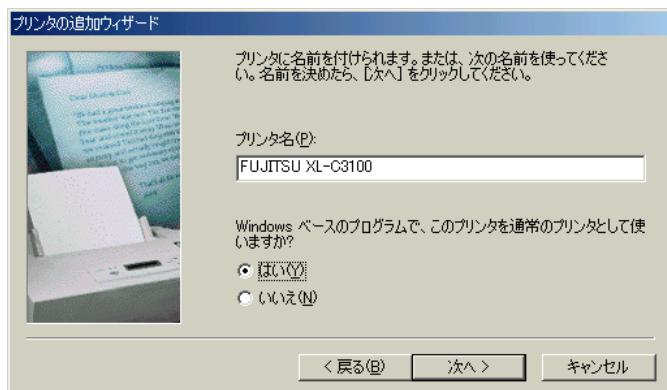
2 添付のプリンタドライバ用 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする



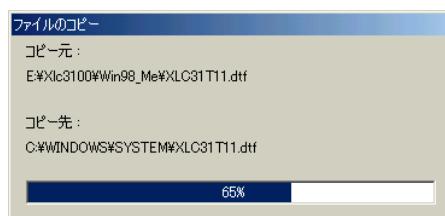
3 <適切なドライバを自動的に検索する（推奨）>を選択して、[次へ] ボタンをクリックする



4 <ほかのドライバの選択> 画面が表示されたら、「場所」が「E:\XLC3100\WIN98_ME\XLC3100.INF」(CD-ROM ドライブが E: の場合) のドライバを選択し、[OK] ボタンをクリックする



5 本プリンタを通常のプリンタに設定する場合は、[はい]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



6 [完了] ボタンをクリックし、インストールを終了する

▼ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows Meのバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme9x.txt」をお読みください。



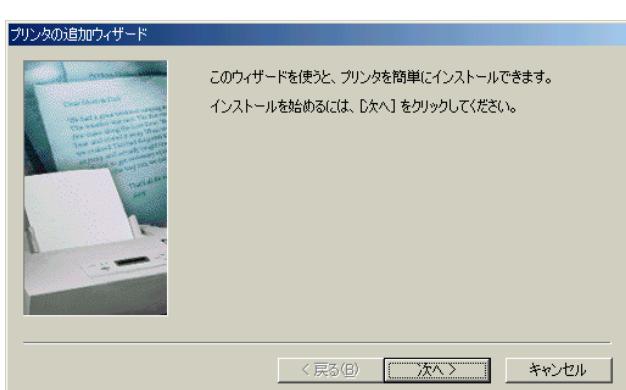
1 Windows Me を起動する

2 プリンタの追加ウィザード を起動する

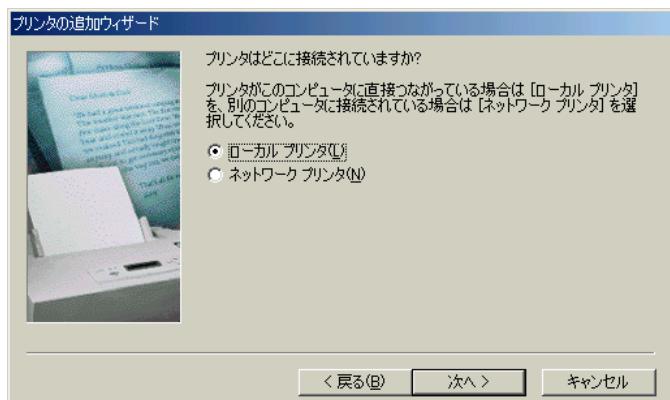
(1) [マイコンピュータ]の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックします。

(2) [コントロールパネル]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックします。

(3) [プリンタ]フォルダの[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。



3 プリンタの追加ウィザード で、[次へ]ボタンをクリックする



4 ローカルプリンタ を選択して〔次へ〕ボタンをクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、〔ネットワークプリンタ〕を選択します。(以降の操作が簡単になります。)

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。



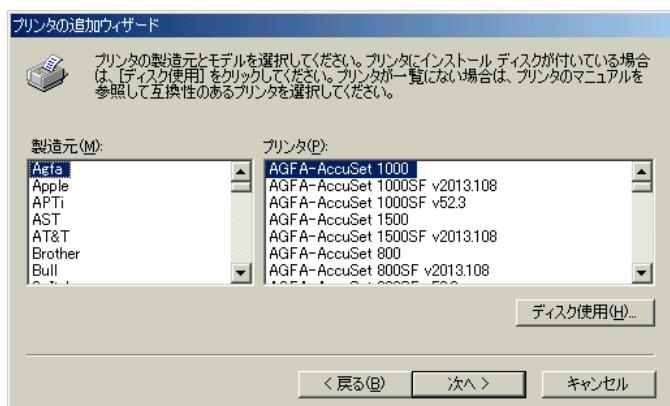
スタンドアロン(パソコンとプリンタを1対1で接続)のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

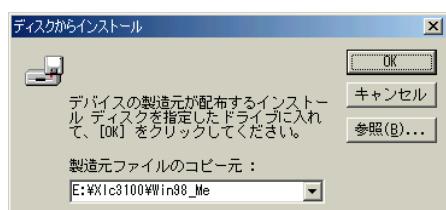


〔ネットワークプリンタ〕を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

5 〔ディスク使用〕ボタンをクリックする



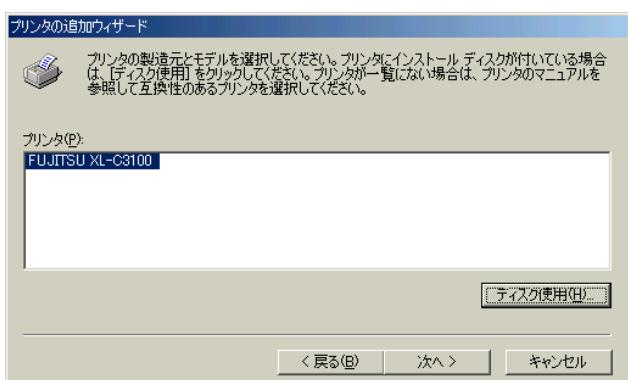
6 添付のプリンタドライバ用 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする



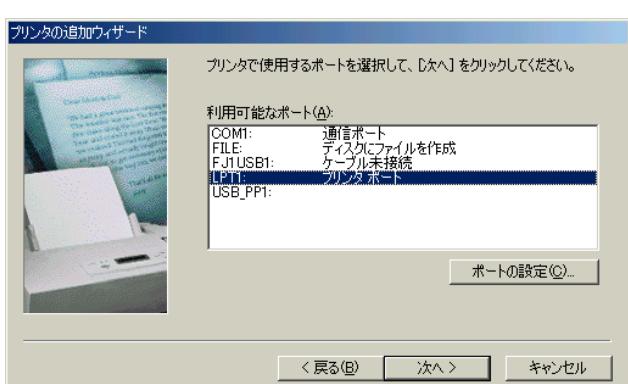
7 製造元ファイルのコピー元に CD-ROM ドライブ名と Windows 98/Me 用ドライバのフォルダ名を入力する (CD-ROM ドライブが E: の場合、「E:\XLC3100\Win98_Me」と入力してください。)

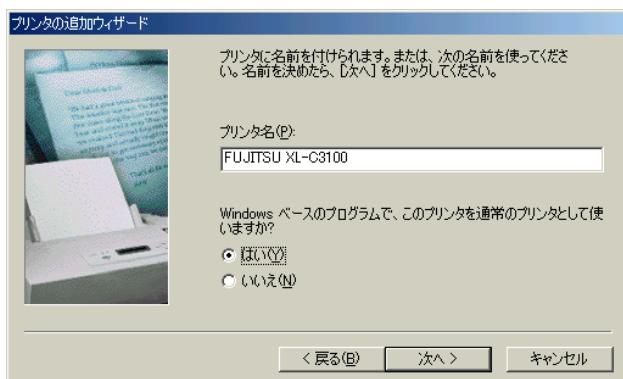
入力が終わったら [OK] ボタンをクリックします。

8 FUJITSU XL-C3100 を確認して、[次へ] ボタンをクリックする

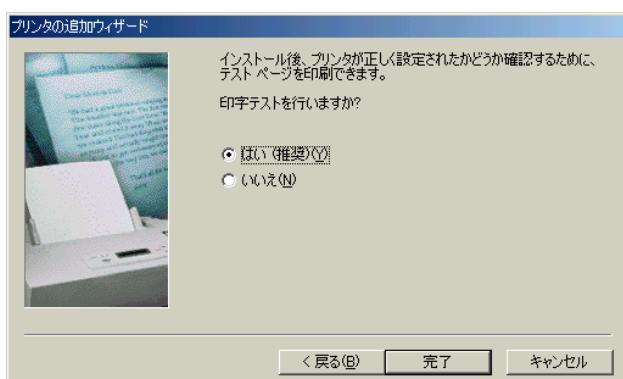


9 使用するポートを選択して [次へ] ボタンをクリックする





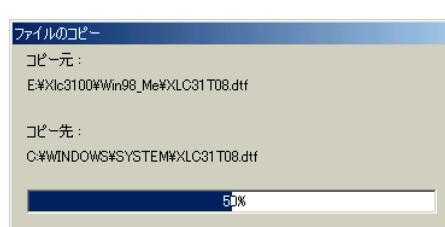
10 本プリンタを通常のプリンタに設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする



11 テストページ印刷の設定を行い、〔完了〕ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



テストページ印刷を設定した場合はテストページが印刷され、その確認のダイアログボックスが表示されます。

▼ 新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。



プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ] [コントロールパネル] [プリンタ] の手順で、[プリンタ] フォルダを開く
- 2 該当するプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [削除] をクリックする



- 3 [はい] ボタンをクリックする
- 4 Windows Me を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows Me を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(123ページ) の手順でインストールする



インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows Me を再起動する

▼ プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定項目は「Windows95の場合」(61 ページ) を参照してください。

以下の項目のみ追加されます。

設定項目	設定内容	説明
色の管理		プリンタに関連付けられたプロファイルを追加、削除する

▼ 設定画面の表示

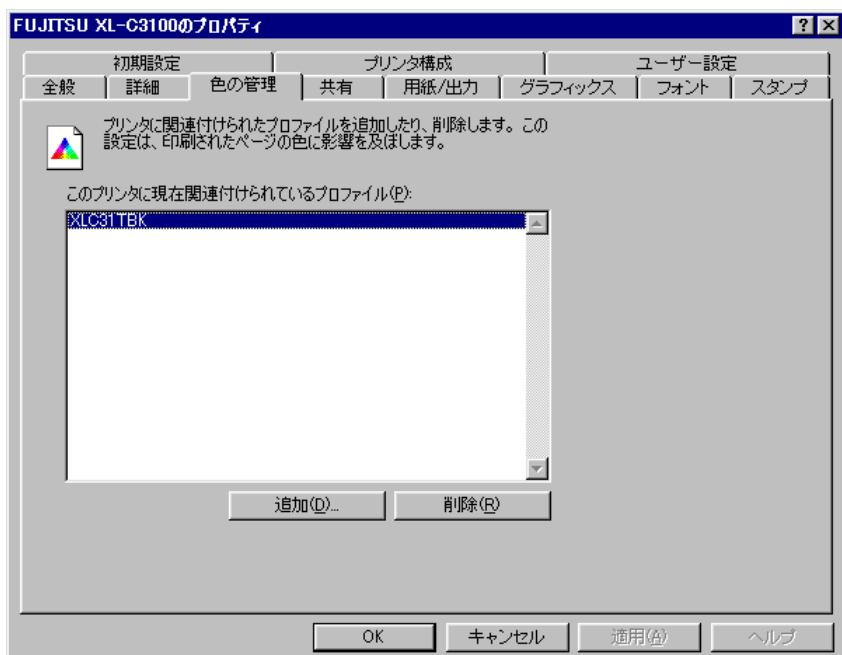
プリンタドライバの設定画面の表示手順は「Windows95の場合」(68 ページ) を参照してください。

▼ 設定項目の詳細

プリンタドライバで設定できる各項目の内容については「Windows95の場合」(69ページ)を参照してください。

以下の項目のみ追加されます。

〔色の管理〕ダイアログ



プリンタに関連付けられたプロファイルを追加したり、削除します。この設定は、印刷されたページの色に影響を及ぼします。



プリンタドライバインストール時に、本プリンタに最適のプロファイル(XLC31TBK)が関連付けられていますので、通常は変更する必要はありません。

▼ アプリケーションソフトから印刷するときの設定

アプリケーションソフトから印刷するときの設定は「Windows95の場合」(104ページ)を参照してください。

Windows NT4.0 の場合

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。



インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「ReadmeNT.txt」をお読みください。
- ・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

1 Windows NT4.0 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする



2 [マイコンピュータ] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする



3 このコンピュータ を選択して [次へ] ボタンをクリックする



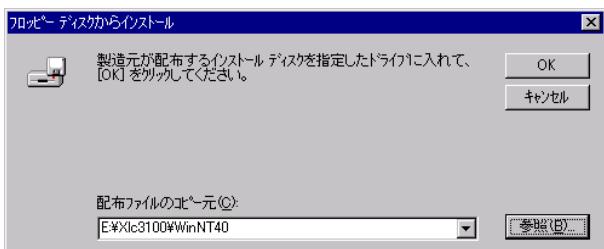
4 プリンタを接続したポートを指定して [次へ] ボタンをクリックする

[利用可能なポート] から、プリンタを接続したポートを選択します。

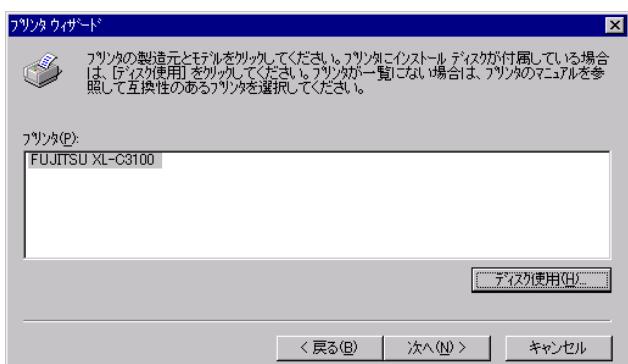


5 [ディスク使用] ボタンをクリックする

6 添付のプリンタドライバ用 CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする



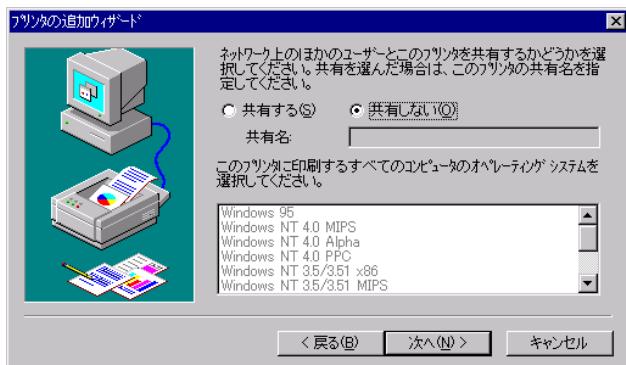
- 7 配布ファイルのコピー元にCD-ROMドライブ名とWindows NT4.0用ドライバのフォルダ名を入力する(CD-ROMドライブがE:の場合、「E:\XLC3100\WinNT40」と入力してください。)入力が終わったら[OK]ボタンをクリックします。



- 8 FUJITSU XL-C3100を確認して、[次へ]ボタンをクリックする



- 9 プリンタ名を入力し、本プリンタを通常のプリンタに設定するか、しないかを選択して、[次へ]ボタンをクリックする



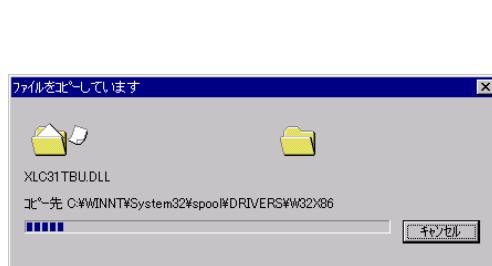
10 [共有しない]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、共有しないを選択します。

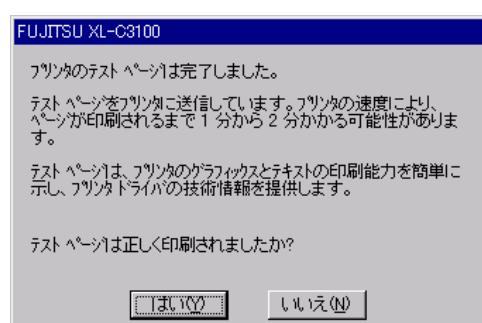


11 テストページを印刷するか、しないかを選択して[完了]ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、[プリンタ]フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



テストページを選択した場合に以下の操作を行います。



12 テストページが正しく印刷されたら[はい]ボタンをクリックし、インストールを終了する

▼ 新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。



プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックし、[プリンタ]フォルダを開く
- 2 該当するプリンタを選択し、[ファイル]メニューから[削除]をクリックする



- 3 [はい] ボタンをクリックする
- 4 Windows NT4.0 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows NT4.0を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「インストール」(131ページ)の手順でインストールする



インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows NT4.0を再起動する

▼ プリンタドライバの設定

本プリンタドライバの設定は、次の4つのダイアログボックスで行います。

- ・[ドキュメントのプロパティ]ダイアログボックス
- ・[FUJITSU XL-C3100 の既定]ダイアログボックス
- ・[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス
- ・[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログボックス

一般ユーザは、[ドキュメントのプロパティ]ダイアログボックス(アプリケーションソフトからのプリンタ設定項目)のみ変更できます。

▶【FUJITSU XL-C3100の既定のドキュメントのプロパティ】ダイアログボックス

設定項目	設定内容	説明
用紙 / 出力	部数 ソートする [1部ごと]	印刷部数を指定する 複数部数を1部ごと (1,2,3...1,2,3...) にソートして印刷する
原稿サイズ	A4 (210 × 297mm) A3 (297 × 420mm) A5 (149 × 210mm) B5 (182 × 257mm) B4 (257 × 364mm) はがき (100 × 148mm) 8.5 × 11" (レター) 8.5 × 14" (リーガル) 11 × 17" (レジャーレ) 328 × 453mm カスタム 1 ~ カスタム 5	A4 サイズの原稿を印刷する A3 サイズの原稿を印刷する A5 サイズの原稿を印刷する B5 サイズの原稿を印刷する B4 サイズの原稿を印刷する はがきサイズの原稿を印刷する レターサイズの原稿を印刷する リーガルサイズの原稿を印刷する レジャーサイズの原稿を印刷する 328 × 453mm サイズの原稿を印刷する 不定形の原稿を印刷する (*1) 短辺 : 90.0 ~ 330.2mm 長辺 : 144.8 ~ 457.2mm
出力用紙サイズ	原稿サイズと同じ A4 (210 × 297mm) A3 (297 × 420mm) A5 (149 × 210mm) B5 (182 × 257mm) B4 (257 × 364mm) はがき (100 × 148mm) 8.5 × 11" (レター) 8.5 × 14" (リーガル) 11 × 17" (レジャーレ) 328 × 453mm カスタム 1 ~ カスタム 5	原稿サイズで設定した用紙に印刷する A4 サイズの用紙に印刷する A3 サイズの用紙に印刷する A5 サイズの用紙に印刷する B5 サイズの用紙に印刷する B4 サイズの用紙に印刷する はがきに印刷する レターサイズの原稿を印刷する リーガルサイズの原稿を印刷する レジャーサイズの原稿を印刷する 328 × 453mm サイズの原稿を印刷する 不定形の用原稿印刷する (*1) 短辺 : 90.0 ~ 330.2mm 長辺 : 144.8 ~ 457.2mm
ズーム	オフ オン	原稿サイズ、出力用紙サイズで設定した値から自動計算された拡大縮小率で印刷する 拡大・縮小率を 25 ~ 400% の範囲で任意に設定する 原稿サイズと出力用紙サイズの組み合わせにかかわらず、指定した値で拡大縮小し印刷する

* 1 用紙サイズは0.1mm単位に指定できますが、サイズ選択時は1mm単位で表示されます。

設定項目	設定内容	説明
用紙/出力 まとめて1枚	Nアップしない	通常の印刷行う
	2アップ(順方向)	1枚の用紙に2ページ分のデータを用紙の左、右の順に配置して印刷する
	2アップ(逆方向)	1枚の用紙に2ページ分のデータを用紙の右、左の順に配置して印刷する
	4アップ(順横方向)	1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の左上、右上、左下、右下の順に配置して印刷する
	4アップ(順縦方向)	1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の左上、左下、右上、右下の順に配置して印刷する
	4アップ(逆横方向)	1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の右上、左上、右下、左下の順に配置して印刷する
	4アップ(逆縦方向)	1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の右上、右下、左上、左下の順に配置して印刷する
	8アップ(順横方向)	1枚の用紙に8ページ分のデータを用紙の左上、右上、左下、右下の順に配置して印刷する
	8アップ(順縦方向)	1枚の用紙に8ページ分のデータを用紙の左上、左下、右上、右下の順に配置して印刷する
	8アップ(逆横方向)	1枚の用紙に8ページ分のデータを用紙の右上、左上、右下、左下の順に配置して印刷する
	8アップ(逆縦方向)	1枚の用紙に8ページ分のデータを用紙の右上、右下、左上、左下の順に配置して印刷する
	16アップ(順横方向)	1枚の用紙に16ページ分のデータを用紙の左上、右上、左下、右下の順に配置して印刷する
	16アップ(順縦方向)	1枚の用紙に16ページ分のデータを用紙の左上、左下、右上、右下の順に配置して印刷する
	16アップ(逆横方向)	1枚の用紙に16ページ分のデータを用紙の右上、左上、右下、左下の順に配置して印刷する
	16アップ(逆縦方向)	1枚の用紙に16ページ分のデータを用紙の右上、右下、左上、左下の順に配置して印刷する

設定項目	設定内容	説明
用紙 / 出力	詳細レイアウト	〔まとめて1枚の任意設定〕、〔画像繰り返し〕、〔よこ原稿180°回転〕などのレイアウト印刷機能を指定する。
原稿の向き	たて	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する
	よこ	用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する
180° 画像回転		出力イメージを180度回転して印刷する
両面		<ul style="list-style-type: none"> 両面印刷を行わない 用紙の長辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷する 用紙の短辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷する
排出先	センタートレイ	センタートレイに排出する
	(うら面)	
用紙トレイ選択	サイドトレイ	サイドトレイに排出する
	(おもて面 / 正順)	排出された用紙はページ順どおりに並ぶ
用紙トレイ選択	サイドトレイ	サイドトレイに排出する
	(おもて面 / 逆順)	排出された用紙はページ順と逆に並ぶ
用紙トレイ選択	自動	トレイ1～3から自動的に給紙するトレイを選択する
	手差し	手差しトレイから給紙する
用紙種類	トレイ1	用紙トレイ1から給紙する
	トレイ2	用紙トレイ2から給紙する
用紙種類	トレイ3	用紙トレイ3から給紙する
	アプリの設定に従う	アプリケーション側で設定した用紙トレイを選択する
用紙種類	普通紙	普通紙に印刷する
	OHP フィルム	OHP フィルムに印刷する
用紙種類	厚紙 (106～220g/m ²)	厚紙に印刷する
	厚紙 (106～220g/m ²)	厚紙のうら面に印刷する
用紙種類	(うら面)	
	ラベル紙	ラベル紙に印刷する
用紙種類	はがき	はがきに印刷する
	はがき (うら面)	はがきのうら面に印刷する
OHP合紙		OHP フィルムを1枚印刷するごとに自動的に用紙を挿入する
とじしろ		とじしろの位置と幅を指定する
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する
標準に戻す		設定内容を初期値に戻す

設定項目	設定内容	説明
グラフィックス カラー モード	自動	原稿をページごとに自動的に判断し、白黒以外の色が使われている場合はカラーで、白黒だけ使われている場合は白黒で印刷する
	カラー	カラーで印刷する
	白黒	白黒で印刷する
おすすめ画質タイプ	一般文書(標準)	一般文書を標準品質で印刷する
	一般文書(高画質)	一般文書をよりきれいに印刷する
	一般文書(速度優先)	一般文書を高速に印刷する
	写真(標準)	写真を中心とした文書を標準品質で印刷する
	写真(高画質)	写真を中心とした文書をよりきれいに印刷する
	写真	写真を中心とした文書を自動色調整機能(高画質・自動補正)を使用してよりきれいに印刷する
	写真	写真を中心とした文書を明るさ強調して(高画質・明るめ)印刷する
	写真(速度優先)	写真を高速に印刷する
* ICM 調整済み		Windows の ICM 機能を利用して印刷する
OHP 向き		OHP に適した品質で印刷する
製図/小さい文字	細線をくっきりときれいに印刷する	
トナーセーブ	トナーの消費量をセーブして印刷する	
すべてを表示する	オフ	[おすすめ画質タイプ] で [一般文書(標準)]、[一般文書(高画質)]、[写真(標準)]、[写真(高画質・自動補正)] のみ表示する
	オン	[おすすめ画質タイプ] のすべての項目を表示する
特定のグラフィックスを忠実に再現	自動	グラフィックスの色の重ね合わせ部分で色を忠実に再現するための調整を自動で行う
	する	グラフィックスの色の重ね合わせ部分で色を忠実に再現する
	しない	グラフィックスの色の重ね合わせ部分で色を忠実に再現するための調整を行わない
画質調整		[明度]、[彩度]、[コントラスト]、[カラーバランス] の調整を行う
プロファイル指定		入出力機器(ディスプレイやスキャナー等)の色再現性に合わせて印刷色の調整を行う
標準に戻す		設定内容を初期値に戻す

* Windows 2000 環境で設定できます。(Windows NT4.0 環境では表示されません。)

設定項目	設定内容	説明
フォント	常にTrueTypeフォントを使う	文書内のすべてのTrueTypeフォントを、パソコン側でビットマップとして変換したのち、プリンタへ転送し描画する
	TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換える	TrueTypeフォントを含む文書を印刷する場合に、TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷する
	TrueTypeをビットマップにして印刷	印刷できない文字をビットマップに置き換えて印刷する場合は、チェックボックスをオンにする
	標準に戻す	設定内容を初期値に戻す
スタンプ	スタンプ文字列	スタンプ文字列を入力する
	スタンプ文字列一覧	登録済みのスタンプ文字列を選択する 標準で回覧／外秘／禁複写／参考／至急／取扱注意が登録済みである
	登録	任意の文字列を、スタンプ文字列として登録する
	削除	登録済みのスタンプ文字列を一覧から削除する
	最初のページのみ	最初のページのみスタンプ文字列を印刷するかどうかを選択する
	透過する	スタンプ文字列を透かして印刷するかどうかを選択する
	囲み	スタンプ文字列に、囲みをつける
	つけない	スタンプ文字列に、囲みをつけない
	丸	スタンプ文字列に、丸い囲みをつける
	四角	スタンプ文字列に、四角い囲みをつける
文字		スタンプ文字列に使用する文字のフォント名／サイズ／スタイル／色を選択する
	位置	スタンプ文字列の中央からの移動位置を指定する
	角度	スタンプ文字列の角度を指定する
ユーザー設定	標準に戻す	設定内容を初期値に戻す
	プリント目的	[ジョブの登録]で登録した印刷設定の名前を一覧表示する
コメント		[プリント目的]で選択した印刷設定についてのコメントを表示する
		[プリント目的]で選択した印刷設定の内容をツリー形式で表示する
		プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録する
機能設定一覧	ジョブの登録	プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録する
	登録名変更	登録されているジョブの登録名とコメントを変更する
	ジョブの削除	[プリント目的]で選択しているジョブを削除する
ジョブの読み出し		[プリント目的]で選択したジョブの設定内容をプリンタドライバに反映する

▶ [プリンタのプロパティ] ダイアログボックス

設定項目	設定内容	説明
全般	コメント	プリンタに関する情報を入力する
	場所	プリンタの設置場所を入力する
	ドライバ	使用しているプリンタドライバを表示する
	新しいドライバ	プリンタドライバを追加または更新する
	区切りページ	区切りページを指定する
	プリントプロセッサ	プリントプロセッサとスプールデータの種類を指定する
	テストページの印刷	テストページを印刷する
ポート	印刷するポート	プリンタが接続されているポートを表示する
	ポートの追加	ポートを追加する
	ポートの削除	ポートを削除する
	ポートの構成	ポートの設定を変更する
	プリンタプールを有効にする	プリンタプールを利用できるようにする
スケジュール	利用可能時間 常に	プリンタを常に利用できるようにする
	開始 / 終了	プリンタを特定の時間だけ利用できるようにする
	優先順位 1 ~ 99	ドキュメントの既定の優先度を指定する
	印刷ドキュメントをスプールし、ラムの印刷処理を高速に行なう	全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る
	プリンタに直接印刷データを送る	ドキュメントの最終ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始する
	一致しないドキュメントを保留する	ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る
	スプールされたドキュメントを最初に印刷する	設定がプリンタと一致しないドキュメントを保留する
共有	印刷後ドキュメントを残す	スプールが完了したドキュメントから印刷を開始する
	共有しない	印刷が終了したあともスプールを削除しない
	共有する 共有名	プリンタを共有するときの名前を指定する
	代替ドライバ	異なるOSで使用するドライバをインストールする
セキュリティ	アクセス権	プリンタのアクセス権を設定する
	監査	プリンタの使用状況を監査する
	所有権	プリンタの所有権を表示または取得する

設定項目	設定内容	説明
初期設定	バナーシート	なし バナーシートを印刷しない 文書の前 バナーシートを文書の前に印刷する 文書の後 バナーシートを文書の後に印刷する
	スムージング	しない 文字や図形の輪郭部が滑らかになるよう する 画像処理を行わない する 文字や図形の輪郭部が滑らかになるよう に画像処理を行う
	タイムアウト	しない/15秒 / 30秒 /...300秒 プリンタが印刷データの受信を開始後、 設定時間内にデータ受信が行われなかつた場合に、印刷を強制的に終了する
画像を圧縮して転送	しない	圧縮しないで印刷する
	高品質	画質が落ちない程度に圧縮して印刷する
	高圧縮	印刷速度を優先し、圧縮率を上げて印刷する（画質が劣化する場合もある）
白紙節約	しない	白紙のページも印刷する
	する	白紙のページを印刷しない
プリンタ構成	フォント置き換え	TrueType フォントをプリンタフォントに
	テーブルの編集	置き換える場合の設定を行う
	ユーザー定義用紙	不定形サイズの用紙設定を行う
	標準に戻す	設定内容を初期値に戻す
両面ユニット		オプション品の両面ユニットを取り付けた場合にチェックボックスをオンにする
	メモリ増設	オプション品の増設メモリを取り付けた場合にチェックボックスをオンにする
拡張給紙ユニット（2段）		オプション品の拡張給紙ユニット（2段）を取り付けた場合にチェックボックスをオンにする
	標準に戻す	設定内容を初期値に戻す

▶ [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックス

設定項目	設定内容	説明
用紙	用紙	サーバで使用可能な用紙の種類を表示する
	用紙の説明	新しい用紙を作成する
	寸法	新しく用紙を作成する場合にチェックする 用紙のサイズを指定する
ポート	このサーバー上のポート	このサーバー上にあるポートを表示する
	ポートの追加	ポートを追加する
	ポートの削除	ポートを削除する
	ポートの構成	ポートの設定を変更する
詳細設定	スプールフォルダ	スプールファイルを格納するフォルダを指定する
	スプーラのエラーイベントのログを収集する	印刷関連のエラーをシステムログに書き込む
	スプーラの警告イベントのログを収集する	印刷関連の警告をシステムログに書き込む
	スプーラの情報イベントのログを収集する	印刷関連の情報をシステムログに書き込む
	リモートドキュメントエラーが発生したら音を鳴らす	エラーが発生したときに警告音を鳴らす
	リモートドキュメントの印刷が終了したら通知する	印刷の完了をクライアントに通知する

Windows 2000 の場合

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

▼ Plug & Play でのインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。

● ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

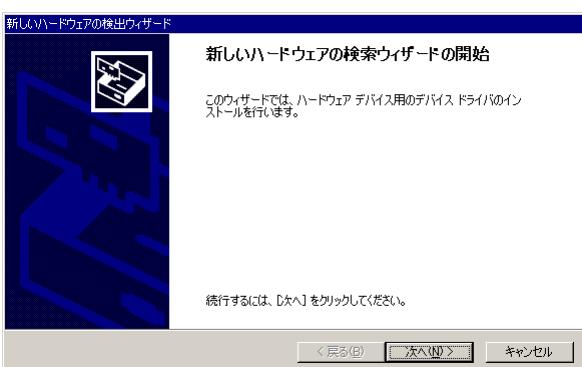
▶ お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「Readme2k.txt」をお読みください。
- ・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。
- ・ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で、Windows 2000 を起動する

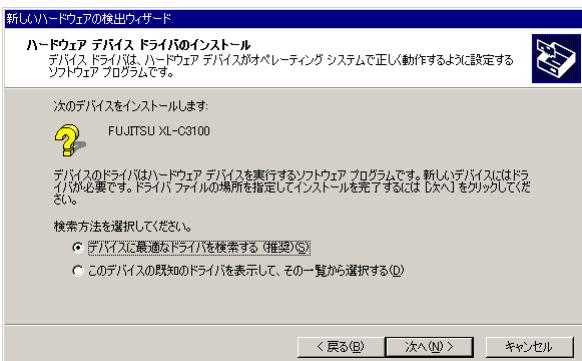


2 新しいハードウェアが検出される

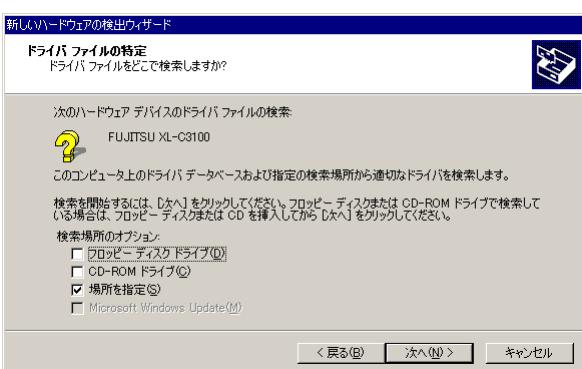


3 プリンタドライバをインストールする

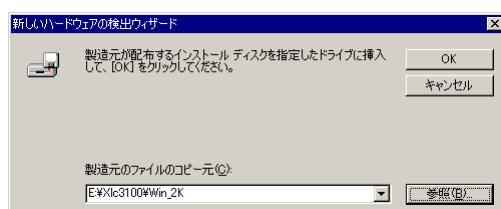
(1) 新しいハードウェアの検出ウィザード ダイアログが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



(2) [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



(3) プリンタドライバディスクをセットし、[フロッピーディスクドライブ]および[CD-ROM ドライブ]のチェックを外し[場所を指定]のみをチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



(4) 製造元のファイルのコピー元に CD-ROM ドライブ名と Windows 2000 用ドライバのフォルダ名を入力します。(CD-ROM ドライブが E:の場合、「E:\XC3100\Win_2K」と入力してください。)入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。



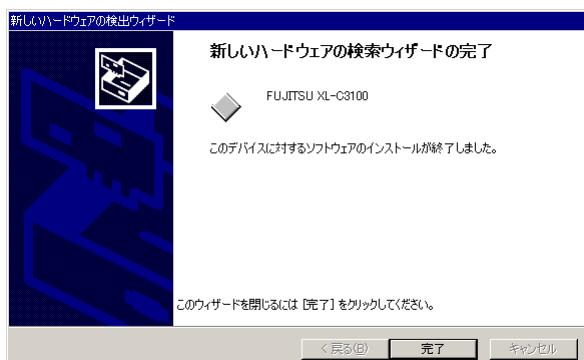
4 以降、プリンタウィザードの指示に従って設定する



- (1) ドライバが検出されたら、[次へ] ボタンをクリックします。
- (2) デジタル署名が見つかりませんでした という警告が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

- (3) プリンタドライバのファイルコピーが開始されます。

- (4) 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了 画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリックし、インストールを終了します。



▼ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用 CD-ROM を準備してください。

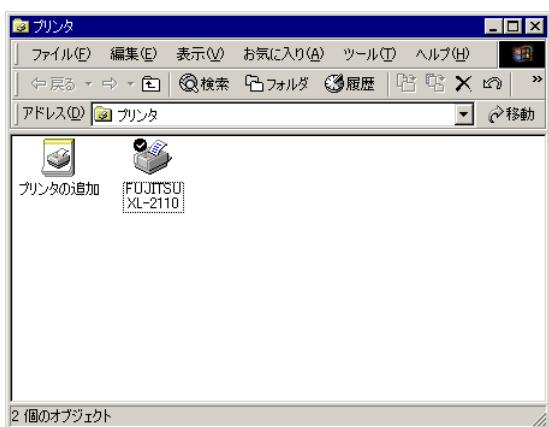


ご使用のパソコンにインストールされているWindows 2000のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM 内の「Readme2k.txt」をお読みください。
- ・ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1 Windows 2000 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする



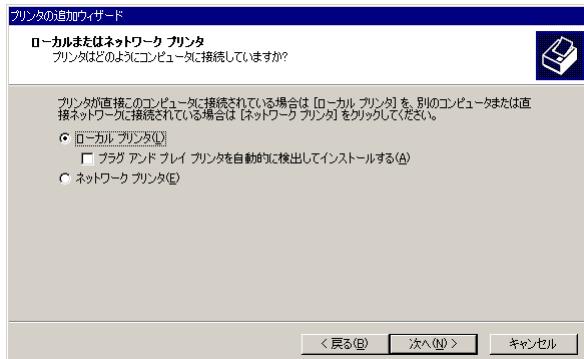
2 プリンタの追加ウィザードを起動する

- (1) [マイコンピュータ]の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックします。
- (2) [コントロールパネル]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックします。
- (3) [プリンタ]フォルダの[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。

3 プリンタドライバをインストールする

- (1) プリンタの追加ウィザードの開始で[次へ]ボタンをクリックします。





(2) <ローカルプリンタ>を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して、[次へ] ボタンをクリックします。

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、[ネットワークプリンタ] を選択します。(以降の操作が簡単になります。) パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。

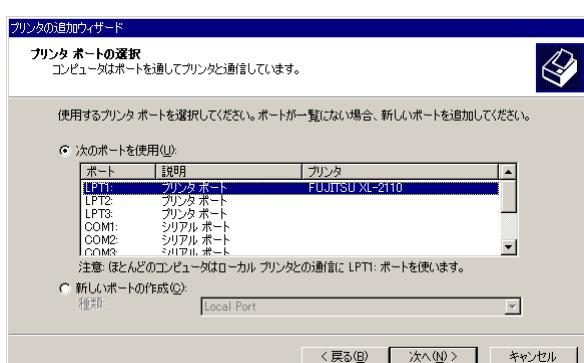


スタンドアロン (パソコンとプリンタを 1 対 1 で接続) のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。



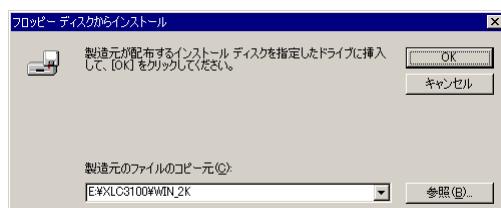
[ネットワークプリンタ] を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。



(3) 使用するプリンタポートとして「LPT1:」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



(4) [ディスク使用] ボタンをクリックします。



(5) 添付のプリンタドライバ用 CD-ROM をパソコンの

CD-ROM ドライブにセットします。

(6) 製造元のファイルのコ

ピー元に CD-ROM ド
ライバ名と Windows
2000 用ドライバのフォ
ルダ名を入力します。

(CD-ROM ドライブが E:
の場合、「E:\XLC3100
¥Win_2K」と入力してく
ださい。)

入力が終わったら [OK]
ボタンをクリックします。

(7) FUJITSU XL-C3100 を

確認して、[次へ] ボタン
をクリックします。

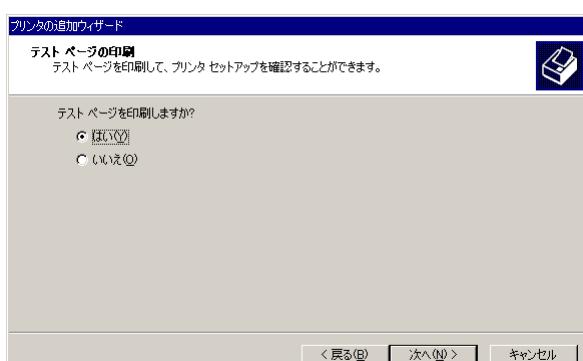




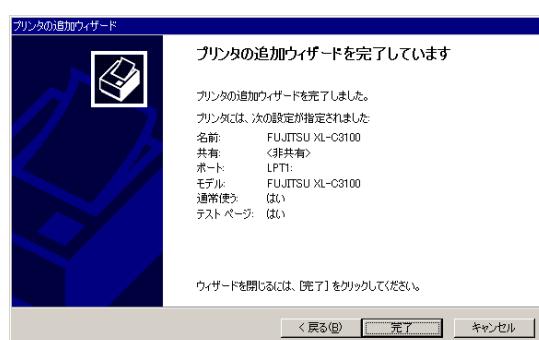
(8) <プリンタ名>にプリンタの名前を指定し、通常使うプリンタにする場合は、[はい]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
注) 他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常使うプリンタに設定されます。



(9) [プリンタの共有]を行うかどうかを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



(10) テストページを印刷するかしないかを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



(11) プリンタの追加ウィザードを完了していますと表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



(12) デジタル署名が見つかりませんでした という警告メッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

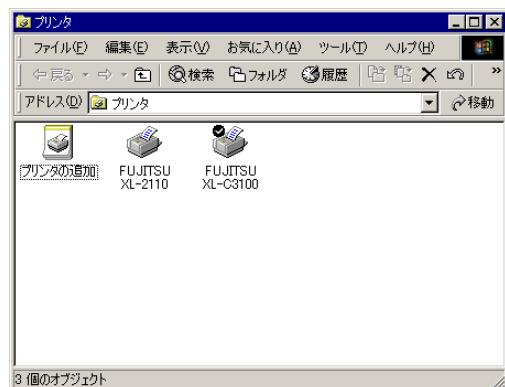


(13) プリンタドライバのインストールが開始されます。



(14) テストページが正しく印刷されたら [OK] ボタンをクリックし、インストールを完了します。

注) 10 項でテストページを印刷しないとした場合、本画面は表示されません。



(15) インストールが完了すると [プリンタ] フォルダにプリンタ名が表示され、プリンタの使用が可能となります。

▼ 新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

● **ガイド** プリンタドライバを置き換えると、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックし、[コントロールパネル] フォルダを開く
- 2 [コントロールパネル] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックし、[プリンタ] フォルダを開く
- 3 該当するプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [削除] をクリックする



- 4 [はい] ボタンをクリックする



- 5 [プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] をクリックし、[ドライバ] タブで該当するプリンタを選択し、[削除] ボタンをクリックする

- 6 Windows 2000 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000 を再起動します。

7 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(147ページ)の手順でインストールする



インストールの途中で、現在のドライバを使うか新しいドライバに置き換えるかを選択する画面が表示されるので、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

8 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 2000を再起動する



▼ プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定は、〔印刷〕、〔印刷設定〕、〔プリンタのプロパティ〕のダイアログボックスで行います。

〔印刷〕、〔印刷設定〕の設定項目は、Windows NT4.0のドキュメントのプロパティダイアログボックス(136ページ)と同じですので、そちらを参照してください。

〔プリンタのプロパティ〕の設定項目は、以下の通りです。

▶ 〔プリンタのプロパティ〕ダイアログボックス

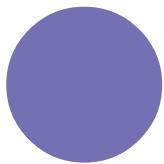
設定項目	設定内容	説明
全般	プリンタ名	プリンタ名を表示／変更する
	場所	プリンタの設置場所を入力する
	コメント	プリンタに関する情報を入力する
	印刷設定	ドキュメントのプロパティの表示／変更を行う
	テストページの印刷	テストページを印刷する
共有	共有しない	プリンタを共有しない
	共有する 共有名	プリンタを共有するときの名前を指定する
	追加ドライバ	異なるOSで使用するドライバをインストールする
ポート	印刷するポート	プリンタの接続されているポートを表示する
	ポートの追加	ポートを追加する
	ポートの削除	ポートを削除する
	ポートの構成	ポートの設定を変更する
	双向サポートを有効にする	プリンタの設定や状態に関する情報が取得される
	プリンタプールを有効にする	プリンタプールを利用できるようにする

設定項目	設定内容	説明	
詳細設定	常に利用可能	プリンタを常に利用できるようにする	
	開始／終了	プリンタを特定の時間だけ利用できるようする	
優先順位	1 ~ 99	ドキュメントの既定の優先度を指定する	
ドライバ		使用しているプリンタドライバを表示する	
新しいドライバ		プリンタドライバを追加または更新する	
印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う	全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る	ドキュメントの最終ページがスプールされるまで待ってから印刷を開始する	
プリンタに直接印刷データを送る	すぐに印刷データをプリンタに送る	ドキュメントの先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始する	
一致しないドキュメントを保留する		ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る	
スプールされたドキュメントを最初に印刷する		設定がプリンタと一致しないドキュメントを保留する	
印刷後ドキュメントを残す		スプールが完了したドキュメントから印刷を開始する	
詳細な印刷機能を有効にする		印刷が終了したあともスプールを削除しない	
標準の設定		印刷の詳細機能を有効にするかどうかを指定する	
プリントプロセッサ		プリンタの既定のドキュメントプロパティを表示／変更する	
区切りページ		プリントプロセッサとスプールデータの種類を指定する	
色の管理	カラープロファイルの関連付け	自動／手動	プリンタとカラープロファイルの関連付けの方法を指定する
	カラープロファイルの一覧表示		関連付けられるカラープロファイルの一覧を表示する
追加		カラープロファイルを追加する	
削除		選択したカラープロファイルを削除する	
既定値に設定		選択したカラープロファイルを既定値に戻す	

設定項目	設定内容	説明	
セキュリティ	名前	アクセス許可を割り当てたユーザとグループの一覧を表示する	
	追加	アクセス許可を割り当てるユーザとグループを追加する	
	削除	アクセス許可を割り当てるユーザまたはグループを削除する	
	アクセス許可	ユーザまたはグループごとにアクセス許可または拒否を設定する	
	詳細	特殊なアクセス許可、監査情報、所有者情報を表示、あるいは設定する	
初期設定	バナーシート	なし 文書の前 文書の後	バナーシートを印刷しない バナーシートを文書の前に印刷する バナーシートを文書の後に印刷する
	スマージング	しない する	文字や図形の輪郭部が滑らかになるように画像処理を行わない 文字や図形の輪郭部が滑らかになるように画像処理を行う
	タイムアウト	しない / 15秒 / 30秒 / ... 300秒	プリンタが印刷データの受信を開始後、設定時間内にデータ受信が行われなかった場合に、印刷を強制的に終了する
	画像を圧縮して転送	しない 高品質 高圧縮	圧縮しないで印刷する 画質が落ちない程度に圧縮して印刷する 印刷速度を優先し、圧縮率を上げて印刷する（画質が劣化する場合もある）
	白紙節約	しない する	白紙のページも印刷する 白紙のページを印刷しない
	フォント置き換え	TrueType フォントをプリンタフォント	
	テーブルの編集	に置き換える場合の設定を行う	
	ユーザー定義用紙	不定形サイズの用紙設定を行う	
	標準に戻す	設定内容を初期値に戻す	
プリンタ構成	両面ユニット	オプション品の両面ユニットを取り付けた場合にチェックボックスをオンにする	
	メモリ増設	オプション品の増設メモリを取り付けた場合にチェックボックスをオンにする	
	拡張給紙ユニット（2段）	オプション品の拡張給紙ユニット（2段）を取り付けた場合にチェックボックスをオンにする	
	標準に戻す	設定内容を初期値に戻す	

第6章

日常のメンテナンス



この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

電源の投入と切断	158
用紙のセット	160
用紙トレイに用紙をセットする	160
手差しトレイに用紙をセットする	163
手差しトレイにOHP フィルムをセットする ..	166
手差しトレイにはがきをセットする	167
手差しトレイの用紙の置き方	168
サプライ品の紹介	169
トナーカートリッジの交換	171
トナーカートリッジの取り扱い上の注意	171
トナーカートリッジを交換する	172
ドラムカートリッジの交換	176
ドラムカートリッジの取り扱い上の注意	176
ドラムカートリッジを交換する	178
廃トナーボックスを交換する	182
プリンタの清掃	185
給紙ローラの清掃	186
プリンタを長時間使用しないとき	187
プリンタを移動するとき	188
近くに移動する	189
輸送する	189

電源の投入と切斷

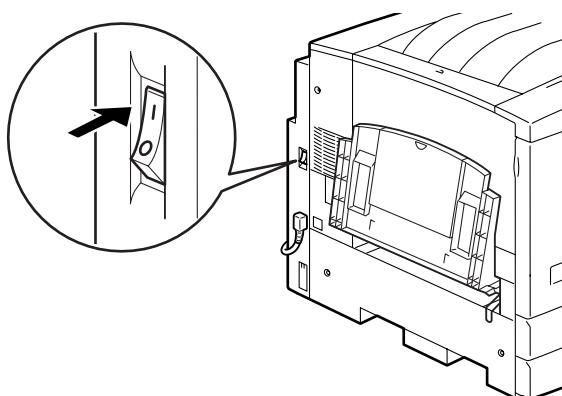
プリンタを始動するときは、電源スイッチを入れます。電源スイッチを入れてから、約5分後に印刷ができる状態になります。

1日の終わりや長期間プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。



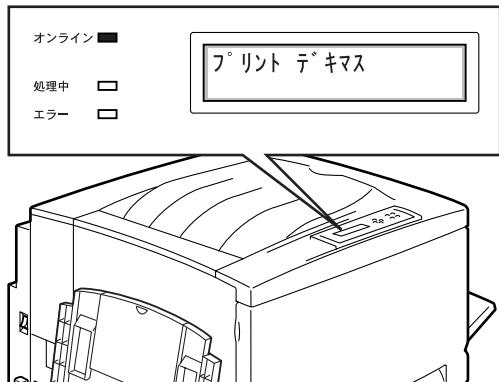
- ・電源を切ると、プリンタのメモリに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。
- ・節電モードの時間が設定されている場合、電源が入っている状態で一定時間使用しないと、自動的に節電モードに切り替わります。

■ 電源を入れる



電源を入れるときは、電源スイッチを「1」側に倒します。

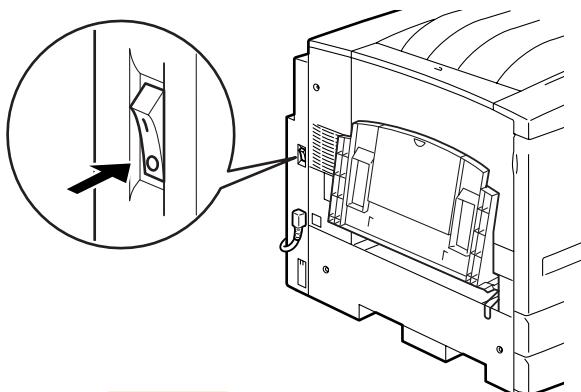
オペレータパネルの液晶ディスプレイと3つのランプが点灯して消灯します。液晶ディスプレイに「シンダンシティマス」と表示されます。[オンライン]ランプが点灯し、液晶ディスプレイの表示が「オマチクダサイ」から「プリント デキマス」に変わります。



● **ガイド**

電源を入れても、液晶ディスプレイや「オンライン」ランプが点灯しないときは、「故障かなと思ったとき」(251ページ)をお読みください。

■ 電源を切る



液晶ディスプレイに「プリント テキマス」が表示されていることを確認します。電源スイッチを「」側に倒します。

電源が切断され、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

► **お願い**

以下の場合は電源を切らないでください。

- ・データ受信中
- ・印刷中
- ・エラー発生中

用紙のセット

用紙トレイおよび手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

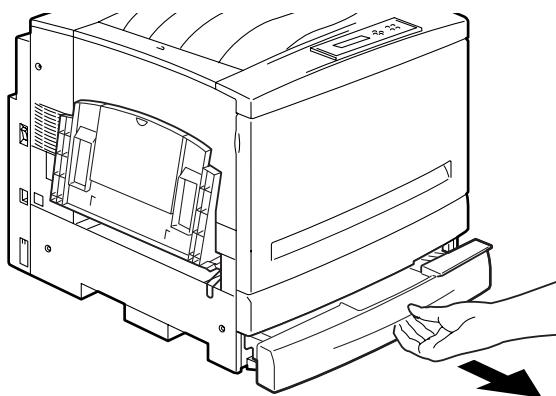
用紙トレイおよび手差しトレイにセットできる用紙については「第2章 用紙について」(13ページ)を参照してください。

用紙トレイに用紙をセットする

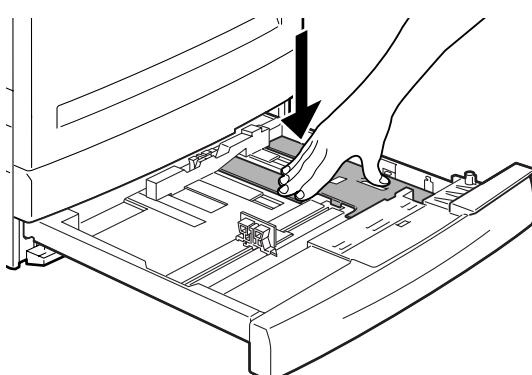
次の手順に従って、用紙トレイに用紙をセットします。



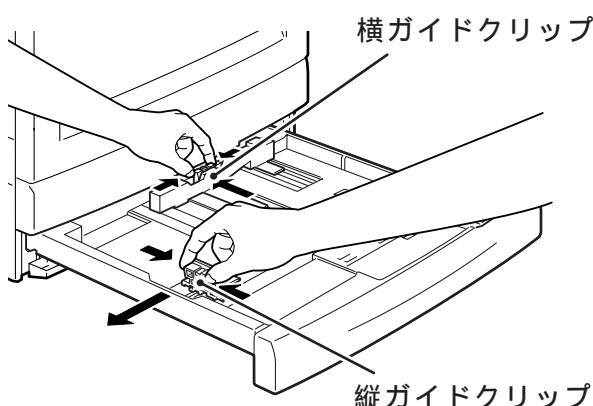
異なる複数のサイズの用紙を、同時に1つの用紙トレイにセットすることはできません。



1 用紙トレイを引き出す
用紙トレイの取っ手に手をかけ、手前に止まるまで引き出します。

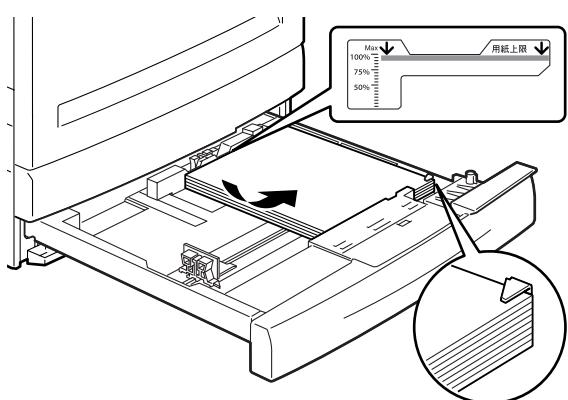


2 底板を下げるロックする
用紙トレイの金属の底板を手で下げる、上に浮き上がらないようにロックします。



3 縦、横のガイドクリップを外側にずらす

縦、横のガイドクリップを指でつまみ、ガイドを外側にずらします。とくに縦ガイドは、左側いっぱいまでずらしてください。



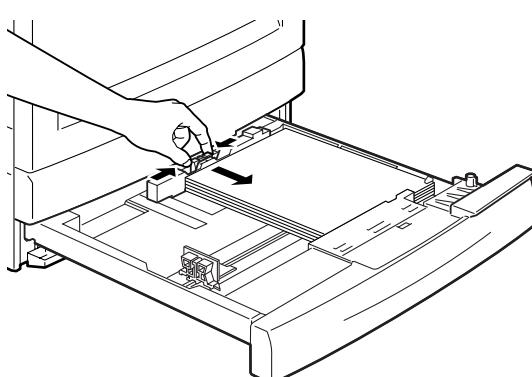
4 用紙をセットする

用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を下にして、右手前側にあるツメの下に差し込むようにセットします。

また、用紙トレイに記された目盛りで、セットできる用紙の上限と現在セットされている用紙の量を確認できます。

▶お願い

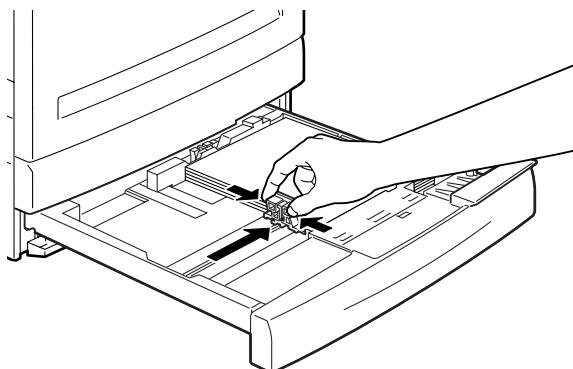
- ・折り目やシワの入った用紙、反り方の大きい（カールした）用紙は使用しないでください。
- ・最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。
- ・用紙はツメの上に乗らないようにしてください。



5 横ガイドを紙の幅に合わせる

▶お願い

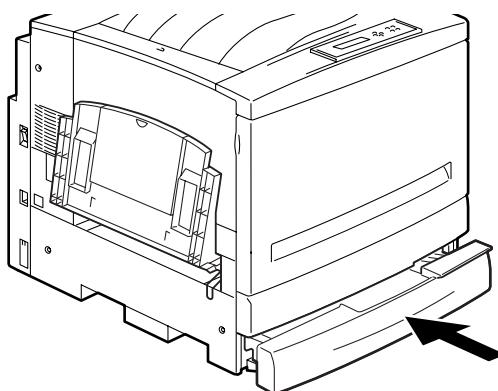
ガイドクリップを用紙に強く押し付けすぎると、紙づまりの原因となります。反対にゆるすぎると、紙のねじれの原因となります。



6 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドのマークを用紙サイズ目盛りに合わせる

▶ お願い

- ・ガイドクリップのストッパーが目盛りの溝にぴったりはまっていることを確認してください。
- ・ガイドクリップを微妙に動かすと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドクリップを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。



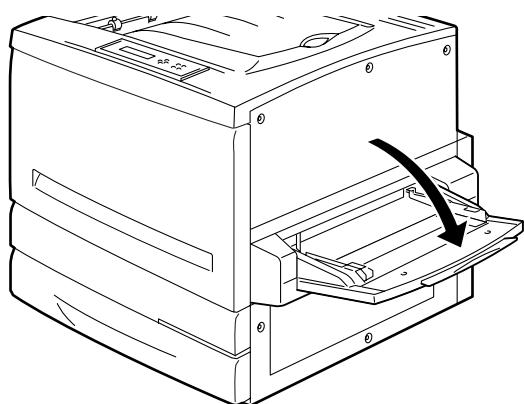
7 用紙トレイを、プリンタの奥までしっかりと押し込む

▼ 手差しトレイに用紙をセットする

次の手順に従って、手差しトレイに用紙をセットします。

► お願い

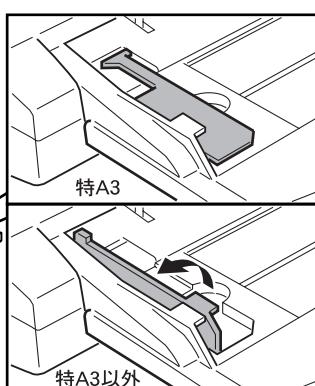
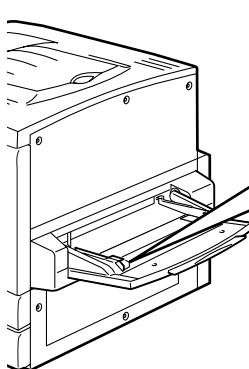
異なる複数サイズの用紙を同時にセットしないでください。また、手差しトレイに用紙が残っている状態で新しい用紙を追加しないでください。紙づまりなどの原因となることがあります。



1 手差しトレイを開ける
手差しトレイが折りたたまれている場合は、手差しトレイを開きます。

► お願い

破損の原因となるので、手差しトレイには必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものを載せないでください。

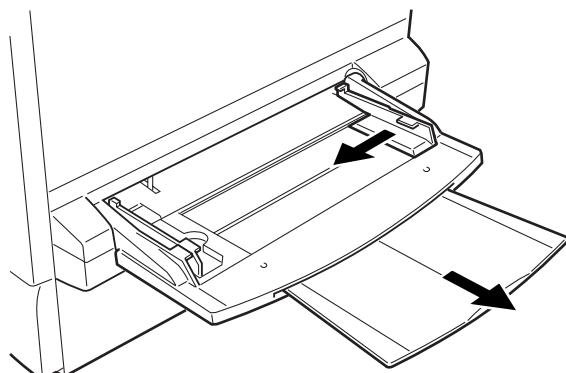


2 特A3用ガイドを確認する

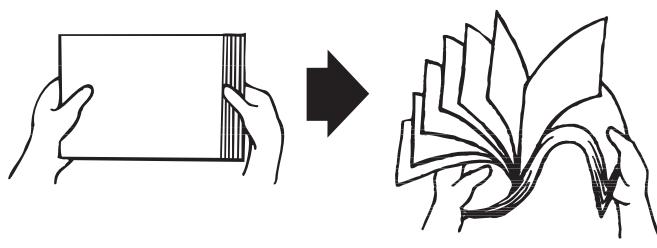
A3サイズ以下、または用紙幅が304.8mm(12inch)以下の用紙をセットする場合は、特A3用ガイドを起こします。特A3サイズ、または用紙幅が304.8mm(12inch)より大きい用紙をセットする場合は倒します。

● ガイド

A3サイズ以下、または用紙幅が304.8mm(12inch)以下の用紙に印刷するときに、特A3用ガイドを倒して用紙をセットすると、印字位置がずれて正しい印刷ができません。



3 用紙ガイドを使用する用紙サイズの目盛りに合わせる



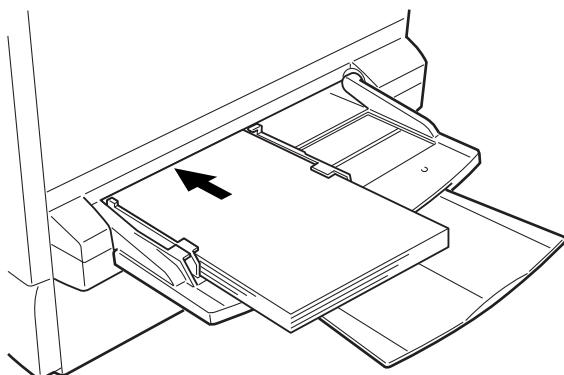
4 特殊紙を使うときは、紙をさばく

OHP用紙、ラベル紙などの特殊紙を使うときは、用紙の間に空気を入れるように、よく紙をさばいてください。

● **ガイド** 用紙の間に空気を入れることにより、複数枚の紙送り(重送)や紙づまりを防ぐことができます。

► お願い

普通紙はさばかずにそのままセットしてください。



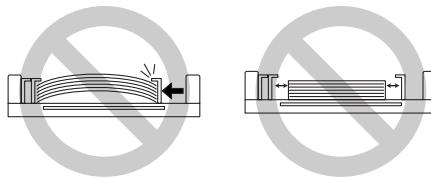
5 用紙を入れる

用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、奥の壁に軽く当たるまで確実に入れます。

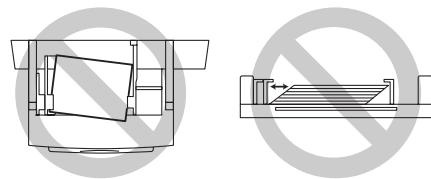
▶ お願い

- ・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。
- ・最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。用紙トレイに記された目盛りで、セットできる用紙の上限と現在セットされている用紙の量を確認できます。
- ・A3 サイズなど大きな用紙をセットするときは、延長トレイを引き出して使用してください。延長トレイを使用しないと、用紙が落下したり、紙送りができなくなる場合があります。

用紙をセットするときは、用紙ガイドと用紙の間に隙間があいたり、ガイドを強く押しすぎて用紙がゆがんだりしないように注意してください。



また、用紙が斜めにならないようにセットしてください。



▶ お願い

- 用紙は正しくセットしてください。正しくセットされていないと、印字位置がずれて正しい印刷ができません。

▼ 手差しトレイにOHP フィルムをセットする

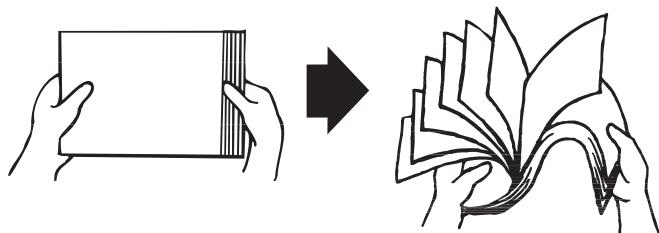
OHP フィルムは、手差しトレイから給紙して印刷できます。



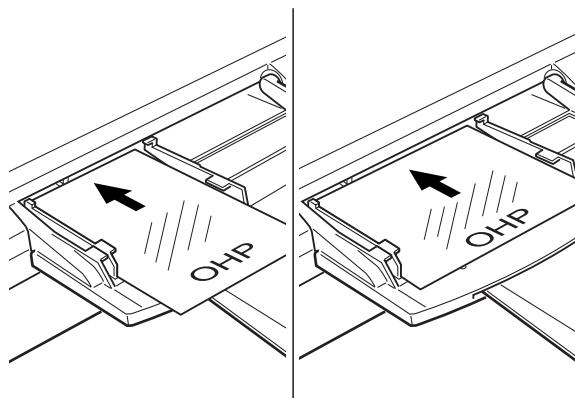
カラーページプリンタXL-C3000に対応していたカラーページプリンタ用OHPフィルムは、本プリンタではご使用になれません。



排出されたOHP フィルムが排出トレイに多数重なると、静電気が発生し、紙づまりになることがあります。排出されたOHP フィルムはその都度、取り除くようにしてください。



1 少量ずつよくさばく



2 OHP フィルムを入れる
OHP フィルムを、奥の壁に軽く
あたるまで確実に入れます。



専用OHP フィルム以外のOHP フィルムは、紙づまりや定着部の故障の原因となりますので、使用しないでください。

▼ 手差しトレイにはがきをセットする

官製はがきは、手差しトレイから給紙して印刷できます。

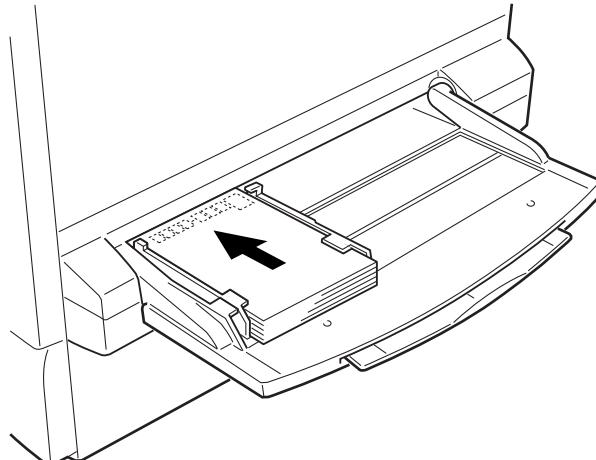
► お願い

すでにおもて面に印刷されているはがきのうら面に印刷するとき、少しでも、はがきが反っていると用紙詰まりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、セットしてください。

なお、かもメールなど多色刷りのはがきへの印刷はお勧めできません。

● ガイド

- ・官製はがきで宛名印刷をする場合、宛名面を上にします。
- ・はがきによっては、裏面に「バリ」が大きいものがあります。はがきを水平などごとに置いて、定規などで「バリ」を取り除いてください。また、紙粉をよく払ってから給紙してください。

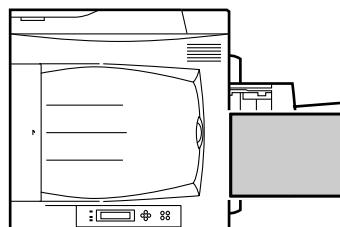


▼ 手差しトレイの用紙の置き方

手差しトレイの用紙の置き方には、「よこ置き」「たて置き」があります。プリンタドライバで用紙トレイを手差しに設定した場合、「よこ置き」「たて置き」を選択します。手差しトレイに用紙をセットする場合は、プリンタドライバの設定に従って用紙を置いてください。

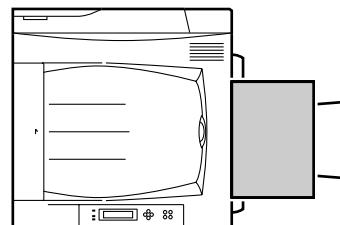
▷ よこ置き

設定した用紙を、横向き(正面から見たときに用紙が横長)に置きます。



▷ たて置き

設定した用紙を、縦向き(正面から見たときに用紙が縦長)に置きます。



- ・手差しトレイに、縦、横のどちらの向きにもセットできる用紙のサイズは、次のとおりです。
A4、A5、B5、8.5 × 11" (レター) カスタム(短辺・長辺のサイズがともに 144.8 ~ 330.2mm 以内のもの)
- ・横置きでしかセットできない用紙のサイズは、次のとおりです。
A3、B4、はがき、8.5 × 14" (リーガル)
11 × 17" (レジマー) 328 × 453mm (特 A3)
カスタム(短辺: 90 ~ 144.7mm、長辺: 330.3 ~ 457.2mm で指定したもの)

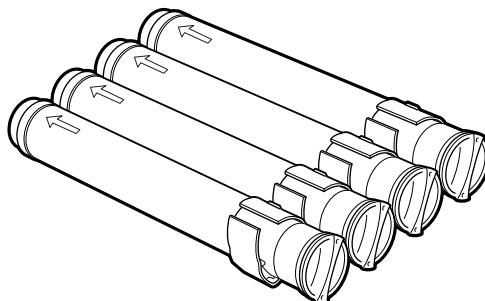
サプライ品の紹介

本プリンタには、次のようなサプライ品が用意されています。これらの品物については本プリンタをお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご相談ください。

サプライ品の商品番号は「サプライ品」(10ページ)を参照してください。

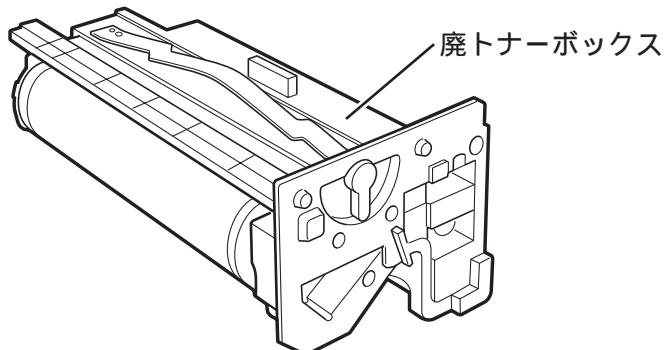
トナーカートリッジ

トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの4種類があります。トナーが残り少なくなると、印刷がかすれたり薄くなったりします。交換時期がきたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。(「トナーカートリッジの交換」171ページ参照)



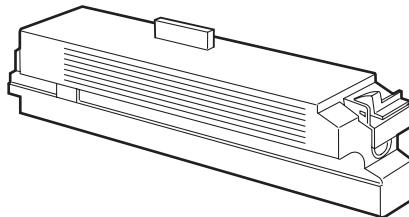
ドラムカートリッジ

ドラムカートリッジは、感光体、ドラムクリーナー、廃トナーボックスで構成されています。このうち、廃トナーボックスは単体でも取り替えることができます。ドラムカートリッジが劣化すると、黒い汚れが生じるなど、印字品質が低下します。交換時期がきたら、新しいドラムカートリッジと交換してください。(「ドラムカートリッジの交換」176ページ参照)



■ 廃トナー ボックス

廃トナー ボックスは、ドラムカートリッジに付属しているので、ドラムカートリッジ交換時には必ず新品と交換されますが、単体でも交換することができます。廃トナー ボックスがトナーでいっぱいになつたら、新しいものと交換してください。（「廃トナー ボックスを交換する」182ページ参照）



トナーカートリッジの交換

ここでは、トナーカートリッジの取り扱い方、交換手順について説明します。



トナーカートリッジの取り扱い上の注意

トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの4種類があります。

それぞれのトナーカートリッジ1本で、A4サイズの画像(印字比率5%、濃度が初期設定値)を約6,000枚(ブラックのみ5,500枚)に印刷できます。



破 裂 トナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。



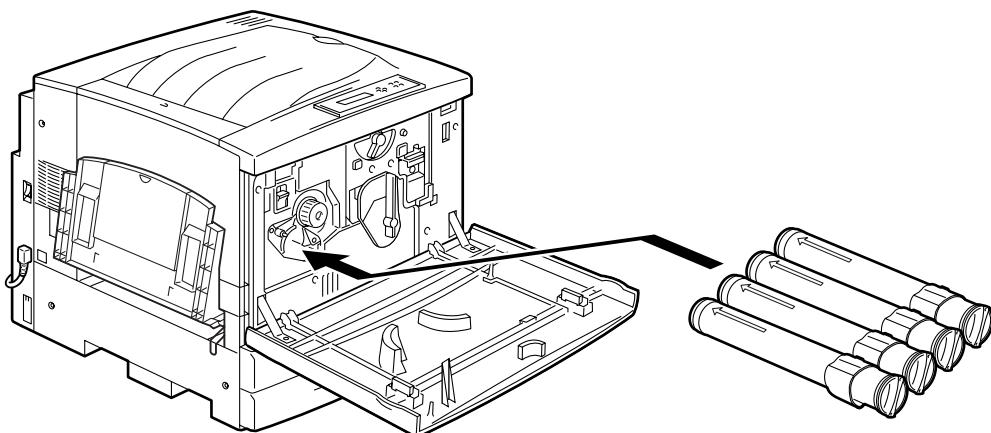
取り扱い上の注意

- 一度プリンタから取り外したトナーカートリッジは再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因となります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください(結露がなければ使用可能です)。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときには、すぐに洗い流してください。
- 指定のトナーカートリッジ以外は使用しないでください。それ以外のトナーカートリッジや詰め替えトナーを使用したことが原因で、故障や印字品質の低下を引き起こした場合は、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みのトナーカートリッジを無償で回収しております。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。(「使用済みカートリッジ(トナー、ドラム)の回収サービス」(11ページ)を参照)なお、回収サービスをご利用にならない場合は、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

■ 保管上の注意

- ・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
温度範囲 0 ~ 35 ℃、湿度範囲 15 ~ 80%RH(ただし、結露のないこと)
- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・CRT画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。

▼ トナーカートリッジを交換する



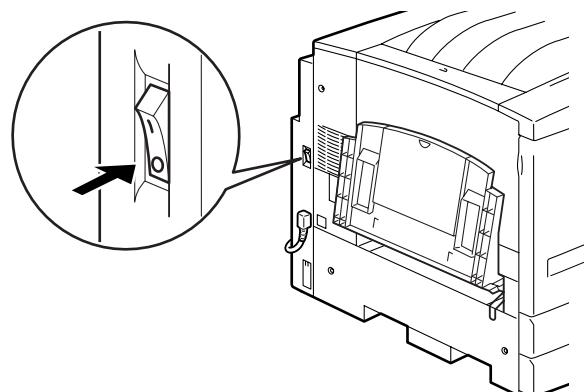
次の手順に従って、トナーカートリッジを交換します。

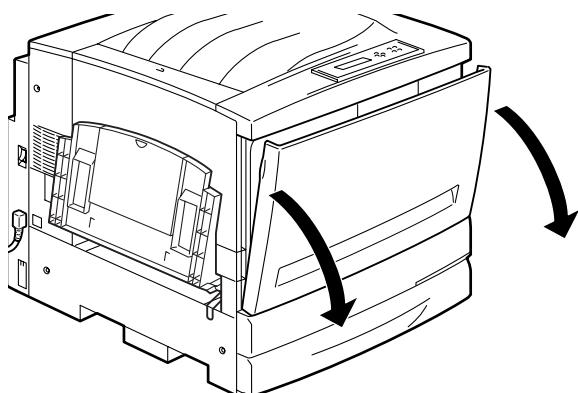
お願い

トナーカートリッジを交換するときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

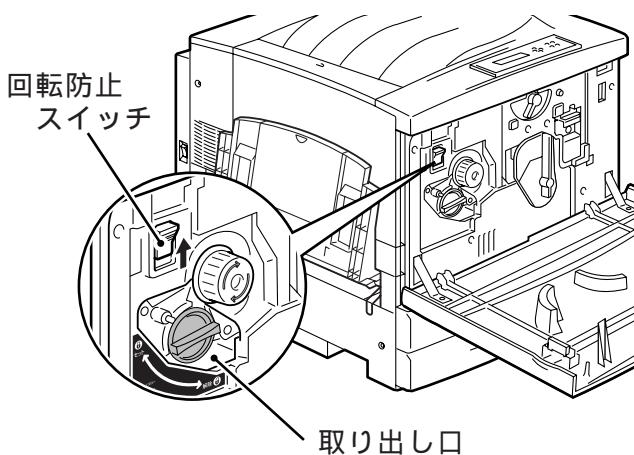
1 電源を切断する

電源スイッチを「」側に倒します。





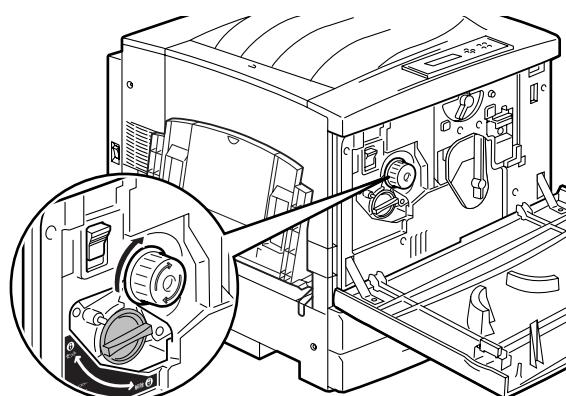
2 フロントカバーを開く



3 交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきているか確認する
交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきていなければ、回転防止スイッチを上に押し上げて、ロックを解除します。スイッチを上げたら、スイッチから指を離してください。

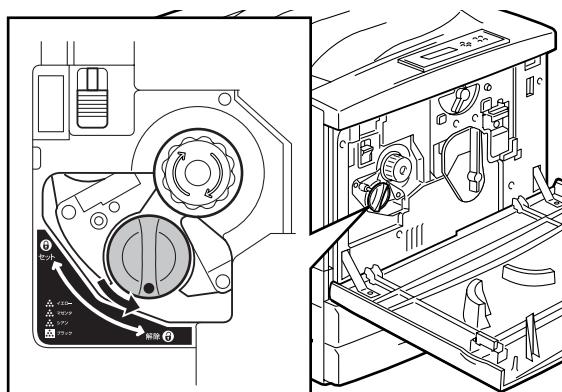
ガイド

スイッチを上に押し上げていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さず、スイッチを押し上げて回してください。

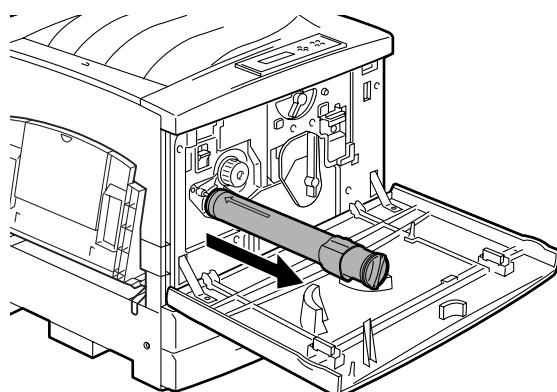


4 トナーカートリッジを移動する

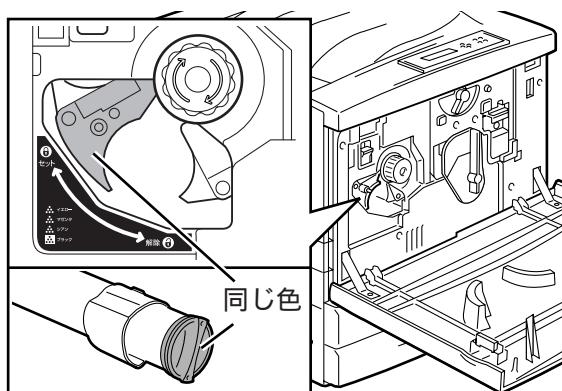
ノブを図の矢印の方向に回して、トナーカートリッジを移動させます。トナーカートリッジの装着口は図のように右に回転します。ノブは、止まるまでゆっくり回してください。
取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にくるまで、手順3～4の操作を繰り返します。



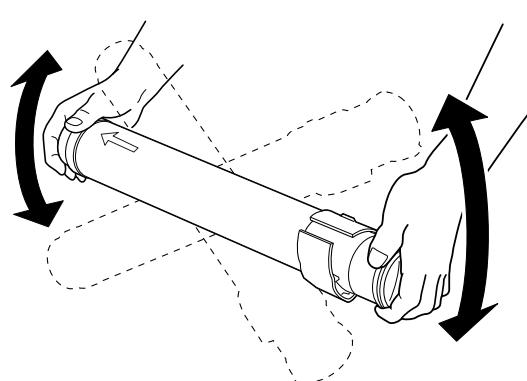
- 5 トナーカートリッジを解除位置に合わせる**
取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきたら、トナーカートリッジを図の矢印の方向に回し、カートリッジ側の「」印をプリンタ側の「解除」()に合わせます。



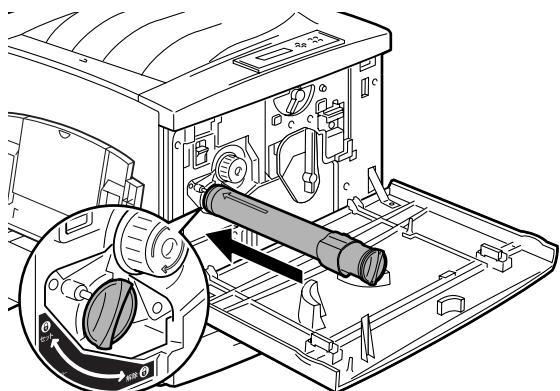
- 6 トナーカートリッジを手前に引いて、取り出す**



- 7 同色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出す**

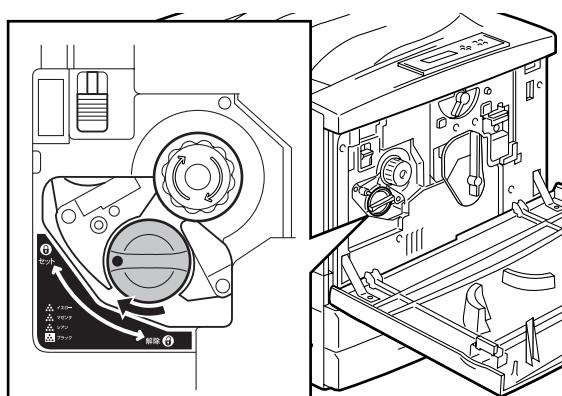


- 8 図のように7~8回振り、中のトナーを均一にする**



9 トナーカートリッジを差し込む

トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。



10 トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジを図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「」印をプリンタ側の「セット」()に合わせます。

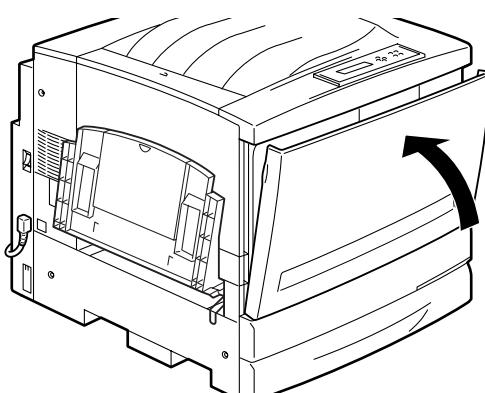
▶お願い

トナーカートリッジを最後までしっかりと回してください。
最後まで回さないとトナーがこぼれる場合があります。

11 他の色のトナーカートリッジも交換する場合は、3~10の手順を繰り返して交換する

▶お願い

- トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。
- ノブを回すときは、ゆっくり回してください。



12 フロントカバーを閉める

ドラムカートリッジの交換

ここでは、ドラムカートリッジの取り扱い方、交換手順について説明します。



ドラムカートリッジの取り扱い上の注意

ドラムカートリッジは、ドラム（感光体）、ドラムクリーナー、廃トナーボックスで構成されています。このうち廃トナーボックスは、単体でも取り替えることができます。

ドラムカートリッジ1本で、A4サイズの画像（印字比率各色5%、濃度が初期設定値）を、白黒／カラー比率1:1で約20,000枚に印刷できます。



破 裂 ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

廃トナーボックスの交換方法については、後述の「廃トナーボックスを交換する」（182ページ）を参照してください。



取り扱い上の注意

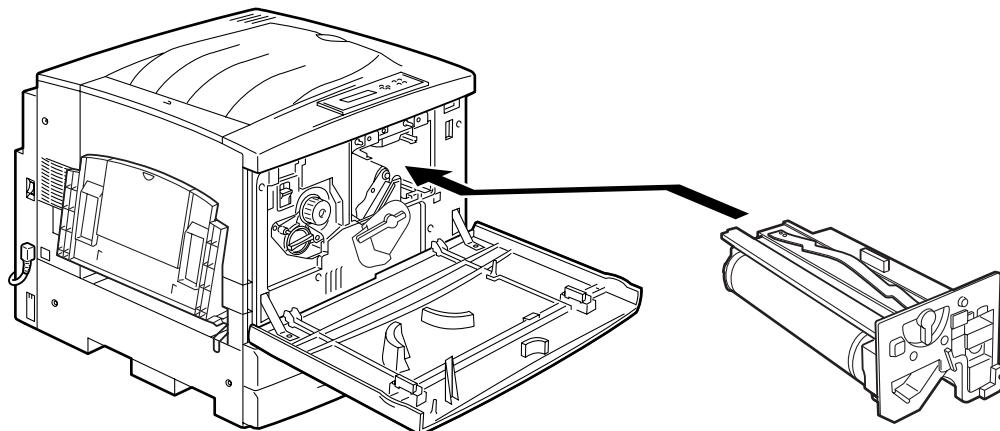
- ・ドラム表面（青色の部分）は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。
- ・ドラムカートリッジを直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。また、通常の室内の明かりの下でも5分以上は放置しないでください。印字が汚れたり、写らない箇所が発生します。
- ・ドラム面に傷がつかないように、ドラムカートリッジの交換作業は平らな机の上で行ってください。
- ・廃トナーボックスにて回収したトナーは、再利用しないでください。
- ・富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みのドラムカートリッジを無償で回収しております。お客様のご理解とご協力を願いいたします。（「使用済みカートリッジ（トナー、ドラム）の回収サービス」（11ページ）を参照）なお、回収サービスをご利用にならない場合は、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

- ・トナーがいっぱいになって取り出した廃トナーBOXは、再度ドラムカートリッジ内に戻して使用しないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- ・使用中のドラムカートリッジや廃トナーBOXを取り出して、傾けたり振ったりしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- ・指定したドラムカートリッジ以外は使用しないでください。
- ・印刷品質を維持するために、ドラムカートリッジは水平にした状態で取り扱ってください。

■ 保管上の注意

- ・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- ・直射日光を避け、以下の環境で保管してください。
温度範囲 0 ~ 35 ℃、湿度範囲 15 ~ 80%RH(ただし、結露のないこと)
- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・CRT画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・水平にした状態で保管してください。

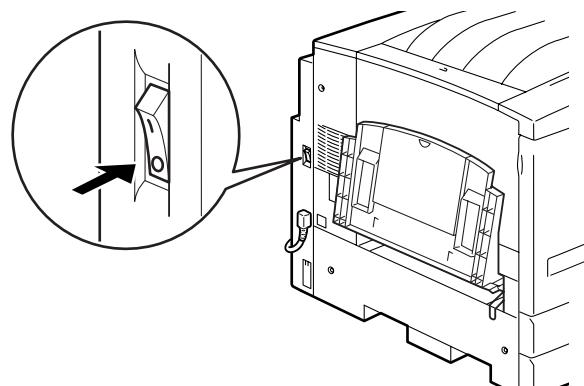
▼ ドラムカートリッジを交換する



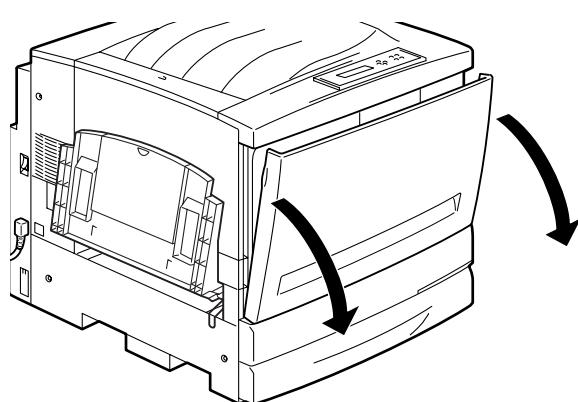
次の手順に従って、ドラムカートリッジを交換します。



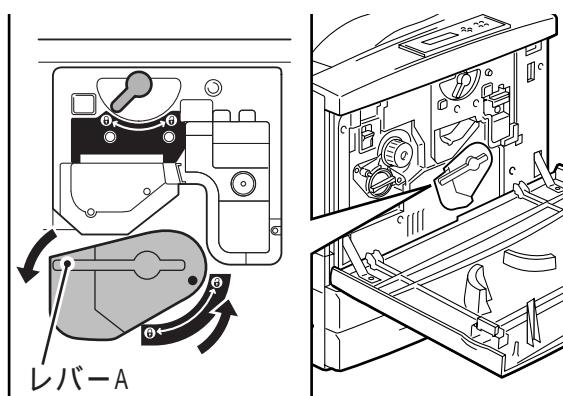
ドラムカートリッジを交換するときは、必ずプリンタの電源を切ってください。



- 1 電源を切斷する
電源スイッチを「」側に倒します。

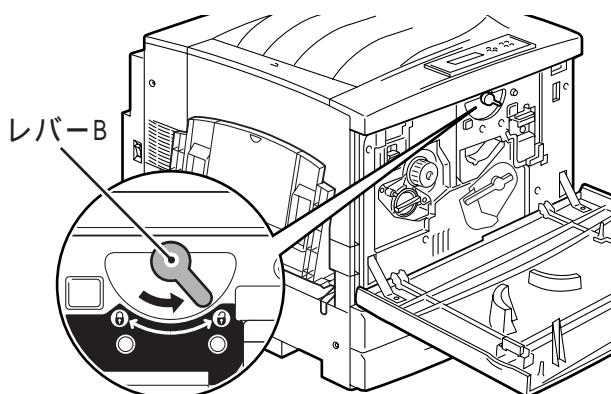


- 2 フロントカバーを開く



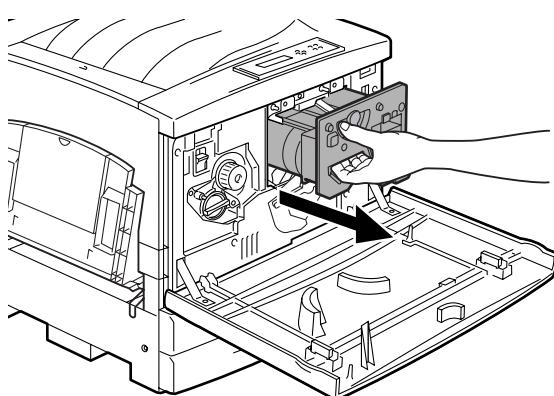
3 レバーAを解除位置に合わせる

オレンジ色のレバーAを図の矢印の方向にゆっくりと回し、「」印を解除位置()に合わせます。



4 レバーBを解除位置に合わせる

オレンジ色のレバーBを図の矢印の方向に回し、解除位置()に合わせます。

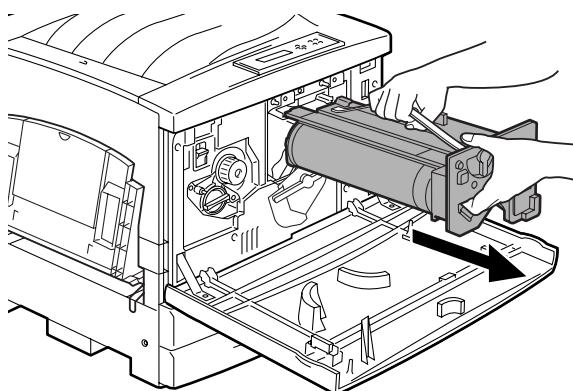


5 ドラムカートリッジを引き出す

オレンジ色の引き出し用の溝に手を入れ、ドラムカートリッジを手前にゆっくりと30cm程度引き出します。



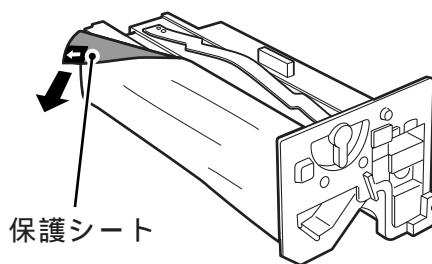
けが ドラムを引き出す際に、指がはさまれないように注意してください。けがの原因となることがあります。



6 上部の取っ手を持ち、ドラムカートリッジをプリンタからゆっくり引き出して取り出す

⚠ 注意

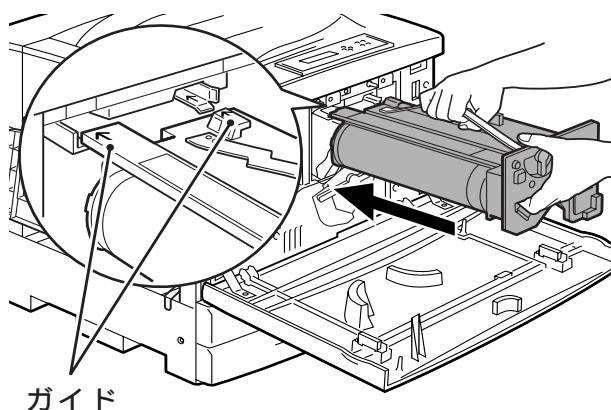
けが ドラムが落下しないように必ず上部の取っ手を持ってください。落下によりけがの原因となることがあります。



7 新しいドラムカートリッジの保護シートをはがす
新しいドラムカートリッジを梱包から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートをはがします。このとき、必ず持ったままの状態で行ってください。

▶ お願い

- ・ドラム表面（青色）は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷品質が悪くなります。
- ・保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。
- ・ドラムカートリッジを直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも5分以上は放置しないでください。

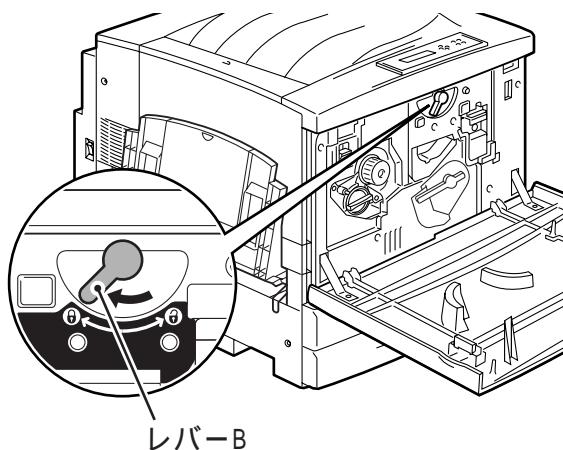


8 ドラムカートリッジを押し込む

ドラムカートリッジの取っ手を持ち、ガイドをプリンタ本体のレールに乗せて、奥まで押し込みます。

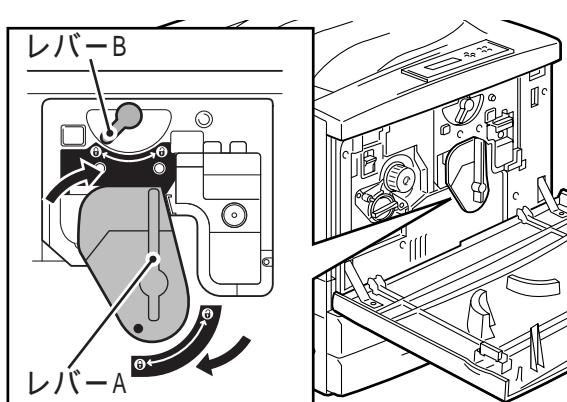
▶ お願い

- ・ドラムカートリッジのガイドをきちんとレールに乗せてください。きちんとレールに乗っていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ・ドラム表面(青色)が他の部品に接触しないように注意してください。

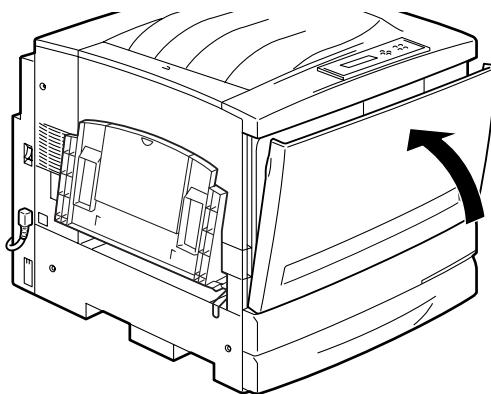


9 レバーBを図の矢印の方向に回し、セット位置(🔒)に合わせる

● **ガイド** ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。



10 レバーAを図の矢印の方向に回し、「」印をセット位置(🔒)に合わせる



11 フロントカバーを閉める

▼ 廃トナーボックスを交換する

廃トナーボックスは、ドラムカートリッジに付属しているため、ドラムカートリッジ交換時には必ず新品と交換されますが、単体でも交換することができます。廃トナーボックスがトナーでいっぱいになつたら、新しいものと交換してください。



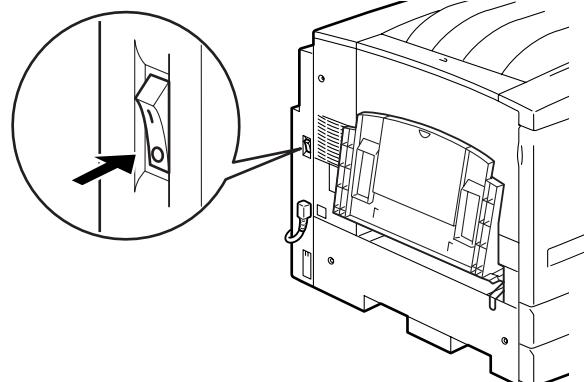
警告 破裂 廃トナーボックスを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

次の手順に従って、廃トナーボックスを交換します。

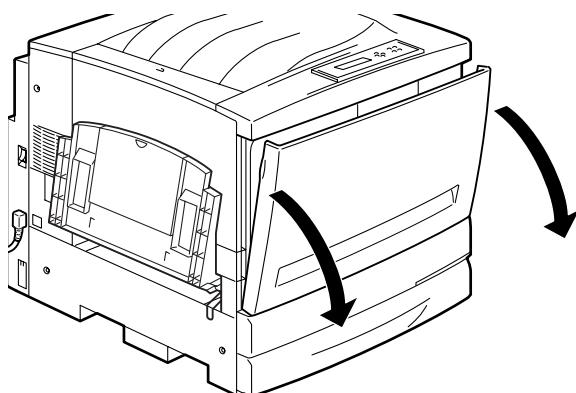


廃トナーボックスを交換するときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

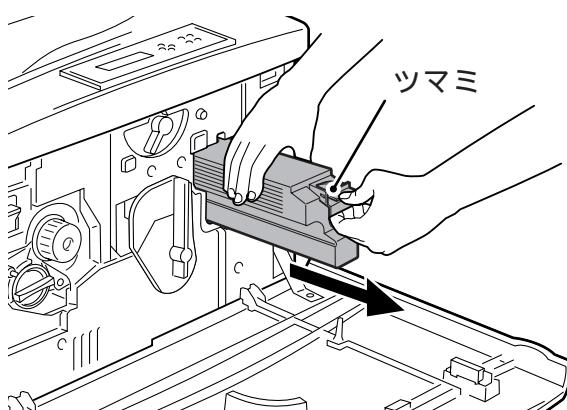


1 電源を切断する

電源スイッチを「」側に倒します。



2 フロントカバーを開く



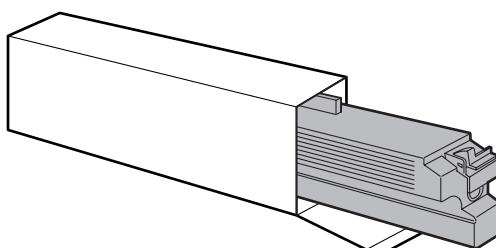
3 廃トナーBOXを取り出す

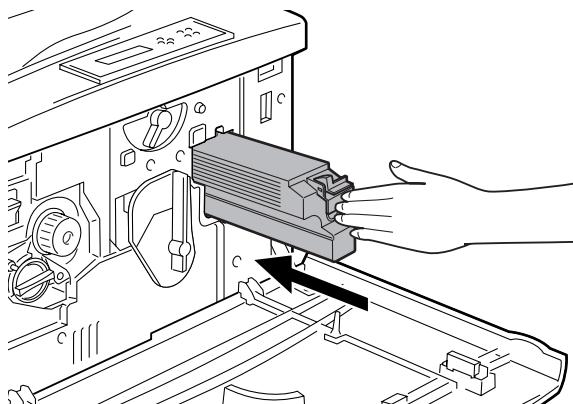
廃トナーBOXの取っ手を持ち、ツマミの部分を下に押し下げながら手前に引き、プリンタ本体から取り出します。

▶お願い

取っ手のつまみを確実に押し下げてから抜いてください。

4 新しい廃トナーBOXを梱包から出す



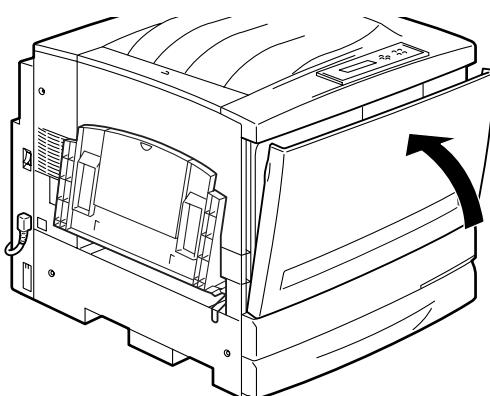


▶ お願い

取っ手のつまみを押さえずに押し込んでください。

5 廃トナーボックスを押し込む

廃トナーボックスを、「カチッ」と音がするまでプリンタの奥にしっかり押し込みます。



6 フロントカバーを閉める

● ガイド ●

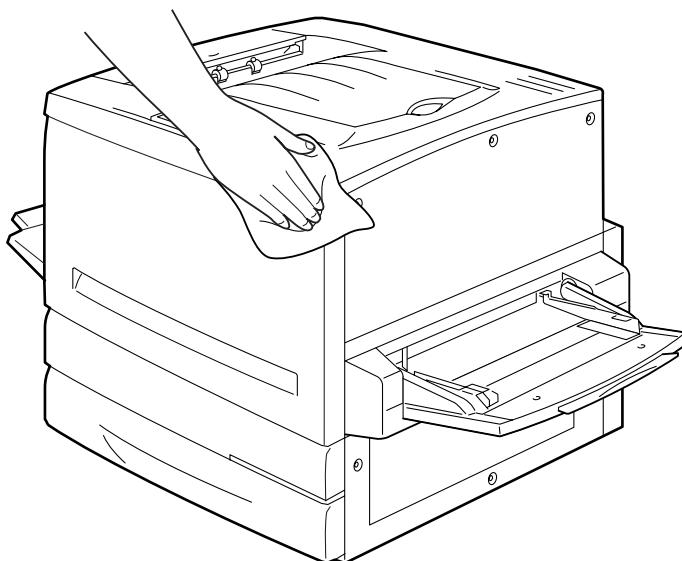
廃トナーボックスを新しいものに交換し、フロントカバーを閉めると、自動的に印刷可能状態になります。

プリンタの清掃

外部の汚れは、少し水でぬらしてよくしぼった柔らかい布でふきます。その後、柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約1か月に1回、清掃してください。

⚠ 注意

やけど プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電 電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



▶ お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

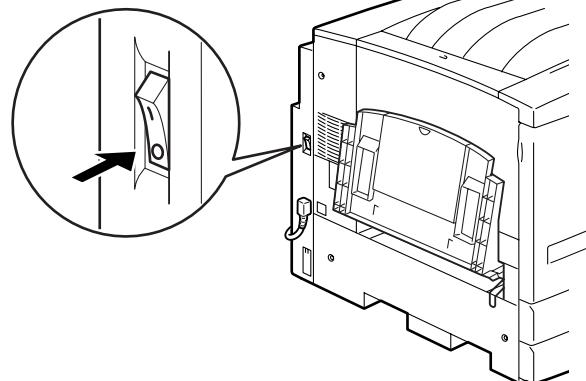
- ・洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因となることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- ・プリンタ内部の部品には、絶対に注油しないでください。本プリンタには注油の必要はありません。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形することがあります。

給紙ローラの清掃

セットした用紙に問題がないのに給紙が正常に行われない場合、手差しユニットの給紙ローラが汚れている可能性があります。この場合、次の手順で手差しユニット内部の給紙ローラを拭いてください。

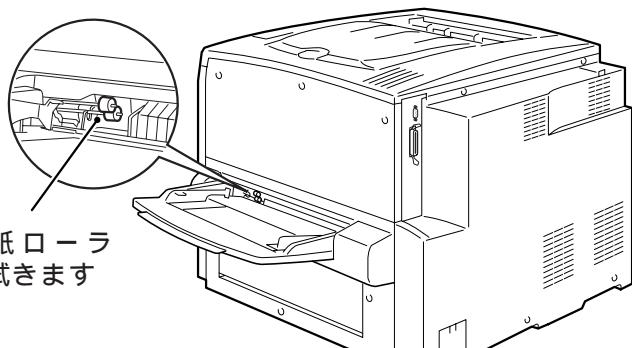
お願い

絵入りの官製はがきなどには、粉が付いていることがあります。このようなハガキを使用すると、ハガキについている粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があるため、必要に応じて給紙ローラを清掃してください。



1 プリンタの電源を切斷する

プリンタ左側面にある電源スイッチの「」側を押し、電源を切ります。



2 手差しユニットの給紙ローラの下側を、回しながら拭く

水を含ませて固く絞った布で、給紙方向に対し同じ方向に拭いてください。

手差しユニット内に水滴を落とさないように注意してください。

プリンタを長時間使用しないとき

1週間以上プリンタを使用しないときには、必ず次の作業を行ってください。



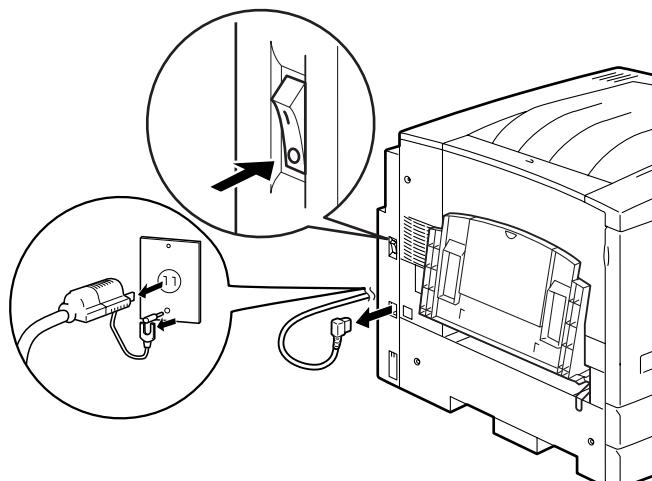
感電 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



感電 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
火災 電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

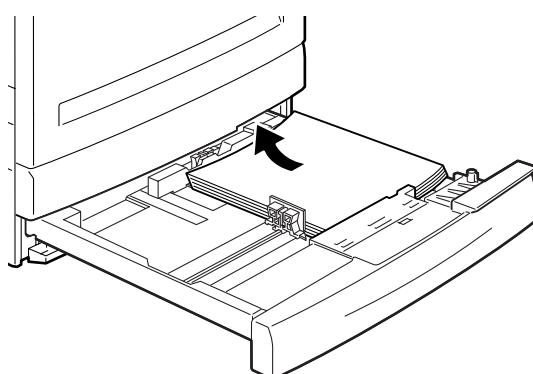


エラーメッセージが表示されているときは「〔エラー〕ランプが点灯 / 点滅したとき」(245ページ)を参照し、処置してから電源を切ってください。



1 電源を切断し、接続コードを外す

プリンタ左側面にある電源スイッチの「○」側を押し、電源を切ります。
電源コードおよびプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外します。



2 用紙を取り出す

用紙トレイから用紙を取り出し、用紙が包装されていた紙にくるみ、湿気やホコリのない場所に保管します。

プリンタを移動するとき

△注意

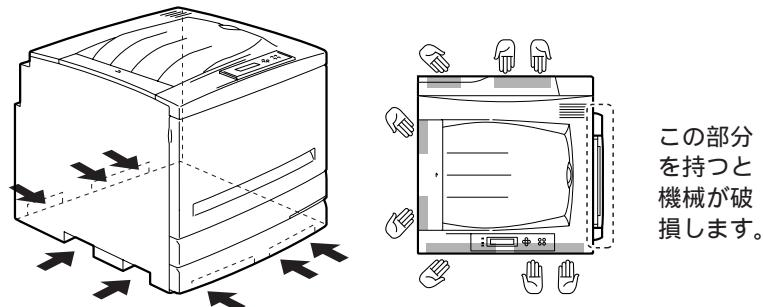
け が ・プリンタ本体は、背面側の方がフロントカバー側より重くなっています。プリンタ本体を持ち上げる際に、重さの違いに注意してください。

・プリンタ本体を持ち上げる際は必ず4人以上で作業を行ってください。

プリンタ本体の重量は、消耗品、用紙カセットがセットされている状態で約75kgです。

プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ正面/左側/背面の下部にある取っ手(くぼみの部分)に手をかけて持ち上げてください。

他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。



・プリンタ本体を持ち上げる場合、十分にひざを曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。

無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。

・プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に10°以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。

・プリンタ本体を拡張給紙ユニットやプリンタキャビネットなどに乗せる場合、必ずキャスターを固定して台が動かないようにしてから作業を行ってください。作業中に台が思わず方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。

▼ 近くに移動する

本機を設置する台を替えたり、隣の部屋に移動するなど、ごく短い距離を移動する場合は、次のようにしてください。

■ プリンタ本体のみの場合

はじめに本機の電源をオフにして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- ・電源ケーブル
- ・プリンタケーブル
- ・用紙トレイ、手差しトレイ内の用紙
- ・サイドトレイ

作業にあたっては前ページの注意事項に従ってください。

■ 拡張給紙ユニット(オプション)やプリンタキャビネット(オプション)を装着している場合

オプションの拡張給紙ユニットやプリンタキャビネットを取り付けているプリンタを異なるフロアや段差のある場所に移動する場合は、プリンタ本体から取り外して運搬してください。

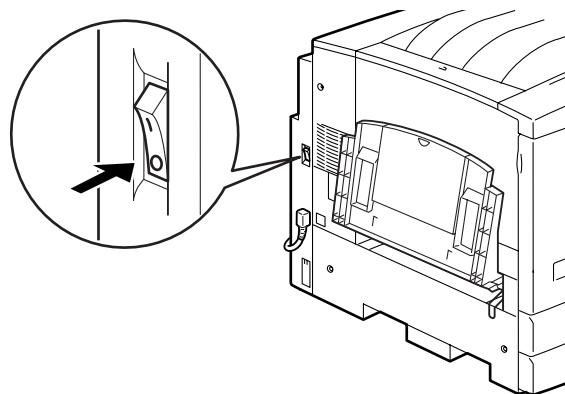
▼ 輸送する

トラックで長距離運搬するなど大きな振動を伴ったプリンタの移動の際の手順について説明します。

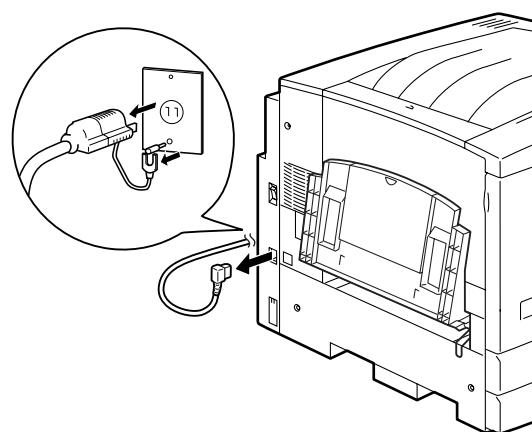
本機を輸送する場合、振動や衝撃からプリンタ本体を守るために、本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

△注意

破損 購入時にプリンタ内部に取り付けられていた保護材も必ず取り付けてください。



1 電源を切斷する
プリンタ左側面にある電源スイッチの「○」の側を押し、電源を切れます。



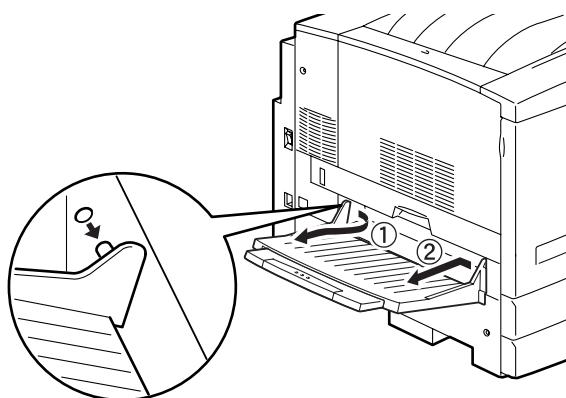
2 接続コードを外す
電源コードおよびプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外します。

⚠ 警告

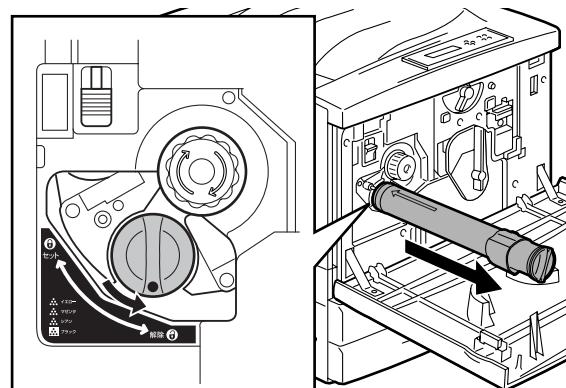
感 電 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注意

感 電 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
火 災 電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。



3 サイドトレイを取り外す
サイドトレイの左側の突起部を、プリンタから外します。（ ）
）続けて右側の突起部を外し、フェイスアップトレイをプリンタから完全に取り外します。（ ）

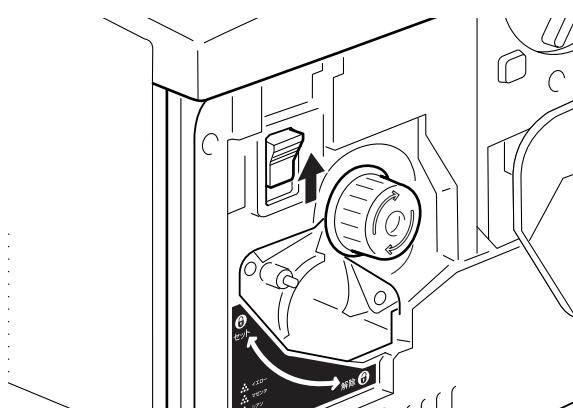


4 トナーカートリッジを取り出す

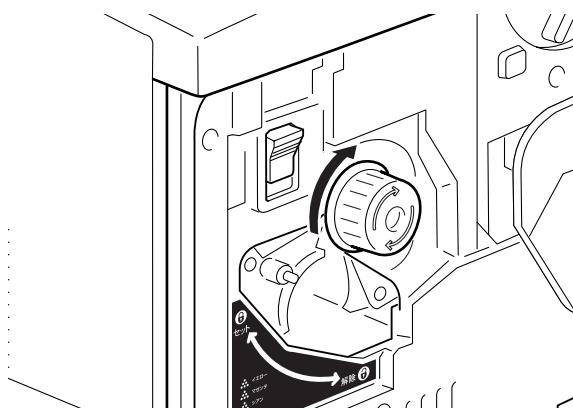
フロントカバーを開け、トナーの取り出し口にきているトナーカートリッジを「解除」（  ）の方向に回し、手前に引いて取り出します。

• **ガイド**

トナーカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。（トナーカートリッジについての詳細は、「トナーカートリッジの交換」（171ページ）を参照）



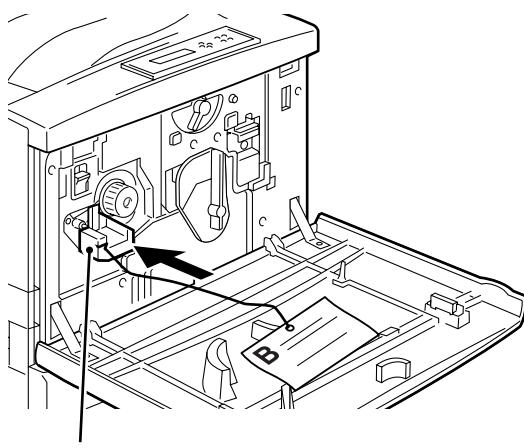
5 回転防止スイッチを上に押し上げて解除する



- 6** 次のカートリッジを取り出しが口に移動させる
止まるまでノブをゆっくり回し、次のカートリッジを取り出しが口に移動させます。その後、トナーカートリッジを取り出します。

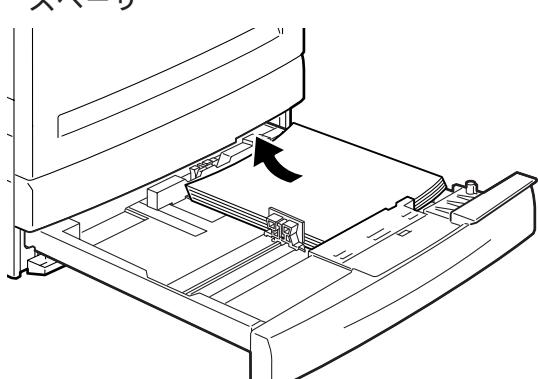
▶ お願い

一度プリンタから取り外したトナーカートリッジは再利用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因となります。

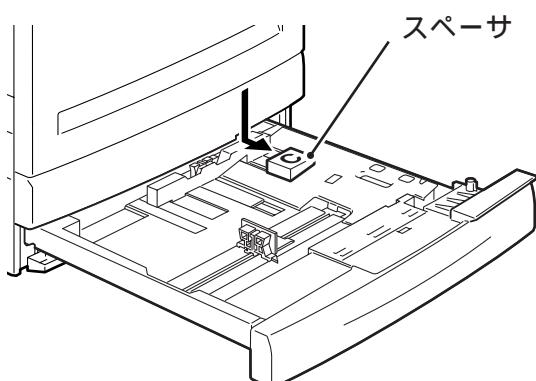


- 7** 手順5～6の操作を繰り返し、トナーカートリッジを4本とも取り外す

- 8** スペーサを取り付け、フロントカバーを閉める
回転防止用スペーサ(B)をトナーの取り出しが口に取り付け、フロントカバーを閉めます。

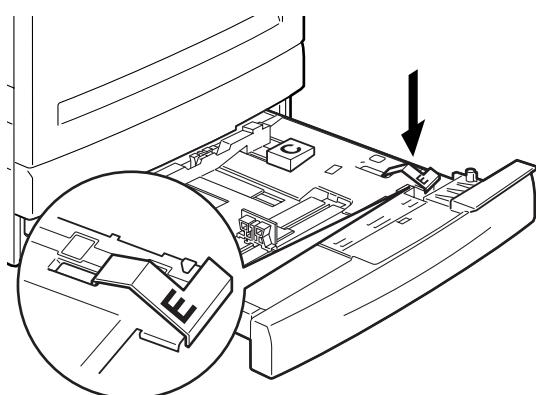


- 9** 用紙を取り出す
用紙トレイから用紙を取り出し、用紙が包装されていた紙にくるみ、湿気やホコリのない場所に保管します。

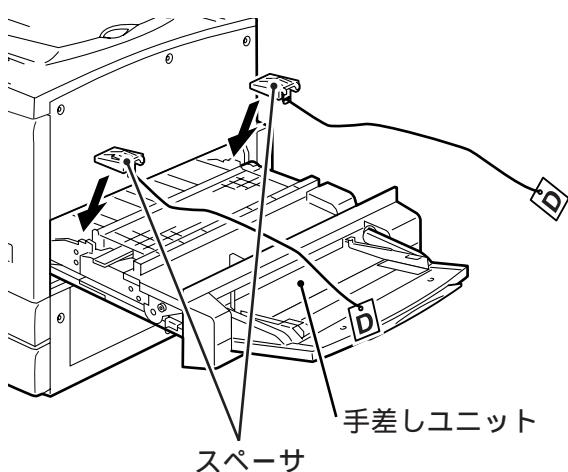


10 用紙トレイにスペーサを取り付ける

図の位置にスペーサ(C)を取り付け、横ガイドを手前にずらしてスペーサを固定します。その後、用紙トレイをプリンタの奥までしっかりと押し込みます。

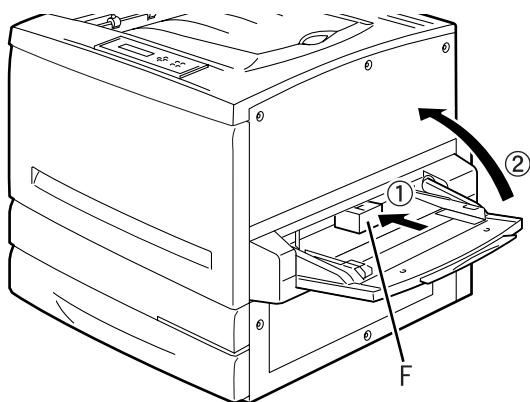


11 図の位置にスペーサ(E)を取り付ける。その後、用紙トレイをプリンタの奥までしっかりと押し込む



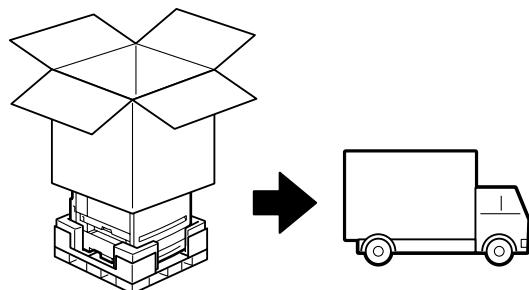
12 手差しユニットにスペーサを取り付ける

手差しユニットを止まるまで引き出し、図の位置にスペーサ(D)を取り付けます。その後、手差しユニットをプリンタの奥までしっかりと押し込みます。



13 手差しトレイにスペーサを取り付ける

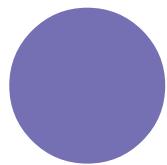
図の位置にスペーサ(F)を取り付け(①)、手差しトレイを折りたたみます。(②)



14 プリンタを傷つかないように梱包し、運搬する

第7章

オペレータパネルの操作



この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

液晶ディスプレイの表示内容	196
オペレータパネルを操作する	197
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	197
印刷を中止する	198
未印刷データを強制的に印刷する	199

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、障害が発生したときの内容などを表示するものです。1行16文字で2段に表示されます。

障害が発生すると全行でエラーメッセージを表示します。「〔エラー〕ランプが点灯／点滅したとき」(245ページ)を参照してください。

状態表示

プリンタの状態を示します。

オマチクタ^フ サイ
フ^レ リント シティマス
フ^レ リント テ^キマス

・
・
・
・

フ^レ リント シティマス

ハ^レ ラレル

トレイ1

入力ポート

データ受信の入力ポートを表示します。

パラレル

トレイ

印刷する用紙のトレイを表示します。

トレイ1：用紙トレイ1
トレイ2：用紙トレイ2
トレイ3：用紙トレイ3
テザシ：手差しトレイ

オペレータパネルを操作する

プリンタから印刷する際には、印刷を中止したり、未印刷データを強制的に印刷したりするためにオペレータパネルを操作します。

▼ オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、オペレータパネルの〔オンライン〕スイッチによって切り替えます。

■ オンライン状態

プリント テキマス

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいえます。

通常、電源を投入するとオンライン状態になり、〔オンライン〕ランプが点灯します。〔オンライン〕ランプが消灯しているとき（オフライン状態）に〔オンライン〕スイッチを押すと、オンライン状態になります。

■ オフライン状態

オフラインチュウテス

パソコンからのデータを受信できない状態をいいえます。

オンライン状態のときに〔オンライン〕スイッチを押すと、オフライン状態になります。印刷中に押すと、液晶ディスプレイに『オマチクタサイ』と表示され、印刷後オフライン状態に切り替わります。

▼ 印刷を中止する

プリンタ側で印刷を中止します。

印刷を中止する前に、必ずパソコン側のアプリケーションソフトで印刷の指示を取り消してください。

Windowsのデータをトレイ1から印刷した場合の表示を例に示します。



- 1 「プリント シティマス」と表示中に〔オンライン〕スイッチを押す
「オマチクタサイ」のメッセージが表示されます。

ガイド

このメッセージは、現在印刷中のデータを処理しているときに表示されます。データの大きさにより処理時間は変わります。メッセージが変わるまで、しばらくお待ちください。

- 2 「オフラインチュウテス」のメッセージに変わったら、〔プリント中止〕スイッチを押す
中止の処理が行われます。

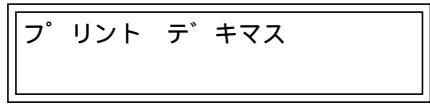
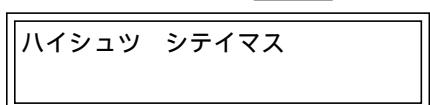
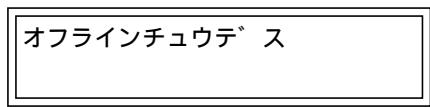
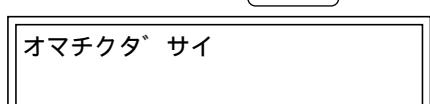
処理が終了すると「プリント デキマス」の表示になります。

▼ 未印刷データを強制的に印刷する

データの最後がページの途中で終了してしまうと、「ジョブタイムアウト」で設定されている時間が経過するまで次のデータ待ちとなり、ディスプレイには「データマチデス」が表示されます。

強制排出は、このようなときに自動排出時間を持たず、プリンタ内のデータを強制的に印刷する操作です。

Windows のデータが途中で終了した場合の表示を例に示します。



1 「データマチデス」と表示中に〔オンライン〕スイッチを押す

「オマチクダサイ」のメッセージが表示されます。



このメッセージは、現在印刷中のデータを処理しているときに表示されます。データの大きさにより処理時間は変わります。メッセージが変わるまで、しばらくお待ちください。

2 「オフラインチュウデス」のメッセージに変わったら、〔排出〕スイッチを押す

残ったデータが強制排出されます。

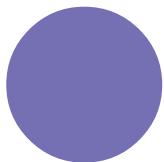
強制排出が終了すると、「プリント キマス」の表示になります。



ジョブタイムアウトについては『第8章 設定値を変える』(201ページ)を参照してください。

第8章

設定値を変える



この章では、各メニュー項目の内容について説明します。

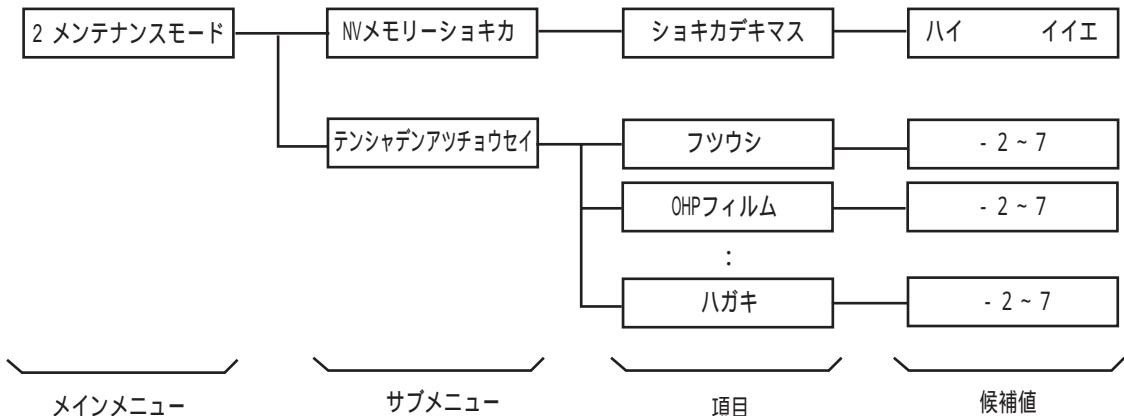
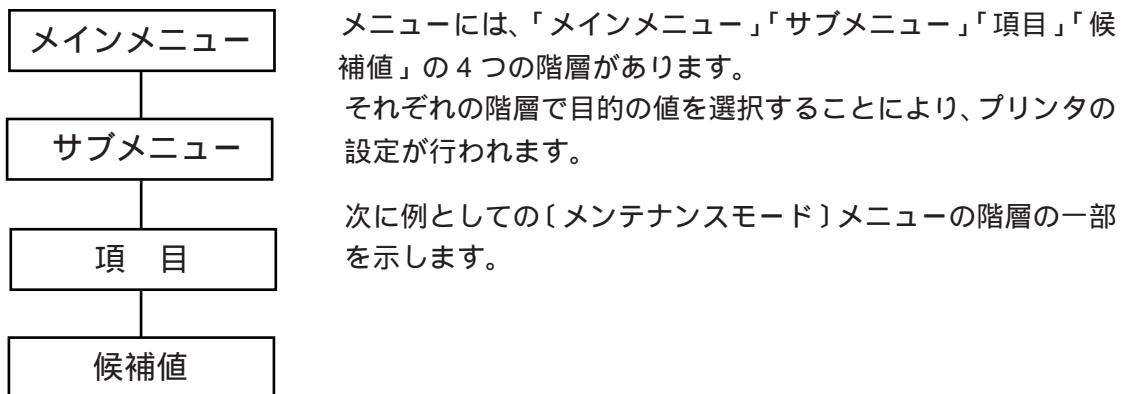
設定の変更手順 (メニューの操作方法)	202
メニューの階層について	202
基本的な操作	203
システムの設定	212
メンテナンス	214
パラレル機能の設定	215
レポート / リスト	216
メニュー項目一覧	224

設定の変更手順（メニューの操作方法）

プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、メニューで行います。

▼ メニューの階層について

メニューを構成する階層について説明します。



サブメニューによっては、項目や候補値がない場合もあります。

▼ 基本的な操作

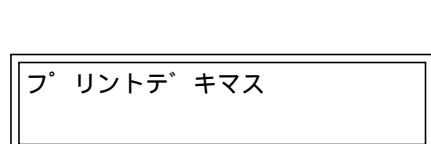
メニューでは、目的の設定値を上位の階層から順に選んで表示させ、設定します。

メニューで使用するスイッチは以下のとおりです。

- 〔メニュー〕スイッチ メニュー画面に入ります。
- 〔▲〕〔▼〕〔◀〕〔▶〕スイッチ 階層内の移動や候補値の選択に使用します。
- 〔セット／排出〕スイッチ 1つ下の階層に移動したり、表示中の値に設定します。
- 〔取消／プリント中止〕スイッチ 1つ上の階層に戻ります。

■ メニュー画面へ移行する

メニュー画面へ移行するには、次の操作を行います。



- 1 プリンタをオフラインにする

〔オンライン〕スイッチを押すと、画面に「オフラインチュウデス」のメッセージが表示され、プリンタがオフラインになります。



- 2 〔メニュー〕スイッチを押し、メニュー画面に移行する

画面の上段にはメニュー画面に移行したことを表す「メニュー」が、下段にはメニュー名が表示されます。

ガイド

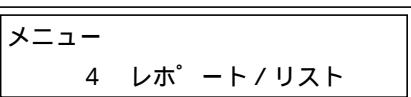
- メニュー画面に移行すると、プリンタは自動的に印刷できない状態となります。
- メニュー画面から印刷が可能な印刷画面へ戻すときは、〔オンライン〕スイッチを押します。
- 印刷中にメニュー画面に移行した場合、「3 パラレル」、「4 レポート／リスト」の設定はできません。画面に「プリント デキマス」のメッセージが表示されている状態で設定してください。

メインメニューを表示、選択する

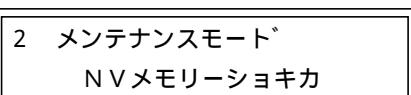
メニュー画面に移行したあと、4つのメインメニューの中から、設定を行う項目が含まれるメインメニューを表示させます。メニュー画面に移行した直後は、印刷機能の設定メニューが表示されています。ここでは、メインメニュー項目である「2 メンテナンスモード」を選択する場合を例にしています。



〔 〕スイッチまたは〔 〕スイッチを押すと、1つ後、1つ前のメニューが表示されます。



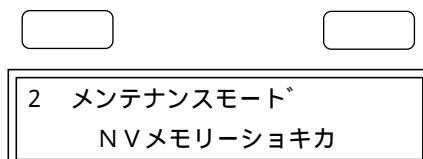
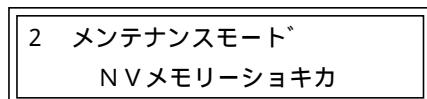
セット



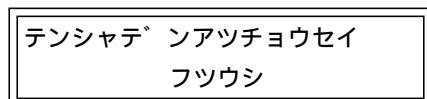
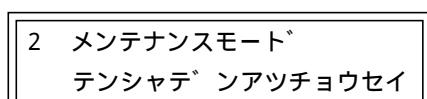
目的のメインメニューを表示させた状態で〔セット〕スイッチを押すと、確定して、そのメインメニューの下の階層が表示されます。画面の上段にはメインメニュー名が、下段にはサブメニュー名が表示されます。

■ サブメニューを表示、選択する

メインメニューを選択したあと、目的の設定項目が含まれるサブメニューを表示します。ここでは、メンテナンスのメニュー項目の「テンシャテ^ンンアツチョウセイ」を選択する場合を例にしています。



[]スイッチまたは[]スイッチを押すと、1つ後、1つ前のメニュー項目が表示されます。



目的のサブメニューが表示された状態で[セット]スイッチを押すと、確定して、そのサブメニューの下の階層が表示されます。画面の上段には確定したサブメニュー名が、画面の下段には項目名が表示されます。



サブメニューによっては、項目や候補値が表示されない場合もあります。

各サブメニューの詳細は「システムの設定」(212ページ)を参照してください。

■ 項目の表示と選択

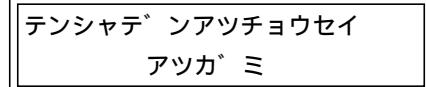
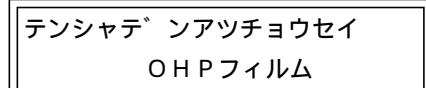
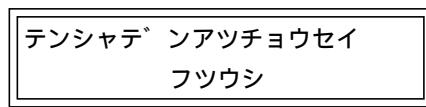
サブメニューを選択したあと、目的の設定項目を表示させます。

▶ [▼]スイッチまたは[▲]スイッチで項目を変更する場合

ここでは、カラー濃度調整の項目を選択する場合を例にしています。



[▼]スイッチまたは[▲]スイッチを押すと、1つ後、1つ前の項目が表示されます。



セット



目的の項目を表示した状態で、[セット]スイッチを押すと、確定され、その項目の下の階層が表示されます。

画面の上段には確定した項目名が表示されます。

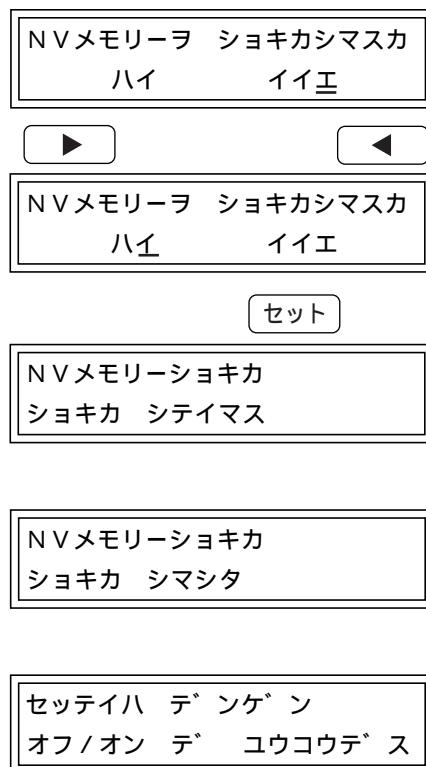
画面の下段に現在設定されている候補値が表示されます。



- ・設定されている候補値が表示された場合、候補値の右側には「*」が表示されています。
- ・項目によって、候補値が表示されない場合もあります。

各項目の詳細は、「システムの設定」(212ページ)を参照してください。

▶ [◀]スイッチまたは[▶]スイッチで項目を変更する場合
ここではメンテナンスのサブメニューである「NVメモリーショキカ」の項目を選択する場合を例にしています。



[▶]スイッチまたは[◀]スイッチを押すと、カーソル(_)が1つ右、1つ左に移動します。

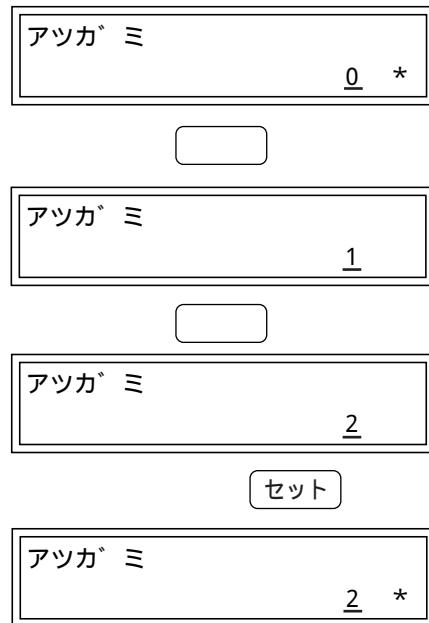
目的の項目にカーソルを表示させた状態で[セット]スイッチを押すと、確定して、設定が完了します。

この例では、下段に「ショキカシテイマス」のメッセージが約30秒間表示され、初期化が終了すると、「ショキカシマシタ」のメッセージが約3秒間表示され、さらに「セッティハ テ'ンケ'ン オフ / オン テ' ユウコウテ'ス」が1秒間表示され、「NVメモリーショキカ」の表示に戻ります。

各項目の詳細は、「システムの設定」(212ページ)を参照してください。

■ 候補値を表示、設定する

項目を選択したあと、目的の候補値を表示させます。ここでは、アツガミを「2」に設定する場合を例にしています。



[▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押すと、1つ増加、1つ減少した候補値が順番に表示されます。

目的の候補値が表示された状態で[セット]スイッチを押すと、その候補値が確定し、候補値の右側に「*」が表示されます。

候補値の詳細は、「システムの設定」(212ページ)を参照してください。

■ 候補値を初期値にする

項目を選択したあと、候補値を初期値にします。ここでは、アツガミを「2」から初期値「0」に設定する場合を例にしていきます。

アツガ ^ミ
2 * <input type="text"/>



ショキチ ニ
ヘンコウ シマシタ

[▲]スイッチと[▼]スイッチを同時に押します。

初期値に変更されたメッセージが約3秒間、表示されます。

アツガ ^ミ
0 <input type="text"/>

アツガ ^ミ
0 * <input type="text"/>

[セット]スイッチを押して候補値を確定させる。

候補値の詳細は、「システムの設定」(212ページ)を参照してください。

■ 候補値の設定後の操作

目的の候補値を設定したあとは、状況に応じて、次のように操作します。

▷ 設定を終了する場合

オンライン

フ リントテ キマス

〔オンライン〕スイッチを押すと、プリント画面が表示されます。

▷ 他の項目を設定する場合

アツカ ミ

2 *

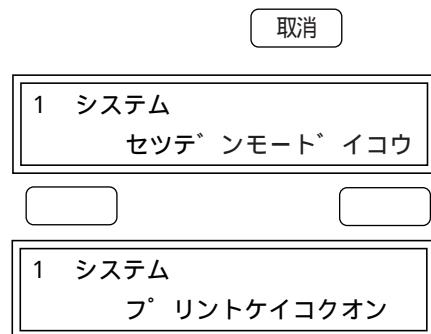
取消

テンシャテ ンアツチョウセイ
アツカ ミ

〔取消〕スイッチを押すと、1つ上の階層が表示されます。
表示された画面から、設定を続けることができます。

■ 別のサブメニューを設定する

項目や候補値を表示、設定したあと、別のサブメニューを設定する場合は、次のように操作します。

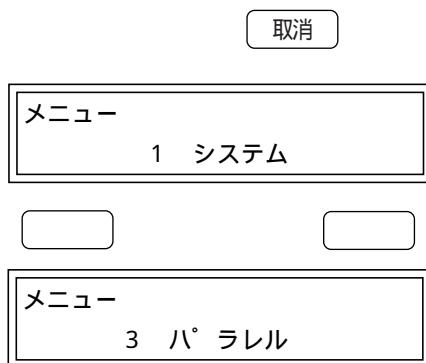


項目や候補値を表示、設定したあと、サブメニューが表示されるまで、〔取消〕スイッチを押します。

〔▲〕スイッチまたは〔▼〕スイッチを何度か押し、目的のメニュー項目を表示させ、設定を続けます。

■ 別のメインメニューを設定する

項目や候補値を表示、設定したあと、別のメインメニューを設定する場合は、次のように操作します。



項目や候補値を表示、設定したあと、メインメニューが表示されるまで、〔取消〕スイッチを押します。

〔▲〕スイッチ または〔▼〕スイッチを何度か押し、目的のメインメニューを表示させ、設定を続けます。

▼ システムの設定

メインメニューで〔1 システム〕メニューを選択すると、以下の項目が設定できます。

■ 節電モード～消費電力を節約する

節電モードとは、プリンタを使用していないときの消費電力を節約する機能です。節電モードには、機械の働きを部分的に抑える節電モード1と、機械の働きを部分的に休止する節電モード2があります。

節電モードになると、ディスプレイに「プリントデキマス / タイキ」と表示されます。また、通常の状態より、データを受信してから印刷を開始するまでに、時間がかかります。

ここでは、それぞれの節電モードに移行するまでの時間を設定します。

● ガイド

以下のとき、節電モードが解除されます。

- ・印刷データを受け付けたとき
- ・〔4 レポート / リスト〕でレポートやリストを印刷したとき
- ・セツデンモード1（初期値：15 フン）
1～120分までの間で1分単位で設定します。印刷処理終了後、ここで設定した時間が過ぎてもプリンタが使用されないと、節電モード1に切り替わります。また、〔シナイ〕にすると節電モード1に切り替わりません。
- ・セツデンモード2（初期値：30 フン）
5～120分までの間で1分単位で設定します。印刷処理終了後、ここで設定した時間が過ぎてもプリンタが使用されないと、節電モード2に切り替わります。また、〔シナイ〕にすると節電モード2に切り替わりません。

● ガイド

節電モード1には、節電モード2よりも大きな値は設定できません。

■ プリント警告音～警告音を鳴らす

プリンタに異常が発生したときに警告音を鳴らすかどうか設定します。



音量の調節はできません。

■ ジョブタイムアウト～印刷処理の強制終了を設定する

ジョブタイムアウトを行うかどうかを設定します。

ジョブタイムアウトとは、印刷処理が設定した時間を経過しても終了しない場合、その処理を強制的に終了させる機能です。

ジョブタイムアウトが発生すると、この時点まで受信したデータを排出します。

■ ジョブ履歴設定（プリント履歴レポート）

印刷の履歴情報を保存するかどうかを設定します。

「スル」に設定した場合は、その時点から印刷の履歴情報を保存します。ただし、印刷履歴が50件を超えた場合は、古い情報から上書きされます。

「シナイ」に設定した場合は、印刷の履歴情報を保存しません。



一度保存された履歴の情報は、「シナイ」に設定しても残っているので、「レポート／リスト」(216ページ)のプリンタ履歴レポートで印刷することができます。

その情報は、「シナイ」から「スル」に変更設定したとき、消去（クリア）されます。

▼ メンテナンス

■ NV メモリー初期化～NV メモリーを初期化する

NV メモリーを初期化します。

NV メモリーとは、電源を切ってもプリンタの設定内容を保持しておくことができる不揮発性メモリのことです。

初期化には約 30 秒かかり、その間、「ショキカ シティマス」と表示されます。

初期化が終了すると「ショキカ シマシタ」のメッセージが約 3 秒間表示され、さらに「セッテイハ テンケン オフ / オン テ ユウコウテス」が 1 秒間表示され、「NV メモリー ショキカ」の表示に戻ります。

初期化を有効にするため、プリンタの電源をいったん切断し、再度投入してください。

工場出荷時の値については「メニュー項目一覧」(224 ページ) を参照してください。

■ 転写電圧調整～用紙種類によるカラー濃度を設定する

普通紙、OHP フィルム、厚紙、ラベル紙、はがき、それぞれのカラー濃度を設定します。

電圧を -2 ~ 7 の 10 段階で設定します。設定値を大きくすると濃度が薄くなります。

 []スイッチまたは[]スイッチで項目を変更するときに、スイッチを押し続けると連続的に表示が変わります。

▼ パラレル機能の設定

■ Busy-Ack ~ Busy 信号と Ack 信号の出力タイミングを設定する

パラレルインターフェースのBusy信号とAck信号の出力タイミングを設定します。

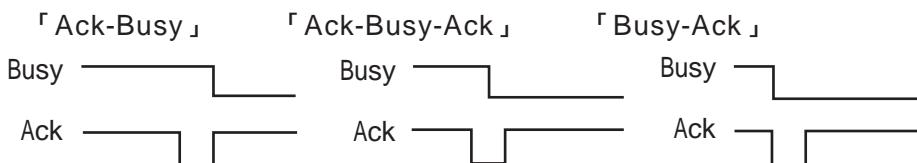
Busy 信号は、プリンタがパソコンに対し、データ受信不可能な状態であることを示す信号です。

Ack 信号は、プリンタがパソコンに対し、受信の準備ができていること、またはデータを正しく受信したことを表す信号です。

Ack-Busy Ack 信号を出力したあとに Busy 信号が変化します。

Ack-Busy-Ack Ack 信号を出力中に Busy 信号が変化します。

Busy-Ack Busy 信号を先に変化し、その後 Ack 信号を出力します。



設定した値を有効にするには、電源を再投入してください。

■ ECP ~ ECP モードについて設定する

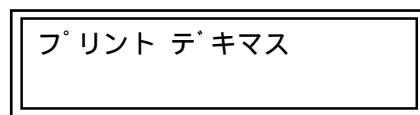
パラレルインターフェースの通信モードである、ECPモードで印刷データの受信を許可するかどうか設定します。

▼ レポート/リスト

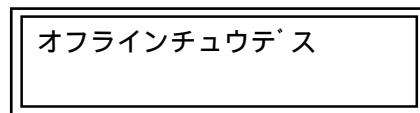
次の手順でレポート/リストを印刷します。ここでは、プリンター設定リストの印刷方法を例に説明します。パネル設定リスト、フォントリスト、カラーサンプルリスト、プリンタ履歴レポートを印刷する場合は、手順5を参照してください。

▶ お願い

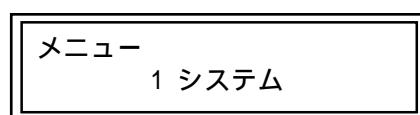
プリンタ設定リストは、A4サイズ縦の用紙に印刷されます。用紙トレイにA4サイズ縦の用紙をセットしてください。



1 オペレータパネルが以下の状態であることを確認する



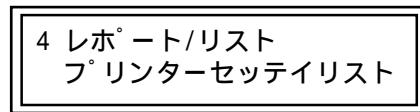
2 [オンライン]スイッチを押す
オフライン状態になります。



3 [メニュー]スイッチを押す
メニュー画面が表示されます。



4 []スイッチを3回押す



5 [セット/排出]スイッチを1回押す

パネル設定リスト、フォントリスト、カラーサンプルリスト、プリンタ履歴レポートを印刷する場合は、[▲]または[▼]スイッチを押して、液晶ディスプレイの下段に印刷させたい項目を表示させてください。

フ・リンターセッティリスト
フ・リント テ・キマス

6 [セット/排出]スイッチ
を1回押す

フ・リンターセッティリスト
フ・リント シティマス トレイ1

7 [セット/排出]スイッチ
を1回押す

印刷が終了すると、プリント画
面に戻ります。

▶お願い

プリンタ設定リストが印刷されない場合は、電源を切り、
電源を入れ直してください。オペレータパネルの液晶ディ
スプレイに「プリント デキマス」と表示されたら、再度
プリンタ設定リストを印刷します。それでも印刷されない
場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエ
コーチセンターへご連絡ください。

■ プリンター設定リスト～プリンタの設定を印刷する

プリンタのハードウェア構成および各種設定の内容を印刷します。
プリンター設定リストの印刷例は次のとおりです。

プリンター設定リスト

全体

プリント総ページ数	2613ページ
ドラムカウンター	24250count
搭載メモリ	256Mbyte
搭載プリンター言語	200010181534
搭載フォント数	和文 4書体 欧文15書体
F/W バージョン	200010231313
IOT バージョン	1.4.64

オプション

用紙トレイ	トレイ 1、2、3、手差し
拡張給紙ユニット	2段 (1.0.7)
両面ユニット	あり (1.0.1)

パラレル

Busy-Ack	Ack-Busy
ECP	無効

ガイド

- ・プリンター設定リストで印刷が可能な用紙サイズはA4のみで、装着している用紙トレイの中から自動的に選択されます。
A4サイズの用紙がセットされていない場合は、ディスプレイに「トレイニ A4 タテヲ セットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4サイズの用紙をセットすると、印刷が開始されます。
- ・プリント終了後は、プリント画面に戻ります。ディスプレイには、「プリント デキマス」と表示されます。
- ・印刷中のキー操作は、受け付けられません。

■ パネル設定リスト～パネル設定リストを印刷する

メニューの設定内容を印刷します。

パネル設定リストの印刷例は次のとおりです。

パネル設定リスト

システム

節電モード

節電モード1	15分
節電モード2	30分
プリント警告音	する
ジョブタイムアウト	30秒
プリンター履歴取得	しない

メンテナンス

転写電圧調整

普通紙	0
OHP フィルム	0
厚紙	0
ラベル紙	0
はがき	0

パラレル

Busy-Ack	Ack-Busy
ECP	無効



- ・パネル設定リストで印刷が可能な用紙サイズはA4のみで、装着している用紙トレイの中から自動的に選択されます。A4サイズの用紙がセットされていない場合は、ディスプレイに「トレイニ A4 タテヲ セットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4サイズの用紙をセットすると、印刷が開始されます。
- ・プリント終了後は、プリント画面に戻ります。ディスプレイには、「プリント デキマス」と表示されます。
- ・印刷中のキー操作は、受け付けられません。

■ フォントリスト～フォントリストを印刷する

印刷可能なフォント情報を印刷します。
フォントリストの印刷例は次のとおりです。

フォントリスト



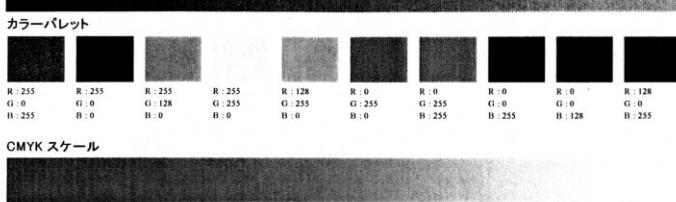
- ・フォントリストで印刷が可能な用紙サイズはA4のみで、装着している用紙トレイの中から自動的に選択されます。A4サイズの用紙がセットされていない場合は、ディスプレイに「トレイニ A4 タテヲ セットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4サイズの用紙をセットすると、印刷が開始されます。
 - ・プリント終了後は、プリント画面に戻ります。ディスプレイには、「プリント デキマス」と表示されます。
 - ・印刷中のキー操作は、受け付けられません。
 - ・フォントリストでは、縦書きフォント（フォント名の先頭に@がついたもの）は印刷されません。

■ カラーサンプルリスト～カラーのサンプルイメージを印刷する

カラーのサンプルイメージを印刷します。

カラーサンプルリストの印刷例は次のとおりです。

カラーサンプルリスト



ドキュメント推奨 カラーパレットとは

推薦カラーのRGB値を
用いてドキュメントに配
色してください。
どなたにでも
「ビジネス標準」
「あたかく」
「おちつき」
「あざやか」
などの印象のドキュメン
トを作ることができます。
通し番号の色をそれぞ
れ用います。
背景色---1

— 5 —

2



- ・カラーサンプルリストで印刷が可能な用紙サイズはA4のみで、装着している用紙トレイの中から自動的に選択されます。
 - ・A4サイズの用紙がセットされていない場合は、ディスプレイに「トレイニ A4 タテヲ セットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4サイズの用紙をセットすると、印刷が開始されます。
 - ・プリント終了後は、プリント画面に戻ります。ディスプレイには、「プリント デキマス」と表示されます。
 - ・印刷中のキー操作は、受け付けられません。

■ プリント履歴レポート～処理した印刷ジョブに関する情報を印刷する

プリンタで処理した印刷ジョブに関する履歴を最大50件印刷します。



50件を超えた場合は、古い履歴から上書きされていきます。
プリント履歴を有効にする場合は、「システムの設定」の「ジョブ履歴設定(プリント履歴レポート)」(213ページ)の設定で、「スル」に設定してください。

プリント履歴レポートの印刷例は次のとおりです。

①

日付	時刻	プリント総ページ数 入力ポート	ドキュメント名	ユーザ名	白黒面数	白黒ページ数	カラー面数	カラーページ数	結果
2000/09/24	00:04	Parallel	Report	Log print	1	1	0	0	トナーローK
			Report	Printer config	1	1	0	0	トナーローK
			Report	Log print	1	1	0	0	トナーローK
			Report	Font config	1	1	0	0	トナーローK
			Report	Color config	0	0	1	1	トナーローK
				http://www.msn.c	tuetsuki	0	0	1	トナーローK

②

プリント総ページ数.....プリント総印刷枚数を表します。

なお、ジョブ履歴印刷も通常のプリントと見なしプリント総数に加算されます。

プリント履歴内容.....下記の内容を1ジョブにつき1行で、ジョブの終了順にリストします。何らかの理由で以下の情報が取得できなかった場合は空白となります。(レポート/リスト印刷を行ったとき等)

・日付

パソコンがジョブを転送した日付を表します。

例) 1999/01/15

・時刻

パソコンがジョブを転送した時刻を表します。

例) 12:30

・入力ポート

ジョブを受信したホストI/F名を表します。

Parallel : パソコンからのデータを受信したとき

Report : レポート/リスト印刷を行ったとき

・ドキュメント名

印刷したジョブに対するパソコン側管理のファイル名を表します。

文字数は最大16文字(半角)まで、印字されます。

例) XL-C3100 取扱説明書.docを印刷した場合、XL-C3100 取扱説明と印字されます。

・ユーザ名

プリントしたジョブに対するパソコン側管理のユーザ名を表します。文字数は最大10文字(半角)まで、印字されます。

例) 富士通太郎

・白黒面数

ジョブの印刷中にモノクロモードで出力したページ数(面数)を表します。

ジャムやOHP用合紙はカウントされません。

0~32767枚。1ジョブで32767枚を超える場合は、32767が印字されます。

・白黒ページ数

ジョブの印刷にモノクロモードで出力した用紙の枚数を表します。

ジャムの枚数はカウントされません。

0~32767。1ジョブで32767枚を超える場合は、32767が印字されます。

・カラー面数

ジョブの印刷中にカラーモードで出力したページ数(面数)を表します。

ジャムやOHP用合紙はカウントされません。

0~32767枚。1ジョブで32767枚を超える場合は、32767が印字されます。

・カラーページ数

ジョブの印刷にカラーモードで出力した用紙の枚数を表します。

ジャムの枚数はカウントされません。

0~32767。1ジョブで32767枚を超える場合は、32767が印字されます。

・結果

ジョブの処理状況を表します。

正常終了、キャンセル、エラー(エラー現象が表示されます)のいずれかが印字されます。

エラーの詳細については、下表を参照してください。

エラー名称	説明
ジャム	紙づまりが発生した。
トナーローY	トナーカートリッジ(Y,M,C,K)の交換要求があった。
トナーローM	
トナーローC	
トナーローK	
ドラムカートリッジ交換要求	ドラムカートリッジの交換要求があった。
PDLエラー	パソコン側の設定にて印刷できなかった。
メモリオーバーフロー	メモリ不足が発生した。

メニュー項目一覧

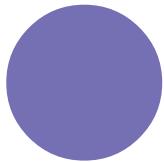
メニューで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値の前の「*」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

各項目の設定方法については、「設定の変更手順（メニューの操作方法）」（202ページ）を参照してください。

メインメニュー	サブメニュー	項目	候補値	機能
1 システム	節電モード移行	節電モード1	* 15分 (範囲:1~120分)	印刷終了後から設定した時間後に節電モード1状態にする。
		しない		節電モード1状態にならない。
		節電モード2	* 30分 (範囲:5~120分)	印刷終了後から設定した時間後に節電モード2状態にする。
		しない		節電モード2状態にならない。
	プリント警告音	しない		プリンタに異常が発生しても警告音を鳴らさない。
		* する		プリンタに異常が発生したら警告音を鳴らす。
	ジョブタイムアウト	* 30秒 (範囲:5~300秒)		設定した時間を経過後ジョブタイムアウトの処理を行う。
		オフ		ジョブタイムアウトの処理を行わない。
	ジョブ履歴設定	履歴の取得	する	印刷の履歴情報を保存する。
		* しない		印刷の履歴情報を保存しない。
2 メンテナンスマード	NVメモリー初期化	初期化できます	はい	NVメモリーの初期化を行う。
		いいえ		NVメモリーの初期化を行わない。
	転写電圧調整	普通紙	* 0 (範囲: -2~7)	カラーの濃度調整を行う。
		OHPフィルム	* 0 (範囲: -2~7)	
		厚紙	* 0 (範囲: -2~7)	
		ラベル紙	* 0 (範囲: -2~7)	
		はがき	* 0 (範囲: -2~7)	
3 パラレル	Busy-Ack	* Ack-Busy		Ack信号を出力したあとにBusy信号が変化する。
		Ack-Busy-Ack		Ack信号を出力中にBusy信号が変化する。
		Busy-Ack		Busy信号が変化し、その後Ack信号を出力する。
		ECP	* 無効 有効	ECPによる印刷データの受信を禁止する。 ECPによる印刷データの受信を許可する。
	プリントリスト	プリントリスト	プリントできます	プリンタのハードウェア構成および各種設定の内容を印刷する。
4 レポート/リスト	パネル設定リスト	パネル設定リスト	プリントできます	メニューの設定内容を印刷する。
	フォントリスト	フォントリスト	プリントできます	印刷可能なフォントの情報を印刷する。
	カラーサンプルリスト	カラーサンプルリスト	プリントできます	カラーのサンプルイメージを印刷する。
	プリント履歴レポート	プリント履歴レポート	プリントできます	印刷の履歴情報を印刷する。

第9章

こんなときには



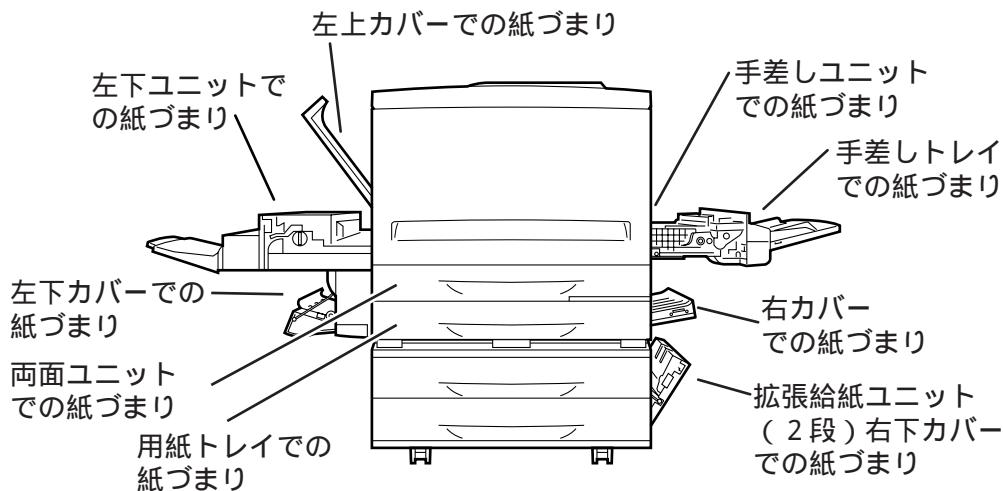
この章では、故障が発生したと思われるときや、紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき	226
用紙トレイでの紙づまり	228
手差しトレイでの紙づまり	229
右カバーでの紙づまり	230
左下ユニットでの紙づまり	232
左上カバーでの紙づまり	239
手差しユニットでの紙づまり	240
左下カバーでの紙づまり	242
両面ユニットでの紙づまり	243
拡張給紙ユニットでの紙づまり	244
[エラー] ランプ が点灯 / 点滅したとき	245
[エラー] ランプが点灯している場合	245
[エラー] ランプが点滅している場合	249
ワーニングメッセージが表示されたとき	250
故障かなと思ったとき	251
電源投入時のトラブル	251
印刷に関するトラブル	252
用紙に関するトラブル	253
印刷品質に関するトラブル	254
その他のトラブル	258
留意事項	259
品質に関する留意事項	259
プリンタに関する留意事項	262
プリンタドライバに関する留意事項	263

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミツ“マリテ”ス』とエラーメッセージが表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

エラーメッセージには、紙づまりが発生した場所も表示されます。



次の要領でつまつた用紙を取り除いてください。つまつた用紙を取り除いてカバーを閉じると、メッセージが消えてオンライン状態になり印刷を再開します。

お願い

- ・つまつた用紙を取り除いてもメッセージが消えないときは、用紙が完全に取り除かれていません。再度点検して、つまつた用紙を完全に取り除いてください。
- ・紙づまりのエラー状態は、つまつた用紙を取り除くと共に、紙づまりが発生したユニットやカバーを開閉することで解除されます。注意してください。
- ・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。とくに、サイドトレイやセンタートレイの場合は、必ず左下ユニットや左上カバーを開けて取り除いてください。
- ・万一、発煙をともなう用紙づまりが発生したときは、カバーを開けずに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店または富士通パーソナルエーコーセンターまでご連絡ください。

⚠ 注意

ケガ

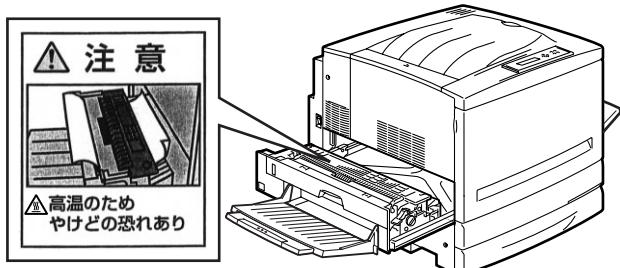
- ・つまつた用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- ・つまつた用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災

つまつた用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。

なお、定着器やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

やけど「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。



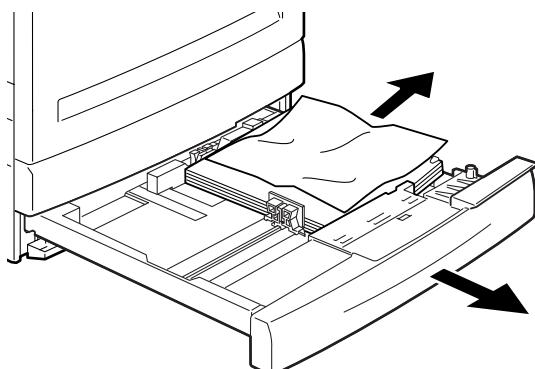
■ 紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

- ・プリンタを水平に設置する。
- ・適切な用紙を使用する。
- ・用紙トレイや手差しトレイに用紙を正しくセットする。
- ・カールしていない用紙を使用する。
- ・用紙トレイを奥に突きあたるまで押し込む。

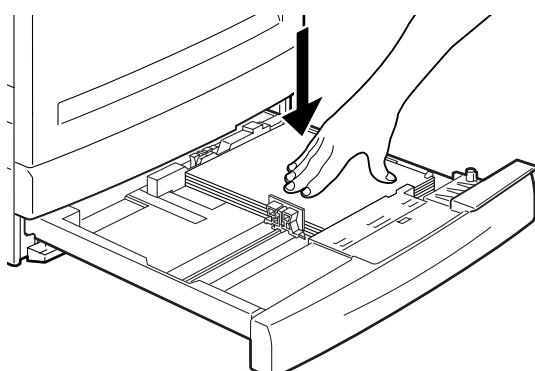
▼ 用紙トレイでの紙づまり

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

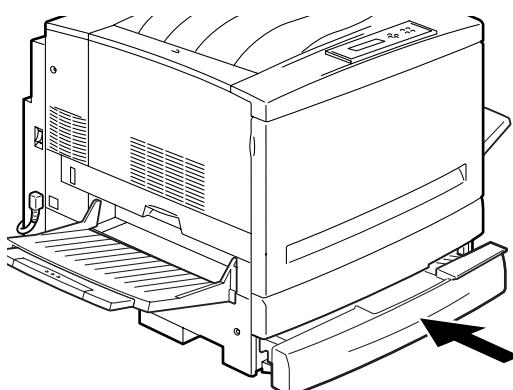


- 1 用紙トレイを止まるまで
ゆっくり引き出し、つ
まっている用紙やシワに
なっている用紙を取り除
く

用紙が破れた場合は、中に紙片
が残っていないかを確認してく
ださい。



- 2 用紙トレイの金属の底板
を手で下げる、上に浮き
上がらないようにロック
する



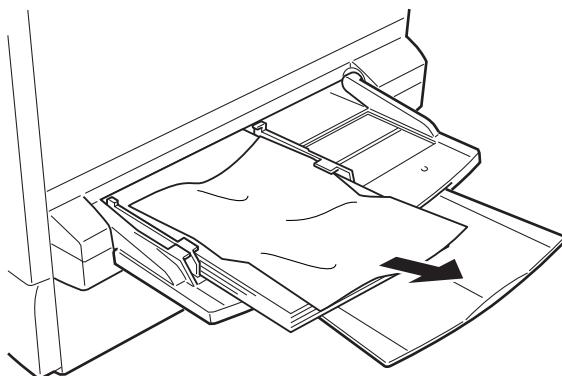
- 3 用紙トレイを、奥に突き
当たるまでゆっくり押し
込む



強く押し込みすぎないように注意してください。

▼ 手差しトレイでの紙づまり

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。



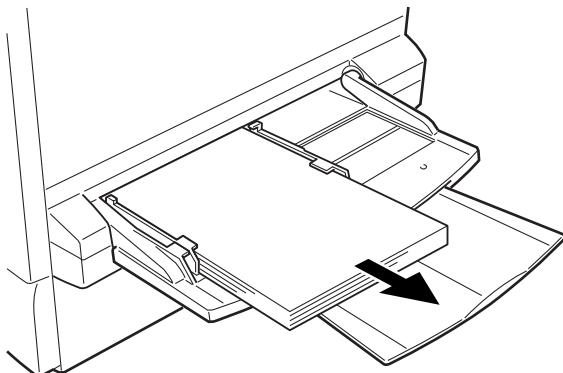
- 1 手差しトレイからつまっている用紙を取り除く
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

► お願い

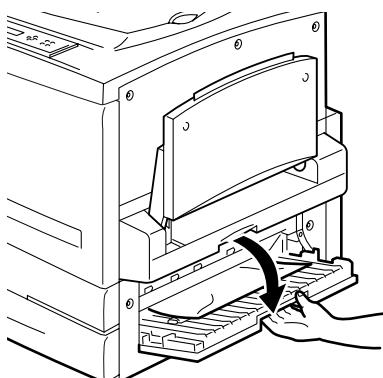
紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。必ず、「右カバーでの紙づまり（230ページ）」の操作を行ってください。

▼ 右カバーでの紙づまり

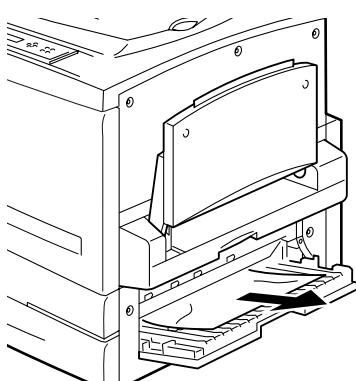
次の手順に従って用紙を取り除いてください。



- 1 手差しトレイに用紙をセットしている場合は、用紙を取り除いてから、手差しトレイを折りたたむ

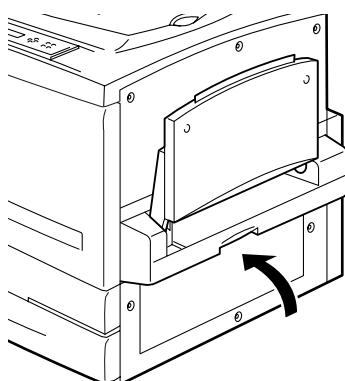


- 2 右カバーを開く

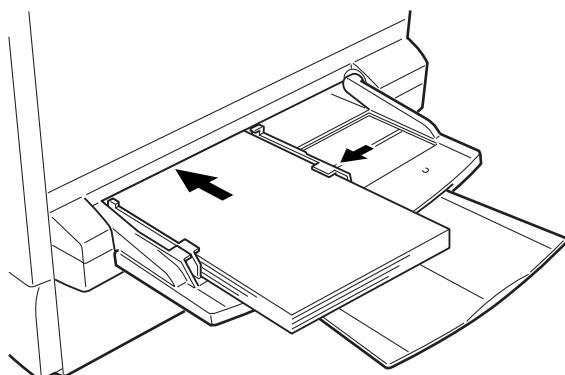


- 3 つまっている用紙を引き出す

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



4 右カバーを閉じる



5 手差しトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直す

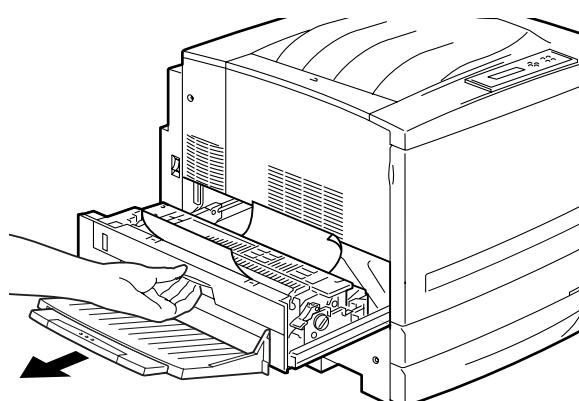
6 用紙が見つからない場合は、用紙トレイの中につまっている可能性がある。「用紙トレイでの紙づまり」(228ページ)の操作を行う

▼ 左下ユニットでの紙づまり

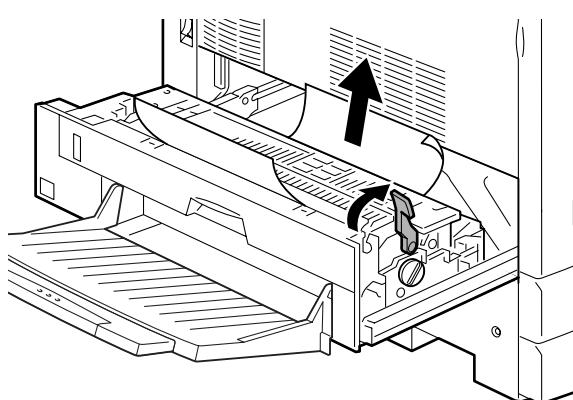
⚠ 注意

やけど 印刷した直後は、定着器が高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。



1 左下ユニットを、止まるまでゆっくり引き出す

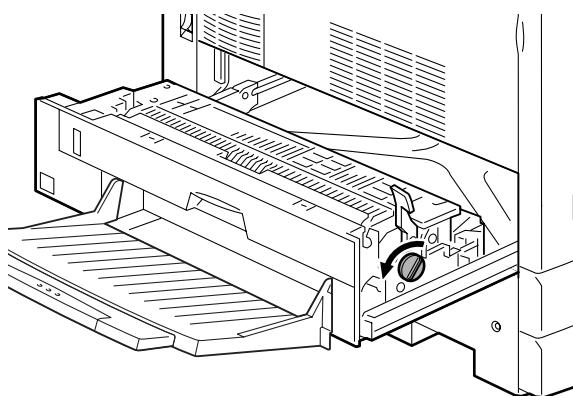


2 ニップルレバー(緑色のレバー)を起こし、つまっている用紙を引き出す

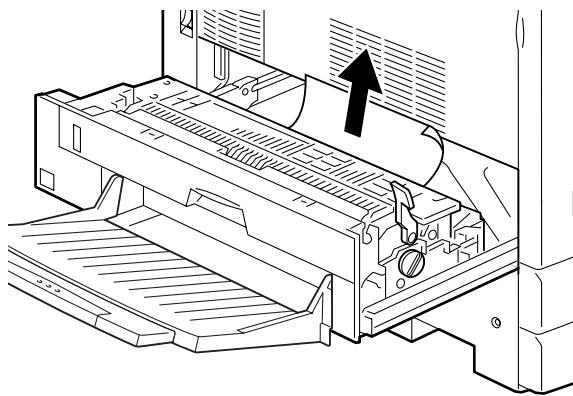
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

お願い

フューザー(定着部)は高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。



3 用紙が見えていない場合は、緑色のノブを矢印の方向に回す



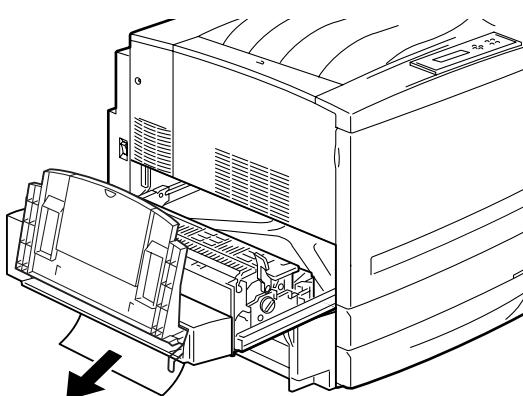
用紙を矢印の方向に引き出す

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

それでも用紙が見つからない場合は、プリンタ内部に用紙が残っている可能性があります。内部に残っている用紙を探して取り除いてください。

► お願い

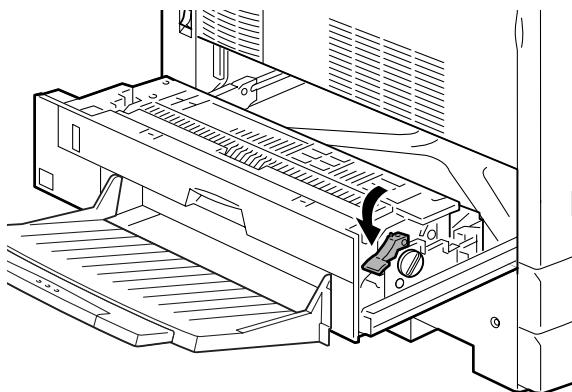
フューザー(定着部)は高温になっています。直接触るとやけどすることがありますので、十分に注意してください。



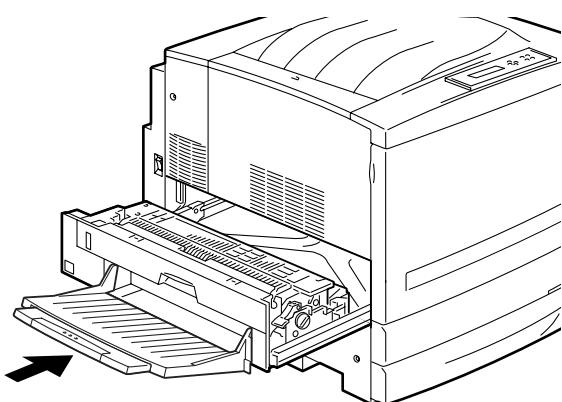
4 両面ユニットを取り付けている場合は、左下ユニットの裏面も確認し、つまっている用紙があれば引き出す

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

5 ニップルレバーを元に戻す



6 左下ユニットを、プリンタの奥までしっかりと押し込む

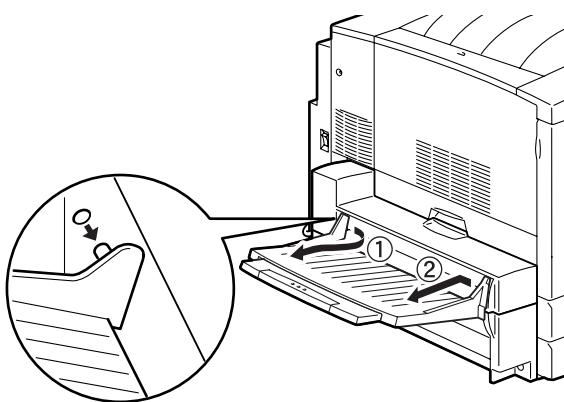


7 用紙が見つからない場合は、「左上カバーでの紙づまり」(239ページ)の操作を行う

また、両面印刷ユニットを取り付けている場合は、「左下カバーでの紙づまり」(242ページ)の操作も行ってください。はがきなどの小さなサイズの用紙が見つからない場合は、次の手順に従ってください。

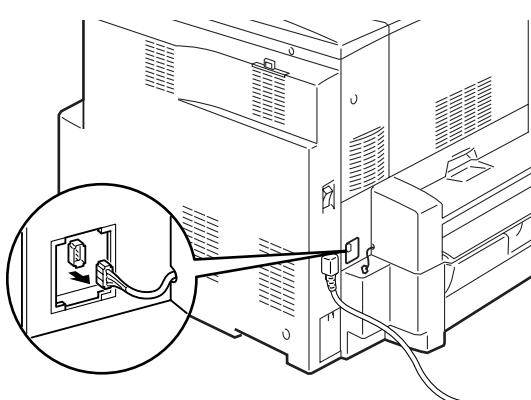
小さなサイズの用紙がつまつたときには

両面印刷ユニットを取り付けている場合、左下ユニットのトランスポートとプリンタ本体の間につまっている小さなサイズの用紙は、左下ユニット内部の緑色のノブを回しても取れないときがあります。次の手順で取り除いてください。



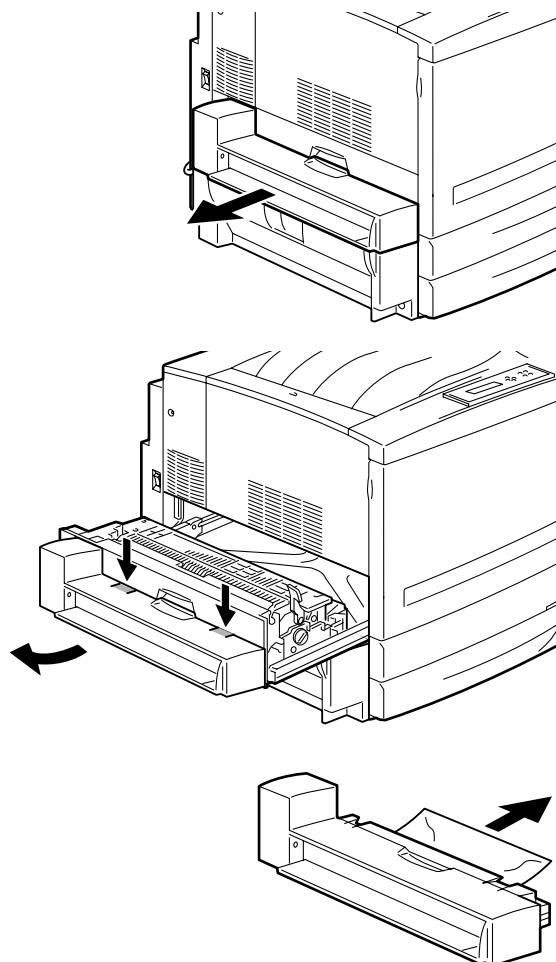
- 1 サイドトレイを右に押しながら、左側の突起部を本体の穴から外す(①)。その後、右側の突起部を本体の穴から外す(②)

上図の ① の部分を曲げすぎないでください。破損の原因となります。



- 2 コネクタケーブルを外す

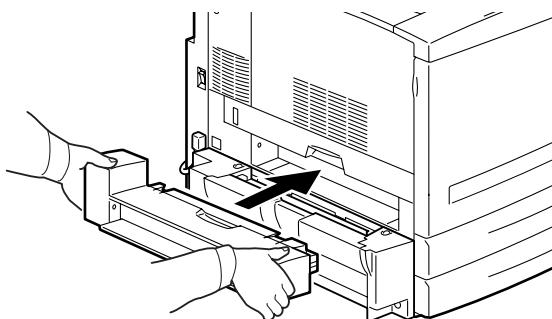
コネクタケーブルを抜くときは、ケーブルの根元をしっかりと持って抜いてください。



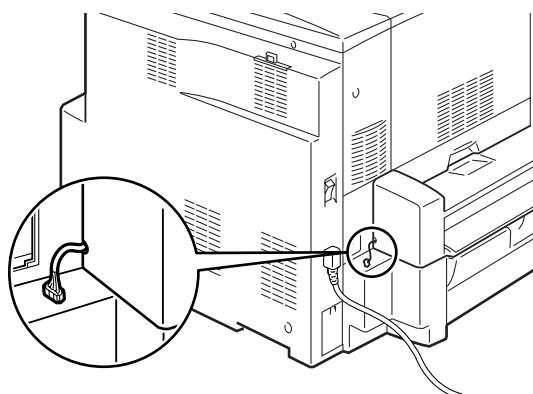
3 左下ユニットを止まるまでゆっくり引き出してから、図の2箇所のスリット部分を押しながらトランスポートの下部を持ち上げるようにして、トランスポートを引き抜く

4 つまっている用紙を取り除く
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

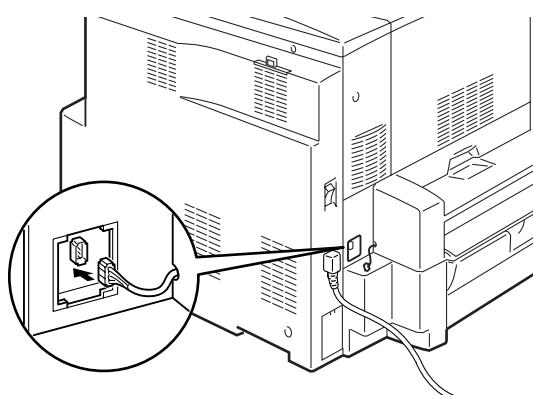
5 トランスポートを両手で持ち、左下ユニットにしっかりとはめ込む



トランスポートに付いているコネクタケーブルが、左側に出るように取り付けてください。

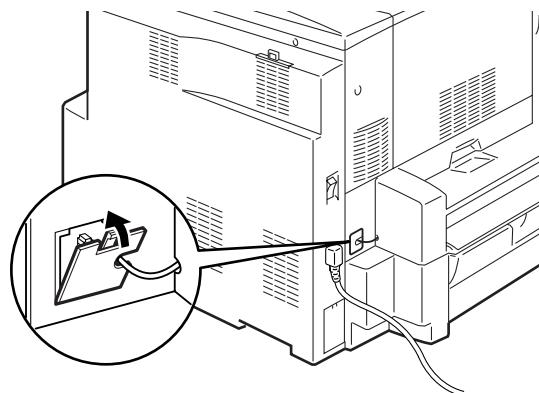


6 トランスポートのコネクタケーブルを、左下ユニット側のコネクタにしっかりと接続する

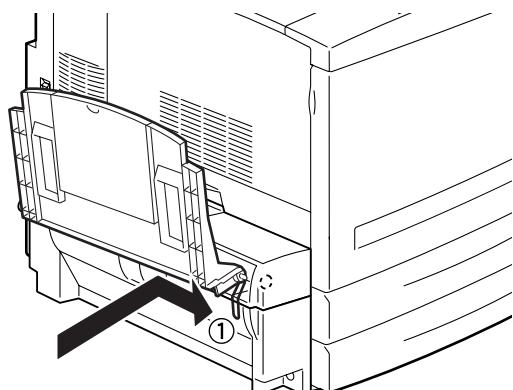


お願い

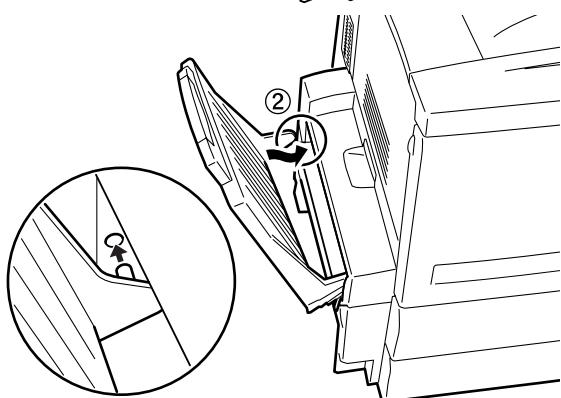
コネクタを必要以上に押し込まないでください。指や爪を傷つけるおそれがあります。



7 コネクタカバーをカチッと音がするまで押し込む



8 サイドトレイを立てるよう持ち、トレイの右側の突起部をプリンタの穴にはめ込む(①)。このとき、金属部分がトレイの外側に出るようにする



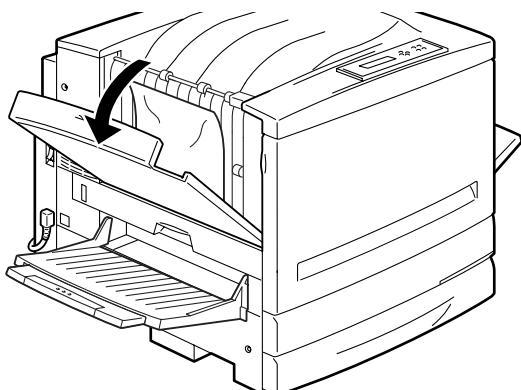
9 サイドトレイの左側の突起部をプリンタの穴にはめ込む(②)



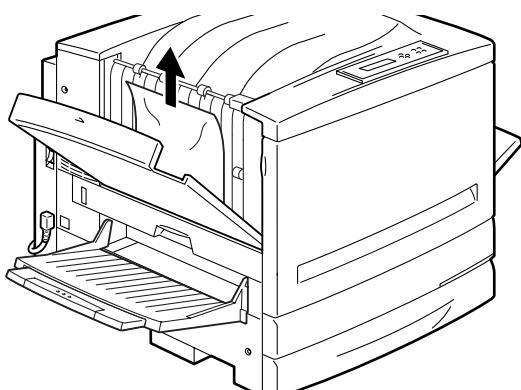
上図の部分を曲げすぎでください。破損の原因となります。

▼ 左上カバーでの紙づまり

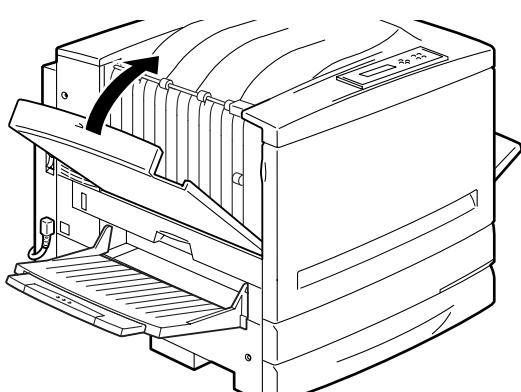
次の手順に従って用紙を取り除いてください。



1 左上カバーを開く



2 破れないように注意して
つまつた用紙を取り除く
用紙が破れた場合は、中に紙片
が残っていないかを確認してく
ださい。



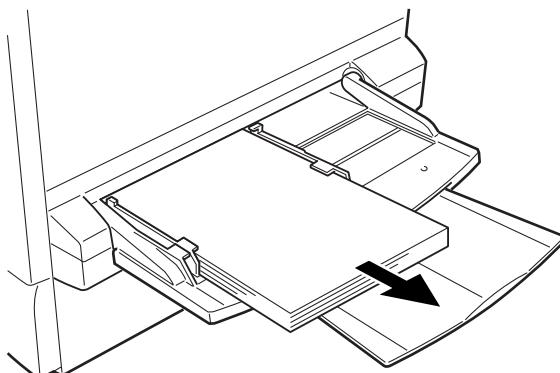
3 左上カバーを閉じる

お願い

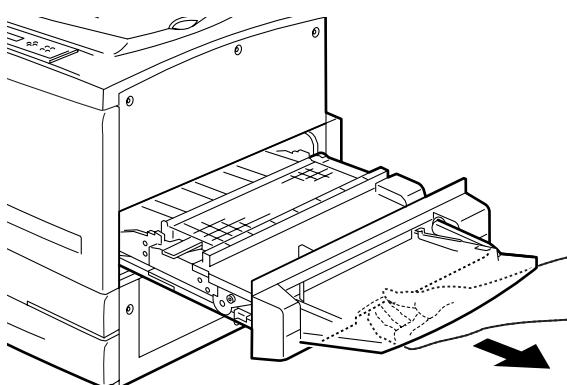
紙づまりのエラー状態は、つまつた用紙を取り除いた後、
紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで
解除されます。必ず、左上カバーを開閉してください。

▼ 手差しユニットでの紙づまり

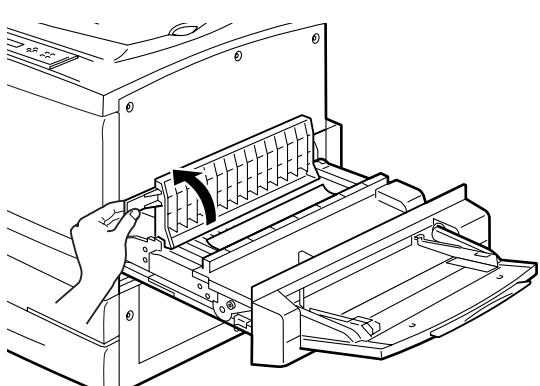
次の手順に従って、用紙を取り除いてください。



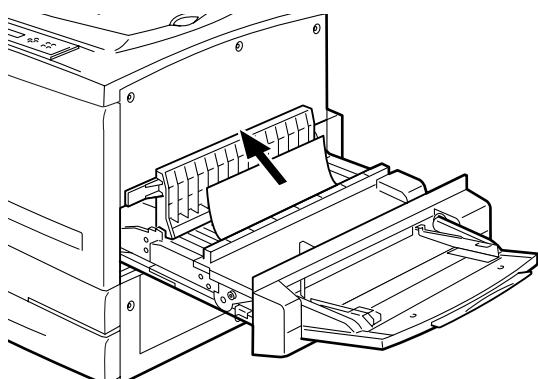
- 1 手差しトレイに用紙が
セットされている場合
は、用紙を取り除く



- 2 手差しユニットが止まる
までゆっくり引き出す

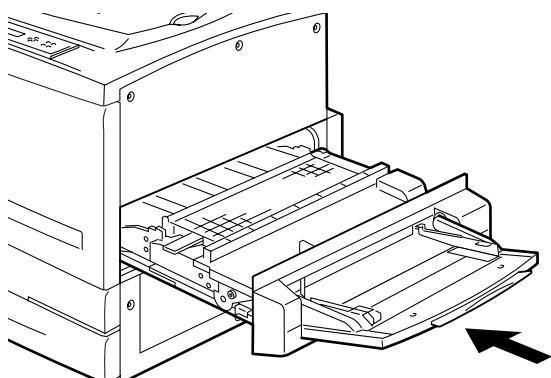


- 3 取っ手を持ち上げて、カ
バーを開く

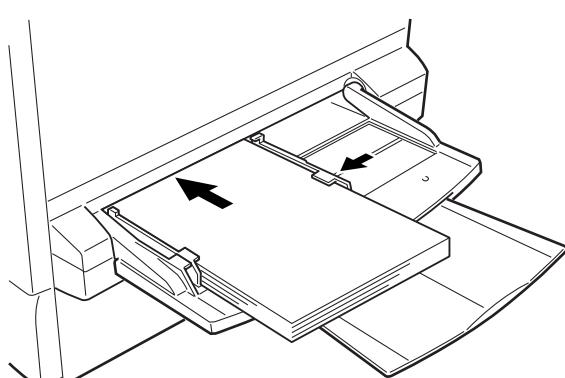


4 つまっている用紙を引き出す

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



5 カバーを閉じ、手差しユニットをプリンタの奥までしっかりと押し込む

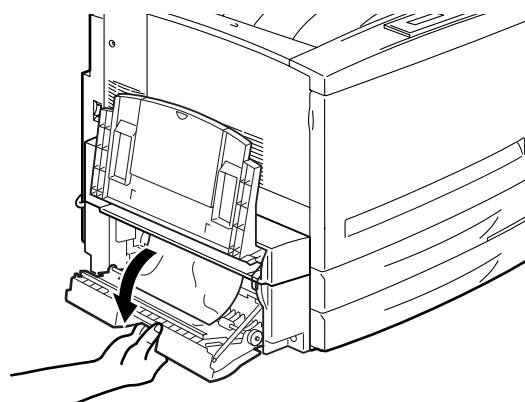


6 手差しトレイに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直す

▼ 左下カバーでの紙づまり

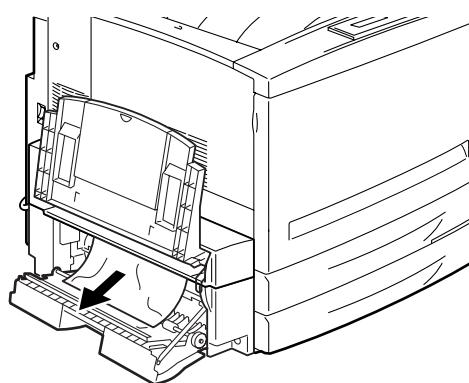
次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

1 左下カバーを開く

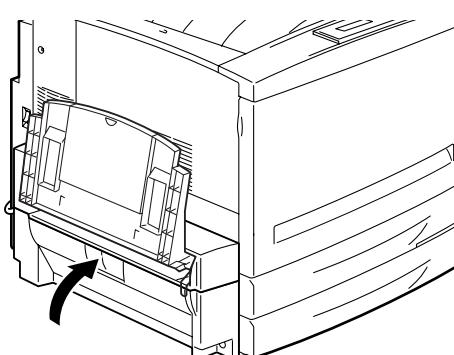


2 つまっている用紙を取り除く

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

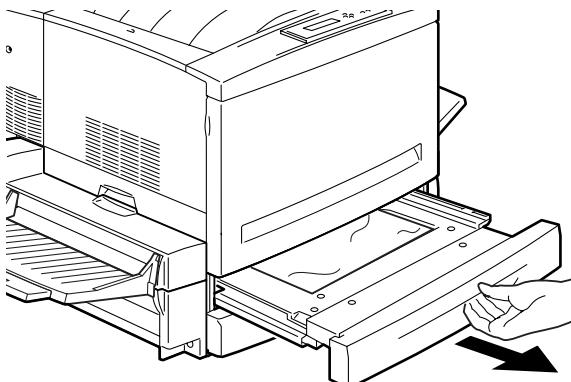


3 左下カバーを閉じる



▼ 両面ユニットでの紙づまり

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

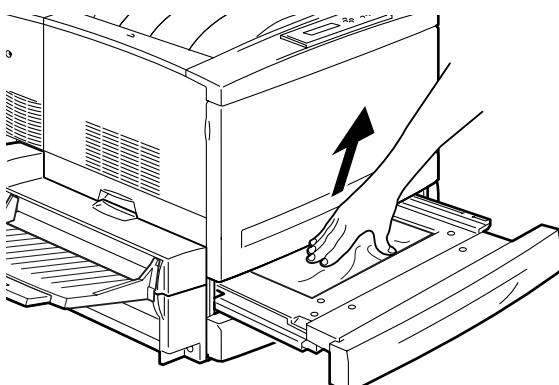


1 両面ユニットを止まるまでゆっくり引き出す

▶ お願い

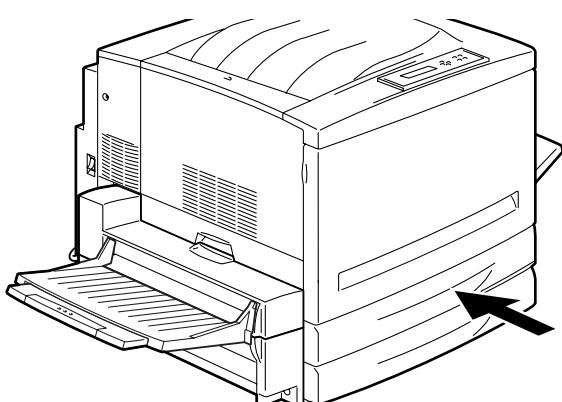
オペレータパネルに、両面トレイの用紙除去表示が出ていないときは、引き出さないでください。

両面ユニットを引き出す場合、事前に左下カバーと右カバーを開き、用紙がつまっていることを確認してください。



2 つまっている用紙やシワになっている用紙をつまんで引き抜く

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

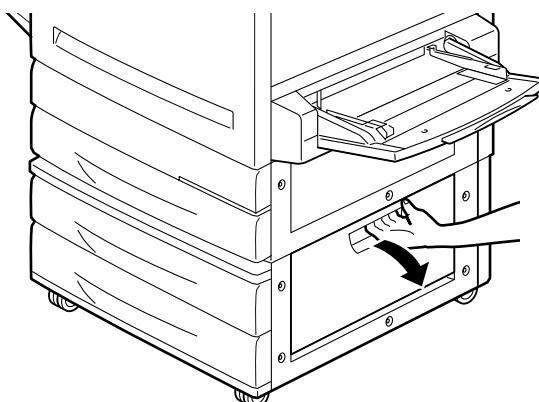


3 両面ユニットを、奥に突き当たるまでゆっくり押し込む

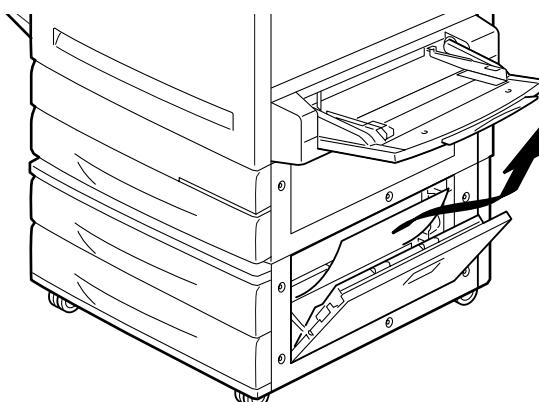
▼ 拡張給紙ユニットでの紙づまり

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

拡張給紙ユニットの用紙トレイでの紙づまりについては「用紙トレイでの紙づまり」(228 ページ) を参照してください。



1 拡張給紙ユニットの右下
カバーを開く



2 つまった用紙を取り除く
用紙が破れた場合は、中に紙片
が残っていないかを確認してく
ださい。

3 拡張給紙ユニットの右下
カバーを閉じる

お願い

紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。必ず、拡張給紙ユニットの右下カバーを開閉してください。用紙を取り除いてもエラー状態が解除されない場合は、手差しユニット内部に紙づまりがないか確認してください。

〔エラー〕ランプが点灯／点滅したとき

プリンタを使用中にプリンタの〔エラー〕ランプが点灯／点滅し液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。次のように処置してください。

〔エラー〕ランプについては、「各部の名称と機能」(4ページ)を参照してください。

▼ 〔エラー〕ランプが点灯している場合

〔エラー〕ランプが点灯している場合は、紙づまりなど、お客様自身で対処可能なエラーが発生しています。ディスプレイに表示されるエラーメッセージに従って、適切な処置をしてください。



エラーメッセージの文字数がディスプレイの表示桁数を越えた場合は、画面が3秒間隔で切り替わって表示されます。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
××トナーカートリッジヲ コウカンシテクダサイ	トナーカートリッジの交換時期です。 メッセージの色のトナーカートリッジを交換してください。	171
××トナーカートリッジヲ セットシテクダサイ	トナーカートリッジがセットされていません。 メッセージの色のトナーカートリッジをプリンタに確実にセットしてください。	34
カミヅマリデス テザシ ユニットヲ ヒキダシテクダサイ	用紙トレイ1または手差しトレイから給紙しているときに、プリンタ内で用紙がつまりました。 手差しユニットを引き出し、つまっている用紙を取り除いてください。 また、手差しトレイや用紙トレイで用紙がつまっているかどうかも確認してください。	228,229,230
カミヅマリ テザシユニット ミギシタカバーヨアケル	用紙トレイ2～3または手差しトレイから給紙しているときに、プリンタ内で用紙がつまりました。 手差しユニットと拡張給紙ユニット右下カバーを開けて、つまっている用紙を取り除いてください。 また、用紙トレイで用紙がつまっていないかどうかも確認してください。	228,229,240,244

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
カミツマリデス ヒダリシタ カバーヲ アケテクダサイ	両面印刷時に、プリンタ内で用紙がつまりました。 左下カバーを開け、つまっている用紙を取り除いてください。	242
カミツマリデス ミギカバーヲアケテクダサイ	プリンタ内で用紙がつまっています。 右カバーを開けて、つまっている用紙を取り除いてください。	230
ヒダリシタユニット ト ヒダ リウエカバー ヲ アケル	プリンタ内で用紙がつまっています。 左下ユニットを引き出し、つまっている用紙を取り除いてください。 その後、さらに処置が必要な場合は、別のメッセージが表示されますので、その指示に従って用紙を取り除いてください。	232,239
コノ ドラムカートリッジハ ツカエマセン IDエラー	ドラムカートリッジが不良です。 ドラムカートリッジを交換してください。	10,38,176
コノ ドラムカートリッジハ ツカエマセン ライトエラー	ドラムカートリッジが不良です。 ドラムカートリッジを交換してください。	10,38,176
システムセッティガ キエマシタ セットキーヲ オシテクダサイ	NVメモリーに書き込まれているシステム設定が 壊れました。 〔セット〕スイッチを押し、〔◀〕〔▶〕スイッチで 「ハイ」を選んで、もう一度〔セット〕スイッチを 押し、NVメモリーを初期化してください。	214
テザシユニットカラ OHPヲ トリノゾク ワクツキOHPフカ	本プリンタで使用できないOHPシートまたは OHPシート以外の用紙を検出しました。 手差しユニットを引き出し、つまっているOHP シートまたは用紙を取り除いてください。	19,229, 240
テザシトレイニ ××××ヲ セットシテクダサイ	手差しトレイに××××の用紙がセットされてい ないか、パソコン側で指定した用紙と、実際にセ ットされている用紙のサイズが違っています。 (ユーザー定義サイズ時) 手差しトレイに××××の用紙を補給してくださ い。	163
テザシユニットヲ トジテ クダサイ	手差しユニットが開いています。 手差しユニットを確実に閉じてください。	240

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
トナーカイシュウカートリッジヲ	廃トナー ボックスの交換時期です。	10,182
コウカンシテクダサイ	廃トナー ボックスを交換してください。	
トナーカイシュウカートリッジヲ	廃トナー ボックスがセットされていません。	182
セットシテクダサイ	廃トナー ボックスをプリンタ本体に確実にセットしてください。	
ドラムカートリッジヲ	ドラムカートリッジの交換時期です。	10,176
コウカンシテクダサイ	ドラムカートリッジを交換してください。	
ドラムカートリッジヲ	ドラムカートリッジがセットされていません。	38,176
セットシテクダサイ	ドラムカートリッジをプリンタ本体に確実にセットしてください。	
トレイ1ニ	用紙トレイ1に用紙を補給してください。	160
ヨウシガアリマセン		
トレイ1Nニ	用紙トレイ1から用紙トレイNまでのすべての用紙トレイに用紙がありません。	160
ヨウシガアリマセン	用紙トレイに用紙を補給してください。	
トレイNニ××××ヲ	用紙トレイNに××××の用紙がセットされていないか、パソコン側で指定した用紙と、実際にセットされている用紙のサイズが違っています。	160
セットシテクダサイ	用紙トレイNに××××の用紙を補給してください。	
トレイNヲ	用紙トレイを指定するときに、指定された用紙トレイがありません。	25,160
セットシテクダサイ	指定された用紙トレイをプリンタ本体に装着してください。	
トレイNヲ	用紙トレイNが正しく装着されていません。	25,160
セットシテクダサイ	プリンタ本体に用紙トレイNを装着してください。	
トレイニ××××ヲ	指定されたサイズの用紙を給紙する用紙トレイがありません(給紙方法を自動選択(AUTO)に指定している場合)。	25,160
ホキュウシテクダサイ	指定されたサイズの用紙がセットされた用紙トレイをプリンタ本体に装着してください。	
ヒダリウエカバーヲ	左上カバーが開いています。	239
トジテクダサイ	左上カバーを確実に閉じてください。	
ヒダリシタカバーヲ	左下カバーが開いています。	242
トジテクダサイ	左下カバーを閉じてください。	
ヒダリシタトミギカバーヲ	プリンタ内で用紙がつまりました。	230,242
アケテヨウシヲジョキヨ	左下カバーと右カバーを開けて、用紙を取り除いてください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
ヒダリシタユニットカラ OHPヲ	本プリンタで使用できないOHPシートまたは	19,232
トリノゾク ワクツキOHPフカ	OHPシート以外の用紙を検出しました。 左下ユニットを引き出し、プリンタ内につまっているOHPシートまたは用紙を取り除いてください。	
ヒダリシタユニットヲ	左下ユニットが開いています。	232
トジテクダサイ	左下ユニット閉じてください。	
プリントシジハ ムコウデス 〔セット〕ヲオシテクダサイ	パソコン側での設定に従って、印刷できませんでした。セットキーを押して印刷を取り消してください。ドライバのプロパティのプリンタ構成を確認してください。	6,67, 99
フロントカバーヲ	フロントカバーが開いています。	4
トジテ クダサイ	フロントカバーを確実に閉じてください。	
ミギカバーカクニンゴリョウ	プリンタ内で用紙がつまっています。	230,243
メントレイノヨウシジョキヨ	右カバーを開けて、つまっている用紙を取り除いてください。 用紙が見つからない場合は、両面トレイを開けて、用紙がつまっていないかどうか確認してください。	
ミギカバーヲ	右カバーが開いています。	230
トジテクダサイ	右カバーを確実に閉じてください。	
ミギシタカバー ヲ トジテクダサイ	拡張給紙ユニット右下カバーが開いています。 拡張給紙ユニット右下カバーを確実に閉じてください。	244
メモリーブソクデス セットキーヲ オシテクダサイ	プリンタの動作に必要なメモリが不足しています。 〔セット〕スイッチを押してください。必要なメモリを増設して印刷してください。	6,65,85, 139,267
リョウメントレイヲ	両面トレイが正しく装着されていません。	243
トジテクダサイ	プリンタ本体に両面トレイを装着してください。	

▼ [エラー] ランプが点滅している場合

[エラー] ランプが点滅している場合は、お客さま自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留め、プリンタの電源を切断し、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
XX-XX デンゲンヲ イチド キッテクダサイ	プリンタが動作できなくなっているか、プリンタの動作が保証されません。 いったん電源を切断し、再び投入します。 それでもエラーメッセージがでる場合は、その内容をお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	

ワーニングメッセージが表示されたとき

プリンタを使用中に液晶ディスプレイの「プリント デキマス」の表示の下段にメッセージが表示されたときは、次のように処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
プリント デキマス × × トナーカートリッジノ	メッセージの色のトナーカートリッジの交換時期 です。	172
コウカンジキデス	メッセージの色の新しいトナーカートリッジを用 意してください。	
プリント デキマス トナーカイシュウカートリッジノ	廃トナー ボックスの交換時期です。 新しい廃トナー ボックスを用意してください。	182
コウカンジキデス		
プリント デキマス ドラムカートリッジノ	ドラムカートリッジの交換時期です。 新しいドラムカートリッジを用意してください。	178
コウカンジキデス		
プリント デキマス サービスコード JXXXXXXX (XXXXXXXには、 右記の英数字が同時 に7桁まで表示され ます。)	1: 定期交換部品(定着器)の交換時期です。 お買い求めの販売店、または富士通パーソナル エコーセンターへご連絡ください。 2 ~ 8: プリント本体の交換時期です。 お買い求めの販売店、または富士通パーソナル エコーセンターへご連絡ください。	
A,B,C,D:	プリントが動作できなくなっているか、プリントの動作が保証されません。 いったん電源を切断し、再び投入します。 それでもエラーメッセージがでる場合は、その 内容をお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。

そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

ここで説明する処置をしても解決できない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエーコーセンターへご連絡ください。

▼ 電源投入時のトラブル

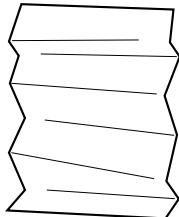
こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源未投入 ・電源コードの抜け ・停電 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチを確認してください。 ・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（↓側）されていることを確認してください。
電源を投入してもすぐには切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセントに問題あり ・電圧が違う ・ブレーカの定格不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 ・ブレーカの定格を調べてください。 <p>参照：「安全上のご注意」((2) ページ) 「電源コードの接続」 (44 ページ) 「電源の投入と切断」 (158 ページ)</p>
電源を投入直後に、オペレータパネルに何も表示がなく、ブザーが鳴っている	・プリンタ RAM モジュールの取り付け不良	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ RAM モジュールが確実に取り付けられていることを確認してください。 <p>参照：「第10章 プリンタ RAM モジュールの取り付け」 (267 ページ)</p>
電源を投入後、5分以上たってもオペレータパネルの表示が「シンダンシティマス」のまま	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ RAM モジュールの取り付け不良 ・両面ユニットの装着 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ RAM モジュールが確実に取り付けられていることを確認してください。 <p>参照：「第10章 プリンタ RAM モジュールの取り付け」 (267 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両面ユニットおよびケーブルが確実に接続されているか確認してください。 <p>参照：両面ユニット取扱説明書</p>

▼ 印刷に関するトラブル

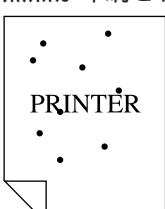
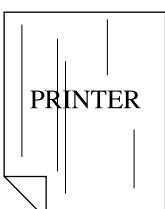
こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜 けている ・プリンタケーブルが仕 様に合っていない ・オンライン状態でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタケーブルが外れていないか確 認してください。 ・[オンライン]ランプが点灯し、『プリ ント デキマス』と表示されているこ とを確認してください。 <p>参照 : 「プリンタケーブルについて」 (9ページ) 「パソコンとの接続」 (46ページ) 「電源の投入と切断」 (158ページ) 「オンライン状態とオフライン状 態を切り替える」(197ページ)</p>
エラーメッセージが 表示され、印刷され ない		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状態をよく確認し、適切な 処置を取ってください。 <p>参照 : 「[エラー]ランプが点灯 / 点滅し たとき」(245ページ)</p>
印刷を実行しても [処理中]ランプが 点灯したまま、点滅 しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタケーブルが抜 けている ・パソコン側の設定が正 しくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源をいったん切断(○ 側)し、プリンタケーブルの接続を 確認してください。 ・プリンタドライバが正しくインストー ルされているか確認してください。 <p>参照 : 「パソコンとの接続」(46ページ) 「プリンタドライバのインストー ルと設定」(49ページ)</p>
[処理中]ランプが 点灯または点滅した まま、排紙されない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内にデータが 残っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを中止するか、残っている データを強制排出してください。 <p>参照 : 「未印刷データを強制的に印刷す る」(199ページ)</p>
両面印刷されないで サイドトレイに用紙 が排出されたり、用 紙づまりになる	<ul style="list-style-type: none"> ・両面ユニットのトラン スポータのケーブルが プリンタ本体に確実に 接続されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・両面ユニットのトランスポータのケー ブルが確実に接続されているか確認し てください。 <p>参照 : 両面ユニット取扱説明書</p>

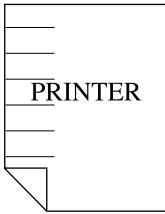
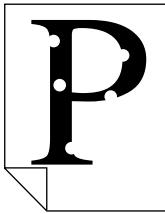
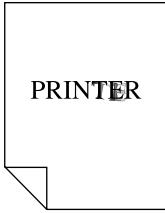
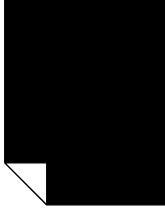
▼ 用紙に関するトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が傾く、外れる、 破れる、つまる	・用紙が正しくセットされ ていない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な 処置を取ってください。 参考：「安全上のご注意」((2) ページ)
シワがつく	・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない ・用紙がつまっている	「用紙について」(13 ページ) 「用紙のセット」(160 ページ) 「紙づまりになったとき」 (226 ページ)
用紙が二重送りされ る	・用紙どうしがくっつい てしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は1枚ずつセットして 印刷してください。 参考：「用紙のセット」(160 ページ)
用紙にシワがつく	使用している用紙が適切 ではありません。	・適切な用紙をセットしてください。 参考：「用紙について」(13 ページ) 「用紙のセット」(160 ページ)
	用紙が湿気を含んでいま す。	・新しい用紙に交換してください。 参考：「用紙のセット」(160 ページ)
	用紙のセットが適切では ありません。	・用紙を正しくセットしてください。 参考：「用紙のセット」(160 ページ)

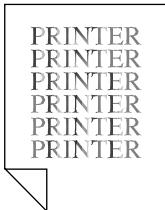
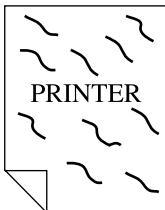
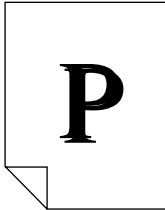
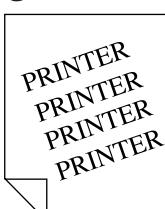


▼ 印刷品質に関するトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
裏面が汚れる	プリント内の用紙搬送路 が汚れている	<ul style="list-style-type: none"> 数枚テスト印刷してください。汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 参照:「設定値を変える」(201ページ) 「プリンタの清掃」(185ページ)
		
印刷がうすい (かすれる、不鮮明)	用紙が湿気を含んでいま す。 使用している用紙が適切 ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> 新しい用紙に交換してください。 参照:「用紙のセット」(160ページ) <ul style="list-style-type: none"> 適切な用紙をセットしてください。 参照:「用紙について」(13ページ) 「用紙のセット」(160ページ)
		
黒点が印刷される	使用している用紙が適切 ではありません。 ドラムカートリッジが劣 化、または損傷していま す。	<ul style="list-style-type: none"> 適切な用紙をセットしてください。 参照:「用紙について」(13ページ) 「用紙のセット」(160ページ) <ul style="list-style-type: none"> 新しいドラムカートリッジに交換して ください。 参照:「ドラムカートリッジの交換」 (176ページ)
		
黒線が印刷される	ドラムカートリッジが 劣化、または損傷してい ます。	<ul style="list-style-type: none"> 新しいドラムカートリッジに交換して ください。 参照:「ドラムカートリッジの交換」 (176ページ)
		

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
等間隔に汚れる 	プリンタ内の用紙搬送路 が汚れています。	・数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で 汚れがとれたかどうか判断してください。 参照:「設定値を変える」(201ページ)
黒く塗りつぶさ れた部分に白点 がある 	ドラムカートリッジが劣 化、または損傷していま す。	・新しいドラムカートリッジに交換してく ださい。 参照:「ドラムカートリッジの交換」 (176ページ)
指でこするとト ナーがかれる 	用紙が湿気を含んでいま す。 使用している用紙が適切 ではありません。 厚紙を使用しています。	・適切な用紙をセットしてください。 参照:「用紙について」(13ページ) 「用紙のセット」(160ページ) ・新しいドラムカートリッジに交換してく ださい。 参照:「ドラムカートリッジの交換」 (176ページ) ・適切な印刷面をセットしてください。 参照:「用紙のセット」(160ページ) ・新しい用紙に交換してください。 参照:「用紙のセット」(160ページ) ・適切な用紙をセットしてください。 参照:「用紙について」(13ページ) 「用紙のセット」(160ページ) ・設定を厚紙にしてください。
用紙全体が黒く 印刷される 	ドラムカートリッジが劣 化、または損傷していま す。	・新しいドラムカートリッジに交換してく ださい。 参照:「ドラムカートリッジの交換」 (176ページ)
	プリンタ内の高圧電源な どの故障が考えられます。	・お買上げの販売店または富士通パーソナル エコーセンターにご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない	ドラムカートリッジの保護シートが完全に引き抜かれていません。	・保護シートをはがします。 参照：「ドラムカートリッジの交換」 (176 ページ)
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	・用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照：「用紙のセット」(160 ページ)
	トナーカートリッジにトナーが残っていません。	・新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照：「トナーカートリッジの交換」 (171 ページ)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照：「ドラムカートリッジの交換」 (176 ページ)
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられます。	・お買上げの販売店または富士通パーソナルエコーモンターセンターにご連絡ください。
白抜けが起こる	用紙が湿気を含んでいます。	・新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(160 ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	・適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(13 ページ) 「用紙のセット」(160 ページ)
	ドラムカートリッジの保護シートが完全に引き抜かれていません。	・保護シートをはがします。 参照：「ドラムカートリッジの交換」 (176 ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	
文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な用紙をセットしてください。 <p>参照 :「用紙について」(13ページ) 「用紙のセット」(160ページ)</p>	
	用紙が湿気を含んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい用紙に交換してください。 <p>参照 :「用紙のセット」(160ページ)</p>	
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 <p>参照 :「ドラムカートリッジの交換」 (176ページ)</p>	
不要なトナーがつく	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 <p>参照 :「ドラムカートリッジの交換」 (176ページ)</p>	
	太い文字に影が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 <p>参照 :「ドラムカートリッジの交換」 (176ページ)</p>	
	斜めに印刷される	用紙トレイのガイドクリップが正しい位置にセットされていません。	<ul style="list-style-type: none"> ・縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。 <p>参照 :「用紙のセット」(160ページ)</p>
			

▼ その他のトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押し ていない	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照:「オペレータパネルを操作する」 (197ページ)
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・用紙トレイの装着が不完全 ・プリンタの設置場所が水平でない	・プリンタ内部を点検してください。 ・用紙トレイを完全に装着してください。 参照:「用紙のセット」(160ページ) 「紙づまりになったとき」 (226ページ) ・プリンタを安定した平面の上に移動してください。

留意事項

お願い

添付のプリンタドライバ用 CD-ROM の「Readme95.txt」、「Readme9x.txt」、「ReadmeNT.txt」、「Readme2K.txt」の留意事項も併せてお読みください。

品質に関する留意事項

項目名	注意制限	対処方法
はがき品質 (おもて面)	はがき(おもて面)出力で「はがき」を指定しない場合、本来の品質より落ちることがあります。	はがき(おもて面)出力時は、「はがき」を指定してください。
はがき品質 (うら面)	はがき(うら面)出力で「はがき(うら面)」を指定しない場合、本来の品質より落ちることがあります。	はがき(うら面)出力時は、「はがき(うら面)」を指定してください。
グレー品質	ディスプレイでは、グレーで表示されているのに、出力結果が、色みがかったグレーで表現されることがあります。	特定のグラフィックスを忠実に再現を「しない」と指定すると、改善されることがあります。
黒系のグラデーション品質	黒を含むグラデーションなどで黒の部分だけ濃度の段差ができることがあります。	特定のグラフィックスを忠実に再現を「しない」と指定すると、改善されることがあります。

項目名	注意制限	対処方法
黒色の線、文字、 罫線、グレーの イメージが正しく 表現されない	黒色の線や文字、罫線 (特に点線) グレーの イメージ等が黒に色み がかった色で印刷され ることがあります。	特定のグラフィックスを忠実に再現を 「しない」と指定すると、改善されるこ とがあります。
色が正しく出力さ れない	色がまったく異なる (紺が黄色、水色が赤、 白抜けするなど) 場合 があります。	特定のグラフィックスを忠実に再現を 「しない」と指定してください。
細線の品質	カラー (特に中間色) の細線を印字すると、 薄くなり、本来の品質 が悪くなることがあり ます。	細線は濃いめの色で指定してください。
Corel Draw で色合 いが違う	Corel Draw で CMYK で色指定している場合、 ディスプレイと色合い が異なることがあります。	おすすめ画質設定を製図 / 小さい文字に してください。
白抜き文字、白背景 部分に色がつき正し く印刷されない	白抜き文字、白背景部 分がクリーム色 (オレ ンジ色) もしくはこげ 茶色 (グレー) などの 色がつくことがあります。	特定のグラフィックスを忠実に再現を 「する」に、おすすめ画質設定を製図 / 小さい文字にしてください。
スムージング ON 時 の画質	スムージングを ON に すると、グラデーション部分などで画質が悪 くなることがあります。	初期設定タブ / プリント機能設定のス ムージングを「しない」と指定してくだ さい。

項目名	注意制限	対処方法
貼り付け画像の画質	EPS 等の画像データを貼り付けた場合、印字結果が粗くなる場合があります。	Photoshop などで貼り付け画像を TIFF などのフォーマットに変換して再度貼り付けてください。
写真画像の品質	写真画像の場合、コントラストを上げたほうが、品質がより良くなります。	一概には言えませんが、画面で見た感じがあまりはっきりしない画像の場合、ドライバでコントラストを 10 ~ 15 程度にすると、画像がくっきりとして品質が良くなります。
ビットマップではりつけられた場合の文字品質	ビットマップではりつけられた文字の場合、文字がきれいに印字されないことがあります。	ビットマップで貼り付けられた文字の場合は文字モードで出力してください。ただし、写真に文字をはりつけたような画像の場合、写真部分の品質は悪くなることがあります。
写真モード時の写真品質	画質調整で写真を指定すると、イメージが全体的に黄色がかかった色合いになることがあります。	画質調整を文字にして出力してください。

▼ プリンタに関する留意事項

項目名	注意制限	対処方法
手差しトレイでの用紙サイズ不一致エラー	<p>ドライバで設定する用紙サイズと実際にセットされた用紙が異なる場合、トレイ給紙では、給紙する前に用紙サイズ不一致を検知し、正しい用紙を補給するようエラー表示されます。ただし手差し給紙の場合、手差しは用紙サイズ検知ができないため、実際に給紙し、印刷された後に用紙サイズ不一致のエラー（テザシトレイニ XX ョウシヲホキュウシテクダサイ、テザシトレイニシティノヨウシヲホキュウシテクダサイ）が検出されます。</p> <p>この場合、その検知に以下の制約があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ数が 1 ~ 4 ページのジョブでは、用紙サイズ不一致のエラーが検知されずに、正常終了することができます。（エラーメッセージが出ません。） ・5 ページ以上のジョブは、2 ~ 4 枚印刷後に、そのエラーを検出することができます。 	
画像調整モード	<p>20 シートに 1 枚の割合で、画像調整モードに入ります。その場合、印刷動作は中断され、パフォーマンスが低下します。そのとき LCD 表示はプリント中（「プリントシティマス」）と表示します。</p> <p>また、トナーが少量になるほど、画像調整モードの時間は長くなります。（約 20 秒 ~ 10 分）</p>	ワーニングメッセージが表示されたら、すぐにトナーカートリッジを交換してください。

▼ プリンタドライバに関する留意事項

項目名	注意制限	対処方法
細線の再現性	細かい点線が実線で印刷されているようにみえることがあります。(線種 0.25pt 等)	グラフィックタブ / おすすめ画質設定で「一般文書(速度優先)」にしてください。
線が印字される	ディスプレイ上の通常表示(倍率 100%)において見えない線が印刷される。	グラフィックタブ / おすすめ画質設定で「一般文書(速度優先)」にしてください。
Microsoft Word で中抜き文字が印刷されない	Windows 98 上で動作する Microsoft Word で、中抜き修飾を施した文字が、印字されなかったり、文字化けしたりしてしまうことがあります。	フォントタブ設定で「常に TrueType フォントを使う」にしてください。
Acrobat 4.0 で正しく印字されない	Windows 98 上で動作する Acrobat 4.0 で画面通りに印字できない場合があります。	詳細設定タブ / スプール設定を「RAW EMF」にしてください。
Windows 98 追加補助漢字が印刷されない	Windows 98 で追加された補助漢字を、プリンタフォントを用いて印刷すると、文字が印刷されなかったり、文字化けすることがあります。	フォントタブ設定で「常に TrueType フォントを使う」を指定してください。
ソート機能が働かない	アプリケーションからの印刷時に、印刷ダイアログのプロパティで、「ソートする」を指定してもソートされない。	アプリケーション側の印刷ダイアログの「部単位で印刷」を指定してください。
Illustrator 8.0 で、大きな写真を印刷すると、一部の色がディスプレイと異なる色で印刷される	「ビットマッププリント」をして、写真(高画質 3)で印刷した場合、色が正確に印刷されない場合があります。	Illustrator 8.0 の印刷ダイアログの「ビットマッププリント」にチェックをつけたまま印刷してください。または、写真(高画質 3)を使わずに印刷してください。
ダイアログ表示	表示解像度 VGA (640 × 480 dpi) では、ダイアログドライバウンドウ全体を表示できません。	できるだけ 800 × 600dpi 以上の解像度で使用してください。
プリンタ搭載フォントの一部が、フォント置き換えテーブルに表示されない(Windows 95/98/Me)	XL-C3100 では、MS 互換フォントを使用しているため、欧文フォントの一部書体 (Arial Italic) を関連書体 (Arial) で代替可能です。したがってプリンタ搭載フォントの一部書体は「フォント置き換えテーブル」に表示されません。	選択可能なフォントを使用してください。

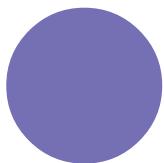
項目名	注意制限	対処方法
イメージ調整 レビュー	イメージ調整プレビューは、256色表示の場合 16 色で表示されます。High Color 以上の場合 は 256 色表示となります。	できるだけきれいにイメージ調整プレビューを表示させるために、High Color 以上で使用してください。
セントロ接続での タイムアウト	<ul style="list-style-type: none"> CorelDraw/Designer/Photoshop/一太郎などから印刷をする場合、パソコン側の処理能力によって、連続して印刷処理が行えない場合があります。この場合、プリンタ側でタイムアウトを起こし、次のようなトラブルが発生することがあります。 印字途中で、TEXT になってしまう。 出力結果が文字化けのようになっていたり、白紙が出力される。 	CorelDraw/Designer/一太郎/Photoshop などで出力に時間がかかると思われる場合は、タイムアウトを「しない」に指定してください。ただし、内容によっては出力が終わるまでに数時間かかるものもあります。
細線が正しく印刷 されない (特に高品質)	カラー文書で細線の色が異なってしまうことがあります。または、細線が再現されないことがあります。	<p>このような場合には、</p> <ul style="list-style-type: none"> 細線は太めで使用してください。 品質を標準で印刷してください。 黄色(特に白背景での)の線は、できるだけ他の色を使用することをお勧めします。 <p>ヘアライン設定(1DotLine)では、再現しているが見えない場合があります。また、濃色背景での黒では、異なる色に見える場合があります。</p> <p>プレビューとは異なりますが、内部処理ではアプリケーションの指定どおり印刷しています。</p>

項目名	注意制限	対処方法
シェード・線種が正しく印刷されない(特に高品質)	高品質では、シェードおよび線種が、プレビューとは異なる場合があります。 たとえば、線種が再現されない、シェードが細かいなどがあります。	標準で印刷してください。
薄い文字色 / 背景色が正しく印刷されない	黄色、銀色などで薄い色(20%程度)が再現されないことがあります。	銀色など、薄い色については、濃度を濃い目にして使用してください。 黄色(特に白背景での)は、できるだけ他の色を使用することをお勧めします。
プレビューと文字位置・改行位置が異なる	プレビューと文字位置・改行位置などが異なる場合がまれにあります。	常にTrue Typeで印刷を選択してください。「プリントフォントで置き換える」では、表示解像度とプリント解像度の違いから、合わない場合があります。
はがき設定	ハガキサイズを選択した場合にははがき／はがき(うら面)は連動していません。	官製はがきを使用する場合は、用紙種類をはがき、またははがき(うら面)に設定してください。
システム外フォント	使用しているPCに搭載されていないフォントを使用したドキュメントでは、アプリケーションによって ・文字属性が再現されない ・文字が化ける ・文字が抜ける 場合があります。	「常にTrueTypeフォントを使う」を選択してください。 可能な場合には、パソコンに搭載されているフォントに変更することをお勧めします。
アプリケーション(もしくはドライバの設定)がドライバ(もしくはアプリケーション)設定に反映されない	アプリケーションの設定が、ドライバに反映しない場合があります。ドライバの設定がアプリケーションに反映しない場合があります。	ドライバ側で設定を再度行ってください。それでも行えない場合は、いったんアプリケーションを閉じて、設定 プリンタプロパティで設定した後、再度アプリケーションを起動してください。

項目名	注意制限	対処方法
MS- Word 6/7 の下線、2重下線などが正しく印刷されない	下線、2重下線などの文字修飾や文字位置がプレビューと異なることがあります。	フォントタブの「常にTrueType フォントを使う」で印刷してください。
MS- Excel 5/7 で A3 領域全部を印刷できない	A3、600dpi では、A3 領域全部を印刷できない場合があります。	アプリケーション固有の問題です。
Illustrator 4.1j で作った文書が印刷できない	600dpi 以上で印刷できない場合があります。	300dpi で印刷してください。Illustrator 4.1j は、600dpi のデバイスには、正式対応していないためです。
ATOK	PC98 機で ATOK を使用している場合、プリンタ設定ができない場合があります。	その場合、一度他の FEP を選択後、再度 ATOK に切り替えることで、正常に設定できるようになります。 または、起動時は ATOK 以外の FEP を有効にしてください。
「ユーザー設定」タブの機能設定一覧に表示される一部名称が異なる	初期設定の項目名の1つが「TrueType 置き換えテーブル」と表示されるが、ドライバのメニュー画面上の名称（「フォント置き換えテーブル」）と異なることがあります。	「TrueType 置き換えテーブル」は「フォント置き換えテーブル」と同一機能として扱ってください。
ほかのプリンタドライバと共に存使用時に特定用紙がほかのドライバより選択可能となることがある (Windows NT4.0 /2000)	ほかのドライバのメニュー画面上で XL-C3100 の特定用紙が選択可能となる場合があります。	FJXLC3100 カスタム 1 ~ 5 / 洋形 2 号 / 洋形 4 号 / 洋形長 3 号の用紙はほかのプリンタドライバでは使用しないでください。
プリントサーバーのプロパティ上で XL-C3100 用の特定用紙を削除した場合の動作 (Windows NT4.0 /2000)	FJXLC3100 カスタム 1 ~ 5 を削除した場合、ユーザー定義用紙で指定したサイズでの印刷ができなくなります。	絶対に削除しないでください。 誤って削除した場合は、ドライバを再インストールするかプリントサーバーのプロパティ上で同一名称の用紙を再登録してください。
特定のアプリケーションで印刷時間が非常に遅い	おすすめ画質タイプとして標準や高画質モードを選択した場合、特定のアプリケーションで印刷時間が非常に遅くなることがあります。	おすすめ画質タイプとして速度優先モードを指定してください。 特に一般文書（速度優先）を指定すると印刷時間を大幅に短縮できる場合があります。

第10章

プリンタRAMモジュールの取り付け



本プリンタのオプションには、プリンタRAMモジュール、拡張給紙ユニット、プリンタキャビネットなどがあります。ここでは、プリンタRAMモジュールの取り付けかたについて説明します。その他のオプションは、各オプション品に添付されている取扱説明書を参照して行ってください。

プリンタRAMモジュールの取り付け上のご注意	268
RAMモジュールの取り付けかた	268
RAMモジュールを取り付ける	269
RAMモジュールを取り外す	273

プリンタRAMモジュールの取り付け上のご注意

メモリを増設するためのRAMモジュールを取り付けるときは、次のこ
とがらを守ってください。



感電 RAMモジュールを接続する場合には、当社推奨品以外
は接続しないでください。火災や感電または故障の原因
となります。



けが RAMモジュールの取り付け、取り外しを行う際は、指
定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または
故障の原因となることがあります。

RAMモジュールの取り付けかた

RAMモジュールの取り付け、取り外しについて説明します。



感電 RAMモジュールを取り付けおよび取り外すときは、
電源スイッチが「」側に倒れていること、および電
源コードが本体から抜かれていることを確認してく
ださい。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因
となります。



静電気によってRAMモジュールが破壊されないように、
次の点にご注意ください。

- ・本プリンタに取り付ける直前まで、袋からRAMモ
ジュールを取り出さないでください。
- ・RAMモジュールに触れる前に、金属製のもの(ロッカ
ーなど)に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- ・RAMモジュールを持つときは、必ずRAMモジュールの
端を持ってください。RAMモジュールの電気回路部品
および配線部分に手を触れないでください。

▼ RAM モジュールを取り付ける

64MB、128MB の RAM モジュールを取り付けることができます。
メモリを取り付ける組み合わせは、以下のとおりです。

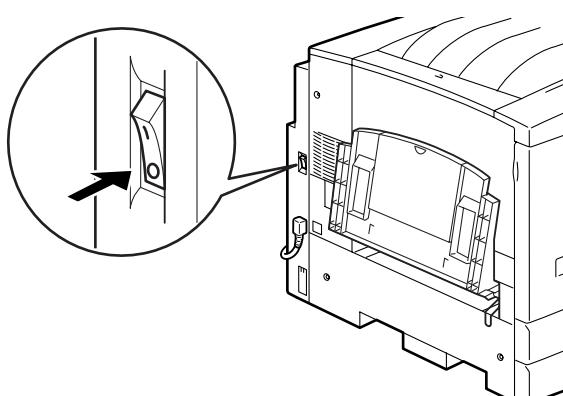
DIMM0 (左側) スロット	DIMM1 (右側) スロット	総容量
* ¹ 64MB	_____	64MB
64MB	64MB	128MB
64MB	128MB	192MB
* ² 128MB	128MB	256MB

*¹ プリンタ本体購入時

*² この組み合わせでは、プリンタ本体購入時に取り付けられていた 64MB の RAM モジュールを取り外してください。

► お願い

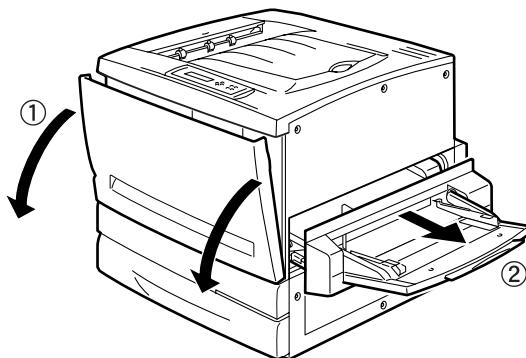
- ・RAM モジュールを取り付ける場合は、上記以外の組み合わせはしないでください。
正常にメモリが認識しません。
- ・RAM モジュールを増設すると、パソコン側から印刷指示する際にプリンタドライバでプリンタ構成のメモリ増設にチェックをする必要があります。プリンタドライバの設定方法については、ヘルプもしくは、「第5章 プリンタドライバのインストールと設定」(49ページ) を参照してください。



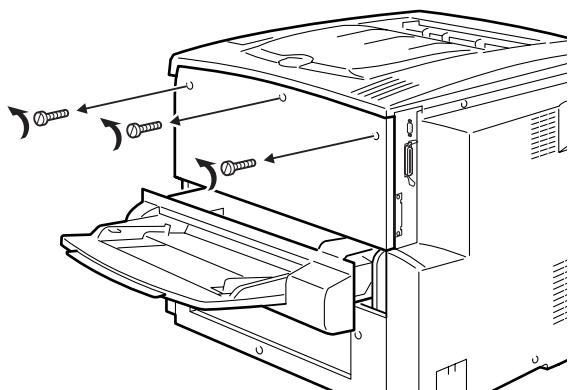
1 電源を切斷する

プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「○」側を押し、電源を切り、電源コードを本体から抜いてください。

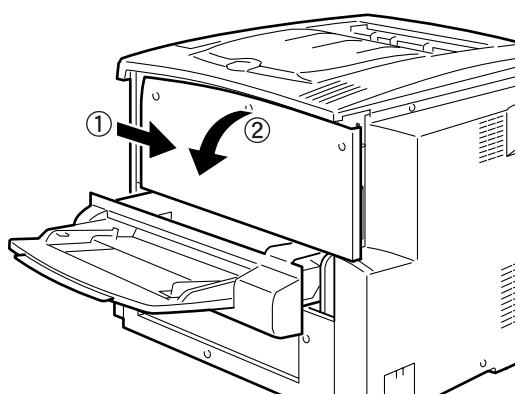
2 フロントカバーを開ける

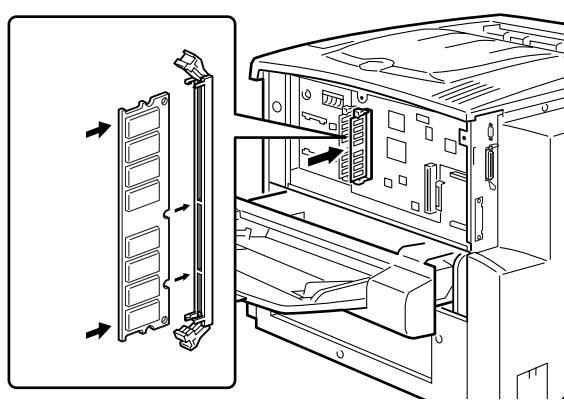


3 プリンタ本体右側面のカバー上の3本のネジを外す



4 右側面のカバーをいったんプリンタ背面側にずらし(①)、それから手前に倒して外す(②)





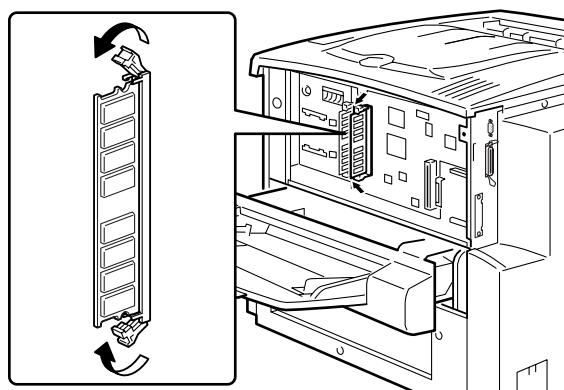
5 RAM モジュール用スロットの両端にあるイジェクトレバーを外側に倒す

RAM モジュールの両端を持ち、2 つの切れめと、スロットの2 つの凸部分を正しく合わせて、まっすぐ差し込む

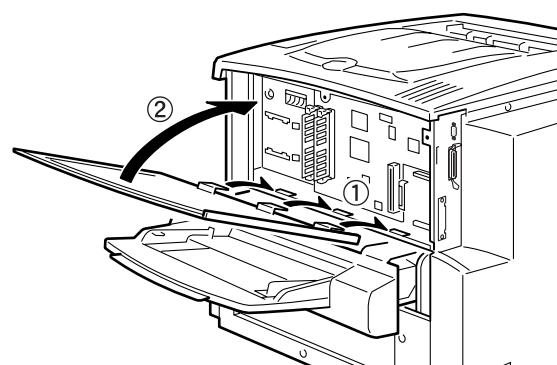
すでに取り付けられているRAM モジュールを取り外す場合は、イジェクトレバーを外側に倒したあと、まっすぐ引き抜いてください。

▶ お願い

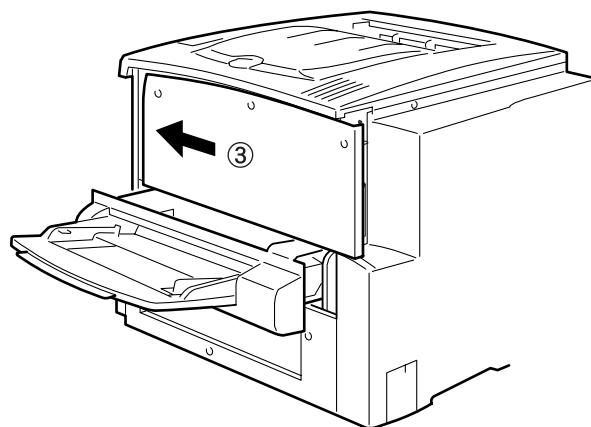
基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。



6 RAM モジュールをスロットにしっかりと差し込んだら、スロットの両端にあるイジェクトレバーを内側に倒して固定する



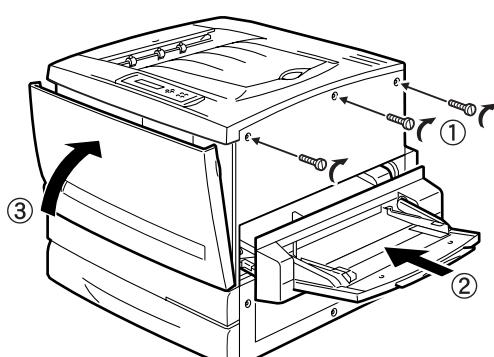
7 右側面のカバー下側の突起部をプリンタ本体側の穴に差し込み(②)、プリンタ本体側に倒す(①)。



そのあとで、右側面のカバーをプリンタ前面側にずらし(③)、しっかりとはめ込む

▶ お願い

プリンタ本体の基板には触れないでください。故障の原因となることがあります。

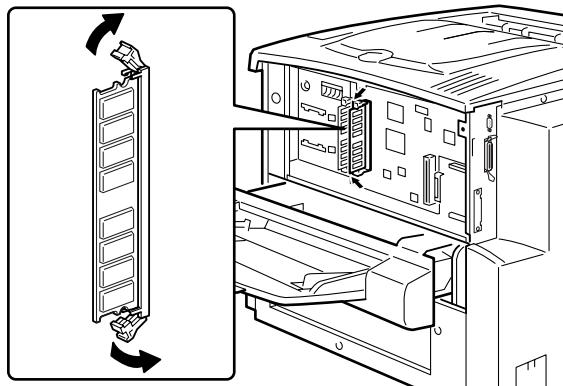


8 右側面のカバーを手順3で外したネジで固定してから、手差しユニットをプリンタの奥までしっかりと押し込む
最後に、フロントカバーを閉じる

これで、RAMモジュールの取り付けは終了です。正しく取り付けられたかどうかを、プリンタ設定リストを印刷して確認してください。

また、アプリケーションソフトウェアから印刷する前に、プリンタドライバでプリンタの構成を変更してください。

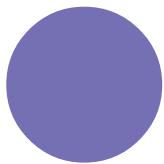
▼ RAM モジュールを取り外す



- 1 両側にあるイジェクトレバーを外側に倒して、スロットに差し込まれている RAM モジュールをまっすぐ引き抜く

右側面カバーの外しかたや取り付けかたは、「RAM モジュールを取り付ける」(269 ページ) を参照してください。

付録



ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様	276
基本仕様	276
インターフェース仕様	277
保守・サービス	280
プリンタドライバのダウンロードサービス	280
アフターサービスについて	280
お問い合わせチェックシート	281

プリンタの仕様



基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度(最大コピー)	普通紙(片面)*モノクロ:26.1枚/分、カラー:6.0枚/分(A4サイズ) 普通紙(両面)*モノクロ:20.2枚/分、カラー:6.0枚/分(A4サイズ) OHP/厚紙*モノクロ:4.8枚/分、カラー:3.0枚/分(A4サイズ)
ウォームアップタイム	電源投入後、300秒以内(22℃、定格電圧にて)
エンジン解像度	600dpi × 600dpi
用紙サイズ	・用紙トレイ:A3、B4、A4、B5、リーガル、レター、レジスター ・手差しトレイ:幅90~330.2mm 長さ144.8~457.2mm
給紙方式	・用紙トレイによる自動給紙(収容枚数250枚、拡張給紙ユニットを使用時500枚×2段) ・手差しトレイによる自動給紙(収容枚数150枚)
排紙方法	・センタートレイ(フェイスダウン)250枚 ・サイドトレイ(フェイスアップ)150枚(A4以下) /50枚(A4より大きいサイズ)
使用環境条件	温度10~32℃、湿度15%~85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100±10%、50/60Hz
消費電力	最大時 1200W以下、節電時 30W未満
騒音	待機時 38.3dB(A)、動作時 54.8dB(A)
外形寸法	幅650mm、奥行き647mm、高さ556mm (手差しトレイ、サイドトレイ折りたたみ時)
重量	約75kg(消耗品を含む)
インターフェース	IEEE1284双向パラレルポート
プリンタシーケンス	Windows専用(XL-C3100独自)
文字・書体	日本語フォント(4書体):FXリヨービ本明朝-L、FXリヨービゴシック-B、 FXリヨービP本明朝-L、 FXリヨービPゴシック-B
欧文フォント(15書体):	・Arial(Bold、Italic、Bold Italic) ・Courier New(Bold、Italic、Bold Italic) ・Times New Roman(Bold、Italic、Bold Italic) ・Century ・Symbol ・Wingdings
耐用期間*	5年(8時間/日)または18万枚印刷(A4縦送り)

*モノクロ:カラー=1:1で印刷した場合。

● ガイド

- ・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- ・24時間運用の場合は、耐用期間は5年より短くなります。
- ・A4より大きく長い用紙やカラー印刷の量が多い場合は、耐用期間は18万枚より短くなります。
- ・耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、お買い上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。なお、部品の交換は有償です。

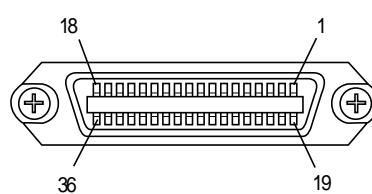
部品	交換目安
定着器	10万枚印刷

▼ インタフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、IEEE 1284の仕様に準拠した双方向パラレルインターフェースを採用しています。

■ インタフェース仕様とコネクタピン配列

- ・インターフェースコネクタ
 - プリンタ側：36極コネクタ(メス) アンフェノール 57-40360相当品
 - ケーブル側：36極コネクタ(オス) アンフェノール 57-30360相当品
 - ・ケーブル：最長1.5m以下のケーブルを使用してください。
(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
 - ・信号レベル：LOW：0.0V～+0.4V HIGH：+2.4V～+5.0V
 - ・データ転送方式：8ビットパラレル
- ・コネクタピン配列



インターフェースコネクタ(36ピン)

双方向 OFF 時のピン配列

ピン番号	信号名称	発信元	ピン番号	信号名称	発信元
1	* Strobe	パソコン	19	-RET	-
2	Data 1	パソコン	20	-RET	-
3	Data 2	パソコン	21	-RET	-
4	Data 3	パソコン	22	-RET	-
5	Data 4	パソコン	23	-RET	-
6	Data 5	パソコン	24	-RET	-
7	Data 6	パソコン	25	-RET	-
8	Data 7	パソコン	26	-RET	-
9	Data 8	パソコン	27	-RET	-
10	* Ack	プリンタ	28	-RET	-
11	Busy	プリンタ	29	-RET	-
12	Paper End	プリンタ	30	-RET	-
13	Select	プリンタ	31	* Inputprime	パソコン
14	* Auto Feed	パソコン	32	* Fault	プリンタ
15	-	-	33	-	-
16	SG	-	34	-	-
17	FG	-	35	-	-
18	+5VSignal	プリンタ	36	* SelectIn	パソコン

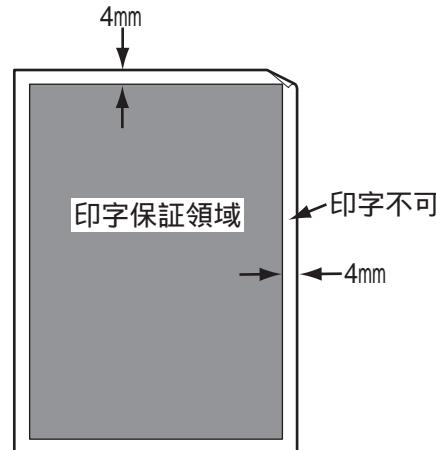
注)・“*”は、負論理信号であることを示します。

- ・双方向 ON 時の結線は、IEEE 1284-B タイプのコネクタの規格に準拠しています。

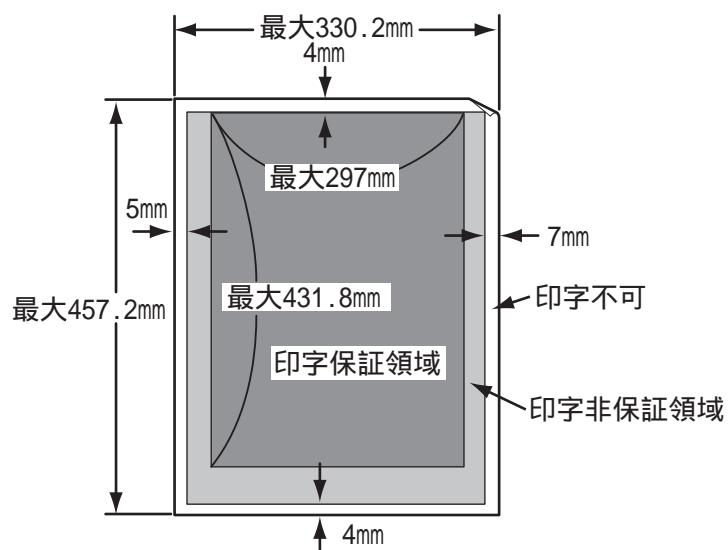
■ 印刷保証領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

[A3 以下または用紙幅が 304.8mm(12inch)以下の用紙の場合]



[特 A3 または用紙幅が 304.8mm(12inch)より大きい用紙の場合
(特 A3 用ガイドを倒して印刷する場合)]



保守・サービス



プリントドライバのダウンロードサービス

最新版のプリントドライバをインターネット上でご提供するサービスです。

下記の手順に従ってプリントドライバをご入手ください。

(2000年11月現在)



アフターサービスについて

- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
- ・保証書は、日本国内でのみ有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より6か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後6年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・操作、機能について不明な点、修理のご相談は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。詳細は、添付の修理・サービス網一覧表をご覧ください。

お問い合わせチェックシート

お問い合わせの内容によっては以下の情報が必要になります。お問い合わせになる前に、該当する項目にご記入ください。

プリンタの環境

機種名 _____ 製造番号 _____
購入月： 年 月 (プリンタの背面と保証書に記載してあります)

プリンタケーブル名： メーカ名： _____

ホストコンピュータの環境

パソコンメーカー / 機種名：
メモリ容量： MB ハードディスク容量： MB
拡張オプション(ボード)： なし 利用 (メーカー名：)
(メーカー名：)
(メーカー名：)

オペレーションシステム

Windows バージョン： メーカ名：
その他のOS： メーカ名： _____

プリンタドライバ

プリンタドライバ名： バージョン： _____

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名： バージョン：
使用フォント名： _____

索引

記号

＊	206	RAM モジュール	268
180 度回転する	80	の取り付け	268
▼	203	Readme2k.txt	144
◀	203	Readme95.txt	51
▶	203	Readme9x.txt	108, 120
▲	203	ReadmeNT.txt	131

A

Ack 信号	215	TrueType フォント	90
--------	-----	---------------	----

B

Busy-Ack	215
Busy 信号	215

E

ECP	215
-----	-----

N

NV メモリー初期化	214
N アップ	78

O

OHP 合紙ダイアログボックス	82
OHP フィルム	18
をセットする	166

P

Plug & Play でのインストール	
Windows 2000	144
Windows 98	108
Windows Me	120
Windows 95	51
PPC 用紙	15

R

RAM モジュール	268
の取り付け	268
Readme2k.txt	144
Readme95.txt	51
Readme9x.txt	108, 120
ReadmeNT.txt	131

T

TrueType フォント	90
---------------	----

ア

新しいドライバに置き換えるとき	
Windows 2000	152
Windows 95	60
Windows 98	116
Windows Me	127
Windows NT4.0	135
厚紙	15
アフターサービス	280

イ

位置	93
色の管理ダイアログ	118, 129
印刷先のポート	71
印刷する用紙サイズ	76
印刷速度	276
印刷ダイアログボックス	104
印刷に関するトラブル	252
印刷に使用するドライバ	72
印刷品質に関するトラブル	254
印刷方式	276
印刷保証領域	279
印刷を中止する	198
印字テスト	70

インターフェース	276	紙づまり	226
インターフェース仕様	277	の主な原因	227
ウ			
ウォームアップタイム	276	紙をさばく	164
エ			
液晶ディスプレイ	6, 196	カラーオフィス用紙	14
エコ受付センター	11	カラーサンプルリスト	221
エラーメッセージ	245	カラーページプリンタ用OHPフィルム	14
エラーランプ	6, 245	カラー モード	85
が点滅	249	環境範囲	22
が点灯	245	官製はがき	15, 18
エンジン解像度	276	キ	
オ			
置き換えるプリンタフォント	97	既定のドキュメントの	
おすすめ画質タイプ	86	プロパティダイアログボックス	136
オフライン状態	197	機能設定一覧	102
オペレータパネル	197	基本仕様	276
の機能	6	基本的な操作	203
オンライン状態	197	給紙カセット	10
オンラインスイッチ	6	給紙方式	276
オンラインランプ	6	給紙方法	16
力			
カートリッジ類の取り扱い上のご注意	(11)	給紙ローラの清掃	186
カール	161	共有タブ	74
外形寸法	276	ク	
回転止めスペーサ	31	区切りページ	70
拡大縮小率	77	グラフィックタブ	85
拡張給紙ユニット	8, 100	ケ	
での紙づまり	244	警告表示マークについて	(1)
拡張給紙ユニット用コネクタカバー	5	原稿の用紙サイズ	75
角度	93	コ	
各部の名称と機能	4	候補値の設定後の操作	210
囲み	93	候補値を初期値にする	209
画質調整ダイアログボックス	87	候補値を表示、設定する	208
画像を圧縮して転送	95	項目の表示と選択	206

サ

再生紙	15
サイドトレイ	5
の取り付け	42
サブメニューを表示、選択する	205
サプライ品	10, 169
シ	
システムの設定	212
重 量	276
出力タイミング	215
出力用紙サイズ	76
使用環境条件	276
使用済みカートリッジ	11
詳細タブ	71
詳細レイアウトダイアログボックス	78
上質紙	15
状態表示	196
消費電力	276
情報タブ	69
初期設定タブ	94
書体	276
ジョブ	
の削除	103
の登録	102
の読み出し	102
ジョブタイムアウト	213
ジョブ履歴設定	213
処理中ランプ	6

ス

推奨用紙	14
スタンドアロン	57, 148
スタンプタブ	91
スタンプ文字列	92
スプールの設定	73
スムージング	95
寸法	24

セ

積載可能枚数	16
設定一覧	98
設定画面の表示	68, 117
設定項目の詳細	
Windows 95	69
Windows 98	118
Windows Me	129
セット／排出スイッチ	6, 203
接続	
電源コードの接続	44
パソコンとの接続	46
節電モード	212
全般タブ	69

ソ

ソートする	75
騒 音	276
操作パネル	4

タ

タイムアウト	95
タイムアウト設定	72
耐用期間	276

チ

小さなサイズの用紙がつまつたときには	235
中央揃え	93
超音波加湿器	23

ツ

通常のインストール	
Windows 2000	147
Windows 98	112
Windows Me	123
Windows 95	56
通風口	5

テ

定着器	5
手差しトレイ	4
での紙づまり	229
にOHP フィルムをセットする	166
にはがきをセットする	167
に用紙をセットする	163
のスペーサを取り外す	26
の用紙の置き方	168
手差しトレイの用紙セット方向	
ダイアログボックス	76
手差しユニット	4
での紙づまり	240
のスペーサを取り外す	27
電圧定格値	44
電源	
を入れる	158
を切る	159
電源コード	2
電源コードコネクタ	5
電源コンセント	22
電源周波数	276
電源スイッチ	5
電源投入時のトラブル	251
転写電圧調整	214
電波障害	23

ト

透過する	93
登録名変更	103
特殊紙	14
特定のグラフィックスを忠実に再現	86
とじしろ	83
とじしろダイアログボックス	83
トナーカートリッジ	2, 5, 169
を交換する	172
の取り付け	34
トナーカートリッジ取り付け口のスペーサを取り外す	31

トナーカートリッジ取り付け口のトナーカバーを取り外す	31
ドライバの追加	72
ドラムカートリッジ	2, 5, 10, 169
を交換する	178
の取り付け	38
ドラムクリーナー	169
ドラム表面	180
取消／プリント中止スイッチ	6, 203
トレイ	196

二

入力ポート	196
ネ	
ネットワークプリンタ	57

ハ

バージョン情報	84
排紙方法	276
排出先	81
廃トナーBOX	5, 10, 169, 170
を交換する	182
白紙節約	96
バナーシート	94
パネル設定リスト	219
パラレルインターフェースコネクタ	5
パラレルインターフェース	215
パラレル機能の設定	215

ヒ

左上カバー	5
での紙づまり	239
左下カバーでの紙づまり	242
左下ユニット	5
での紙づまり	232
のスペーサを取り外す	28
表示内容	196
品質に関する留意事項	259

フ

フィルター	5
フォント一覧	96
フォント置き換えテーブルの編集ダイアログボックス	96
フォントタブ	90
フォントリスト	220
部数	75
普通紙	14, 17
フューザー	5
プリンター設定リスト	218
プリンタ LAN アダプタ	8
プリンタ RAM モジュール	8
の取り外し	273
プリンタキャビネット	8
プリンタケーブルについて	9
プリンタケーブルの制約	46
プリンタケーブルの接続	47
プリンタ構成タブ	99
プリンタサーバ	57
プリンタシーケンス	276
プリンタ使用時のご注意	(7)
プリンタ設置および移動時のご注意	(2)
プリンタドライバに関する留意事項	263
プリンタドライバのインストール	
Windows 2000	144
Windows 95	51
Windows 98	108
Windows Me	120
Windows NT4.0	131
プリンタドライバの設定	
Windows 2000	153
Windows 95	61
Windows 98	117
Windows Me	128
Windows NT4.0	135
プリンタに関する留意事項	262
プリンタの清掃	185

プリンタのプロパティダイアログボックス 141, 153

プリントポート

の解除	72
の割り当て	72

プリンタ本体 2

プリント機能 94

プリント警告音 213

プリントサーバーの
　　プロパティダイアログボックス ... 143

プリント目的 101, 102

プリント履歴レポート 213, 222

プロファイル 118, 129

プロファイル指定ダイアログボックス 88

フロントカバー 4

^

別のサブメニューを設定する 211

別のメインメニューを設定する 211

変換プラグ 2

木

ポートの削除	71
ポートの設定	73
ポートの追加	71
保護シート	38, 180
保守・サービス	280

≡

未印刷データを強制的に印刷する 199

右上カバー 4

右カバー 4
　　での紙づまり 230

メ

- メインメニューを表示、選択する 204
 メタファイル (WMF) 70
 メニュー画面へ移行する 203
 メニュー項目一覧 224
 メニュースイッチ 6, 203
 メニューの階層について 202
 メモリ増設 100
 メモリを増設 268
 メンテナンス 214

モ

- 文字・書体 276

ユ

- ユーザー設定タブ 101
 ユーザー定義用紙ダイアログボックス 98

ヨ

用紙

- 使用できない用紙 19
 使用できる用紙 14
 用紙サイズ 16, 276
 用紙 / 出力タブ 75
 用紙種類 82
 用紙ストッパー 4
 用紙トレイ 4
 での紙づまり 228
 に用紙をセットする 160
 のスペーサを取り除く 29
 用紙トレイ選択 81
 用紙に関するトラブル 253
 用紙の向き 76

ラ

- ラベル紙 15, 18

リ

- 両面 80
 両面印刷ユニット用コネクタカバー 5
 両面ユニット 8
 での紙づまり 243

レ

- レポート / リスト 216

ロ

- ローカルプリンタ 57

ページプリンタ XL-C3100
取扱説明書

B5WY-0071-01-01

発行日 2000年11月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願ひいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

Ⓐ 0011-1
82E93420